



Palm Magazine vol. 10

Cover
 Photo YUASA Tetsuo
 Art Direction MAKI Syuw-zo
 Model Palm m505(Blue)
 協力 秋葉原PDA



サンノゼ発

6

PalmSource Conference and Expo 2002

巷で噂のアノ新機種、ついに登場か？
 ARM の搭載で Palm デバイスは どう変わる
 待ちに待った Palm OS 5.0 の全貌

special

特集1 Palm とパソコンは一心同体

8

データシンクロナイズの極意

特集2 持って楽しい、使って便利

65

CLIE T シリーズお楽しみマニュアル

特集3 いちばん手頃で気軽な Palm

81

m100 だからガンガンに使う！

news

33

Palm のニュースをピックアップ！
 information

機種別ニュース

40

m500 Magazine

41

Visor Magazine

42

CLIE Magazine

Book Review

43

Palm の図書館

新製品紹介

59

Buying Advice

世界の珍品をアナタに代わってレビューします

63

Buying Advice 番外地



46	ブラジルからやってきた新プログラミング言語 「Plua」で作るメモ帳検索ソフト
54	Palmの未来はここにある Palm 導入企業に潜入レポート ～ブーマテック ジャパン(株)～
78	初心者歓迎 基本ソフトを使いこなそう
80	Palm界の有名人を紹介 パーム人名事典
90	マンガも週刊誌もスマートに読もう パームで読書!
104	山田達司氏の悩み相談室 パームの達司(人?)
128	てのひら通信生活
130	FAQ Palm なんでも相談所
134	パーム初心者のための用語事典
136	周辺機器&ソフトカタログ
140	Palm デバイスカatalog

useful



39	あの有名サイト管理人が語る Palm Fan.com オフラインレポート
50	Special interview 日本アイ・ビー・エム(株) / (株)ハドソン
76	160 x 160ドットで遊び倒せ GO GO Palm Gamers!
94	こだわりのケースを纏え!
96	お気に入りのケースを着こなそう パームファッション専門学校
97	プログラミング初心者だけど 目指せ! パームウェア作家
100	パームウェア開発講座 データを保存する(2) データベースマネージャー
106	PDA Wars in the U.S.A.(下) Palm Reading
132	To Go サイト案内板

variety



37	パームウェア対応速報
44	パームウェアランキング
110	パームウェア教習所
112	今号の新着パームウェアピックアップ
114	厳選パームウェア 300

palmware

64	Webで答えてプレゼントをもらおう! 読者アンケート
107	特別付録 CD-ROMの使い方

present



次世代OSマシン登場まで間近の予感

PalmSource

Conference and Expo2002

レポート in サンノゼ

文・写真 / 塩田紳二

Palm OS 5.0のプレスリリース版ROMの配布やARMアーキテクチャーへの移行など、「次世代」マシンが現実味を帯びてきた今回、i705やTreoよりも、さらに刺激的なマシンがソニー(株)から披露された。



初日のキーノートスピーチに登場したのは「PalmSource」のCEOに就任したばかりのデビッド・ネイゲル氏

5.0いよいよライセンス開始

米国カリフォルニア州にあるサンノゼ市で2月5~8日(現地時間)、米パーム社の主催するイベント「PalmSource Conference and Expo2002」(以下、PalmSource)が開催された。昨年10月末に開催予定だったが、9月のテロ事件の影響を受け2月に延期された。ここではそのPalmSourceの状況をレポートする。本誌の締め切りの関係で初日のみの内容になることをご承知いただきたい。

初日、キーノートの開始は午前10時。しかし8時すぎにサンノゼ一帯が停電となり、すべてのスケジュールは午後からとなってしまった。キーノートスピーチに登場したのは、1月21日に発表されたPalm OSのラ

イセンス事業を行う子会社のCEOであるデビッド・ネイゲル氏。この時点ではまだ子会社の名前は発表されていなかった。子会社の名前は「PalmSource」。つまり、このイベントと同じ名前である。

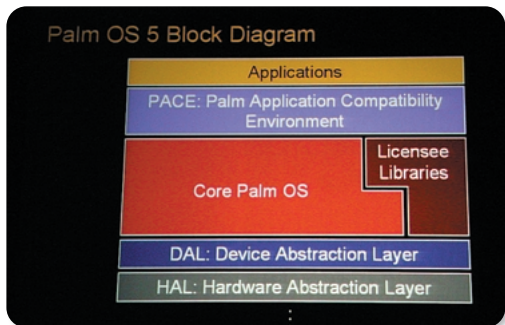
さて、今回の話題は今年前半にライセンスが開始されるPalm OS 5.0(以下、OS 5.0)とARM採用のプラットフォームである。前回のPalmSource(2000年に米国で開催された)では、概要が多少公開されたものの実際には多くの事項が検討中であり、「Palm OS 5.0に簡単に移行するためには、Palm OS 4.0に正しく対応しておきなさい」的な話だった。

今回のPalmSourceではウィンドウズ上で動作する「Palm OS Simulator」(POSEとは別に作られたツール)に、OS 5.0のプレリリース版のROMイメージなどを組み合わせたものを配布していた(英語以外に日本語やヨーロッパ系言語用のROMイメージも用意)。これを使うと、現在のソフトがOS 5.0の互換環境(PACE)で動くか検証できる。また、POSEとは違いハードのエミュ

レーションは行わないが、現在のデータベースやヒープの状態を見られる。

肝心のOS 5.0だが、プレゼンテーションによれば、ARMベースの32ビットOS、新しいIARMマシンで動作する従来のプログラムのうち、うまく作られたものはエミュレーターで動作可能、新しいAPIが追加されている、従来のプログラミングモデルを継承、というものになる。サードパーティー製を含むアプリケーション自体のARMベースへの移行は次世代OSにゆだね、OSのカーネル部分のみをARM対応させたものになるようだ。そうしたこともあってか、「PalmSource 2000」で解説したものは同じではないという(例えば、前回のPalmSourceではARMの縮小命令セットThumb命令は使わないとのことだったが、今回のプレゼンによると、OS自体にはThumb命令を使うかもしれない)。また、内部的にはOS自体がモジュール化されている。モジュール単位で差し替えを行うことで、OSの早期のアップデートなどを可能にするためだ。APIの追加は新たなモジュールを提供することで行う予定だ(①・②)。

米パームソース社からのライセンス各社への提供は2002年の上半期中。ライセンス各社からの製品出荷は米パームソース社からは公開できないが、非常に早く登場する製品もあるかもしれないとのことだ。



① Palm OS 5のブロックダイアグラム。OS部分はARMコードで記述される



② Palm OS Simulator上で動作するPalm OS 5.0プレリリース版。Palm OS Simulatorでは、現在のデータベースの状態などを表示させることができる。画面に見えているのはPalm OS Simulatorのメニューで、Palm OS自体は、見た目は現在のPalm OS 4.0とまったく同じ

開発中のCLIE登場

OS 5.0では、CPUはARM 4Tアーキテクチャーになる。これらは米インテル社、米モトローラ社などからCPUチップとそのチップで動作するPalm OSを組みにしたPalm OS Ready Programで提供される。新しい機能としては、High-density Window Manager、サウンド、新しいイベント通知、パッチメカニズム、などが用意される予定だ。High-Density Window Managerはハードによる画面解像度などの違いに対応するためのもので、従来のアプリケーションでも高品位フォントや滑らかな形のボタンなどが利用できる。これはソニー㈱が開発している技術を採用する。

サウンドではWAVE形式データの再生と録音をサポート。8または16ビットサンプリングデータが同時に16音再生可能。8または16ビットサンプルで、モノラルかステレオの録音ができる。ただしサンプリング周波数は特に規定せず、メーカーが自由に決められる。これは、低価格な製品ではサポートするサンプリングレートを低くするなどしてコストを下げ、上位機種ではより高いサンプリングレートをサポートして差別化を図れるということだろう。

新しいイベント通知とパッチメカニズムの導入は、現在のHackやアプリケーション自身によるPalm OSへのフックなどに代わるものとして提供される。OS 5.0は完全に32ビットOSとなり、OS自体を書き換えることが困難になる。また、OS 4.0と違って

モジュラー構造になるために、SysSet-TrapAddress関数が実装されない。しかし、現在のPalm用アプリケーションはHackやフックを使ったものも多く、便利な機能が提供されている。そこで同様なことが可能になる仕組みとして新しいイベントの通知やパッチの機構が提供されることになった。

さて今回は、OS 5.0の次のOSについてもプレゼンが行われた。それによると次々世代のOSでの変更は、既存のAPIやプログラミングモデルの変更、エンディアンの扱い、多くのAPIの追加、伝送フォーマットの定義、新しいランタイムモデル(スレッド、メモリー保護、イベント通知など)、新しいHotSync機能、標準PIMアプリケーションのデータベースフォーマット変更、データマネージャのアップグレードとなり、Palm OSはバージョン5.0の次(6.0?)で完全に違うものに切り替わる感じだ(ただし、PACEは残るためにOS 4.0以降の68kアプリケーションとの互換性は保たれる)。エンディアンやAPIの追加などはARMのネイティブアプリケーションやライブラリーを実現するためのもので、旧68kアプリケーションとの互換のため伝送フォーマットを定義するようだ。

初日のキーノートスピーチの中でも最も注目されたのが、ソニー㈱である。登場した吉田雅信氏(ハンドヘルドコンピュータカンパニー プレジデント)が披露したのは開発中のCLIE(3)。これは折り畳み型の携帯電話のような形になっており、開くと上が液晶部分、下にキーボードが付いてい



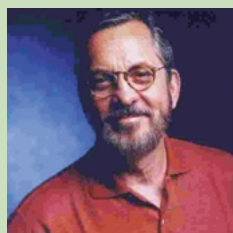
3 開発中の新型CLIE。折り畳み式で開くと液晶とキーボードが出てくる。液晶部分を回して閉じると、今度は液晶のみが表に出て従来のCLIEのような形になる

る。また、間のヒンジ部分にはカメラのような部品が見えた。液晶部分はヒンジに対して直角に回転するようになっており、液晶部分を180度回して閉じると、液晶だけが前に出た現在のCLIEやPalmのような形になる。現時点では開発中であるが、登場はそれほど速いものではないと思われる。

3/28
~29

PalmSource® Japan Forum 2002 いよいよ開催!

Palm OSプラットフォーム開発者会議 PalmSource Japan Forum 2002 が開催される。今年は米国でキーノートスピーチを行ったデビッド・ネイゲル氏が出席。ARMアーキテクチャーへ移行するPalm OS 5.0やワイヤレス技術、ライセンス各社の動向がわかる。Palm OS 5.0上でアプリケーションの互換テストができるラボも開催予定。



米パームソース社 CEO
デビッド・ネイゲル氏来日!

President and CEO of the Palm OS Subsidiary

米アップル社でR&D担当上級副社長を勤め、マックOSやイメージングなどに関する研究開発を指揮。米AT&T社のCTOを経て、Palm OSのライセンス事業を行う子会社「PalmSource」のCEOに就任

PalmSource Japan Forum 2002

主催 パーム コンピューティング㈱
運営 キースリーメディア・イベント㈱
会期 2002年3月28日(木)~29日(金)
会場 赤坂プリンスホテル
http://www.palmos-japan.com/

コンファレンス事前登録受付中(3月22日まで)
事前登録により4万5000円の当日登録費用が3万5000円に割引引きされます

問い合わせ窓口
PalmSource® Japan Forum 2002 登録事務局
☎03-5474-2055
☎03-5474-6946
E-Mail palm2002@Key3media.co.jp

Palmとパソコンは一心同体 データシンクロナイズの極意

職場や家にあるパソコンといつも持ち歩くPalm、
これらの中にあるデータを一致させるのが「シンクロナイズ」だ。
「スケジュール」「アドレス」「To Do」などの基本的な機能から、
Palmにあるデータのバックアップや赤外線通信対応携帯電話との連携まで、
Palmがより使いやすくなるシンクロナイズ術を伝授しよう。

シンクロナイズによって 本領を発揮するPalm

Palmでいうところのシンクロナイズ(以下シンクロ=同期)とは、Palmとパソコンという別々の媒体に記録されたデータを一致させてまとめることだ。Palmでは「HotSync」を行うことで、パソコンとPalmのデータを同期し、どちらでも使えるようになる。「パソコン上にある必要最低限な情報を持ち歩く」。このコンセプトにより、Palmユーザーは分厚い手帳や重くて大きいパソコンの束縛から逃れることができる。それだけでなく、Palm側で更新したデータをHotSyncによりパソコンへ反映するという、見事なまでの連携環境を実現している。

Palmは常に、パソコンとの連携によって自らの機能を増やし、能力をアップさせて

きた。最近では通信や写真撮影など、拡張モジュールを使えばさまざまなことがPalm単体でできるようになり、当初の「データビューアー」としてのコンセプトからさらに進化しているとも言える。しかし実際のところ、Palmだけですべてをこなすには能力の限界がある。特に大量の情報を管理するには、パソコンが必要不可欠だろう。








Palmとパソコンの橋渡し役を果たすのが、Palmに連動したPIMやソフトのインストール機能などを持つ統合ソフト「Palm Desktop」だ。このソフトは、単独のPIMソフトとしても完成度が高く、他製品と比較しても遜色ない。しかもウィンドウズ/マック版の両方が用意されている点は、ほかのPDAに対するアドバンテージとなっている。

この特集では、Palm Desktop側のちょっとした工夫でPalmがより使いやすくなる

Tipsを中心に紹介している。例えば大量にストックされているメモにヘッダーを付けたり、年賀状ソフトで管理しているアドレスをPalmでも使えるようにするには、Palm Desktopの力を借りたほうが圧倒的に効率がいい。シンクロ後のデータの見やすさや管理しやすさが、まったく違ってくるのだ。ほかにも、「Outlook」とPalmの連携、「Microsoft Office」で作った書類データのシンクロ方法、Palm側に取り込んだデータを有効活用できるソフトなどを紹介しているので、使っている環境に合わせて参考にしてほしい。

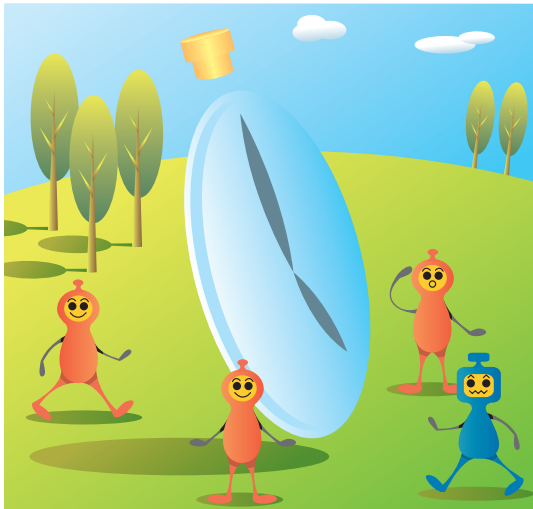
Palmとパソコンは、いわば「一心同体」とでも言うべき関係。シンクロを極めてより快適なPalm環境を手に入れよう。プライベートでもビジネスでも、心強いパートナーとして威力を発揮してくれるはずだ。

INDEX

- | | | | |
|---|--------------------|----------|------|
|  | 見やすさ・使いやすさを追求 | スケジュール管理 | P.10 |
|  | 日付や優先順位で効率アップ | To Do | P.16 |
|  | 大切なアドレスはすべてPalmで管理 | アドレス | P.20 |
|  | 情報の宝庫をスッキリ整理整頓 | メモ | P.22 |
|  | Palmでメールを読む快感 | メール | P.24 |
|  | 大切なデータはしっかり保存 | バックアップ | P.26 |
|  | バラエティー豊かなシンクロナイズ術 | さまざまな連携 | P.28 |



文 霜田憲一、野村ひかる
イラストレーション 保坂庸介



見やすさ・使いやすさを追求

スケジュール管理

シンクロのありがたみが一番感じられるもの、それがスケジュール管理だろう。特にビジネス用のスケジュールをPalmで管理している人にとっては、Palmとパソコンのどちらも最新の正確な情報が要求される。ここではPalm DesktopやOutlookとPalmの連携、スケジュールを管理しやすい方法やソフトなどを紹介しよう。

Step1 過去の予定は切り離すことでスッキリ身軽に

メモリーの圧迫によりPalmの動作が遅くなってきた、と感じるならば、過去の予定は切り離してPalmの中身をスッキリさせよう。Palmの「予定表」(Visorは『予定表+』)には古い予定を破棄できる項目がある(図1、2)。「予定表」メニューから「古い予定の破棄」を選び、破棄したい時期を選択する。破棄する過去の予定が後で必要になった場合に備え、「パソコンにバックアップ」項目にチェックマークを付けておくといいだろう。「OK」ボタンを押せばデータは破棄される(図3)。

削除したデータは、Palm Desktopの「ファイル」メニューにある「バックアップファイルを開く」で呼び出して参照できる(図4)。バックアップデータは、各ユーザーのデータが保存されているフォルダー内の「datebook」フォルダーに「未分類.dba」という名称で保存されている(図5)。マック版の場合は、「ファイル」メニューの「開く」からユーザー名のフォルダーを選んで「ユーザーデータアーカイブ」を選択しよう。再び予定表に組み込み直したければ、「ファイル」メニューの「インポート」からバックアップデータを読み込めばよい。

マック版では、削除したデータを開いた状態で「ファイル」メニューより「マージ」を選択し、「ユーザーデータ」を選択すれば読み込まれる(図6)。一度切り離した予定を組み込んだ場合、以前にはなかった設定が組み込まれていたり消失していることもあるので注意しよう(図7)。

過去データの切り離し



図1 「破棄」では開いた予定からさかのぼったデータ削除開始時期を選べる

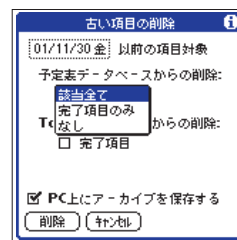


図2 「予定表+」で古い項目の一括削除を選ぶと、To Doの破棄設定もできる

切り離したデータの閲覧 / 再読み込み

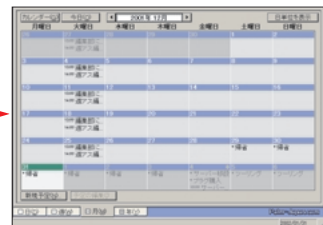
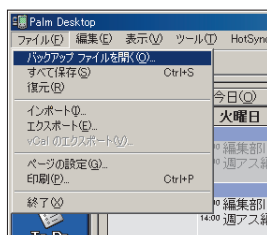


図3 Palm側で削除設定した後HotSyncすると、Palm Desktopにも反映される。データは、定期的な予定を除いて削除される



Windows

図4 消去したデータを閲覧したい場合は「バックアップファイルを開く」を選択

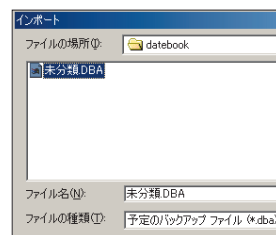
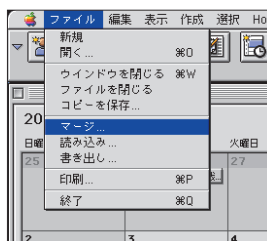


図5 バックアップデータを再び組み込みたい場合は「インポート」で「未分類.dba」を選ぶ



Macintosh

図6 「マージ」は、ウィンドウズでいうところの「インポート」と同じ機能だ。バックアップファイルの「ユーザーデータ」を選ぶ

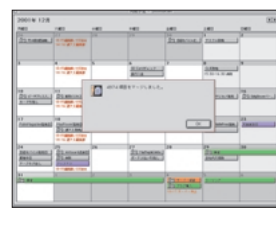


図7 ユーザーのデータに併合された状態。カテゴリーや色の情報が失われていることがある



Step2 Palmに取り込んだ予定をDateBkで強化

使用ソフト

DateBk3

作者：PimlicoSoftware
種別：シェアウェア（24.45ドル）
http://www.pimlicosoftware.com/

Palmに標準で付属している「予定表」の使い勝手はそのままに、さらなる機能や使いやすさを求めたいなら「DateBk3」がお勧めだ。Visorシリーズには簡易版が「予定表+」として標準で採用されているが、配布されているバージョンでは、2種類の週表示や予定内容のアイコン化などの機能も付け加えられている。見た目も使い勝手も標準の予定表とほぼ同じなので、普通に使うぶんには操作に迷うことがない。ところがよく見ると、ボタンの数やメニューの項目が多くなっていることに気がつくはずだ。そこがDateBkの強化されているところであり、多くのユーザーから支持されている部分でもある。

特にわかりやすいのが表示モードの違いだ。標準の予定表では日表示 / 週表示 / 月表示 / 一覧表示の4画面に対して、DateBkでは日表示 / 週表示1 / 週表示2(縦割りの1、2週切り替え) / 月表示 / 年間表示 / リスト表示の6種類7画面(図1)に増えている。特にカレンダー状に表示される週表示2は見やすく、予定が確認しやすい。

さらにDateBkの使いやすさにひと役買っているのが、予定表とTo Doとの融合だ。日々のスケジュール内にTo Doを一緒に表示することで、スケジュール全体をひと目で把握できる。予定表にTo Doが表示される画面は、日表示 / 週表示2(1週、2週表示) / リスト表示の4種類。いちいちTo Doに切り替える必要がないので、確認がよりスピーディーになる(図2)。

ほかにも海外出張の多いユーザーにはうれ

しい機能として、Palm本体と連動したタイムゾーン設定がサポートされている。DateBk上でタイムゾーンを設定すると、同時にPalm本体のシステムも設定される仕組みだ。しかも、渡航先での予定にタイムゾーンを設定しておけば現地時刻での設定ができるので、出張に行く前でも計画を立てておける。もちろん、渡航後にタイムゾーンを変更すればスケジュールは自動的に統一される(図3)。

週間表示をした場合など、画面が小さくてわかりにくくなりがちな予定には、アイコンを付加することで予定の種別が認識できるようになっている。アイコンは日、週、月表示に対応した機能だ(図4)。どんなジャンルに対しての要件なのかがわかりやすくなる。

DateBkは、Palmに標準装備されている「予定表」の良い部分を残したうえ、Palmの使い勝手の良さやPalmらしさのバランスを取ることによって成功しているソフトだ。どの機能も、予定表を使い込んでいたユーザーなら納得できるものばかりだろう。

表示方法

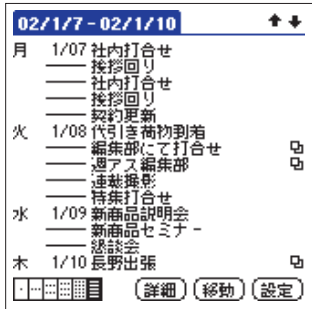
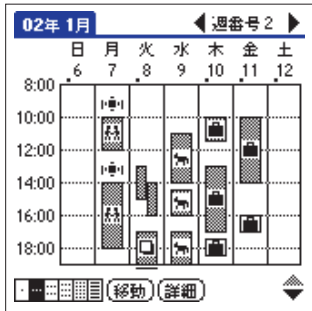
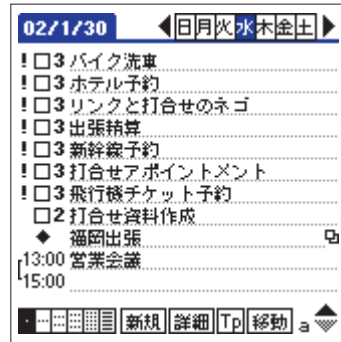
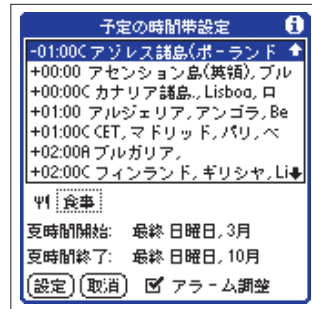


図1 左から右へ、DateBkの週表示1 / 週表示2(1週表示) / 週表示2(2週表示) / 月表示 / リスト表示。予定表は、これに日表示を加えた6種類の表示方法がある。カレンダー状に表示される週表示2は、予定の内容も確認できて便利



日表示

図2 DateBkの日表示では予定項目のほかにTo Doも表示されるので、その日やらなければならないすべてのことを一度に確認できる



時間帯設定

図3 一日のうち午前中は日本で、午後は海外というスケジュールの場合に生じる予定表内の「スレ」を自動的に処理



アイコン設定

図4 アイコンは52個収録されているほか、自分で作ることもできる。日表示でアイコンを設定したい項目を選び、「詳細」画面の「アイコン」ボタンをタップして好きなアイコンを選ぼう

Step3 ほかのPIMソフトとPalmをシンクロさせる

PalmデバイスにはPalm Desktopが付属しているが、ウィンドウズユーザーにはPIM機能を持つメールソフト「Outlook」を使っている人が多い。企業での導入率も高いので、Palm Desktopの操作方法をいちから覚えるよりは、できれば使い慣れたPIMソフトを使い続けたいところだろう(図1)。

そんな時に有効なのがブーマテック ジャパン(株)の「Intellisync」(図2)と米Chapura社の「PocketMirror」(図3)、そして米DataViz社の「Desktop To Go」だ。これらのソフトを使えばHotSyncの使い勝手はそのままに、Outlookの機能を余すところなくPalmで活用できる。また、データのフィルタリングなども細かく設定できるので、使っているPalmに合わせたデータのやり取りができるのもうれしい。さらに、Outlookを利用しているPDAとの連携も可能だ。PalmとウィンドウズCEマシンとを併用している場合は、情報を共有できるというメリットもある。

Outlookとの連携

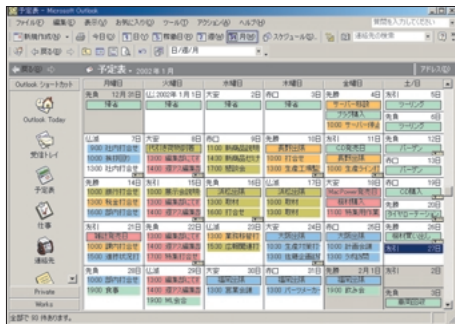


図2 Intellisyncの設定画面。Palmアプリケーションのシンクロ先がOutlookになっている点に注目

図1 Outlookは、ウィンドウズ版のPalm Desktopに実装されていない数々の機能を搭載する。予定表オプション設定画面では、稼働日や時間設定などができる

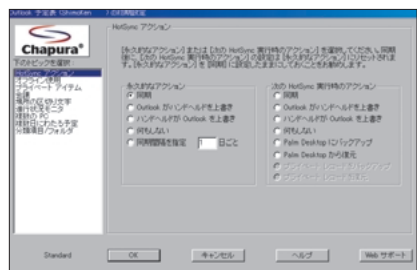
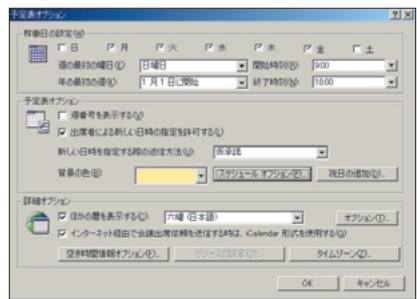


図3 PocketMirrorのシンクロ設定画面。各種詳細な設定が可能で、シンクロ内容を必要なぶんだけに絞込める

Desktop To Goを使ったシンクロ

OutlookとPalm Desktop以外にも、マイクロソフト社のPIMソフト「Schedule +」に対応したシンクロソフトが「Desktop To Do」だ。ソフトは英語版のみだが、日本語のデータも問題なく使用できる。インストール時にユーザー選択と、対象アプリケーションの設定をするので、インストール後すぐに利用可能だ。また初回のシンクロ時のみ、どういったデータ移行をするのかを設定できる(図1)。インストール後、デスクトップに作られた「Desktop To Go」アイコンをクリックすると

出るダイアログで、データをシンクロするための詳細な設定をしよう。「Global」は初期設定で、ユーザーの切り替えなどができる(図2)。「Date Book/Address Book/To Do List/Memo Pad」はPalmの標準ソフトも含めたシンクロ対象のソフトやシンクロモードの設定ができる。「Microsoft Exchange Server」にも対応(図3)。「Options」はオプション設定画面。Outlookとのシンクロ後にPalm Desktopともシンクロできるのが特徴だ(図4)。

使用ソフト

Desktop To Go
 開発元：米DataViz社
 価 49.95ドル
 関 <http://www.dataviz.com/>

インストール~ユーザー選択

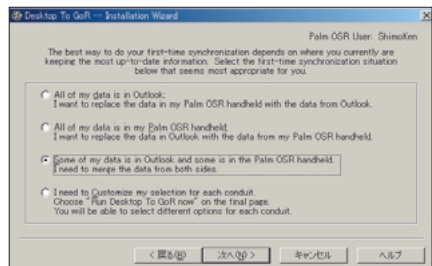


図1 初回のシンクロ処理方法を指定する設定。優先させるデータが入っているのをメインに上書にする

各種設定

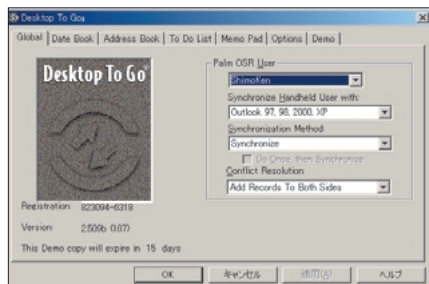


図2 初期設定を間違えてもここで修正が可能。複数ユーザーでの利用もここで切り替える

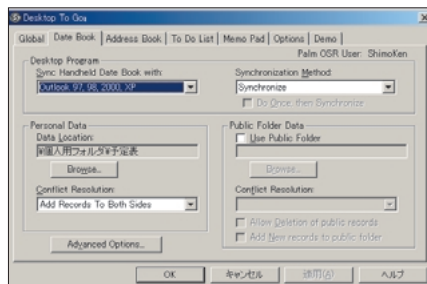


図3 各ソフトに対するシンクロモードの設定を行う。他ソフトの設定と似たような画面なので間違いに注意

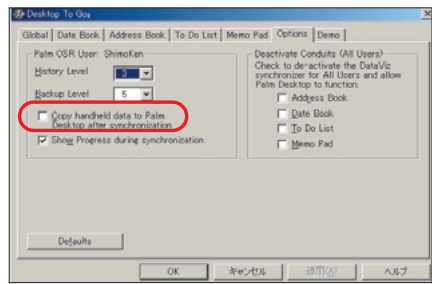


図4 「Copy handheld data to Palm Desktop after synchronization」にチェックマークを入れると、メインのシンクロ後にPalm Desktopともシンクロを行う



PocketMirrorを使ったシンクロ

PocketMirrorは次ページで紹介している Intellisyncと異なり、メールのシンクロや多量のPIMソフトに対応はしていない。とはいえ、OutlookのPIM機能とシンクロに限れば十分すぎるほどの機能をもったソフトだ。設定もIntellisyncほど複雑ではないので、そのぶん使い勝手も良いといえる。

1. インストール～ユーザー選択

インストールセットアップが完了すると、デスクトップ上に現れる「Chapura Settings」アイコンをダブルクリックして開き、利用したいユーザーを選択する(図1)。

2. シンクロ対象の設定確認

PocketMirrorはインストール時にシンクロする対象を設定してしまうので、ここではその確認を行う(図2)。

3. 初期設定

「Chapura Settings」を開き、ユーザー選択後「設定」ボタンを押す。予定表を選択して「変更」ボタンを押すと「プロファイルの選択」ウィンドウが表示されるので(図3)、プロフ

ファイル名が「Outlook」になっているのを確認してOKを押すと初期設定画面が開く(この操作は初回のみ)。

設定の各項目は「トピック」という区分けになっており、予定表で9つのトピックがある。それぞれが設定画面の大半をグラフィカルなものにしており、内容は非常に親切でわかりやすいものだ(図4～6)。

各設定が完了したら、通常どおりHotSyncを行う。この時に先の設定で「進行状況モニタ」にチェックが付いている場合は、画面左上に進行状況のバーが表示される。内容はシンクロしているデータの詳細情報を表示しており、現在どのデータがシンクロされているのかがひと目でわかる。

PocketMirrorは、Palm m500シリーズにバンドルされている。メインのスケジューラにOutlookを使っているm500ユーザーは試してみる価値が十分にあるだろう。低コストでかつ簡単に、OutlookへPalmのPIM環境を移行できるからだ。

使用ソフト

PocketMirror Standard

開発元：米Chapura社
価格：39.95ドル
http://www.chapura.com/

インストール～ユーザー選択

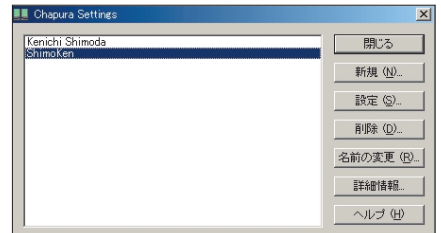


図1 複数のユーザーが登録されている場合はこの画面が表示される。ユーザーを切り替えての利用が可能

シンクロ対象の設定

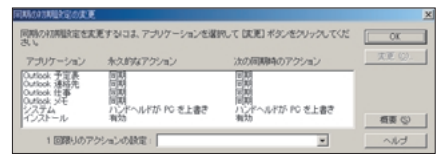


図2 シンクロのモード確認や変更を行う設定画面。シンクロのモードは別途初期設定画面内で行う

初期設定

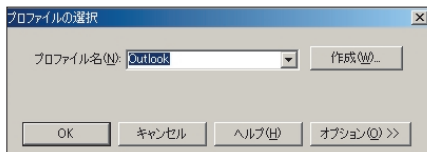


図3 プロファイル設定ウィンドウは、初回のみ表示される

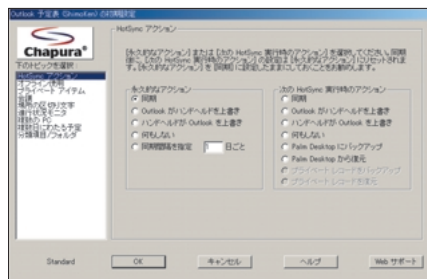


図4 複数日にわたる予定：Outlook側で複数にわたる日程での予定を、Palm側でそれぞれ分割したい場合にチェックを付ける。3日にわたる予定であれば3日ぶん、それぞれに終日の予定が作成される

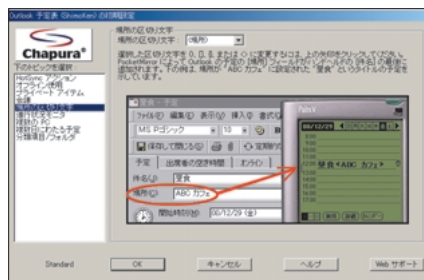


図5 場所の区切り文字：Outlook側は予定に場所を記載できる。Palmにはない機能で、これをPalm側でも実現しようとしたものだ



図6 HotSyncアクション：シンクロのモードを設定する画面。1回のみ設定と、永久的なアクションの2つに分かれる。使い分けの方法はPalm Desktopと同様

その他の初期設定

オフライン使用：グループウェアであるExchange Serverを導入している場合に設定するモード。それ以外は設定する必要はない

プライベートアイテム：プライベート扱いのデータに関して、シンクロを行うかどうかを選択する。職場のパソコンでの取り扱いも考えられた仕様だ

会議：Outlook側は予定に出席者の設定ができる。そういった予定に対する処理方法。設定すると自動的に件名の前に「Mtg」の文字が追加される

進行状況モニタ：シンクロの際に、その状況画面に表示するウィンドウの有無を設定する

複数のPC：Exchange Serverを導入していてそのメールボックスを利用している場合、複数のPCによりアクセス方法が異なると、更新のタイミングによってはデータの重複が発生する可能性がある。それを避けるために用意された設定。一般的には必要ない

分割項目 / フォルダ：カテゴリ分けの設定をOutlook側、もしくはPalm側で設定された内容に準じて設定する機能

Intellisyncを使ったシンクロ

対応PIMソフトが豊富なうえ、メール、スケジュール、アドレス帳などの読み込みができるだけあって、Intellisyncの設定内容は詳細な部分にまで及ぶ。最初は面倒だと感じるかもしれないが、一度設定してしまえば快適に使い続けられる。

1. インストール～ユーザー選択

インストール完了後、すぐ設定に移る。パソコンに設定されているPalmユーザーが複数ある場合は、ユーザーを選択する画面が表示される(図1)。

2. シンクロ対象の設定

ユーザーが選択されると次にシンクロを行いたい対象のソフトを選択する。アイコンの左側にあるチェックボックスをクリックすると、トランスレーターの選択画面が表示されるのでOutlookを選択し(図2)、下に表示されている「操作」の項目を設定しておく。対象が決まると、シンクロ先のソフトとシンクロのモードが矢印で表示される(図3)。

3. シンクロ内容の設定

ここから詳細な設定が始まる。Palmアプリケーション「予定表」が選択された状態で「詳細」ボタンをクリックすると詳細設定画面が表示される。設定内容は日付範囲/確認/矛盾回避/フィルタの4つだ。

「日付範囲」はシンクロする対象期間の設定だ。数年分のスケジュールデータはPalmの動作速度に影響する。必要な期間のみをシンクロすることで、データの蓄積はパソコン、持ち歩くデータはPalmと連携して使い分けよう(図4)。

「確認」は、データがシンクロされて書き換えられるときに確認を行うかどうかを設定する項目。確認できるのは、シンクロによってデータが削除される/データが書き換えられる際の2つ(図5)。この設定をしておくとも間違いで入力したデータでも書き換えられる前に確認できるので、うっかりしたトラブルを回避できる。

「フィルタ」は、シンクロの適用範囲を制限する設定。例えば職場のパソコンにプライベートな情報まで残したくない場合に有効だ(図6)。

使用ソフト

Intellisync for Palm

開発元：プーマテック ジャパン(株)
実勢価格：5800円
http://www.pumatech.co.jp/

標準でプライベートデータを除外する設定があるが、ほかに自分でフィルター設定を作成できる(図7)。複数のフィルターを作成し、必要に応じて使い分けることも可能だ。

「矛盾回避」では、「つじつまが合わない」ことが発生した際の対処方法を設定する。例えば、同一の日に同じ内容のスケジュールがあるのにパソコンとPalmとで設定時刻が異なる場合などが対象になる(図8)。

設定を終えてHotSyncすれば、通常通りのシンクロ画面が表示される。使い勝手はPalm Desktopと同じままで、Outlookと連携できるメリットは大きい。CLIE Tシリーズには「Intellisync Lite for Sony CLIE」がバンドルされているので、対象機種を所有している人はぜひ使ってみよう。

インストール～ユーザー選択

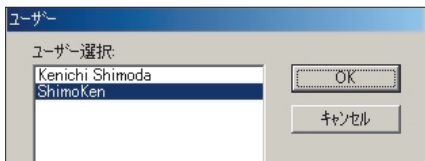


図1 ユーザーの切り替えを行う。この操作は設定が完了後でもできるので、ほかのユーザーがIntellisyncを利用したい場合も問題ない

日付範囲

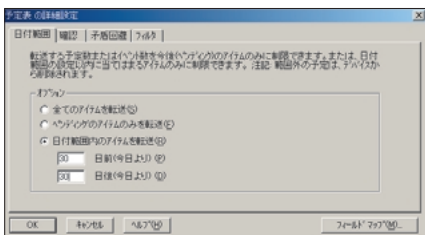


図4 データの範囲を指定することで、ムダなデータをPalmにシンクロしない。範囲外のデータがパソコンから削除されることはない

フィルター

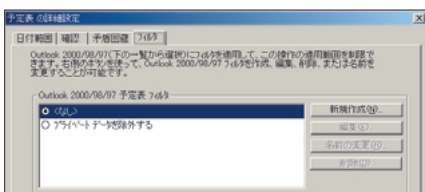


図6 フィルターの設定は複数準備することができ、必要に応じて切り替えられる

シンクロ対象の設定

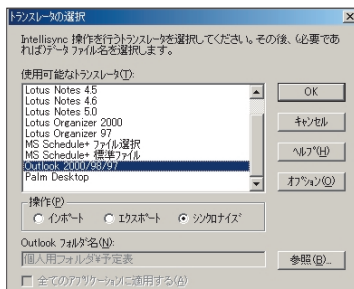


図2 国産PIMソフトの大半に対応しているため、一般的なものであればOutlook以外でもPalmと連携できる

確認

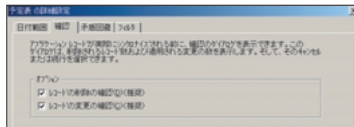


図5 確認のモードは「削除」と「変更」の2種類。データの変更、削除時にこの画面が表示される。設定のチェックを外せば表示されなくなる

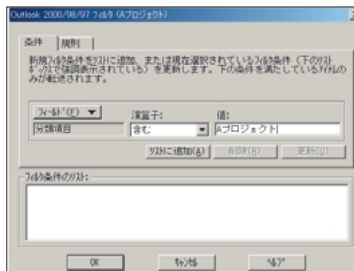


図7 データの内容単位でフィルタリングできるので、カスタムされたフォームにも対応している

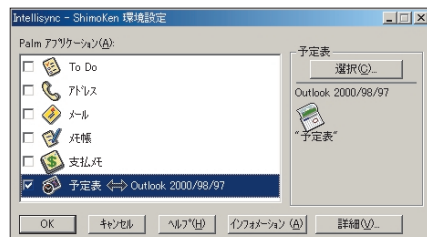


図3 見た目にもわかりやすいシンクロのモード画面。データの流れがひと目で確認できる

矛盾回避

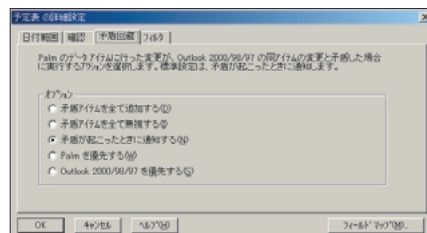


図8 データが複数箇所にあると必ず発生する矛盾に対応した設定。普段メインにしている機器を選択すれば、そのデータが優先される



Step4 スケジューラーは時間が命

使用ソフト

HotTime1.3

作者：米Aladdin Systems社
種別：シェアウェア (9.95ドル)
http://www.aladdinsys.com/hottime/

TimeConduit

作者：(有)フローティングポイント
種別：フリーウェア(個人使用に限る)
http://www.float.co.jp/



図1 パソコンとPalmにソフトをインストールする。Hack管理ソフトをすでに持っている場合は、「HackMaster」は不要



図2 HotTimeアイコンをタップすると、前回のシンクロでどれくらい時計がずれていたかを教えてくれる

Palmの内蔵時計は使っているうちに誤差が生じてくる。HotSync時にパソコンの内蔵時計にPalmの時刻を合わせるソフト「HotTime」で正確な時刻をキープしよう(図1、2)。パソコンが常にネットワークへつながっているなら「TimeConduit」がお勧めだ(図3、4)。HotSyncと同時にネットワーク上のタイムサーバーと通信し、Palmとパソコン両方の時計を修正する。

TimeConduit

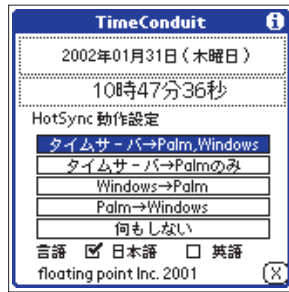


図3 インストールアイコンをクリックすれば、ソフトがHotSyncマネージャに組み込まれる

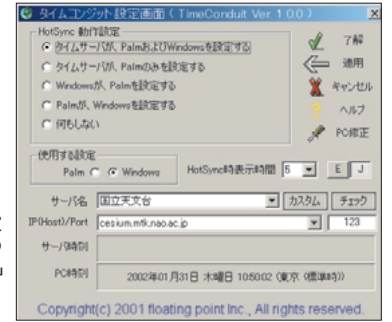


図4 パソコン側の設定は、タスクトレイの「HotSyncマネージャ」から動作設定を選び、TimeConduitを選択する

Column Palm Desktopの印刷機能を活用

Palmユーザーであっても、会議やちょっとした打ち合わせにはペンとノートが欲しくなる。そんな時に便利なのが、Palm Desktopの印刷機能だ。特にマック版には、各種システム手帳に対応した印刷機能が搭載されているのだ(図1、2)。日程に関わる打ち合わせなどの場で頻繁に予定が入れ替わると、Palmに書き入れるスピードが追いつかず、操作に気を取られて会議の流れについていけない場合がある。Palmに入っているスケジュールを紙に印刷しておけば内容もすぐに確認できる

し、会議の最中はそれを使って予定を書き込み、後でゆっくりとPalmに入力すればよい。印刷できるフォーマットはマック版が日/

週/月で、ウィンドウズ版が本日/日(一週)/月だ。これらを議事録などの資料と一緒に提出、などの使い方もできる(図3~5)。

印刷レイアウト設定

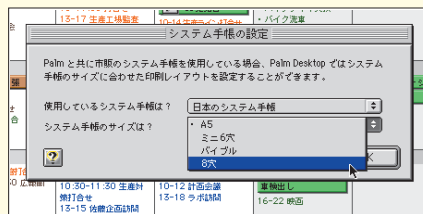


図1 マック版では、初めての印刷時にシステム手帳の使用を確認する。使う方を選ぶと自動的にレイアウトを作成する

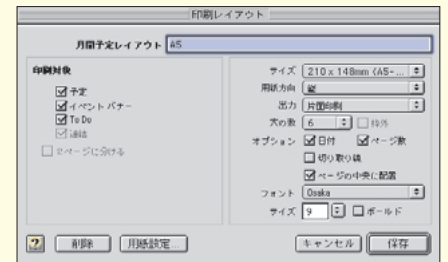


図2 レイアウトは固定レイアウトのほかにも自由に作成できる。一般的なシステム手帳ならばそのまま使えるはずだ

印刷プレビュー



図3 日単位での印刷プレビュー。月間カレンダーと時間軸が記載しており、書き込みやすい



図4 週単位での印刷プレビュー。1週間の流れがつかみやすい。To Doも印刷される

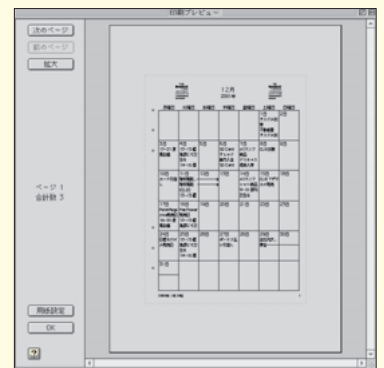


図5 月単位での印刷プレビュー。詳細内容までは印刷できないが、全体の流れを確認できる



日付や優先順位で効率アップ

To Do

シンプルながらも便利な備忘録ソフト「To Do」。Palmだけで使っても十分なソフトだが、Palm Desktopを駆使すれば入力の手間を大幅に省いてしまうことだってできるのだ。ここではPalm Desktopとの連携ワザや、ユニークな発想のTo Doソフトを紹介する。より使いやすいTo Doへとステップアップしよう。

Step1 出先ではローマ字でサッと下書きしてしまおう

出先でPalmへ入力することも多い「To Do」だが、グラフィティーで日本語入力するのは少々面倒だ。入力が面倒だから使わなくなった、ではせっかくのPalmがもったいない。出先では覚書程度にとどめておき、データを移してからパソコンで清書してはどうだろう。

ポイントは、なんとといってもPalmでの下書きだ。漢字はおろか日本語にすら変換せず、すべてローマ字書きで済ませてしまえばラクチン(図1)。下書きが必要なのは次にシンクロするまでの間なのだから、内容を忘れないという程度で十分だ。こうしてごく簡単に下書きした内容をHotSyncしてデータを転送し、Palm Desktopで清書する。もう一度シンク

ロしてPalmに戻せば完了だ(図2)。これならグラフィティー入力が苦手な人でも楽々To Doを使いこなせるだろう。

出先では下書き程度



図1 出先での入力は、ローマ字で下書き程度にとどめておこう。自分が内容を把握できればOK

下書きの転送と清書

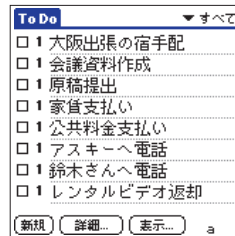
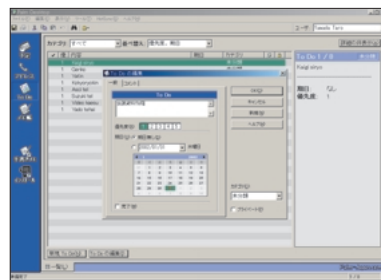


図2 入力はパソコンの方が断然ラク。清書したTo DoのデータをPalmに送れば、Palmの各To Doが更新されて日本語になっている

Step2 たまったTo Doをパソコンで整理・分類

Palmの一画面に表示できるTo Doは11個までだ。それ以上になればスクロールしなければならず、画面外にある項目を見落としてしまっは元も子もない(図1)。To Doは、重要度に合わせて優先順位を付けられるので、パソコンの画面いっぱいたくさんのTo Doをリスト表示できる、Palm Desktopで設定してみよう。

Palm Desktopでは、優先順位やカテゴリ、期日などをひとつの編集ウィンドウで設定できる(図2)。ウィンドウ版では、選択したTo Doの優先順位欄とカテゴリ欄で左ボタンをクリックすることで、優先順位とカテゴリをポップアップメニューから変えられるので、編集ウィンドウを開く手間が省け

る。整理したTo DoをシンクロしてPalmに送ると、重要度の高い順に表示される(図3)。これで大切な用件をすっかり忘れることもなくなるというものだ。

未整理の状態

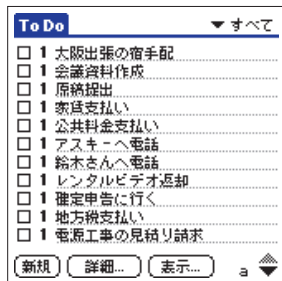


図1 スクロールしないと見えないTo Doは、すっかり忘れてしまいがち

優先度を設定

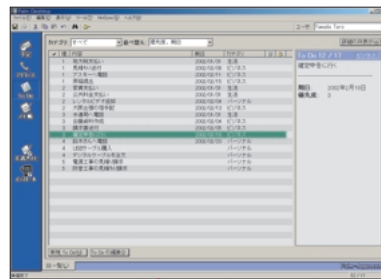


図2 「To Doの編集」を開くと、優先度や期日、カテゴリなどを一度に編集できる。コメントの追加も簡単

図3 優先順位の高いものから表示される。Palmの表示設定で期日やカテゴリを表示したり、期日の近いもの順に並べ替えたりもできる



Step3 マック版Palm Desktopで定期的なToDoを作る

例えば「ゴミを出す」「公共料金を払う」といったように、定期的に繰り返す作業をToDoに登録したいこともある。Palm本体ではToDoの項目を定期的なものとして設定できないのだが、マック版のPalm Desktopではこの設定ができるのだ。

設定方法は、予定表と同じように「定期的なToDo」欄のチェックボックスにチェックを入れてスケジュールを入力するだけで簡単だ(図1)。用意されているのは「毎日」「平日」のほか「火曜と木曜」「毎月7日」「毎月第一木曜(指定日により変わる)」の5種類。ポップアップメニューから「その他」を選べば、週/曜日と、日/週/月/年による間隔を自分で設定できる。また、終了日が決まっているならその日時も入れておこう。

こうしてToDoを作ると設定した間隔に従ってToDoが自動的に作られ、Palm Desktopの予定表にはすぐさま反映される(図2)。もし定期的な繰り返しを設定したToDoを変更したい場合にはToDoの項目をクリックすれば、変更の処理を施すのは選択した項目だけなのか、クリックした項目とその後に対してなのか、期日を設定したすべてのToDoに対

してなのかを選ぶダイアログが現れる(図3)。HotSync後にPalm側のToDoを見てみると、週単位で設定したものは向こう1週間

繰り返しの設定

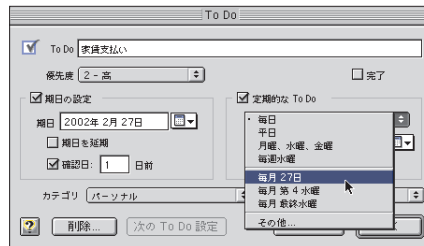


図1 マック版のPalm Desktopには、「予定表」と同じように「定期的なToDo」を設定する項目がある

分、月単位は向こう1カ月分といったように期日が近いものしか表示されないが、時間がたつて日付が変わると設定に従って自動的にToDoが表示される(図4)。予定表のようにすべての項目が表示されるわけではないので、画面が見やすいのがうれしい。



図2 マック版Palm Desktopは、予定表にToDoも一緒に表示する。設定した定期的なToDoはすぐさま反映される

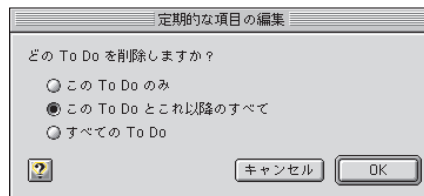


図3 定期的なToDoの変更をする場合は、指定したToDo単独/指定したものに降すべて/前後を問わずすべて、の3パターンから選べる

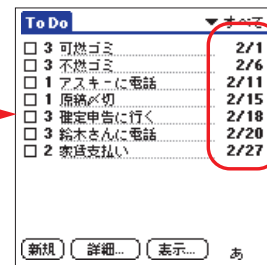


図4 Palm Desktopで設定した定期的ToDoは、期日の近いものだけがリスト表示される

Step4 Palm本体を使って定期的に行うToDoを設定

使用ソフト

ToDo PLUS

作者: Hands High Software, Inc.
<http://www.handshigh.com/>
 種別: シェアウェア (19.95ドル)

ウィンドウズ版のPalm Desktopでは定期的なToDoの設定はできないが、Palm用のToDoソフト「ToDo PLUS」を使えば、Palm側で設定することができる。

設定したいToDoを選んで「詳細」を表示すると、優先度やカテゴリ、期限の設定などと一緒に「繰り返し」が設定できる(図1)。定期的なToDoにするには、ここで繰り返す間隔や曜日、終了日などを指定すればOK。この繰り返しを設定してあるToDoに完了のチェックマークを付ければ、自動的に次のToDoが作られるのだ(図2)。さらに標準のToDoでは設定できなかった、ToDoのアラーム

設定や、手書きメモを付けることも可能(図3)。手書きメモを作成する機能もしっかり搭載されている。また、ToDo項目に対してのプライベート設定もできるのだ。

ここで設定した定期的なToDoは、HotSyncすることでPalm Desktop側にも反映される。ウィンドウズ版Palm Desktopを使っている人には重宝する1本だ。

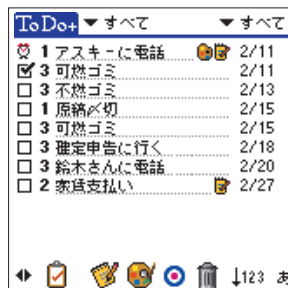


図2 繰り返しを設定しても期日の近いものだけが表示され、完了してチェックを入れると自動的に次の期日のものが作成される

繰り返しの設定

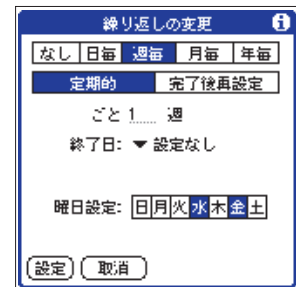


図1 「繰り返しの変更」画面で、定期的に表示されるToDoを作成できる。もちろん「終了日」も設定可能だ



図3 ToDo PLUSでは、ToDoに対してのアラームも設定できる

Step5 PalmでToDoを予定表と一緒に表示しよう

使用ソフト

Action Names Datebook

開発元：米アイアンビック社
 http://www.iambic.jp/
 19.95ドル（国内実勢価格2540円）

マック版のPalm Desktopでは、予定表に期日を指定したToDoを表示できるが、こうした機能はウィンドウズ版Palm Desktop、Palm本体の予定表いずれも搭載していない。そこで便利なのが、高機能な予定表置き換えソフト「Action Names Datebook」(以下Action Names)だ。

Action Namesは、予定表とToDoを同じ画面にまとめて表示できる。表示パターンは、その日の予定とToDoそれぞれを画面の上下に分けて表示する「分割」と、予定とToDoをリストに並べただけのシンプルで見やすい「リスト」の2種類だ(図1)。

この日表示に加え、予定表の週表示/月表示/3カ月表示でもToDoを混在させることができる(図2~4)。特に3カ月表示は、カレンダーで選んだ日の予定とToDoを画面右下へコンパクトに表示できるというユニークなものだ。

表示方法



図1 日表示。各項目にアイコンやカラーを設定できるので、特にカラー表示できるPalmではわかりやすい



図2 週間表示。ここでもアイコンが反映されるので、何に関する用事なのかひと目でわかる



図3 月間表示。右下にある表示切替ボタンで、標準/時計/アイコン表示を切り替えられる



図4 3カ月表示。3カ月ぶんのカレンダーに加え、選んだ日の予定とToDoを右下に表示できる

オプション機能が選べるので、いちいちToDoの編集画面を開いてからメニューを出す必要はないのだ。

これだけ多機能になると気になるのが、標準のToDoとのデータの互換性だ。Action Namesは標準のToDo、予定表、アドレスのデータをそのまま利用しているので、Palm Desktopとのシンクロも問題なくできる。カラーやアイコンといった表示設定の情報はToDoに添付しているコメントの先頭に「ICON:133」といった具合に記録する。特別なデータファイルを作っているわけではないので、シンクロにかかる時間も短くて済むスグレモノなのだ。

To Doの作成/設定



図5 To Doの作成画面では各種設定と詳細の内容を書き込めるほかに、アドレスのデータともリンクできる

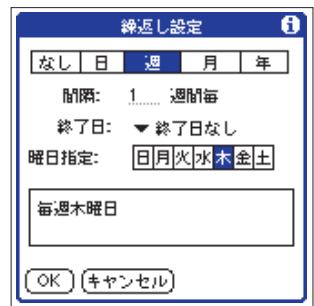


図6 To Doに「繰り返し」を設定できる。日/週/月/年ごとの設定をし、間隔や終了日などを指定する



図7 タップ&ホールドで現れるポップアップメニューで、メニューを出すことなくオプション機能を利用できる



Step6 目的別にToDoのセットを作って強力管理

使用ソフト

Projects
 作者：Peter Novotnik
 種別：フリーウェア
 http://www.handango.com/または
 http://www.palmgear.com/でダウンロード可能

プロジェクト「Projects」は、ToDoを目的別の「プロジェクト」セットとしてまとめられる備忘録管理ソフトだ。プロジェクトそのものをリスト表示できるので、現在こういった種類の用件をかかえているかが把握しやすい。また、Palm標準ソフトのToDoは個々のToDoをカテゴリーに分類することはできても、完了した項目はひとつひとつ消していかなければならない。Projectsは、セットの中身を全部完了したらセットを丸ごと捨てるという使い方ができるので、文字通りビジネスのプロジェクトなどを管理するのに役立つのだ。

まずToDoを収納するためのプロジェクトを作り、続いてToDoを作成する(図1)。標準と同じく優先度、期日、カテゴリーを指定でき、さらにプロジェクトには開始日と終了日も設

定できる(図2)。プライベートの設定はToDoごとにはではなく、プロジェクト単位になっている。また、アドレスからのデータ読み込みや、個々のToDoをほかのプロジェクトに書き

プロジェクトとToDoのリスト



図1 プロジェクトの項目を選択して「Show」をタップすると、中に入っているToDoリストが現れる。すべてが完了したらセットを丸ごと削除すればよい

出す(コピーする)ことも可能だ(図3)。

Projectsで作ったToDoは、標準のToDoのデータとは互換性がない。そのためPalm Desktopで直接編集することはできないが、Projectsで作ったToDoを標準のToDoに書き出して利用することはできる。

一般設定

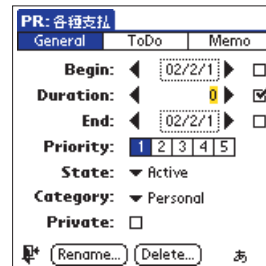


図2 「State」では、使用中のものは「Active」、停止中なら「Stopped」というようにプロジェクトの進行状態も設定できる

ToDoの書き出し

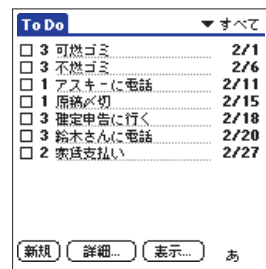


図3 ToDoはほかのプロジェクトへコピーできる。標準のToDoにもカテゴリー以外は設定を保持したままでコピー可能だ

Step7 ToDoを階層で管理すれば見やすさ抜群

使用ソフト

ThoughtManager
 作者：Hands High Software, Inc.
 種別：シェアウェア (39.95ドル)
 http://www.handshigh.com/

Palm用のアウトラインプロセッサ「Thought Manager」をToDoとして使ってみるのもひとつの手だ。「アウトライン」セットを作った中にアイテム(項目)をまとめれば階層表示ができるのだ。(図1)。内容を目的ごとにまとめるという点では前述の「Projects」と同じだが、セット内でのアイテムの分類をカテゴリー分けで行うProjectsとは使い勝手がまったく違う。

下の階層にあるアイテムも含めたすべてのアイテムにチェックボックスを付けることができ、チェックしたものだけを非表示にできるので、これをToDoの完了/未完了のチェックとして使おう(図2)。もちろん表示されないだけでPalmには保存されているので、削除するまでは完了アイテムの閲覧が可能だ。さらに、メモのデータをアウトラインとして

読み込んだり、作成したアウトラインをメモとして書き出すこともできる。

独自のデータベースを使うThought Managerのデータは、シンクロしてPalm

アウトラインリストと内容



図1 アウトラインの中で作ったアイテムは、階層表示したりチェックボックスを付けて管理できるほか、ドラッグ&ドロップで自由に移動できる

Desktopでは閲覧/編集ができないが、Windows用の「ThoughtManager Desktop」を使えばそれが可能になる(図3)。入力や管理はパソコン側で行えば、より便利に使えるだろう。

チェックボックスの非表示



図2 チェックボックスにチェックしたアイテムを非表示にするモードがあるので、完了したToDoを非表示する機能として利用できる

ThoughtManager Desktop

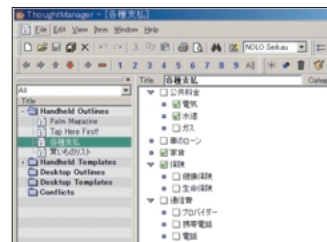
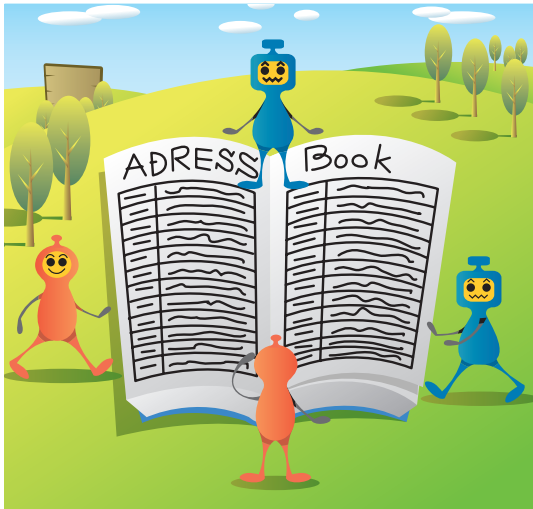


図3 「ThoughtManager Desktop」を使えば、パソコンでThoughtManagerのデータを開覧/作成/編集ができる(Windows版のみ)



大切なアドレスはすべてPalmで管理

アドレス

Palmの「アドレス」は文字どおりの住所録だが、自由にカテゴリー分類ができたりほかのソフトで入力した住所録データを生かせる点が、紙の手帳とは大きく異なる。こうした作業をよりスムーズに行うためにPalm Desktopをフル活用し、Palm本体ではより高度にアドレス管理する便利ソフトを使いこなそう。

Step1 カテゴリー分類で目的の情報を素早く発見

目的の情報が見つかりにくくなったなら、カテゴリーを割り当てて整理しよう。カテゴリーの分類は、数多くのデータを一覧表示できるPalm Desktopのほうがスムーズに作業できる。ウィンドウズ版では、項目を選択してマウスの右ボタンをクリックして出るポップアップメニューで簡単に割り当てられるのだ(図1)。新しいカテゴリーの追加や、既存のカテゴリーの名前は「カテゴリーの編集」で変えられる。「To Do」や「メモ帳」のデータでも同様の操作でOKだ(図2)。

なおマック版のPalm Desktopではひとつのデータにカテゴリーを2つまで指定でき(2つ

目はPalm本体のデータに反映されない)、予定表、メモ帳、To Doにも流用できる。ただしPalm側では、実際に割り当てられているカテゴリーのみを表示する。

カテゴリーの分類

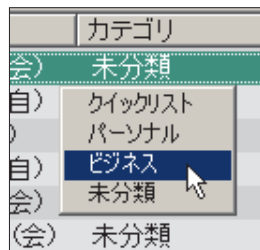


図1 個々のデータのカテゴリーを左ボタンでクリックして出るポップアップメニューを使うと、簡単にカテゴリーを変更できる

カテゴリーで絞る

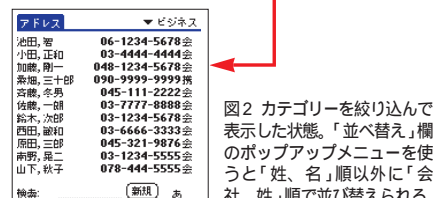
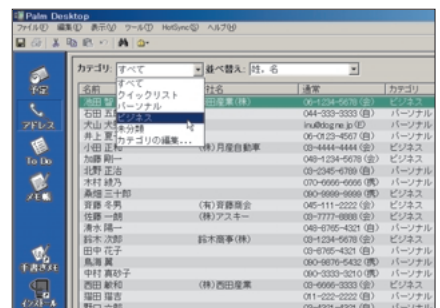


図2 カテゴリーを絞り込んで表示した状態。「並べ替え」欄のポップアップメニューを使うと「姓、名」順以外に「会社、姓」順で並び替えられる

Step2 ほかのソフトで作った住所録データをPalmで活用

文字量が多い「アドレス」のデータ入力は、パソコンで行っても結構面倒な作業だ。宛名書きソフトやメールソフトなどで住所録を作っているなら、そのデータをそのまま流用してしまおう。まずは流用したい住所録を入力したソフトで開き、Palm Desktopで読める形式で書き出してPalm Desktopで読み込めばよい(図1~3)。

Palm Desktopのアドレスで読み込めるファイルは、ウィンドウズ版ではPalm Desktopのアドレスのバックアップやコマ区切りテキストなどの5種類、マック版はアドレスのバックアップとタブ区切りテキストの2種類。コマ区切りテキストを使う場合、どの項目を書き出すかや、読み込むファイルの各項目をアドレスのどの項目に当てはめるかを設定する必要がある。

データの書き出し

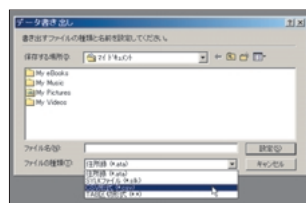


図1 宛名書きソフトなどで読み込みたい住所録を開き、書き出しを行う。その際「ファイルの種類」でPalm Desktopで読み込める形式を選ぶ

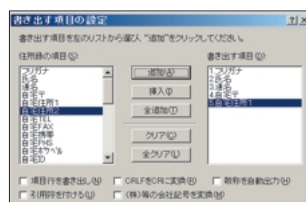


図2 宛名書きソフトはPalm Desktopのアドレスとは項目が異なるので、先にどの項目を書き出すかを設定する

フィールド指定

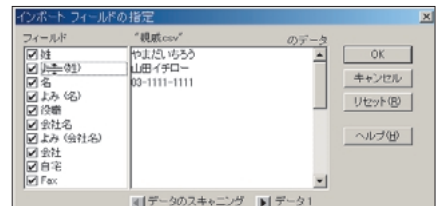


図3 「ファイル」メニューから「インポート」を選び、書き出したファイルを選ぶ。そのまま読み込みないファイルは、項目をアドレスのどこに割り当てるかを設定する

Palm Desktopで読み込めるファイル形式

ウィンドウズ Windows

- Palm Desktopのアドレスのバックアップ(拡張子.aba)/
- コマ区切りテキスト(同.csvと.txt)/
- タブ区切りテキスト(同.tab、.tsv、.txt)/
- vCardファイル(同.vcf)/
- CSV(Lotus Organizer 2.x、同97)

マック Macintosh

- アドレスのバックアップ/タブ区切りテキストファイル



Step3 サッと検索したいときに便利なお役立ちソフト

使用ソフト

Action Names Datebook
 開発元：米アイアンピック社
 ダウンロード版19.95ドル
 (国内実勢価格2540円)
<http://www.iambic.jp/>

アドレスのデータが大量にあればあるほど、画面の小さいPalmで探すのは大変だ。18ページでも紹介した「Action Names Datebook」(以下Action Names)を使ってTo Doやスケジュールと連携させれば、目的のデータへすぐにたどり着くことができる。

Action Namesのリスト画面は、下の操作ボタンを除けば標準のアドレスとあまり大差ない。確かに検索機能自体はまったく同じだが、アドレスを基にほかのソフトのデータを作成する機能はAction Namesならではの(図1、2)。こうして作成した予定やTo Doなどのデータはアドレスからは開けないが、データのほうからリンクをたどってアドレスを開くことができる(図3)。

また、Action Namesがリスト表示できる

内容は電話番号だけではなく、ポップアップメニューでメールや住所などに切り替えられる。電話番号に加えてファクスやメールアドレスなど複数の情報を登録しているアドレスには右側に「」が付き、これをタップする

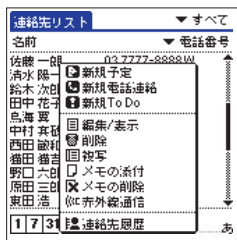


図1 メニューを出したら「編集/表示」や「複写」といった操作ができるほか、選んだアドレスを基に新規の予定やTo Doが作れる



図3 タップ&ホールドして出たメニューから「連絡先詳細」を選ぶと、アドレスの詳細を表示する画面に切り替わる

と登録している情報がポップアップ表示されるため、いちいち詳細情報を開いて確認する手間が省けるのだ(図4)。

Action Namesで編集したアドレスのデータは、To Doなどと同じように標準ソフトのデータをそのまま利用しているため、パソコンとシンクロすればPalm Desktopで閲覧/編集できる。



図2 アドレスからTo Doを作ると連絡先に氏名が入ったTo Doの編集画面になり、連絡先と詳細欄に入力したものがタイトルとして付く



図4 複数の情報が登録されているアドレスには「」が付いており、これをタップすれば登録情報をメニュー表示する

使用ソフト

Call Lookup DA
 作者：Koichi TERADA
 種別：フリーウェア
<http://www04.u-page.so-net.ne.jp/zd5/fterada/>

ほかのソフトを使っている最中に氏名や電話番号を入力したいと思ったとき、いちいちソフトを切り替えるのは面倒だ。そんなときに便利なのが、アドレスを検索/入力できるDAソフトの「Call Lookup DA」だ(図1)。Call Lookup DAを呼び出したらにキーワードを入力して目的のデータを検索し、「挿入」ボタンを押して電話番号などのデータを入力する(図2)。入力した文字列を選択してからCall Lookup DAを呼び出せばすぐに検索結果が表示されるので、キーワード入力の手間が省けるのだ。



図1 DAソフトなのでサッと呼び出せる。「DA Launcher」などのDA起動ソフトをPalmに入れておく必要がある



図2 会社名を入れるか否かなど、挿入する文字の内容も「挿入」ボタンを押して挿入する前に変更できる

使用ソフト

〒検索
 作者：福本修二
 種別：シェアウェア(1650円/15ドル)
<http://www.umap.net/MacPalm/index-J.html>

郵便番号を素早く検索できる優れモノが「〒検索」だ。郵政省が公開している約12万件のデータから検索できる。データの容量は3.5MBにもなるため、使用できるPalmデバイスは外部メモリーを搭載しているものだけに限られている。

検索方法は、番号を入力/住所リストから検索、の2種類(図1)。作者の福本氏自身が公開している、テキストのドラッグ&ドロップ機能を追加する環境設定ソフト「Drag&Drop」にも対応しているので、住所を入力する手間が大幅に省ける(図2)。



図1 住所選択エリアから目的のエリアを都道府県、市町村、町名と選択していけば、郵便番号が表示される



図2 「Drag&Drop」で住所を検索し、必要などところにカット&ペーストすればアツという間に出来上がり



情報の宝庫をスッキリ整理整頓

メモ

「メモ帳」はテキストを入力するだけの単純なソフトだが、それだけにいろいろな用途に活用できる。グラフィティーを使ってPalmに書き込むのは大変だが、パソコン側をうまく使えばいろいろな文書を集めたり、整理するのも簡単。メモ帳の使い勝手を大幅に向上させるPalm用ソフトも紹介しよう。

Step1 情報やアイデアはPalmへ移して持ち歩こう

テキスト入力が楽なパソコンを利用して、長い文書のテキストデータを「メモ帳」に読み込ませてしまおう。例えば構想段階の企画書や買い物リストなどをメモとして持ち歩けば、いつでも見たり、構想を練り直すことができる。プロバイダーのアクセスポイントや、Palm用ソフトのデータベースを収める場所としても活躍するうえ、シルクエリアの検索を使えば、内容を比較的高速に検索できる。

方法はいたって簡単。メモにしたいテキストを選んでコピーし(図1)、Palm Desktopに作った新規メモに張り付けられればいい(図2)。Palm Desktopのメモ1件に保存できるのは最大64KB、Palmは4KBまで。超過分は切り捨てられるので、長い文書は複数のメモに分けるようにしよう。

パソコンを使ったメモの作成

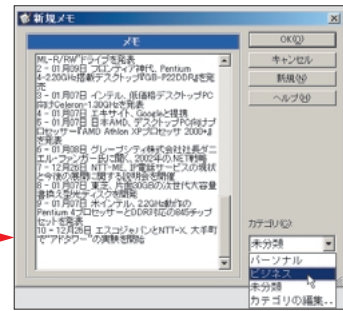
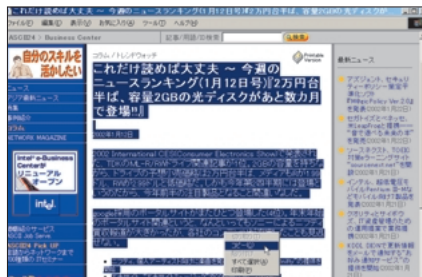


図1 メモにしたいテキスト部分をコピー。新規メモに張り付けられたら、「カテゴリ」欄のメニューでカテゴリを選んでおくと、Palmで閲覧するとき整理しやすい

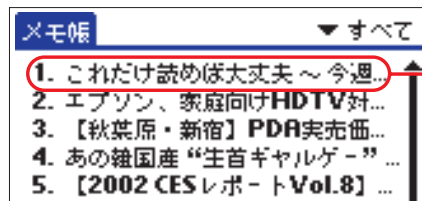


図2 メモ帳を開くと、コピーしたテキストの先頭部分がリスト表示されている。長い文章を読むのもラクラク

Step2 メモの内容を劇的にわかりやすくするテクニック

Palmのメモ帳をリスト表示すると、長文のメモは内容がわかりにくい(図1)。リストは、メモの1行目を単純に抜き出して並べているためだ。それぞれのメモにタイトルを付けるには、Palm Desktop側のメモ帳の1行目にタイトルを入力し、改行する。タイトルと本文の間に1行ぶん空白を入れておけば、Palmでメモ帳を開いたときも見やすい(図2、3)。

マック版Palm Desktopのメモ帳には「タイトル」欄が用意されているので、これを利用して各メモの1行目だけにタイトルを付けられる(図4)。ただしタイトルと本文の間には空白行が入らないので、必要な場合は本文の1行目を改行しておこう。



Windows

図1 Palmのメモ帳では1行目の冒頭部分がタイトルになるため、非常に見づらい



図3 タイトルが付いたメモの状態。「news」のようなヘッダーを付けるのも内容をわかりやすくするコツだ

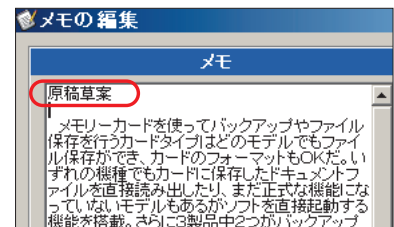


図2 1行目に簡潔でわかりやすいタイトルを入力して改行すればOK。さらに空白行を入れれば、Palmでも見やすくなる

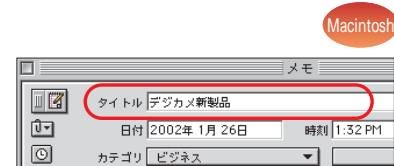


図4 マック版のPalm Desktopは「タイトル」欄を用意。HotSyncすると「タイトル」欄に入力したものがメモの1行目に、本文が2行目以降に続くメモになる



Step3 取り込んだデータを有効に使えるPalm用ソフト

使用ソフト

Memo PLUS
 作者: Hands High Software, Inc.
 種別: シェアウェア(\$19.95)
 http://www.handshigh.com/

サッと書けるのでPalmでは重宝する「手書きメモ」。標準のメモ帳と一緒に扱えない通常のテキストメモと手書きメモを、「Memo PLUS」では一緒に管理することができる(図1)。通常のテキストメモと手書きメモをアイコンで分けるなど随所に工夫が施されており、かえって標準のメモ帳よりも見やすい(図2)。手書きメモの作成画面はツールパレットが画面下に並んでおり、非常に使いやすい(図2)。

手書きメモにテキストメモを、あるいはテキストメモに手書きメモを添付できるほか、各メモへのパスワードやアラームの設定などができる(図3、4)。また、テキスト/手書きのどちらもテンプレートの作成が可能だ。テキストメモはメモ帳のデータとしてPalm Desktopでも編集でき、手書きメモは、ユーザー登録をすると配布される「Template Editor」で閲覧できる。



図1 リスト画面はアイコン表示でわかりやすい。メモの削除はメモを選んで右下のゴミ箱アイコンをタップする。手書きとテキストが対になっている場合は、両方削除することも、片方だけを選ぶこともできる



図2 手書きメモ作成画面では、下のツールから線の太さや色などが選べ、ラインや図形ツールも揃う。リスト画面に戻ればタイトルを付けられる

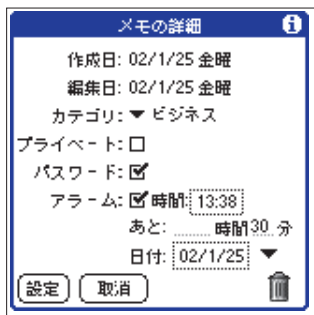


図3 それぞれのメモはカテゴリ分けやプライベート設定はもちろん、パスワードやアラームも設定できる



図4 パスワード設定を有効にするには、別途「データ保護」でのパスワードの設定が必要だ

使用ソフト

Q-Pocket for Palm
 作者: 増井 俊之
 種別: フリーウェア
 http://www.csl.sony.co.jp/person/masui/

メモが増えると、どうしても目的のメモが見つけにくくなる。カテゴリ分けしていても、ひとつのカテゴリにたくさんメモがあったらやはり大変だ。そこで「Q-Pocket」の出番になる。

Q-Pocketを起動すると、メモが新しいもの順にリスト表示される(図1)。画面の上部には検索用のテキスト入力欄があり、ここに文字を入力するとメモの全文を検索し、該当しないメモがリストから消えて候補が絞り込まれていく。また、項目をドラッグ&ドロップで並べ替えることもできる(図2)。

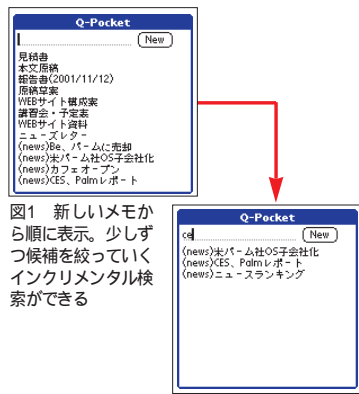


図1 新しいメモから順に表示。少しずつ候補を絞っていくインクリメンタル検索ができる



図2 項目はドラッグ&ドロップで並べ替えられるほか、必要な物を常にリストの上位部分に並べておける。また画面右にドラッグ&ドロップすることで、メモの複製も可能

使用ソフト

2D Memo
 作者: 大森正則
 種別: フリーウェア
 http://www5a.biglobe.ne.jp/oomori/palm/

ちょっと異色なメモ帳ソフトが「2D Memo」。それぞれのメモを付せんのように1度に画面中表示できるのだ(図1)。思いついたことをサッとメモしたり、アイデアを練りたいときにアウトラインプロセッサの代わりとして使うのに重宝する。

なお2D Memoは、CLIE専用の高解像度を生かして多くのメモを色分け表示することができる。ほかのPalm用には「2D Memo NR」が用意されている(図2)。



図1 各メモはドラッグ&ドロップして好きな場所に配置したり、メモの右下をドラッグして大きさを変更できる。メモの枠をタップすると内容を表示したり、新たなメモを作れる

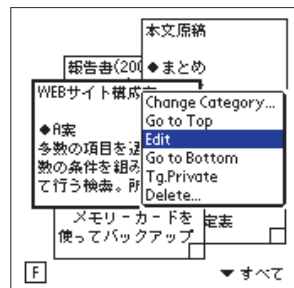
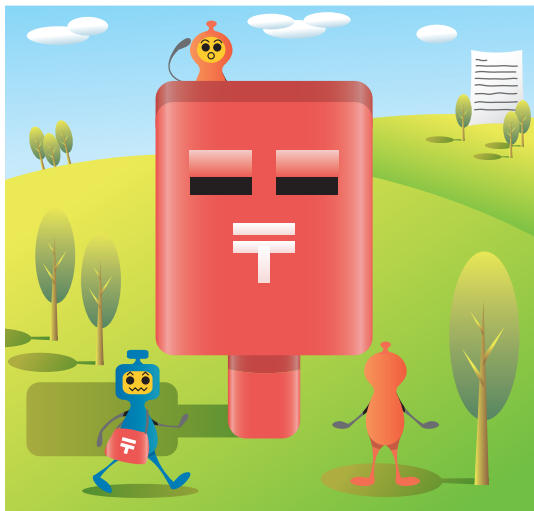


図2 従来の解像度に対応した「2D Memo NR」の画面。メモの内側をダブルタップすればほかのメモとの前後関係を変更したり、カテゴリ変更や編集/削除ができるメニューが出る



Palmでメールを読む快感

メール

Palmで直接インターネット接続した場合に困ることのひとつは、容量が大きい長文メールの受信がなかなか終わらないということだ。長文メールのほとんどがメールマガジンなど特定のものに限られるならば、パソコン側のメールソフトとPalm Desktop、Palmの「メール」をうまく組み合わせて、無駄なイライラを解消してしまおう。

Step1 メールをシンクロすることで長文メールも楽々受信

Palmの標準ソフト「メール」はパソコン側で受信したメールの閲覧用に作られたため、ウィンドウズ用のメールソフトと連携できる。容量の大きいメールが特定ののであれば、パソコンで受信したこれらの電子メールを自動的にPalmへ転送してしまおう。Palmで直接インターネットへ接続した際にも受信をスキップできて便利だ。

まずは、Palm Desktopの「HotSync」メニューにある「動作設定」で「メール」コンジットを設定する(図1)。リストから「メール」をダブルクリックして開いた「メールセットアップ」でメールソフトを選び(図2)、最後に「ファイルを同期」が選ばれた状態のダイアログの「OK」ボタンを押せば設定完了だ(図3)。

Palm Desktop 4.0.1で連携できるメールソフトは、Microsoft Exchange 4.0以降、同ウィンドウズメッセージング、同Windows Messaging 4.0、同Outlook、同

アウトルック エクスプレス ユードラ Outlook Express、Eudora 3.0.3以降。そのほかのメールソフトを使う場合、簡易MAPIに対応していればMicrosoft Exchange 4.0を選んで利用できる場合がある。対応しているソフトでも、例えばEudoraは「MAPIサーバーを常時使用に設定する」といった作業が必要になるが、内容はメールソフトのセットアップ中に現れるダイアログに従えばよい。

次は特定のメールだけを送るようにPalm側で設定しよう。「メール」の「オプション」メニューから「HotSync オプション」を選び、さらに「フィルター」を選ぶ。画面中央の「送受信しないメールを指定」をタップして「送受信するメールを指定」に切り替え、宛先/差出人/件名の欄にPalmへ移行したいメールを確実に選び出せる条件を入力する(図4)。例えば「差出人」と「宛先」にそれぞれ条件を入力するといったように、別々の欄にそれ

ぞれ条件を入力すると両方の条件を満たすものを指定することになる。

もちろん、転送するメールの容量は制限できる(図5)。HotSyncオプションの画面下にある「サイズ」ボタンを押して最大サイズを選ぼう。設定容量を超えているメールは超過分だけが切り捨てられるが、それまでの部分は転送される。

他メーカー用変換ソフト(ウィンドウズ版)

Becky! ToDoc
 作者: TEMPEST
<http://www.tempest-j.com/palm/>
 種別: フリーウェア
 「Becky! Internet Mail」で受信したメールをDOC形式ファイルに変換するソフト。シンクロはできないが未読メールだけを変換したり、変換したメールをBecky!で開封済みにできる

AIToDoc
 作者: 茂木宗岐
http://www.01.u-page.so-net.ne.jp/ja2/n_motegi/
 種別: フリーウェア
 「AL-Mail32」で受信したメールをDOC形式のファイルに変換するソフトで、単独ではシンクロできない、未読件名/送信元といった条件で変換するメールを指定できる

DatulaToDoc
 作者: TEMPEST
<http://www.tempest-j.com/palm/>
 種別: フリーウェア
 「Datula」で受信したメールをDOC形式ファイルに変換するソフト。シンクロはできないが未読メールだけを変換したり、変換したメールをDatulaで開封済みにできる

「メール」への移行

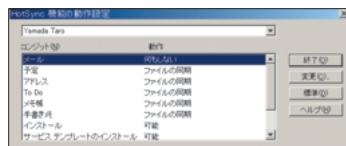


図1 初期状態の「メール」コンジットの「動作」は「何もしない」になっている

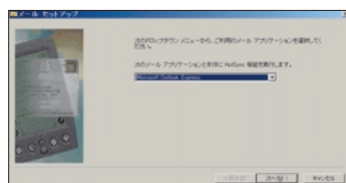


図2 「メール」コンジットの設定前に「メールセットアップ」が開くので、シンクロに使うメールソフトを選ぶ。すでに指定してある場合は、コンジット設定の画面になる

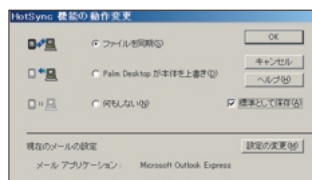


図3 メールソフトを指定できればメールソフト名が表示される



図4 同じ欄に複数の条件を指定する場合は、半角スペースを空けて入力する。「種類」で「ローカルHotSync」が選ばれているのを確認しよう



図5 転送するメールの最大サイズが指定できる。容量は1件8KBまで



Step2 標準以外のコンジットを使ったマックでのシンクロ

使用ソフト

- ARENA Internet Mailer
- ARENA Project
- http://www.arena-p.co.jp/
- ㈱アクト・ツー
- http://www.act2.co.jp/
- 6800円(税別) ダウンロード版3800円(税込)

「メール」コンジットはウィンドウズ版Palm Desktopには標準で搭載されているが、残念ながらマック版には搭載されていない。しかし「ARENA Internet Mailer」(以下、ARENA)のように、Palmとシンクロするためにコンジットが標準で付属しているメールソフトもある。ここではARENAを使ったシンクロ方法を紹介しよう(図1、2)。

ARENAはほかの一般的なメールソフトと同じように、自動的にメールをメールボックスへ振り分けられるフィルター機能を備えている。Palmへの転送はこのメールボックスを指定することで、その中身だけをPalmに転送する仕組みだ。ARENAであらかじめメールの振り分けを設定してからメールボックスを指定すれば、Palm側でフィルター設定をする必要はない(図3)。Palmに転送するメールは「未読のみ」と「すべてのメール」が選べるが、「既読オプション」にチェックマークを付けておけば、次にHotSyncしたときにPalmで読んだ

メールはARENAでも既読のステータスにできる(図4)。

一度転送してPalmから削除してしまったメールを、あとでもう一度送り直したいという場合も簡単に再送設定ができる。再転送したいメールを選び、「control」キーを押しながらクリックすればコンテキストメニューが出るので、このメニューから「Palmに転送指定」を選ぶと、次回HotSyncしたときに再びPalmへと転送される(図5)。

メールの中には、ミーティングの知らせといった予定表に載せておきたいものや、メモとして残したいものもある。そういったメールを選んで「Palm Desktopに追加」を指定すると、選んだメールの内容が予定表やメモに追加できるのだ(図6)。予定表に指定した場合は、アラーム設定もできるようになっている。

ARENA以外のメールソフト向けには「Outlook Express Conduit」「Eudora Conduit」などのコンジットソフトや「Outlook Express Address Conduit」など、メールソフトのアドレスデータだけを転送するコンジットソフトもある。現在使っているメールソフトを乗り換えずにPalmとシンクロさせたい人は、ぜひ使ってみよう。

他メールソフト用変換ソフト(マック版)

Outlook Express Conduit
 作者: 松本 勝
 種別: フリーウェア
 http://www05.u-page.so-net.ne.jp/fa2/pine/ Outlook Expressとシンクロを行うためのコンジットソフト。未読メールをPalmへ転送したり、Palmで送信したメールをOutlook Expressに転送できる

Outlook Express Address Conduit
 作者: 松本 勝
 PalmとOutlook Expressのアドレス帳データをシンクロするコンジットソフト

Eudora Conduit
 作者: 松本 勝
 Eudoraの未読メールをPalmへ転送するコンジットソフト。ウィンドウズでメールコンジットをEudoraと使うときと違い、HotSync時にEudoraを起動する必要はない

MailBackup
 作者: 松本 勝
 Palmの既読メールをEudoraへ転送するコンジットソフト

Eudora Address Conduit
 作者: 松本 勝
 PalmとEudoraのアドレス帳データをシンクロするコンジットソフト

ARENA Sync!
 作者: 福本修仁
 種別: シェアウェア(1400円)
 http://www.umap.net/MacPalm/index-J.html ARENAの未読メールをPalmへ転送するコンジットソフト。Palmで作成した送信メールをARENAから送信できる

ARENAを使ったシンクロ

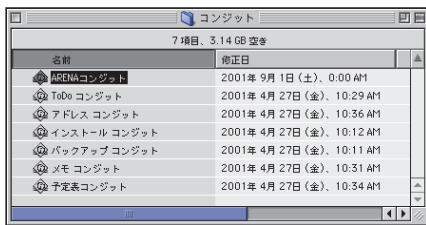


図1 Palm Desktop本体が入っているフォルダーにある「コンジット」フォルダーに「ARENAコンジット」を入れ、Palm Desktopを起動してコンジットを設定する

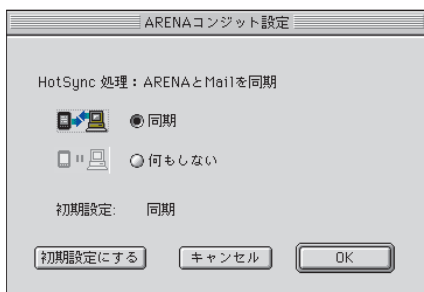


図2 コンジット設定画面にある項目は「同期」と「何もしない」の2つだけだが、これはメールソフトのほうで細かい設定をするためだ



図3 転送するメールを指定する「Palm Sync設定」ARENAでメールをメールボックスごとに振り分けるようにすれば、多数の条件を組み合わせた複雑な指定もできる

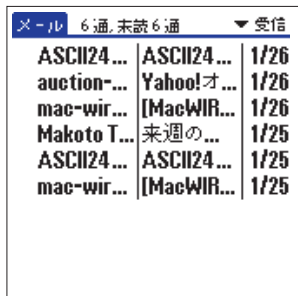


図4 PalmとHotSyncすると指定したメールが転送されている。Palm Sync設定で「Palmで読んだものは既読」にチェックマークを付けることで、Palmで読んだメールはARENAでも既読にできる

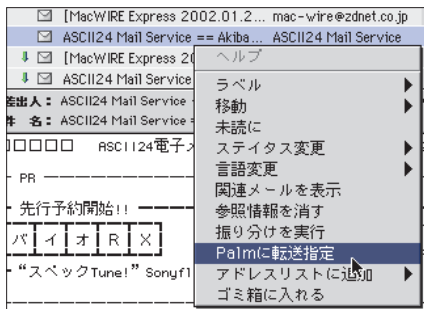


図5 一度Palmに転送したメールでも「Palmに転送指定」を使えば、再度転送できる



図6 Palm側メールの「ツール」メニューから「Palm Desktopに追加」を選ぶと、そのメールをメモや予定として追加できる。予定はメールタイトルと日時やアラーム設定が加わり、メモはメールタイトルと本文が1件のメモになって転送される



大切なデータはしっかり保存

バックアップ

HotSyncをするとPalmの内容はパソコンに自動的にバックアップされる。だが実はPalm Desktop標準のバックアップ機能ではPalmに入れているソフトやデータすべてがバックアップされているわけではない。ここでは、標準でバックアップされているソフトの種類や、データをフルバックアップする方法などを紹介しよう。

Step1 バックアップの仕組みを知っておこう

Palmにあとからインストールしたソフトやデータは、ハードリセットやバッテリー切れなどによりすべて消失する。しかし一度でもHotSyncしていればデータがパソコン側にバックアップされているので、これらをPalmに戻せば復元可能だ。Palm Desktopの「HotSync」メニューから「動作設定」(マック版は『コンジット設定』)を選び、「本体がPalm Desktopを上書き」から「Palm Desktopが本体を上書き」(マック版では『バックアップ』から『バックアップから復元』)へ変更すればOKだ(図1)。ハードリセット直後にHotSyncする場合は、復元したいユーザー名を選ぶだけでいい。

しかし仮に最新の状態をバックアップしてあったとしても、残念ながらこれだけでは全データとソフトが復元するわけではない。

Palmではバックアップをするかどうかの設定がソフトやデータごとに異なっており、中にはバックアップする設定にはなっていないものもあるからだ。

標準でバックアップされたデータは、Windows版Palm Desktopの場合、ソフト本体があるフォルダー内(Cドライブの『Program Files』フォルダー内の『Palm』『SonyPDA』フォルダーなど)に各ユーザーの名前(HotSync ID)が付いたフォルダーができており、中にあるコンジットごとのフォルダーにバックアップデータが入っている。マック版では「Palm」フォルダーの「ユーザ」フォルダーを開くとあるユーザー名のフォルダーに「バックアップ」フォルダーがあり、そこに入っている(図2)。これらバックアップデータの内容と実際に自

分が使っているPalmの中身を比べてみれば、すべてがバックアップされていないことがわかるはずだ。

バックアップする/しないは、Palmのファイルにある「バックアップビット」という、通常はユーザーが変更できない属性のオン/オフで設定されている。Palm Desktopでバックアップするのはバックアップビットがオンになっているもので、設定はソフトによって異なる。どのデータがオン/オフなのかは一概に類別できないが、Palmのメモリー管理ソフトウェア「Filez」を使えば、設定状態の確認や変更が可能だ(図3)。

使用ソフト

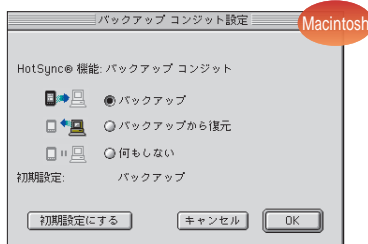
Filez

作者：nosleep software
種別：フリーウェア
URL: <http://www.nosleep.net/>

Palm Desktopでのバックアップ



図1 Palm Desktop標準のバックアップ機能は、Windows版とマック版のどちらも、バックアップ/復元/何もしないの3種類のみ



「Filez」でのファイル一覧

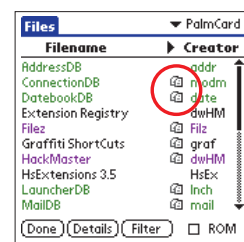


図3 「Creator」の隣にあるアイコンが表示されていればバックアップビットがオンの状態。変更するには「Details」をタップして「Attributes」を選び、「Backup」にチェックマークを付ける

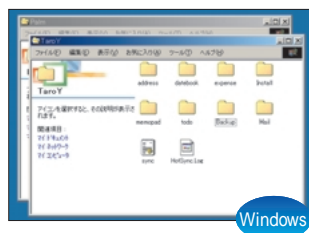


図2 Windowsでは「Palm」フォルダー (Palmの機種によってフォルダー名が変わる) 内のユーザー名の付いたフォルダーに、マックでは「バックアップ」フォルダーに保存されている。マックで個別のバックアップファイルを復元したい場合、そのファイルをインストールすればPalmに戻せる

バックアップビットがオンになっている主なソフト

CityTimeDB / ConnectionDB /
Datebk3HDB / Graffiti ShortCuts /
HSAdvCalcDB / LauncherDB / MailDB /
NetworkDB / Saved Preferences /
System MIDI Sounds / ToDoDB /
MemoDB / DatebookDBなど



Step2 BackupBuddyを使って完璧にバックアップ

使用ソフト

BackupBuddy

作者：Blue Nomad, LLC
 種別：シェアウェア(\$29.95)
<http://www.bluenomad.com/>

Palm Desktop標準のバックアップでフルバックアップを行うには、すべてのバックアップビットをオンにすれば可能になる。確かに「Filez」を使えばバックアップビットは変えられるが、ソフトやデータをインストールするたびにバックアップビットを変更しなければならないのはかなりの手間だ。しかし高機能なバックアップソフト「BackupBuddy」を使えば、こうした手間をかけずにフルバックアップができる(図1)。

BackupBuddyインストール後1回目のHotSyncは、すべてのデータをバックアップする関係上、通常のHotSyncよりも時間がかかる。だが2回目以降は変更のあったファイルだけが対象になるので、バックアップ時間は大幅に短縮される(図2)。

Palm Desktopを使った標準のバックアップ機能では、Palm本体で削除されたものはバックアップからも削除されるようになって

いるが、BackupBuddyは各ユーザーのフォルダーに「Archived Files」というフォルダーを新たに作り、Palm本体で削除されたソフトやデータを保存する(図3)。Palmとバックアップの両方から削除したデータがもう一度必要になったとしても、「Archived Files」フォルダーに保存しているバックアップファイルを使えばすぐに復元できるのだ。

ウィンドウズ版のBackupBuddyでは前述の機能に加え、通常はバックアップされない設定ファイルをもバックアップしたり、フラッシュモジュールやコンパクトフラッシュなどの外部メモリーに入っている内容をバックアップするといった、オプション設定ができるようになってきている(図4)。また「Exclude changes to the following from backup」欄には、すでにバックアップしてあるソフトやデータが並んでいるが、ここにチェックマークを付けたものはPalmでデータ更新をしてもバックアップファイルとシンクロをしないようにするため、HotSync時間を短縮できる。ほかにもPalmの内蔵時計をパソコンの時刻に合わせる「TimeSync」や、設定時間が来たら

自動的にシンクロをする「AutoSync」などのソフトも付属しているのだ。

残念ながらマック版にはこういった設定機能はなく、BackupBuddyのインストールもコンジットを手動で「コンジット」フォルダーに入れなければならない(図5、6)。ウィンドウズ版に比べて機能も少なくやや不便だが、データをフルバックアップできる点はまったく同じだ。現在のところ、ウィンドウズ/マック版ともに英語版のみとなっている。

その他のバックアップソフト

Sync Buddy

作者：Florent Pillet
 種別：シェアウェア(\$25)
<http://perso.wanadoo.fr/fpillet/>
 フルバックアップはもちろん、同時にインストールの指示もドラッグ&ドロップで手軽にできる

EasyBackup

作者：FocV Project
 種別：メールウェア
<http://www.shin.nu/~FocV/>
 内蔵メモリー内にあるファイルのバックアップビットをすべてオンにしてバックアップする

Sync Wizard

作者：envi.con KG
 種別：シェアウェア(\$34.90)
<http://envicon.com/>
 ROMのバックアップや個別のバックアップファイルを復元できる。ウィンドウズ版のみ

インストールと設定 Windows

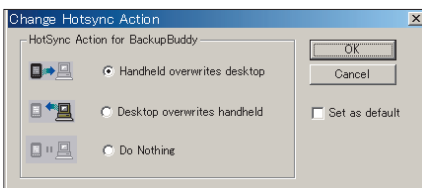


図1 BackupBuddyをインストールすると、標準の「バックアップ」コンジットに代わって「BackupBuddy」コンジットがバックアップを行う

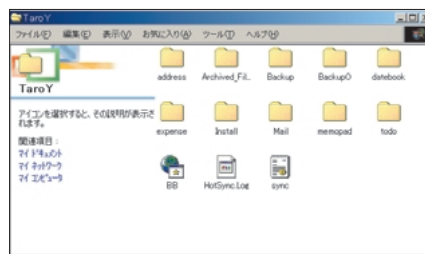


図2 インストールすると「Archived Files」フォルダーなどが加わる。マック版ではさらに「ROM Files」フォルダーが追加され、PalmのROMの内容がバックアップされる

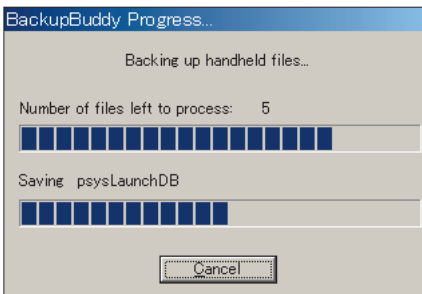


図3 BackupBuddyは差分バックアップができるとはいえ標準のバックアップよりは時間がかかるが、データ変更が少なければ数秒程度で終わる

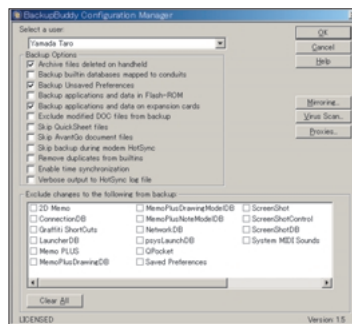


図4 詳細にバックアップ設定ができる「BackupBuddy Configuration Manager」。ほかにも「backup」フォルダーの中身をほかのフォルダーにコピーする「Mirroring」などの機能を備える

インストールと設定 Macintosh

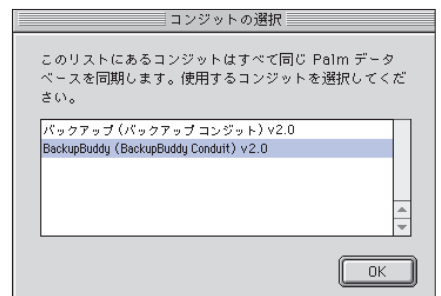


図5 マック版は「BackupBuddy」コンジットを「Palm」フォルダーの「コンジット」フォルダーへ手動で入れる。Palm Desktopで「コンジット設定」を開くと「コンジットの選択」ダイアログが出る

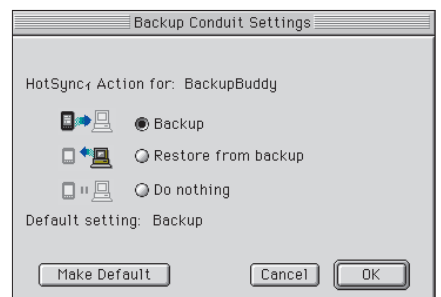


図6 コンジットの設定項目は、標準のものやウィンドウズ版BackupBuddyとまったく同じ



バラエティー豊かなシンクロ術

さまざまな連携

Palmがシンクロできるのは、なにも予定表やTo Doなどのデータだけではない。シンクロソフトをパソコン側に追加すれば、いつも仕事で使っているデータも連携できるのだ。ここでは、Palm Desktopには標準で搭載されていないソフトやグループウェア、携帯電話端末などのシンクロを紹介しよう。

OfficeのファイルをそのままPalmで持ち運ぼう

使用ソフト

Documents To Go 4.0 日本語版

開発元：米DataViz社
エクスセルソフト(株)
編 オープンブライス
(ダウンロード版：9500円、パッケージ版：9980円)
http://www.xlssoft.com/

マイクロソフト オフィス
「Microsoft Office」(以下Office)で作ったデータをPalmに入れて持ち歩きたいなら、デスクトップ ツール ゴー
「Documents To Go」でPalmへ入れてしまおう。これはOfficeのファイルを閲覧/編集できる統合ソフトで、Palm m500シリーズは昨年10月よりバンドルを開始した。コンジットソフトとPalm本体に入れるソフト、シンクロを管理するソフトの3つで構成されており、マイクロソフト ワード
「Microsoft Word」(以下Word)や「Microsoft Excel」(以下Excel)で保存したファイルをそのままPalmに転送できる。Palm側では、Excelのファイルを「Sheet To Go」、Wordをワードトゥーゴー
「Word To Go」、Microsoft PowerPointはスライドショートゥーゴー
「Slideshow To Go」(図1)らのソフトで閲覧できるほか、Sheet To GoとWord To Goは編集機能も備える(図2、3)

パソコンで「Documents To Go」を起動すると、Palmとシンクロするデータの管理ができる(図4)。登録したOfficeのファイルをリ

除」が選べる。本来はPalm Desktopで行うコンジットの設定をできるのが便利だ。

Desktop To Goは、ウィンドウズ/マック版ともほぼ同じ使い勝手だが、マック版にはSlideshow To Goが付属しないうえ、書式を崩さずに完璧なシンクロを行うための技術「DocSync」も搭載していない(図5)。PalmのDocuments To Goを介してウィンドウズ/マック間で文書をやり取りすると、書式が崩れる場合があるので注意しよう。

Sheet To Go

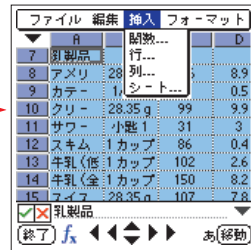
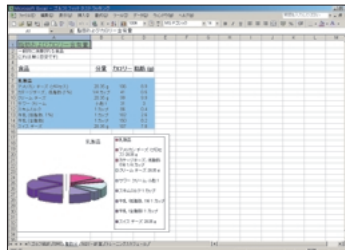


図2 Excelファイルは「Sheet To Go」で閲覧/編集(開数、行、列、シートの挿入)ができる。グラフの表示や作成はできない

Word To Go

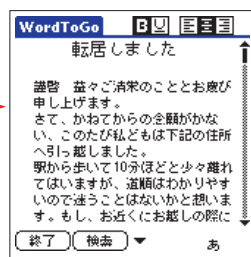


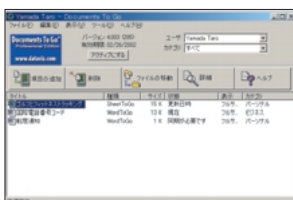
図3 Palm用のDOC形式に変換しなくても、テキスト情報は「Word To Go」で閲覧/編集(行挿え、文字色、太字/下線の指定)できる

Slideshow To Go



図1 ほかのソフトと違って編集はできないが、画像を表示してちょっとしたプレゼンテーションができる

パソコン側のDocuments To Go



Windows

図4 Palmに送りたい文書ファイルはDocuments To Goのリストに追加する



Macintosh

図5 使い方はウィンドウズ版と同じだが、Slideshow To Goが付属しないなど、一部利用できない機能もある



グループウェアとの連携でビジネスパワー全開

使用ソフト

サイボウズOffice4
 サイボウズシンクfor PalmOS
 サイボウズ株式会社
 http://cybozu.co.jp/
 E-Mail: info@cybozu.co.jp

導入費用が下がったのも手伝ってか、近頃急速にグループウェアを導入する企業が増えてきた。グループウェアとは、個人単位のスケジュールから部や会社全体のスケジュール、社内の閲覧板や共有のアドレス帳など、ありとあらゆるデータを蓄積し共有して作業を効率化させようというものだ。データの利用にはWebブラウザを使うことで、個人端末への負担や機種依存を少なくしている。

グループウェアで共有しているデータをPDAで持ち運ぶには、ある程度のCPUパワーとメモリーの容量が求められる。そういった意味では、シンプルさが身上的Palmは向いているとはいえず、対応しているグループウェアも少ない。しかしパソコン、PDA、携帯電話など、あらゆる端末での利用を想定したグループウェアソフト「サイボウズOffice4」を使えば、「サイボウズシンクfor PalmOS」と組み合わせることによってサイボウズOffice4で管理されている情報をPalmでも持ち歩けるようになるのだ(図1)。

サイボウズシンクfor PalmOSの仕組みは、ネットワーク接続を経由し、サイボウズが動作しているサーバーとネットワーク経由の

HotSyncをしてしまおうというものだ。使用するにはサイボウズサーバーへあらかじめ本ソフトをインストールしておく必要がある(図2)。

実際のインストール作業は非常に簡単な。ネットワークに接続しているパソコンに、Palm DesktopをインストールしてHotSyncができるようにしておく。そこにサイボウズシンクをインストールすると、コンジットがサイボウズ用に入れ替わる(図3)。コンジットはサイボウズサーバーへの認証機能などを搭載しており(図4、5)、サーバーと直結して必要なデータをシンクロする。シンクロのモードは通常

のHotSyncと同じように選択することができる(図6、7)。

実際に使ってみると、普通にHotSyncしているのと変わらない速度と使い勝手だ。そもそもグループウェアに保存されているデータは、スケジュールやアドレス帳、メモ帳など、普段Palmで扱っているものばかりなので、違和感なく使える。Palm側で加えたり修正したデータはHotSyncするたびにサイボウズサーバーへ記録され、会社内で活用できるようになる。これからグループウェアを導入したい場合は要チェックだ。

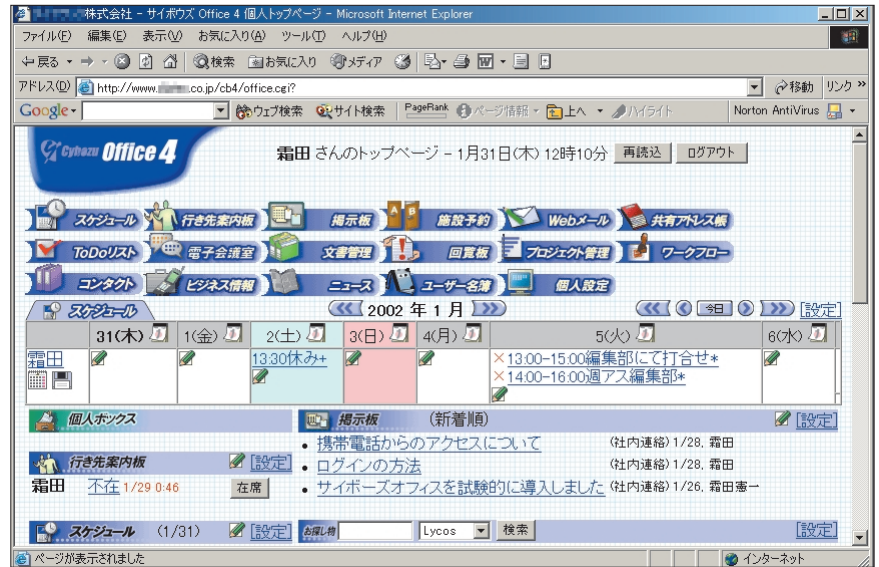


図1 サイボウズOffice4にログインした状態。操作はすべてこのWebブラウザ上で行う

サーバー側の設定

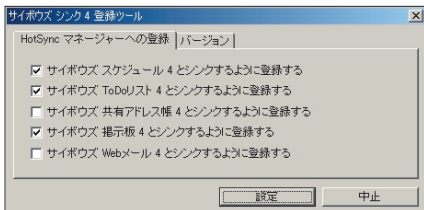


図2 「サイボウズシンク4 for Palm OS」のインストールが終わると、シンクロモードを設定する項目になる



図3 サイボウズで使用するコンジットは、すべてサイボウズのものに置き換わる。それ以外のコンジットはそのまま使われる

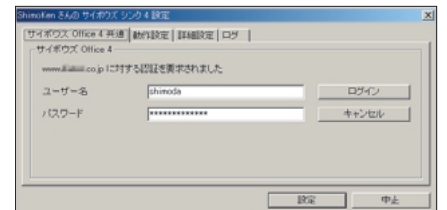


図4 コンジットにはネットワークへの接続機能があり、必要に応じて認証などにも対応する

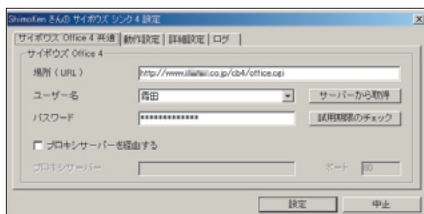


図5 認証が完了したらサーバーへのアクセス設定画面でサーバーのURLとログインID、パスワードを設定する

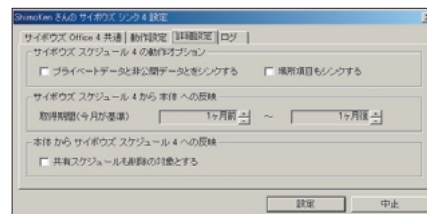


図6 スケジュールの期間も設定でき、ネットワークに接続する時間を短くできるように工夫されている

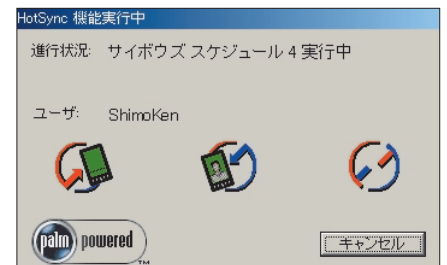


図7 HotSync画面はいつもと同じ。グループウェアとアクセスしているとは思えない

携帯電話とPalmのアドレスを連携しよう

使用ソフト

携帯はいはい for Palm

- 街電機本舗
- ケーブル付き9800円(ウィンドウズ版「携帯はいはい」バンドル)/ソフト単体1980円(試用版を配布)
- ☎ 03-5449-7057
- 🌐 <http://www.dnki.co.jp/>

最近の携帯電話は高性能なので、アドレス帳は携帯電話で管理している人も多いのではないだろうか。しかしそうすると、携帯電話には入っているけれどPalmには電話番号が入っていない!.....などということも生じてくる。そんなときはPalmと携帯電話のメモリーデータをやり取りできる「携帯はいはい for Palm」(以下携帯はいはい)で、携帯電話に入っている電話番号をPalmの「アドレス」にも移してしまおう。データをPalm上で追加作成/編集(電話番号/名前/カナ/グループ/シークレットの基本機能)して、携帯電話へ戻すことも可能だ。

携帯電話との接続には複数の方法がある。シリアル接続のクレードルと専用の変換コネクタの接続、サン電子(株)が発売している携帯電話通信用アダプター「PocheTail」(写真1)、CLIE純正のモバイルコミュニケーションアダプター(写真2)の3種類だ。すでに通信用アダプターを持っている、または購入を考えて

いる人であれば、ソフト単体を購入するだけでよい(1月末現在、VisorのシリアルクレードルとPDC携帯電話、CLIE PEG-N600とPEGA-MA700の組み合わせでは動作しない)。なお、携帯はいはいのパッケージは一般の携帯電話(PDC規格)/CDMA-One/ドコモ・アステルPHS・H+に対応したパッケージをそれぞれ用意しているので、携帯電話の機種フォーマットに合わせて利用できる。

使用前に携帯はいはいの環境設定を開き、現在の接続方法に合わせて設定を調整する(図1)。設定が完了したら携帯電話との接続だ。その前にまず携帯電話との接続認証をさせておく必要がある。「暗証番号」に携帯電話の暗証番号を入力して「確認」ボタンを押したあと、暗証番号が一致すればデータ交換が可能となる(図2)。

準備ができたら画面に表示されたボタン「携帯 Palm」もしくは「Palm 携帯」のいずれかのボタンを押すことで実行される(図3)。作業は、画面に表示されている「開始番号」から「終了番号」まで行われる。たとえアドレスの件数が10件だとしても終了番号が500であれば、そのぶんカウントして時間がかかるので、実際に登録されているアドレスよりも少し多い程度の数を直接書き込んで使おう。

携帯はいはいを使って取り込まれるデータは、先頭に登録された第1電話番号と名前の2点だ。Palmから携帯電話へ移行できるのも同様。携帯電話で姓名に分けた名前は、Palm側では姓にまとめられる。携帯電話のシークレットモード/メモリー番号/グループ番号は、別途カスタムフィールドとして書き込まれ、各モードを手動で書き込めば携帯電話へデータを移したときに反映される(図4)。

現在のところ、残念ながら複数の電話番号や電子メールアドレス、住所、カテゴリなどには対応していないが、一部機能が限定されたデモ版を配布している。実際に使って感触を確かめてみるといいだろう。

その他の連携ソフト

ケータイセーバ for Palm

- ネオスコポレーション(株)
- 1980円(専用ケーブル1980円)
- ☎ 03-5303-6736
- 🌐 <http://www.neoscorp.co.jp/>
- iモード携帯電話とPalmを専用ケーブル/携帯電話用モデムと接続し、携帯電話のメモリーデータをバックアップするソフト。メールの連携も可能

IrMail for P503

- 作者: いわたひでゆき
- 種別: フリーウェア
- 🌐 <http://homepage1.nifty.com/bluetime/>
- 赤外線ポートが搭載されているNTTドコモ(株)製の携帯電話「P503i/P503is」のiモードメールとPalmの標準搭載メールを連携させる通信ソフト

PocheTail



写真1 Palm本体のクレードル用コネクタに差す通信用携帯電話アダプター。PDC/cdmaOne/H+用がある
 ■ サン電子(株)
 ■ 1万5800円
 ☎ 0120-86-3810
 対応機種: Palm Vシリーズ・Illc・m100シリーズ

モバイルコミュニケーションアダプター



写真2 CLIE用の純正携帯電話アダプター。ケーブルを取り換えれば各社携帯電話に対応する
 ■ ソニーマーケティング(株)
 ■ オープンプライス
 (実勢価格1万2800円)
 ☎ 0570-00-3311
 🌐 <http://www.sony.co.jp/sd/CLIE/>
 対応機種: CLIE PEG-Sシリーズ・シリーズ・Tシリーズ

使用前の設定

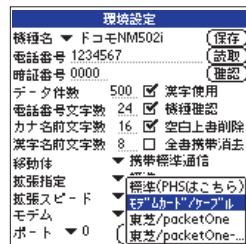


図1 一般的な携帯端末すべてに対応(図はPDC版) 機種名の設定は手動で行う

メモリーの読み込み



図3 読み込み中の画面。「終了番号」は、携帯電話のメモリーデータの数プラス 程度に設定しよう

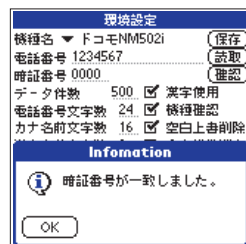


図2 携帯電話との接続前に、携帯電話に設定されている暗証番号の確認が必要だ。この操作は、初回に一度行えばいい

Palm側への書き込み

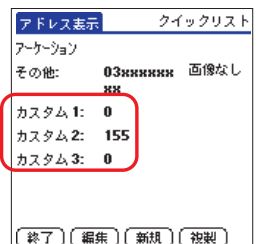


図4 携帯電話側のシークレットモード/メモリー番号/グループ番号が、カスタムフィールド1~3として書き込まれる



Column

MacとCLIEの連携を強めたThe Missing Sync

使用ソフト

The Missing Sync 2.1

開発元：米マークスペース社
 ㈱日本トラストテクノロジー
 オープンブライズ（実勢価格4980円）
 03-3835-7221

ソニーのPalm「CLIE」はマックに対応しておらず、標準の状態ではHotSyncができなかった。それに対し、CLIEユーザーのコミュニティースペース「CLIE User Club！ <クリックラ>」を運営するSPA氏がリリースしたマック用のUSBドライバー「Mac USB Driver for CLIE」(以下CLINGO)によって、CLIEとマックのHotSyncが実現した。マックユーザーでも安心してCLIEの購入を選択できるようになった功績は大きい。最新型のCLIE Tシリーズに付属しているマック用のPalm Desktop 2.6.2以降からは、CLINGOなしでもHotSyncできるようになったのだが、もうひとつ足りない機能があった。それはメモリスティックをメディアとしてマウントすることだ。

CLIEは、その能力を生かしたオーディオ再生が魅力のひとつだ。ところが、MP3ファイ

ルなどのオーディオデータをCLIEにコピーする際、HotSyncでは時間がかかりすぎるという問題があった。最大容量の128MBメモリスティックいっぱいのデータを転送するなら、ゆうに数時間はかかってしまう。Visorではそういった問題に対して外部メモリーに直接アクセスし、一気にデータを転送する方法がとられていたが、CLIEではウィンドウズでしかその方法をとっていなかった。

その方式をマックで実現したのが「The Missing Sync」だ(図1)。このソフトはCLINGO同様、CLIEに対応したUSBドライバーを提供しているが、それにメモリスティックをリムーバブルメディアとしてマウントする機能が追加されている。これによりメモリスティックはハードディスクのようにデスクトップ上にマウントされ、ドラッグ&ドロップで簡単にデータをコピーできるようになった(図2、3)。

今年1月にサンフランシスコで開催されたMACWORLD Expoでは、メモリスティックをMP3再生ソフト「iTunes」にて直接マウントするデモも行われており、CLIEとマックの連携はこれからもますます密になりそうな雰囲気だ。



図1 Missing Syncの中身はUSBドライバー2種類、この2つを「機能拡張」フォルダーに入れることでマックとCLIEがHotSyncでき、メモリスティックもマウントできる



図2 CLIEのオーディオプレイヤーの曲転送モードを選択するとハードディスクと同じようにマウントされる。データの転送速度もますますだ

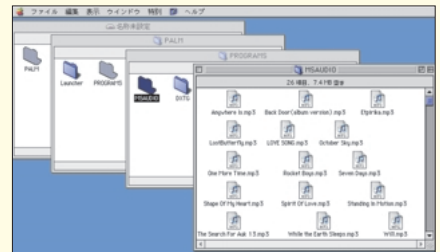


図3 MP3データが入ったメモリスティックの中身。うまく読めない場合はUSBハブが原因の場合がほとんどなので、マックのUSBコネクタに直接つなごう

Column

Palm Desktop 3.xと4.x

どのPalmを購入しても必ず付属しているのが、ウィンドウズ版のPalm Desktopだ。ところが、Palm OSマシンによってはバージョンが異なる。例えばPalm m100シリーズやVisor DeluxeにはPalm Desktop 3.xが、最新のCLIE TシリーズやPalm m500シリーズにはPalm Desktop 4.xが付属しているといった具合だ(図1、2)。

これは単純にハードの発売時期が関係している。バージョン4になって大きく変わったのは、ソフトの外観、ネットワークシンクロやプライベートデータの取り扱い、USBのネイティブサポートによるシンクロの高速化などだ。Palm Desktopはパームコンピューティング㈱より無償配布されているので、最新版が必要であればダウンロードすることでいつでも手に入る。

しかし、最新版を使ってみてみたいからといっ

て、やみくもにバージョンアップすることがよいとはいえない場合もある。例えばバージョン4では「支払メモ」のサポートがなくなり、VisorではMP3アダプターなどの専用ソ

フトと連携ができないなどといった問題があるのだ。バージョンアップを考えているなら、自分の使用している機能や周辺機器も含めて検討するようにしよう。

Palm Desktop 3.x

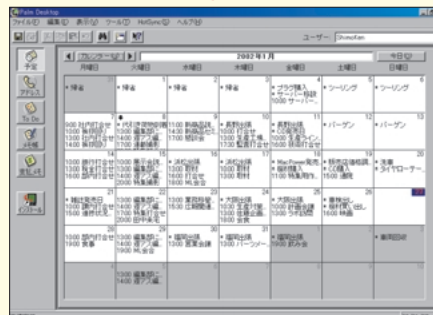


図1 初代Palm Desktopの流れでシンプルな画面デザイン。左側には支払メモのボタンがある(m100に付属のものは手書きメモに差し替えられている)

Palm Desktop 4.x

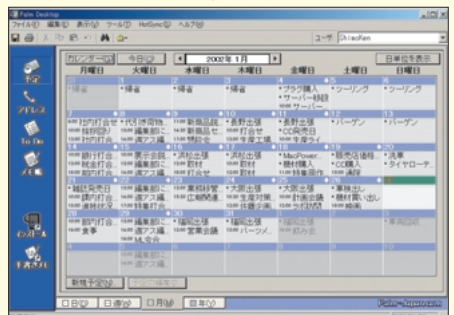


図2 Palm OS 4.0の登場に併せてバージョンアップされた。フォントがやや大きくなりデザインも少し明るくなった。マック版のように背景も変更できる



Information



ソフトニュース



ハードニュース



業界ニュース



海外ニュース



米パーム社がワイヤレス通信機能を搭載した「i705」を発表

米パーム社は、新しいPalmデバイス「i705」を発表した。最大の特徴は、ワイヤレス通信機能を標準搭載している点だ。インターネットへの常時接続が可能になったことに伴い、電源を切った状態でもメールの着信を音や光によって知らせる機能が付加された。メールだけでなく、AOLインスタントメッセージにも対応する。「Palm.Net」が提供するサービスによって、全米260都市でインターネットにワイヤレス接続することが可能。搭載するOSはPalm OS 4.1。ハードウェア面では、

160 × 160ドットのモノクロ液晶画面のほか、8MBのメモリーおよびユニバーサルコネクタ、また本体右側面下にはSD/MMCカード用のスロットを備えるなど、従来機に比べて大きな変化は見られない。米国では1月に発売されたが、パームコンピューティング㈱の広報担当者によると、日本での発売は予定していないとのことだ。なお、昨年末には米ハンドスプリング社が音声通話機能付きPalmデバイス「Treo」を発表したが、こちらも日本での発売は予定されていない。



今年ワイヤレス通信機能の追加がひとつのキーワードになりそうだ
 449ドル 米パーム社
<http://www.palm.com/>



Bluetooth 対応 SD 拡張カード 英国で販売始まる

米パーム社は、Bluetooth対応SD拡張カードを英国でリリースした。昨年の6月に開催された、「Bluetooth Congress 2001」で発表され、同社は2001年末までに発売するとしていたが、2002年1月まで遅れていた。同製品は、m500シリーズのSD/MMC拡張スロットに挿入して使用する。また、同社は現在、Bluetooth対応ソフトの開発を進めるため、SDKのパッケージを配布している。



㈱東芝との共同開発で製作された
 米パーム社
<http://www.palm.com/>



PDA 工房がメモリー増設サービスの対象機種を大幅拡大

PDA工房は、m500シリーズ、WorkPad c505（ともに日本語版）、HandEra 330（英語版）、CLIE PEG-N700C/750Cのメモリーを16MBに増設するサービスを開始した。増設後はメーカー保証が無効になるため、増設後の機器を発送した日から1カ月間に限り、作業を行った部分を対象として無償で修理する独自保証が付く。作業部分以外の保証については、無期限でできる限りのサポートが行われる。



m100を8MB、Visorを16MBに増設するサービスもある
 1万8800円 PDA工房
<http://www.u-systems.co.jp/pda/>

Treo、香港・シンガポールで販売開始

米HANDSPRING社は、GSM通信機能を標準内蔵したPalmデバイス「Treo180/180g」の販売を香港およびシンガポールで開始したと1月に発表した。なお、気になる日本での発売は、(株)HANDSPRINGにコメントを求めたところ「未定」とのことだった。同製品は、GSM方式の通話機能を内蔵し、電子メールの利用やWebブラウズが単体で実現できるのが特徴。搭載するOSはPalm OS 3.5.2H、16MBメモリーを備える。本体サイズは11×6.9×1.8cm、重さは153gと、ほか

のPalmデバイスと比べても非常にコンパクトな仕上がりになっている。内蔵バッテリーにはリチウムイオン充電電池を採用し、60時間の待ち受け時間と、2.5時間以上の通話を実現する。モデルは2つで、QWERTY配列のキーボードを本体に内蔵したバックライト付き16階調モノクロディスプレイの「Treo180」とカラー液晶搭載の「Treo270」、そしてそれぞれキーボードの代わりにシルクスクリーンエリアを採用した「Treo180g」「Treo270g」があり、計4機種が用意される。



「Treo270/270g」の発売は2002年の半ばを予定している
 図 HANDSPRING社
 URL <http://www.handspring.com/>

iモードとPalmの連携に強力なソフトが登場

ネオスコパレーション(株)は、iモード携帯電話のメモリーアドレスをPalmデバイスにバックアップできるソフト「ケータイセーバ for Palm」を発売した。同ソフトは、マルチアドレスに対応し、Palm側での編集も可能。また、Palmのアドレス帳とのインポート/エクスポートにも対応する。Palmデバイスと携帯電話との接続には別売りの専用ケーブル、もしくは携帯電話用モデムを使用する。



iモードの受信メールもバックアップできる
 図 1980円 図 ネオスコパレーション(株)
 URL <http://www.neoscorp.co.jp/>

メモリースティック対応「MemPlug MS」について発売

(株)アスクは、Visorシリーズでメモリースティックを使用できるスプリングボードモジュール型アダプター「MemPlug MS」の発売を開始した。同製品は昨年11月下旬の発売予定が延期されていた。128MBまでのメモリースティックおよびマジックゲートメモリースティックに対応。メモリースティック上のJPEG画像を閲覧したり、データベースなどに直接アクセスできる計7本のアプリケーションが付属する。



「gMovie Maker 2」の製品版がバンドルされている
 図 オープンプライス (図 1万1800円)
 図 (株)アスク
 URL <http://www.ask-corp.co.jp/palm/memplugms.htm>

Palm Desktop 4.0.1、XPで動作確認OK

米Palm社は、Palm Desktopの最新版「Palm Desktop 4.0.1」とウィンドウズXP日本語版(Home Edition)との動作検証を行っていることを発表した。発表によると、アプリケーションのインストール、Palmデバイスとの同期、HotSyncの機能も含め、現時点では大きな問題は認められず、同OSに対応しているとのこと。米Palm社は、同OSのユーザーに対してPalm Desktop 4.0.1を使うことを推奨している。

図 米Palm社
 URL <http://www.palm.com/>

PalmSource Japan Forum 2002、事前予約を開始

パーム コンピューティング(株)およびキースリーメディア・イベント(株)は、3月28～29日の2日間、東京・赤坂プリンスホテルにおいてPalm OSプラットフォームの最新技術動向カンファレンス「PalmSource Japan Forum 2002」を開催する。Webサイト(下記参照)から事前予約が行える。また、3月22日まで早期割引期間を実施し、通常料金4万5000円のところを3万5000円で登録が行える。

図 キースリーメディア・イベント(株)
 URL <http://www.key3media.co.jp/palm/>

ジョグダイヤル対応の表計算ソフト「タイニーシート4」発売開始

(株)ミヤビックスは、米アイアンビックス社の表計算ソフトウェア「タイニーシート4」の販売を開始した。同ソフトは113個の関数を搭載し、作成した表データを付属の「タイニーチャート」によってグラフに表すことが可能。また、ウィンドウズ用のExcel(97以上)と同期できるコンジットも収録されている。CLIEのジョグダイヤルとハイレゾ表示に対応。日本語版Palm OS 3.1以上が必要だ。

図 4980円 図 (株)ミヤビックス
 URL <http://www.visavis.co.jp/>



2倍速で書き込める コンパクトフラッシュ発売

サンディスク(株)は、データの高速書き込みに対応したコンパクトフラッシュ(タイプ1)「Ultra CompactFlash」を発売した。同社従来製品と比較して約2倍にあたる最高毎秒2.8MBの書き込み速度を実現。容量は128/192/256/384/512MBの5タイプ。近年、デジカメの高画素化などによってファイルサイズが巨大化しているため、同社はデータを高速に書き込めるストレージメモリーの開発に注力している。

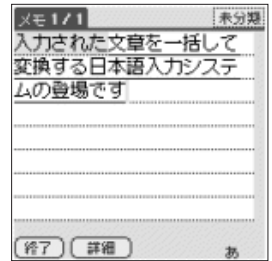


同社はメモリースティック事業でソニー(株)と提携している
 オープンプライス(¥1万800円(128MB))
 サンディスク(株)
<http://www.sandisk.co.jp/>



好評の日本語入力ソフトが 単体発売を開始

(株)ボックスは、Palm OS 4.0J上で動作する日本語入力ソフト「Compact-VJE Ver.1.0 for Palm」を発売した。ベクターにてダウンロード販売を行う。同ソフトは、連文節変換機能を搭載し、入力された文章を一括して変換できる。また、メモリー学習機能を備え、使い込むほど変換効率がアップする。さらに、人名・地名など固有名詞辞書を強化し、最新の話し言葉も約9万語を収録する。



TextServiceManagerの入力インタフェースに準拠する
 2000円 (株)ボックス
<http://www.vacs.co.jp/>
<http://www.vector.co.jp/>



米パーム社がマック OS X 対応「Palm Desktop 4.0 for Mac OS」を発表

米パーム社は、1月に米国サンフランシスコで行われた「Macworld Conference & Expo / San Francisco」において、マック OS X にネイティブ対応した「Palm Desktop 4.0 for Mac OS」のデモンストレーションを行い、そのリリースを公表した。2月上旬現在、同社のWebサイトでパブリック・ベータ版の配布申し込みを受け付けている(<http://www.palm.com/macintosh/publicbeta/>)。名前やメールアドレスなどを入力して登録するとメールが送られてくるので、記載されているURL

からダウンロードする(なお、パームコンピューティング(株)のWebサイトでは受け付けを行っていない)。英語のほか、日本語を含む合計6言語に対応。使用感や問題点などを報告できる「Feedback Center」が設置されている。同バージョンにおける機能面の特徴は、HotSync性能の向上、パームデスクトップにおけるプライベートデータの保護表示、オンラインでトピックを検索できる新しいヘルプシステムの導入、vCard/vCal形式データのサポートなど。正式版のリリース時期は未定だ。



ベータ版をインストールする前に念のためにデータをバックアップしておく
 米パーム社
<http://www.palm.com/>



Bluetoothの導入に 米パーム社が本格始動

米パーム社は、Palm OS向けプログラム開発者を対象に、Bluetooth対応の開発キット「パーム・ブルートゥース・ソフトウェア・デベロッパー・キット(SDK)」のバージョンの無償提供を開始した。同社Webサイトよりダウンロードが可能。また同時に、Bluetooth対応ハードウェアの開発者向けに「パーム・SDIO・ブルートゥース・ハードウェア・デベロッパー・キット(HDK)」の販売も開始した。

米パーム社
<http://www.palm.com/>



米パーム社、OS部門と ハードウェア部門を分離

米パーム社は、OS事業部門であるプラットフォームソリューショングループを分離し、新たに100%子会社として設立する手続きが完了したことを発表した。新会社「Palm Source」の代表取締役兼CEOは、同グループのCEOであったデビッド・ネイゲル氏が就任する。今回の分社化により、ハードウェアとOSの事業が明確化された。同社は、新会社とOSのライセンス契約を結ぶことになる。

米パーム社
<http://www.palm.com/>



モバイルユーザーも 128Kbpsの通信が可能に

DDIポケット(株)は、128Kbpsパケット通信サービスを3月26日よりサービスを開始すると発表した。同サービスは、従来の32Kbpsパケット通信を4つ束ねることにより、データ通信速度最大128Kbpsに対応した。「Air H」<つなぎ放題コース>のオプションサービス「オプション128」として提供される。また、2月26日より一般ユーザーを対象にした先行試験モニターサービスを実施する。

DDIポケット(株)
<http://www.ddipocket.co.jp/>



CLIE Tシリーズ用 HotSync & カーチャージャーケーブル登場

㈱セイコーパワーは、CLIE Tシリーズ用のケーブルを2本発売した。「シリアルシンクケーブル for clie T」は、D-Sub 9ピンのシリアルポート経由でHotSyncするためのケーブル。ケーブル長さは約145cm。一方、「カーチャージャーケーブル for clie T」は、自動車のシガーソケットからCLIEを充電するためのケーブル。充電状況を示すインジケーターが付いている。ともに台湾チェンタイ・テクノロジー製。



カーチャージャーケーブル。CLIE Nシリーズ用にも同種のケーブルを販売している
 価格 各1980円
 ㈱ pocketgames (㈱セイコーパワー)
<http://pocketgames.jp/>



「DaDa」シリーズの新作は本格的ゴルフゲーム

㈱日本トラストテクノロジーは、Palm用ゲームソフトウェア「DaDa」シリーズの第6弾として「DaDa GOLF」を発売した。初級、中級、上級の3つのトーナメントの中から、プレイヤーのレベルに合わせて選択できる。日本語版のPalm OS 3.1以上で動作し、必要な空きメモリーは670KB。カラー版の場合は同3.5以上、750KBの空きメモリーが条件。風の向きや強弱、芝の目まで再現したリアルなゴルフゲームだ。



芝生や池の色がとても色鮮やか。カラー対応機種で楽しみたい
 価格 オープンブライズ(2980円)
 ㈱日本トラストテクノロジー
<http://www.jtt.ne.jp/>



コンパクトなメモリーデバイス USB 接続でSDカードを利用可能

米サンディスク社は、USB接続のポータブルメモリーデバイスを発表した。同製品はアップグレードが可能なフラッシュメモリーを備え、内部にSDカード/MMCを搭載する。本体サイズは、幅1.75×高さ0.75×奥行き3インチ。価格は59.95～199.95ドルで、付属するメモリーカードによって異なる。対応OSは、ウィンドウズ Me / 2000 / XPおよびマック OS 9 / X。なお、日本での発売は未定。



SDカードは差し替え可能で、ストレージデバイスとして機能する
 価格 59.95～199.95ドル
 ㈱ サンディスク社
<http://www.sandisk.com/>



cdmaOneで無線データ通信が可能に

KDDI(株)は、cdmaOne携帯電話用のBluetoothアダプターを発表した。同製品は、パソコンからケーブルレスでダイヤルアップ接続し、データ通信を行うことができる。付属ソフト「MySync (Bluetoothアダプター版)」を利用して、パソコンとの間でPIM情報(アドレス帳、スケジュール)をシンクロさせることも可能。また、画像や着信メモリーなどのデータファイルのやり取りもできる。



最大64Kbpsのパケット通信方式に対応する
 価格 オープンブライズ
 ㈱ KDDI(株)
<http://www.au.kddi.com/>



暗がりでもスイスイ入力できるライト付きスタイラス

プリンストンテクノロジー(株)は、ペン先が光るスタイラス「LIGHT STYLUS PEN」を発売した。リチウム電池によってペン先のライトが白く発光し、暗い場所でもスムーズに入力できる。発光時間は連続点灯した場合で約12時間。電池の先端をPalmのリセットピンとして使うことが可能。m500シリーズおよびWorkPad c 505用とCLIE PEG-S300/S500C/N600C/N700C/N750C用の2種類がある。

価格 1800円 ㈱ プリンストンテクノロジー(株)
<http://www.princeton.co.jp/>



CLIEと着る「五大陸」コラボレーションウェア登場

㈱オンワード樫山は、ソニー(株)とコラボレートした「五大陸」ブランドのハーフステンコートおよびセットアップスーツを各100着ずつ発売した。両製品とも携帯電話とCLIEを接続できる五大陸オリジナルの2ウェイヤホンが付属する。イヤホン、CLIE、携帯電話を収納するためのポケットが特徴だ(コートにはさらにメモリースティック用ポケットが付く)。

価格 4万9000円(スーツ・ジャケット) 1万6000円(スーツ・パンツ) 5万3000円(ハーフステンコート)
 ㈱ オンワード樫山
<http://www.onward.co.jp/>



Palmで「東京モーターショー」を再現しよう

㈱オート・メディアは、gMovie形式の動画コンテンツをソニースタイルドットコム・ジャパン(株)のサイト「PDA Style」で販売開始した。現在、提供されているのは、第35回東京モーターショーに展示されたコンセプトカーなどを紹介する約40本のコンテンツ。gMoviePlayer 2以上をインストールしたPalmで再生が可能。オート・メディアは自動車情報を扱うブロードバンドサイト「Car@Now」を運営している。

価格 300円(ダウンロード版)
 ㈱ オート・メディア(株)
<http://carnow.com/>

パームウェア対応速報

定番ソフトによるジョグダイヤルやハイレゾのサポートが進み、使い勝手が向上している
文/小野寺 浩二

Update **Now!**

アイコンの見方

	256色カラー		メモリースティック
	65000色カラー		SD
	ジョグ		CF
	ハイレゾ		バイブレーション/ LEDアラーム

CLIEのハイレゾに対応

	Megalauncher(VIP) Ver.3.2	CD-ROMに収録
作者 米メガソフト2000社	価格 \$20	容量 198KB
URL http://www.megasoft2000.com/palm_division/megalauncher.htm		

ワンタップで各種ソフトを圧縮/保管できるといった多彩な機能を備えたホーム画面の置き換えソフト(ランチャー)がCLIEシリーズのハイレゾ表示、ジョグダイヤルに対応した。

HandEra、CLIEシリーズのジョグダイヤルに対応

	Metro Ver.3.6.0	CD-ROMに収録
作者 Red Velvet	価格 フリーウェア	容量 1.8MB
URL http://home.worldnet.fr/%7Epatriceb/Metro/HomePage.html		

日本の主要都市をはじめとした、世界各国の地下鉄160路線をカバーする経路探索ソフト。各路線のデータが更新され、HandEra、CLIEシリーズのジョグダイヤルをサポート。

CLIE PEG-N600/750Cのハイレゾに対応

	FuncCalc_HR Ver.1.0	
作者 大野一樹	価格 プレビュー版	容量 64KB
URL http://www5b.biglobe.ne.jp/%7Ekaz-hat/		

好評の関数電卓ソフトにCLIEシリーズのハイレゾ表示対応バージョンが登場。インストール後、20日間フリーで使えるプレビュー版。今後は、シェアウェアになる予定だ。

HandEra330に対応

	POBoxInline Ver.1.7.2	CD-ROMに収録
作者 増井俊之	価格 フリーウェア	容量 28KB
URL http://www.csl.sony.co.jp/person/masui/OpenPOBox/PalmInline/index.html		

なかなか扱いが難しいグラフィティによる文字入力をより効率よく行うための日本語支援ソフト。動作のスピードアップが図られ、HandEra330にも対応した。

CLIEのジョグダイヤルに対応

	LClipDA Ver.1.5	CD-ROMに収録
作者 びる	価格 フリーウェア	容量 8KB
URL http://hammer.prohosting.com/%7Eeimom/Palm/		

独自のデータベースに任意の文字列を最大10個までコピーすることが可能なソフト。コピー完了後LEDの点滅、バイブレーション機能追加に加え、最新版ではジョグダイヤルをサポート。

HandEra330のデュアル拡張カードに対応

	PiDirectVFS Ver.1.10	CD-ROMに収録
作者 Portable Innovation Technology	価格 \$19.95	容量 52KB
URL http://www.pitech.com/download/download.htm		

VFSに対応したPalm機種メモリーカード上にあるアプリケーションを本体メモリー上と同様に扱えるようにするソフト。HandEra330のデュアル拡張カードに対応した。

CLIEのジョグダイヤルに対応

	KsoQ Ver.2.05beta1	CD-ROMに収録
作者 高橋英樹	価格 フリーウェア	容量 22KB
URL http://homepage2.nifty.com/thide7/index.html		

ラップタイム、スプリットタイムの計測ができるストップウォッチソフト。Palmデバイスの電源を切っているときでも計測が可能。CLIEシリーズのジョグダイヤルをサポート。

256色カラー表示に対応

	MyCalePlus Ver.2.02	
作者 青山直樹	価格 500円	容量 60KB
URL http://homepage2.nifty.com/aona/ForPalm/PalmTop.htm		

6か月表示と1か月表示に対応したカスタマイズ性に優れたカレンダーソフト。予定表ソフトで登録されている情報を呼び出すことができる。256色カラー表示に対応した。

m500シリーズ、CLIEシリーズ、HandEra330のハイレゾに対応

	OmniRemote Ver.1.2 Beta 13	
作者 米パシフィックネオテック社	価格 \$20	容量 108KB
URL http://www.pacificneotek.com/		

Palmデバイスの赤外線ポートを利用する学習リモコンソフトウェア。カラー表示に対応しており、m500シリーズ、CLIEシリーズ、HandEra330のハイレゾモードをサポートしている。

バイブレーションとLEDアラームに対応

	ActionNamesDateBook(J) Ver.5.0	
作者 米アイアンビッグ社	価格 \$19.95	容量 365KB
URL http://www.iambic.jp/japanese/index_ie.html		

「予定表」「アドレス」「To Do」をまとめて管理できる定番ソフトがジョグダイヤル、アラームのバイブレーションとLED機能、CLIEのハイレゾなどに対応して大幅パワーアップ。

新薬開発をサポート！ 治験管理業務における Palmデバイス利用

#003

個人ユースとしての利用がクローズアップされがちなPalmデバイスだが、米国では病院や消防署、軍での使用が知られている。日本でも企業内導入は進んでいるが、その中でもPalmデバイスの携帯性やインフォメーション・ブラウザとしての能力をフルに活用している一例を紹介しよう。

東京・白金にある北里研究所病院の治験管理室では、約2年前よりVisorシリーズを業務システムに導入している。

「治験」とは、新薬の開発のために行われる臨床試験のこと。実際に人（ボランティア）に投与し、その薬の有効性や安全性を調べる。治験において精度の高いデータを

そろえ、国に申請をして認可が下りなければ薬が私たちの手元に届くことはない。

薬を投与する被験者には、事前にきちんとした説明を行い同意署名をもらうことが法律で決められているほか、その治験に適性であるかどうかの検査も行われる。薬を投与したあとは、診察や検査を定められた日に実施しなければならず、万一副作用などの症状が出た場合は、早急な対応が求められる。薬の効果や副作用を判定するためのチェック項目も細かく定められており、これらすべてをクリアしたデータでないと厚生労働省に申請することができない。これら治験を取り仕切る治験コーディネーター

PalmFan.com オフライン レポート

文 取材 / M.Hirose

(以下、CRC)は非常にデリケートな情報を扱ううえに、細心の注意を払いながら被験者と接していかななくてはならないのだ。

現在、同病院の治験管理室では、3人のCRCが15件のプロトコル(治験)を進行させ、24時間連絡を受けられる体制で被験者対応を行っている。ひとつの治験には5~10人の被験者がおり、最大で約100人の被験者に3人で対応することになる。普通の医師と異なるのは、プロトコルごとに症状や投与する薬、スケジュールがまちまちであり、院内のさまざまな場所で情報を見ながら、ほかの職種とチームワークをとることが強く求められること。そのうえ、被験者それぞれに適切な対応を行わないとデータに意味がなくなってしまうのだ。

この膨大な情報データ管理の中心には



写真 治験コーディネーターの氏原淳氏。デリケートかつ膨大な量のデータを手早く閲覧するのにPalmは非常に便利だ

「サイボウズOffice4」(サイボウズ株)が使われている。Webブラウザでのアクセスが可能なグループウェアだ。サーバーには各CRCのスケジュールが入力され、担当者が不在の時には別のスタッフが予約を入れるほか、検査科などのスタッフも受診予定が把握できる。

サーバーには治験依頼者との打ち合わせ、被験者との面談予定がすべて登録され、面談内容を報告書として入力すると関係者に配信される。報告は時間順で保存され、過去の経緯はLAN接続された端末からの検索や参照が可能だ。院内のほかのパソコンからも確認ができる。6人の管理室スタッフは最低1日1回はHotSyncを行い、これらの情報をVisorに入れて持ち歩いて閲覧し、情報を書き加えている。このほか、プロトコルによっては800件を超える「併用禁止薬リスト」、1300件を超える「院内医薬品集」などのデータをデータベース化し、「Pico」(フリーウェアのDBソフト)で閲覧。これにより、外線から院内PHSに連絡が入っても、被験者とともに医師の診察に立ち会っていても、必要な情報を取り出し、その場で適切な対応を行えるのだ。

このシステムの管理を行って

るCRCの氏原 淳氏(写真)は、電子手帳を経てPalmデバイスを使うようになった。治験管理室の新設当初は治験件数が少なかったが、いずれ非常に多くの情報を管理しなくてはいけなくなるのが予想できたため、導入に踏み切った。管理室が新設されたばかりでスタッフも少なく、システム構築に対する理解が得やすかったことも幸いした。

今後欲しい機能は? の問いに、氏原氏はこう答えている。「例えば、患者の血圧、脈拍、体温などを記録し、それをグループウェアに転送するようなことが日本語で簡単にできればと思う。患者の情報を統合的に管理できるようなシステムは、治験業務にかかわらず、医療関係者なら誰もが欲しいのではないだろうか。」

このシステムは昨年の日本医療薬学会年會にて発表され、関係者からの熱心な問い合わせもあったそうだ。

医療現場での正確な情報管理と効率アップは、患者として接する私たちにもメリットの大きい改革だ。Palmデバイスを利用することで日常的に行う業務が効率化され、医療関係者の負担が軽減されれば、あつてはならない医療ミスが起こる可能性も減るのではないだろうか。Palmデバイスを利用した画期的な医療機関向けソリューションの登場を期待したい。

m500 Magazine

m500のすべてがわかる情報ページ
m500・マガジン



master's profile

吉沢 正敏

性能と使い心地のバランスが絶妙なm500シリーズに激しくリスペクト中。今年のテーマはPalmデバイスとマックOS Xとの連携強化だが、時間が全然足りないのが悩みの種。

http://pobox.com/ yoz
@ yoz@pobox.com

明日につながるユニバーサルコネクター

手になじむ道具としてPalmデバイスが愛されている理由のひとつに、カスタマイズして自分好みの環境を作れるという点がある。標準アプリケーションをシェアウェアに置き換えたりといったソフト的なカスタマイズもさることながら、周辺機器を接続して機能を追加することも快適な環境構築には欠かすことができない。

m500シリーズの場合、SDカードスロットと、本体下部のHotSyncコネクターの2カ所に周辺機器を接続できる。SDカードスロットにはメモリーカードやBluetoothカードなどを、HotSyncコネクターはキーボードやHotSyncケーブルなどを接続する。世間の注目はSDカードに向いているけれども、今回はHotSyncコネクターのほうにスポットライトを当ててみたい。

m500シリーズの場合、HotSyncコネクターという呼び方は正確ではない。このコネクターの名前は「ユニバーサルコネクター」(写真1) m500シリーズから初めて採用された規格のコネクターだ。「ユニバーサル」というネーミングには、少なくともふたつの意味が含まれているようだ。ひとつは、「共通」。そしてもうひとつは「万能」という意味だ。

ずっと使える「共通性」

まずは、共通性について。

これまでのPalmデバイスは、なぜか機種ごとにHotSyncコネクターの互換性がなく、本体を買い替えるごとに多くの場合、周辺機器もすべて買い直す必要があった。だが、今後、Palm社から発売されるPalmデバイスでは、すべてユニバーサルコネクターが採用されることになっている。つまり、m500シリーズ用に購入した周辺機器は、少なくともPalm社のPalmデバイスを使うかぎりには引き続き使うことができるの

で、後々無駄にならないのだ。

m500シリーズの登場からしばらくの間は特殊なコネクターだったのが災いしてか、なかなか周辺機器が登場しなかったが、現在ではさまざまなユニバーサルコネクター対応機器が発売されている。たとえば、携帯用のUSB・HotSyncケーブルや、各種キーボード、イーサネットクレードルなど、日々のPalm生活に必要なものはほぼ揃ってきた(写真2~4)そして、これらの機器は(おそらく)m500シリーズの後継機種でも利用できるのである。

多様な機器に対応する「万能性」

そして、もうひとつの意味である万能性についてもお話ししておかなければならない。

そもそもHotSyncコネクターはパソコンと接続してHotSyncを行うことを主目的としていた。しかし、ユニバーサルコネクターは、HotSyncに加えてさまざまな周辺機器と接続することを前提に再設計されたコネクターなのだ。

ユニバーサルコネクターに機器を接続すると、Palmデバイスはそれがどういうデバイスであるかを認識することができる。それがキーボードであるか、モデムであるか、それらとは別の種類の機器であるかを、コネクターを通じて機器と交信することで判断し、それに応じた処理を行うことができる。

さらには、ドライバーソフトなどの自動インストールまでが可能だ。これまで、Palmデバイスにキーボードなどの周辺機器を接続する際には、あらかじめパソコンからドライバーソフトをHotSyncによってインストールする必要があった。しかし、ユニバーサルコネクター対応機器ならば、接続するだけで自動的にドライバーをPalmデバイスにインストールし、すぐに利用を始めることができる。いわゆるプラグ&プレ

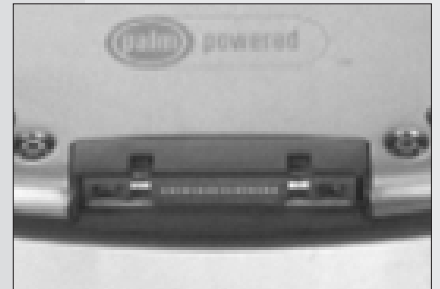


写真1 高速で安定した通信が行えるように、ユニバーサルコネクターには接続機器をがっちり固定する機構が取り入れられている



写真2 株式会社トラステクノロジーズの「USB HotSync Cable + C」。パソコンのUSBポートに接続してHotSyncと充電の両方を行う



写真3 同じく株式会社トラステクノロジーズの折り畳み式キーボード「Travel Pack m500」。コネクター部分がしっかりしている



写真4 シーエフ・カンパニー製のイーサネット接続クレードル「Mobile Dox for m500」。ネットワーク経由のHotSyncを可能にする

ー機能に対応しているのだ。もっとも、現在流通している周辺機器の中には、残念ながらプラグ&プレーには対応しているものは発売されていないのだが……。

m500シリーズに続いて、米国ではm125がユニバーサルコネクターを搭載し、マーケットも広がってきた。今後、対応機器が増えるに従って、プラグ&プレーに対応したユニークな機器が登場してくるだろう。m500シリーズの周辺機器は、これから面白いのだ。



O-Yan

jornada 720を購入してからメールやWeb巡回はjornada 720、個人情報&スケジュール管理はVisor、と用途によって使い分け。どちらもAir H"対応で快適そのもの。ほぼ完璧なモバイル環境が整いつつある。

http://www.visor-japan.com/
@oyan@visor-japan.com

CF型PHSに対応したSnapSlot for Visor

昨年12月に㈱アイ・オー・データ機器より8MBのフラッシュメモリーとTypeIIのCFスロットの両機能を1つのモジュールで実現した「SnapSlot for Visor」が発売された(写真)。本モジュールをVisorに装着するとVisor本体のメモリー8MBと合わせて計16MBのメモリーが使用可能になるうえ、CFカードを併用することによってさらに大容量のメモリーを確保できる。モジュールにはあらかじめ「FileMover」(本体メモリーとフラッシュメモリー、CFカード間で相互にファイルをコピー・移動する)、「BackupBuddyVFS」(本体メモリーの内容をCFカードにワンタッチでバックアップする)、「AutoRUN」(設定されたアプリケーションを自動実行する)、「PowerRun」(CFカード上のアプリケーションを直接実行できる)、「J-DOC Reader」(CFカード上のテキストファイルを読むことも可能なDOCリーダー)の5つのソフトがインストールされており、別途ソフトウェアを用意することなくモジュールの機能を最大限に活用できる。

このように魅力的な機能を満載したSnapSlot for Visorだが、さらにCF型PHSカード(P-in Comp@ct、P-in M@ster、C@rd H"64 petit、AirH" Card petit(CFE-02))に対応したドライバーアップデーターが公開され、より一層のパワーアップが図られた。

PHS対応のためのアップデート手順

ドライバーのアップデーターは㈱アイ・オー・データ機器のウェブサイト(http://www.iodata.co.jp/lib/product/v/621_etc.htm)で公開されている。公開当初はウィンドウズ用のみであったが現在ではマック用も公開されており、いずれのユーザーも問題なく使用できる。なお、このアップデーターはモジュール内のフラッシュROMを

バージョンアップするものであり、一度アップデートを行うと初期状態に戻すことはできないので注意してほしい(アップデーターは評価版ソフトウェアのためメーカーによる動作保証はない)。

アップデート作業自体はとても簡単で、ダウンロードしたアップデーター用ファイルをVisor本体にインストールした後、モジュールをVisorに装着した状態でアップデーターを起動すればOK(図1)。書き込み作業に続いてフラッシュROMのフォーマットが終了すればアップデートは完了だ。しかし、CF型PHSカードを使用するためにはモジュールだけでなく、Visor本体にインストールされている「VFSManager」を最新版に更新する必要がある。一度、本体よりVFSManager関連の5つのファイル(CFAtaLib、VFSDBLib、VFSFormatLib、VFSMgr、VFS設定)を削除し、再びモジュールを本体に装着すれば自動的に最新版のVFSManagerがインストールされる仕組みになっている(図2)。アップデートの詳細な方法はアーカイブに含まれるREADME.TXTに書かれているのでアップデート前には必ず目を通しておこう。

PHSによる通信もスムーズ

実際にアップデートを行ったモジュールとAirH" Card petitを使って通信を試みたところ、まったく問題なく実行することができた。ウェブブラウジングやメールの送受信などVisorでも常時接続環境が整ったことはうれしいかぎりである。ただし、㈱ハギワラシスコム(データコミュニケーションカードアダプター)の「Data Communication Card Adapter for C@rd H"64 petit」(アップデーターによりAirH" Card petitにも対応)のような自電番号の表示や、累計接続時間の確認といったことができない点は残念だ。これまでもVisor用のスプリングボ



写真 VFS (Virtual File System) を搭載しているので、Palm OS 4.0から標準対応したVFS対応アプリケーションを使用できる



図1 アップデートはモジュールをVisorに装着した状態で「VRCF-8A Module Updater」を起動すればいい

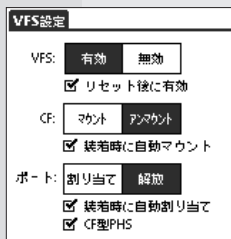


図2 CF型PHSに対応させるためには「VFS Manager」も最新版(2.0b)に更新する必要がある

ードモジュールとしては「MemPlug CF」、「iTAX・Flash」などのCFメモリーカードアダプターや前出のData Communication Card Adapter for C@rdH" 64petit、「iTAX・CFAD」などのCF型PHSカードアダプターが発売されている。しかし、これらはいずれもメモリーカードあるいはPHSカードの一方のみに対応しており、同じTypeII規格の他方のカードを使用できないというもどかしい状態が続いていた。「SnapSlot for Visor」はこれらの問題を一気に解消した。しかも実用的なソフトウェアがプリインストールされていることもあり、多くのVisorユーザーにお勧めしたいモジュールである。

CLIE Magazine

CLIEのすべてがわかる情報ページ
クリエ・マガジン



master's profile

なる

メインマシンをT400の黒に、これに合わせて通信アダプターもCF-60に変更。しかも執筆用にシグマリオン2まで手に入れた。TシリーズでCLIEの重量が軽くなったと同時に、自分の財布も軽くなってちょっとだけ寂しい。

http://www3.cds.ne.jp/narusawa/CLIE/
@narusawa@cds.ne.jp

ハイレゾ環境を見直そう!

Nシリーズから導入されたハイレゾ液晶は、従来機の160×160の液晶に比べて2倍の320×320の解像度を持つ。これによって1画面の情報量は4倍になった。しかし、純正の環境ではハイレゾ液晶はあまり有効に活用されず、きれいなフォントを表示するにとどまっているソフトも多い。今回はこの環境を見直してみたい。

ハイレゾアシストとSwitchDash

ソニー純正の「ハイレゾアシスト」や今関氏作成の「SwitchDash」は、ハイレゾ未対応ソフトをハイレゾフォントで動作・表示させる。これによりユーザーは、ソフトがハイレゾ対応かどうか意識せずにハイレゾフォントで使うことができる。これら2つを同時にオンにしておくことでエラーを起すため、どちらか片方だけを使うようにする。なお、ゲームや手書きメモなどのグラフィック部分がハイレゾ表示されるわけではないので注意が必要だ。ソフトの画面が4分の1のサイズで表示される、ソフトが起動できない、などの現象が起きた場合は、そのソフトを除外リストに加える必要がある(図1)。ハイ



図1
ハイレゾアシスト

ソニー純正のハイレゾ化ソフト。ハイレゾに単体で対応しているソフトは、「環境設定」の「ハイレゾ」でチェックを入れて適用外にしておく



図2
SwitchDash

「ハイレゾアシスト」と違って、メモリスティック上のソフトもハイレゾ適用外に指定できる。
http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/ 作者 今関 弘明氏 フリーウェア

レゾアシストは純正という点で安定感があるが、外部メモリーから起動するソフトを除外リストに加えられない。一方、Switch Dashは外部メモリにも対応している(図2)

Crsシリーズ

安定したハイレゾの恩恵を受けたい場合、高橋氏作成のCrsシリーズを使ってみよう。「Crs-MailView」(図3)をはじめ、「Crs-Launcher」や「Crs-MeDoc」などは、ソフトそのものがハイレゾに対応している。これらのハイレゾ対応ソフトを使う場合は、ハイレゾアシストやSwitchDashで除外ソフトに指定しておくことが基本となる。当然、使うソフトのすべてがハイレゾ対応であれば、ハイレゾアシストやSwitchDashを導入する必要はない。

hrFontMapper

表示フォントをローレゾのものに変更するソフト。ローレゾフォントは縦横ともにハイレゾフォントの2分の1なので、ハイレゾ表示では1文字の大きさが4分の1になる。したがって表示される文字数は4倍に増える(図4)。メモ帳やメールソフトなどのハイレゾ非対応ソフトにおいて、フォントを小さくすることで一画面に表示できる情報量を増やすことができる。

ンソ字FIX & 細字FIX

今までローレゾの液晶を使ってきたユーザー



図3
Crs-MailView

Crsシリーズはソフトがハイレゾに個別対応しているため、ハイレゾアシストなどを使うことなくハイレゾ表示が可能だ。
http://www.ap.kagu.sut.ac.jp/taka/palm/palm.html 作者 高橋 大樹氏 フリーウェア

ザーは、標準のハイレゾフォントの線が細い、フォント自体が気に入らない、と感じたことがあるだろう。これらを解決してくれるのが山田氏の「FIX」シリーズだ。純正のフォントは「ん」と「そ」のカタカナが見分けにくい。「ンソ字FIX」はこの2文字だけを読みやすいフォントに強制的に置き換えるソフトだ。またハイレゾ標準のsmallフォントが細くて見づらいと感じている場合は、「細字FIX」を導入することにより視認性が格段に向上する(図5)

移動中の電車や歩きながらの表示確認などはフォントを大きく読みやすくし、じっくりとメールを読んだりインターネットを楽しむ場合は小さなフォントで情報をたくさん表示する。これが、ハイレゾを有効活用する一番の使い方だろう。

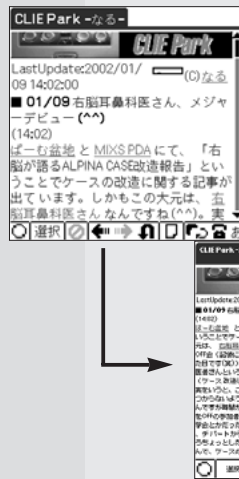


図4
hrFontMapper

XiinoChrFontMapperを使用した画面(下)。表示される情報量に圧倒的な差が出る。
http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/ 作者 今関 弘明氏 シェアウェア(価1200円)



図5
細字FIX

線の細いフォントではしっくり来ない場合に導入してみよう。見やすさ、読みやすさがアップする。
http://www.simple-palm.com/ 作者 山田 達司氏 フリーウェア



すべてのユーザーのニーズに応える、必携の一冊

Palm300の技



いとうあき / 井上真花 /
児玉英治 / 八島伸之 共著
技術評論社刊
1580円

Palmをこれから使おうと思っている人、使い始めたばかりの人、ある程度使いこなしている人、そしてPalmの達人など、さまざまなユーザーがいるだろう。数あるPalmの解説書からそれぞれのレベルに合ったものを探すこともできるが、本書はそのようなビギナーからエキスパートまで、すべてのユーザーをターゲットにしている一冊だ。

タイトルの通り、本書には300の技が収録されており、そのすべてに初・中・上級の区分がなされている。そしてその3つの区分をさらに用途別のジャンルに分けている。

例えば基本中の基本、Palmの選び方。Palmを購入する、あるいは買い替える予定のユーザーにはうってつけた。予定表、ToDo、アドレス帳、文書作成、ネットワーク、パソコンあるいは

PDAとの連携、環境設定、ユーティリティなどの実質的に使用する機能は、前述の3つの区分により、ビギナーからエキスパートまであらゆるレベルのユーザーに対応している。さらに操作の補足や前後の技に関連する情報、Palmのちょっとした使い方なども豊富に収録されていて、全体を通して非常に細かく丁寧なつくりになっている。ビギナーにとっては基礎からPalmのテクニックを習得できるだろうし、エキスパートにとってはさらに一歩進んだテクニックを身に付けることができる。本書がユーザー必携の一冊であることは間違いない。

(山下征志)

館長のオススメポイント

「Palm使い」は、修行あるのみ。技を磨いて、さらなる高みを目指すのだ。ビギナーは、ここからPalm技を覚えていこう

解説書「小説」パームを持って冒険に出よう!

実用パーム便覧 シャーロック・パームズの冒険



松田ばこむ / 小島邦男 共著
ローカス刊
1900円

Palmの解説書といえば、いったいどんなものを想像するだろうか。一般的には機能の説明が画像とともに解説されている、いわゆる教科書的な説明をしているものを想像するだろう。

しかし本書は、そういった解説書のスタイルを根底から覆したといっても過言ではないほどの独特な手法を用いている。これは、れっきとしたひとつの「小説」なのである。

主人公である「私」はシャーロック・ホームズならぬ「シャーロック・パームズ」の友人「ワトスン」だ。著者があとがきでも記してあるとおり、これはシャーロック・ホームズもののパステッシュであり、十分に読み応えのある小説なのである。

そんな要素が前提になっているので、推理小説の要素も期待通り含まれてい

る。物語中ではPalmが利用されてなぞが生まれ、主人公たちは推理とともにPalmを利用してなぞを解いていく。これが本書のポイントだ。Palmを使ったなぞ解きによって、読者はPalmの知識やテクニックを覚えていくことができる。決して小説に重きをおいているのではなく、読了すればPalmの歴史から利用法・用語などを学ぶことができる。また、それと同時にビギナーがつまずきそうな部分には詳しい解説がされており、注釈も付いているので、「教科書的な解説書はどれもとっつきにくい」というビギナーにマッチした入門書「小説」だ。

(山下征志)

館長のオススメポイント

読み物としても十分に楽しい。一度読み始めたら、最後までやめられないだろう。さらにPalmの使いこなし方まで覚えらるる



山田達司氏
PowerRUN
前回1位

1800円



メモリーカードの使い方が広がるユーティリティー

CLIEおよびm500シリーズに対応。メモリースティック、SDカード、MMCカードといったメモリーカード上にあるアプリケーションを、Palmデバイス本体にインストールされているアプリケーションと同じ感覚で起動できる。アプリケーションに付随するデータのメモリーカードへのコピーも可能。サードパーティー製ランチャーからもメモリーカード上のアプリケーションを起動できる。ファイルサイズは2KB。登録前は30日の試用が可能。

外部メモリー対応、大容量化など 新しい世代へ移りつつあるランキング

今月はトップをひた走る「PowerRUN」に強力なライバルが登場。CLIE用フリーウェアとして開発された「McFile」が機能を満載してシェアウェアとしてリリースされたのだ。外部ストレージ(メモリースティックなど)のファイルを管理するソフトとしては最高峰に位置すると言っている。ストレージとメモリー間のファイル移動やコピーといったベーシックな機能は評価の高かったフリーウェア版のスタイルを踏襲。加えて「関連づけ」という概念が導入された。つまりファイルの拡張子やクリエイター、タイプ(そのファイルを作ったアプリケーション情報やファイルの性質を表している情報)によって、どのアプリケーションを起動するかを設定できる。これにより、ストレージ上にあるファイルを自分好みのアプリケーションで読み込むことが可能だ。ファイルフォーマットが汎用的なものに限られるが、例えばDOCファイルはこのDOCリーダーで読みたい、というユーザーにはぴったりだ。もう一本「DateBk4」がランクイン。まだ日本語版はリリースされていないが、ユーザーのリクエストが最も多いソフトであり、一部制限を除き日本語環境でも英語版が使用できるため取り扱いが開始された。軽量のDateBk3の人気もまだ高いが、Palmデバイス自体が高速、大容量メモリー、高解像度化に進んでいるため、大型で多機能なDateBk4に全面的にシフトしていく可能性も高いと言える。

CLIE Tシリーズは爆発的な売れ行きを見せており、PowerRUNやMcFile、そしてMissing SyncなどTシリーズならではのソフトの販売本数が伸びている。有名ソフトの高解像度化や外部ストレージのサポートも進み、確実に新世代に移りつつあるようだ(水谷成智)。



今関弘明氏
McFile
初登場 1500円



Palmデバイス本体および、メモリーカード内のファイルを実操作するためのソフト。ファイルのコピー、移動、DOCファイルの閲覧などが可能。ファイルサイズは1138KB。



米アイアンピック社
Action Names Datebook(日本語版)
前回9位 2630円



スケジュール、To Do、アドレスを一括管理でき、色分けやアイコン表示できる定番予定表ソフト。スケジュールとアドレスのリンクが可能。ファイルサイズは166KB。



福本修仁氏
PEM
前回3位 1980円



消費税やクレジットカード別の支払い集計などが簡単にできるお小遣い帳ソフト。コンジットを使えばマックとの連携も可能。ファイルサイズは1KB未満。



㈱イリンクス
Xiino(アップグレード版含む)
前回2位 2980円



Palm OS 4.0上で動作する日本語対応Webブラウザ。128ビットSSL、JavaScript、SDカードに対応し、画面描画速度の高速化が図られている。ファイルサイズは2821KB。



エムロジック㈱
CutePack
1780円

前回8位

標準ソフトを改良した予定表「CuteDBook」、To Do「Cute To Do」、CuteDBook用アイコン作成アプリ「CDBIconMaker」のバツ。



米ビムリコソフトウェア社
DateBk3
2540円

前回6位

定番スケジュール管理ソフト。多彩な表示パターンやTo Doとの連携、スケジュール用のアイコンなど機能満載。



米スペース・ソフトウェア社
The Missing Sync
3810円

前回4位

USB搭載のマックとクリエをUSBクレードルやケーブルを使ってHotSyncを可能にするソフト。Palm DeskTop2.6.3以降が必要。



米ビムリコソフトウェア社
DateBk4
(アップグレード版含む)
初登場 2980円

定番スケジュール管理ソフト。m505、CLIE T600Cなどカラー機種に対応。メモ、スケジュール、To Doとの連携など機能満載。



米ポケットセンセイ社
Silverscreen
(アップグレード版含む)
2540円

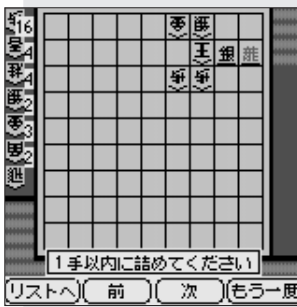
前回7位

多くの種類のスキームやアイコンをインストールしてデザイン変更ができる高機能ランチャーソフト。ファイルサイズは396KB。



注目ソフト!

㈱オルジェ
森田将棋 for Palm OS
3980円



以前、本コーナーで紹介した「ZANAC」に引き続き、30歳台前半以降の方には懐かしいタイトルがPalm版として登場した。筆者が中学生時代にパソコン雑誌で行われていたパソコン用将棋ソフトトーナメントの常連だった森田将棋だ。個人的にはあの森田将棋がこんな小さいマシンで動いてしまうことに時の流れを感じずにはいられない。Palm版とはいえ、自由対局、詰め将棋、そして次の一手と呼ばれるトレーニングとメニューも豊富。さらに対戦モードもサポートされている。これを使えば、イヤな同僚との新幹線出張でも共通の話題を探しながら数時間を苦しみ必要なし。黙々と将棋に集中しよう。

「Plua」で作る メモ帳検索ソフト

水野貴明 / 文

Plua^[1]は、CやBASICと異なる独自のスクリプト言語で、「Lua(ポルトガル語で『月』という意味)」というやはりブラジル生まれのプログラム言語を基に開発されている。現在はまだベータ版が公開されている段階だが、近々シェアウェアとしてリリースが予定されている。Palmデバイス上でプログラミングが可能のほか、PRCファイルの作成やカラー表示にも対応している点も注目できる言語だ。

ここでは、Pluaを使って、アプリケーションの作成に挑戦しながら、その実力を検証してみることにしよう。作成するのは、メモ帳のデータを正規表現^[2]を使って検索することができるユーティリティだ(図1)。検索結果は一覧表示され、リストをタップすると内容が表示される(図2)。Pluaには、正規表現を使って文字列を検索する機能がはじめから備わっているので、それをそのまま利用すれば、比較的簡単にこのようなアプリケーションが作れてしまうのだ。

Pluaの入手とインストール

Pluaを使ってプログラミングを行うには、「plua.prc」と「MathLib.prc^[3]」という2つのファイルをインストールする必要がある。Pluaの配布元からダウンロードできるファイルには、MathLib.prcは含まれておらず、

現在、地球の裏側の国ブラジルで、「Plua」という新しいPalm OS用の開発言語が生まれつつある。手軽なスクリプト言語でありながら、ボタンやエディットフィールドといったGUIの構築や、データベースアクセスなどの機能も備える期待のプログラム言語だ。

別途ダウンロードしなければならないので注意してほしい。

さて、Pluaの配布用圧縮ファイルにはPRCファイルが2つ入っている。ひとつは「plua.prc」で、こちらはPlua本体だ。そしてもう一つの「pluart.prc」は、Plua Runtimeというランタイムエンジンである。Pluaはプログラムを実行用のPRCファイルにする機能があるが、Pluaで作成したPRCファイルは、このランタイムエンジンがないと実行できない。Plua本体は近々シェアウェアとしてリリースされるが、ランタイムエンジンはフリーウェアなので、Pluaで作成したプログラムを配布する場合には、このランタイムエンジンを一緒に配布すればいいわけである。なお、Plua本体には、ランタイムエンジンの機能が含まれているので、PluaとPlua Runtimeを同時にインストールする必要はない。

Pluaでのプログラム入力方法は、直接Plua上でプログラムを入力する、メモ帳を使って入力したプログラムを利用する、

DOCファイルを使って入力したプログラムを利用するの3種類が用意されている。この場合は、画面の下半分でプログラムを入力すると、画面の上半分に結果が表示されるという形式となる(図3)。それに対して、メモ帳やDOCファイルを使用した場合は「フルスクリーンモード」、つまりプログラムを実行すると、今回のプログラムのように、画面全体がプログラムの実行に使用されることになる。

ちなみに、メモ帳の場合は1行目が「.lua(-はコメント行を表す。はそれぞれのプログラム名)」、DOCファイルの場合はタイトルが「.lua」となっていないと、Pluaのプログラムとして認識されないので気をつけよう。

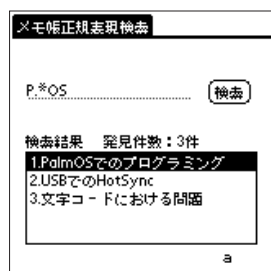


図1 正規表現でメモ帳を検索するアプリケーションを作る

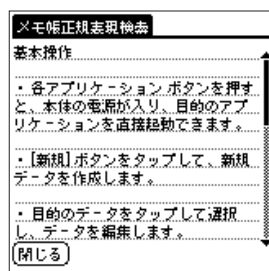


図2 検索結果をタップするとメモ帳の内容が表示される

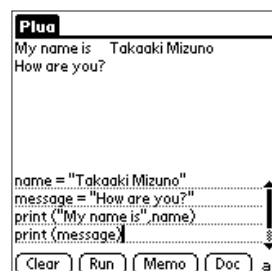


図3 Plua上でのプログラム入力。上半分が実行結果

画面レイアウトを作成する

では実際にプログラミングを行ってみることにしよう。今回のサンプルプログラムはCD-ROMに収録されているので、それを見ながら読み進めてほしい。

まずは検索を行うための図1のような画面を作成する。この画面を作成するためのプログラムはリスト1のようになる。ちなみに、Pluaでは関数を定義することもできるので、リスト1は全体で「buildGUI」という関数になっている。

Pluaではボタンやフィールド、チェックボックスといった、それぞれのGUI部品を作成するために、専用の命令が用意されている(表1)。それらの命令は、サイズや表示する文字列など、部品作成のための情報をパラメータとして受け取り、作成されたGUI部品のIDを戻り値として返す。作成したGUI部品は、その後そのIDを使って操作することになる。

それぞれのGUI部品の表示される位置は、作成された時点での「カーソル」の位置によって決まる。カーソルとは、次の描画作業をはじめる座標のことを意味し、画面がクリアされた時点では、画面の左上に置

かれている。そして、GUI部品が作成されると、カーソルは作成されたGUI部品のすぐ右側の位置まで移動する。したがって、ボタンを3つ連続で作成すれば、それらのボタンは横一列に並んで表示されるわけだ。

Pluaには、カーソル位置を移動するだけの命令として、テキスト編集時の改行のように、カーソル位置を左下に移動するpnl、タブのように、カーソル位置を少しだけ右にずらすptabなども用意されており、厳密な位置を指定することなく、「だいたい」の位置で部品を配置していくことが可能になっているのが特徴だ。

リスト1ではまず、pdestroyでこれまで画面に書かれていたGUI部品を一度すべて破棄し、pclearで画面をクリアしてカーソル位置を左上に戻し、ptitleでタイトルを、pmenuでメニューをそれぞれ作成したあとに、実際の画面の作成を行っている。最後にpsetfocusを使って検索語句を入力するフィールドにフォーカスをセットすれば画面作成は完了だ。

ちなみに、今回のサンプルプログラムにはもう1カ所、メモ帳のデータを表示する部分で、画面の作成が行われている。こちら、考え方はまったく同じなので、チェックしてほしい。

イベントを受け取る

ボタンが押された、メニューが押された、といったように、ユーザーが何らかのアクションを起こした時には、それに対応したプログラムを書かなければならない。これらの

ユーザーアクションを「イベント」と呼ぶ。発生したイベントは、イベントキューという、処理すべきイベントの待合室のようなところにたまっていく。それを1つずつ取り出して、イベントに応じた処理を行ってあげたい。

peventという関数を使うと、一番古く発生したイベントを1つ取り出すことができる。リスト2のようになっている。プログラム中では、ループ構造を作成し、ユーザーが何らかのアクションを起こすまで、peventを繰り返し呼び出すことになる。これをイベントループと呼ぶ。イベントが発生したら、どんなイベントが発生したかをチェックして、それぞれの処理を行うわけだ。

Pluaで発生するイベントは表2のようになっている。

表2 イベントの種類

イベント名	イベントの種類
penDown	ペンが画面に触れた
penUp	ペンが画面から離れた
penMove	ペンが移動した
keyDown	キーが入力された
ctlSelect	コントロールが選択された (ボタンが押されたときなど)
ctlRepeat	コントロールが再度選択された
lstSelect	リストの内容が選択された
menuSelect	メニューが選択された
ioPending	何もイベントが起きていない

チェックしているのは、このうち検索画面の「検索」ボタンと、メモ帳データ表示画面の「閉じる」ボタンが押されたときに発生する「ctlSelect」と、検索結果リストの内容がタップされた時に発生する「lstSelect」、 「Quit」メニューが選択されたときに発生する「menuSelect」の3つである。ちなみに、peventはイベントの種類と、その詳細情報

表1 GUIを作成するための命令

命令	機能
ptitle	フォームのタイトルを作成する。タイトルに表示する文字列を指定する。文字列を指定しないと、タイトルが削除される。
pcheckbox	チェックボックスを作成する。チェックボックスの横に表示する文字列を指定する。
pfield	フィールド(編集可能なテキスト)を作成する。表示される文字列のほかに、フィールドの縦横幅、表示する文字列の最大サイズ、編集できるか否か、アンダーラインの有無を指定する。
pmenu	メニューを作成する。メニュー項目をテーブルとして指定する。Palm OS 3.5以降でのみ、サポートされている。
plabel	ラベル(編集できないテキスト)を作成する。表示する文字列を指定する。
pbutton	ボタンを作成する。ボタン内に表示する文字列を指定する。
ppbutton	プッシュボタンを作成する。ボタン内に表示する文字列を指定する。
prbutton	リピーティングボタンを作成する。ボタン内に表示する文字列を指定する。
plist	リストを作成する。リストの縦横幅、そしてリストに表示するデータをテーブルとして指定する。
pgsi	Graffitiシフトインジケータを作成する。テキスト入力が必要な場合は、右下にこれを作成する。

リスト1 画面を作成するプログラム(関数 buildGUI)

```
function buildGUI()
  pdestroy() pclear()
  ptitle("メモ帳正規表\現検索")
  pmenu({"Q:Quit"})
  pnl() pnl() pnl() ptab()
  wordfield = pfield(1,20,20,searchword) ptab()
  searchbtn = pbutton("検索")
  pnl() pnl() pnl() ptab()
  plabel("検索結果") ptab()
  if resultcount >= 0 then
    plabel("発見件数: "..resultcount.."件")
  end
  pnl() ptab()
  resultlist = plist(5,28,result)
  pnl() ptab(16) pgsi()
  psetfocus(wordfield)
end
```

を戻り値として返すが、詳細情報の意味と戻り値の数はイベントの種類によって異なる。「ctlSelect」では、イベントの種類の外に、選択されたコントロールのIDが、「menuSelect」では選択されたメニューIDが、それぞれ返るので、戻り値は2つになる。「lstSelect」では、イベントの種類の外に、選択されたリストのIDと、選択された行の番号のあわせて3つの戻り値を持つことになる。

今回のプログラムには、「検索画面」と「メモ帳データ表示画面」という2つの画面があるわけだが、イベントループはひとつだけで処理を行っている。現在、どちらの画面が表示されているかはmodeという変数で管理しており、この変数の値によってチェックするボタンのIDが変化する。「検索」ボタンが押された場合には、入力された文字列を基にデータベースを検索する関数mSearchを呼び出し、その後検索画面を再構築するための関数buildGUIを呼び出している。メモ帳データを表示している時に「閉じる」ボタンが押された場合には、やはりbuildGUIを呼び出して、検索画面を表示し直している。

また、リスト内のデータがタップされた場合には、そのデータに応じてメモ帳データを表示するために、関数viewMemoを呼び出す。そして、メニューから「Quit」が選択された場合は、「break」文を実行してプログラムを終了する。

データベースを扱う

ユーザーが「検索」ボタンを押した場合、メモ帳のデータを1件ずつ調べて、入力された文字列がマッチするデータをリストアップしなければならない。続いてこの処理を見ていこう。実際のプログラムはリスト3のようになっている。

Palm OSでは、パソコンにおけるファイルの代わりとして、データベースを用いてデータを保存する。そのためPluaでは、Lua標準のファイルアクセス機能をベースにしたデータベースアクセス機能を実装している。

検索を行うメモ帳のデータも、データベースに格納されている。では、メモ帳のデータを読み込む方法を見てみよう。

データベースにアクセスするには、まずopendbという関数でデータベースをオープンする。各データベースは名前管理されており、データベース名と読み書きモードを指定すればデータベースをオープンすることができる。メモ帳のデータベースは「MemoDB」という名前なので、これを指定すればいい。読み書きモードとは、データベースを読むためにオープンするのか、書き込みを行うのか、といった「開き方」で、ただ読み込むだけなら「r」を指定する。このほかに書き出しのみの「w」と、読み書き両方を行うことができる「r+」が指定可能だ。

opendbは戻り値としてデータベースハンドルとそのデータベースのレコード数を返

す。データベースハンドルは、データの読み書きなどの際にデータベースを指定するのに使用するデータである。データベースがオープンできたら、レコードを1件1件読み出して、指定された文字列が含まれているかをチェックする。

レコードを読み出す際には、さらにopenrecという命令で読み出すレコードを指定する。そして実際の読み込みは、readという命令で行う。readでは指定するパラメータによってどれだけデータを読み込むかが変わる。「*1」を指定した場合はデータ1行分、つまり次の改行までのデータが読み込まれる。「*a」を指定すれば、データすべてが読み込まれる。メモ帳のデータは最初の1行がタイトルになっているので、今回のプログラムでは、まずタイトルだけを読み込み、そのあと残りを読み込むようにしている。

正規表現検索を行う命令はstrfindで、検索したい文字列と検索条件式を渡せば、該当する文字列があった場合、検索された文字列の開始位置と終了位置を戻り値として返してくれる(該当する文字列がなかった場合は「nil」が返る)。

検索が終わったら、closedbという命令でデータベースを閉じれば作業は終わりである。

テーブルを操作する

Luaにはテーブルという機能が実装されている。テーブルは配列と、Perlなどのスク

リスト2 イベント処理部分

```
while 1 do
  ev,id,element = pevent()
  if ev == ctlSelect then
    if mode == 0 then
      if id == searchbtn then
        searchword = ptext(wordfield)
        mSearch(searchword)
        buildGUI()
      end
    else
      if id == endbtn then
        buildGUI()
      end
    end
  elseif ev == lstSelect then
    viewMemo(rawget(resultnum, element+1))
  elseif ev == menuSelect then
    if id == 1 then
      break
    end
  end
end
end
```

リスト3 メモ帳検索部分(関数 mSearch)

```
function mSearch(s)
  result = {}
  resultnum = {}
  resultcount = 0
  f,n = opendb("MemoDB", "r")
  for i = 0,n-1,1 do
    openrec(f, i)
    title = read(f, "*1")
    contents = title..read(f, "*a")
    spos, epos = strfind(contents, s)
    if spos ~= nil then
      resultcount = resultcount + 1
      tinsert(result, (i+1)..". "..title)
      tinsert(resultnum, i)
    end
  end
  closedb(f)
end
```

リプト言語におけるハッシュ(文字列をキーにした配列)を組み合わせたような働きを持っており、Pluaでもそのまま利用することができる。今回のプログラムでも、検索を行った結果、該当する文字列があれば、resultというテーブルにタイトルを、resultnumというテーブルにメモ帳データの番号を、それぞれ格納している。

テーブルは中カッコ「{}」で囲んで表現される。今回のプログラムでは、検索時にまずresultとresultnumを初期化し、目的のデータが発見されるたびに、そのタイトルとデータ番号をtinsertという命令を使って追加しているのである。

そして、画面上にリストを作成する命令であるplistは、テーブルとしてデータを渡すようになっているので、最後にタイトルのリストを渡して検索結果を表示する(リスト1を参照)。また、メニューを作成する命令であるpmenuもテーブルを利用してメニュー項目を渡すようになっていっている。

RPCファイルを作成する

プログラムが完成したら、最後にRPCファイルを作成する。PluaのDOCファイル閲覧画面で、プログラムを選択して「Compile」ボタンを押すと、図4のようなダイアログが表示される。ここに、アプリケーション名とクリエイターIDを入力してOKをタップすればRPCファイルが生成される。

クリエイターIDとは、Palmのアプリケーションが必ず持たなければならない4文字の識別コードのことだ。すべてのアプリケーションが、異なるクリエイターIDを持つ必要があるため、Palm Computing社のサイト^[*4]では、自分が使いたいクリエイターIDを登録したり、既に登録されていないかを調べたりすることができるようになっている。ちなみに今回のメモ帳検索ツールのためには「MsrH」というクリエイターIDを登録した。作成したRPCファイルを公開する場合には、同じようにまだ使用されていないクリエイターIDを調べて、登録するようにしよう。

冒頭でも述べたとおり、Pluaで作成したアプリケーションは、RPCファイルになっていても、Plua本体かPlua Runtimeのどちらかがインストールされていなければ動作しないので、アプリケーションを配布する際には気をつける必要がある。

なお現在は、作成したアプリケーションのアイコンは、標準のまま変更することができない(図5)。しかしPluaの作者Marcio M.

Andrade氏によれば、カスタムアイコンを付ける機能も近々搭載されるそうだ。

Palmの開発環境の新顔、Pluaでのプログラミングの方法を駆け足で見えてきたが、いかがだっただろうか。Pluaに関しては、まだまだ

情報も少ないのが欠点だが、スクリプト言語としての基本はきちんと押さえているので、プログラムを組んだ経験のある人なら、それほど習得は難しくはないはずだし、簡単なプログラムを外出先でぱっと書いてしまう、といったことも可能である。Pluaを使って、Palmデバイスをより効果的に活用してみるのもよいのではないだろうか。

[*1] Pluaのサイト

<http://netpage.em.com.br/mmand/pula.htm>
現在のところベータ版なので不具合が含まれている可能性がある。問題を発見したらレポートを送ろう。

[*2] 正規表現

「Pで始まる5文字の単語」<http://で始まり.html>で終わる文字列」といったように、文字列を規則で表現する方法。文字列検索などに威力を発揮する。

[*3] MathLib

Rick Huebner氏の作成した浮動小数計算を提供する共有ライブラリ。
<http://www.radiks.net/~rhuebner/>

[*4] Palm Computing社のサイト

<http://dev.palmos.com/creatorid/>

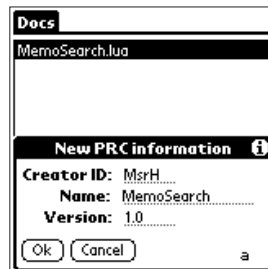


図4 コンパイルの設定ダイアログ。クリエイターの設定には注意しよう。



図5 Plua(右)とコンパイル後のアプリケーション

Luaについて

Pluaのベースとなっている「Lua」とは、ブラジルのリオデジャネイロ・カトリカ大学で開発されているスクリプト言語エンジンである。Luaは、BASICやC言語などを混ぜ合わせたような言語で、たとえば、if thenを用いた条件分岐はBASICとよく似ているし、==を使った比較はC言語と似ている。しかし、Luaには独特の記述方法もある。

最も特徴的なのは、以下のように関数が複数の値を一度に返すことができる点である。

```
w,h,depth,hasColor = pmodel( )
```

pmodelは、実行しているPalmデバイスの画面サイズやカラーが使えるかどうかなどの情報を取得する関数である。ちなみに戻り値を受け取る変数の数が、戻り値の数より少ない場合も、エラーにはならず余った戻り値は無視されるし、逆に受ける変数のほうが多かった場合にも、余った変数には何も入らない。戻り値を複数同時に扱えるおかげで、Luaはほかのスク

リプト言語と比べて、パラメータのやり取りをすっきりと記述できるようになっているのだ。

ほかに、「--(ハイフン2つ)」で始まる行がコメント行として扱われる、文字列の連結は「..(ピリオド2つ)」で表すなど、特徴的な書式がいくつか存在する。しかし、Pluaに付属するドキュメントには、Palm用に実装されたPlua独自の関数については解説があるが、Luaの基本的な書式や関数については触れられていないので、プログラミングを行う際にはLuaのオリジナルのドキュメントを参照する必要がある。正規表現についてもPerlとは書式が異なる場合がある。Luaの配布元のサイトには、さまざまなサンプル(Pluaのものではないので、Pluaでそのまま動くとは限らない)が置かれているので、Luaの書式についての参考になるだろう。ちなみに、オリジナルのLuaのドキュメントは英語だが、産業技術総合研究所の上野氏による日本語訳も公開されているので、参考になるはずだ。

Luaの公式サイト <http://www.lua.org/>

上野氏の日本語訳 <http://staff.aist.go.jp/yutaka.ueno/lua/docsjp.html>

Palmがパソコンのリモコンになる!

自分のパソコンを外出先から操作できたら……。そんな願いを実現したIBMの「Desktop On-Call」が、ついにPalmにも対応! 開発・企画・販売に携わっている3人に、お話を伺った。

いつでもどこでも、家や会社のパソコンを操作できる、PDAユーザー待望のソフト

「Desktop On-Call」を開発したそもそものきっかけは?

瀬能 朝起きるのが苦手な当社の開発担当の社員が、「なんとか会社に行かずに、家で仕事ができないだろうか?」と考えて開発したのがこの「Desktop On-Call」なんです(笑)

Version 1が発売されたのはいつ頃ですか?

瀬能 '97年12月です。開発当初、社内的にJavaを積極的に活用していこうということで、その一例としてJavaを使ったリモートコントロールソフトを開発したのです。「Desktop On-Call」をどんなOSにも対応できるリモートコントロールソフトにしたかったので、OSに関係なく動作させることができるJavaを使いました。

その後のバージョンアップの展開は?

瀬能 Version 1でまずウィンドウズに対応。その後、バージョンアップを重ねるごとに、OS/2、マックス、リナックスとプラットフォームを広げてい

きました。前回のVersion 4で、ほぼどんなOSにも対応できる状態になったと思います。

佐藤 Version 4と同時に、Desktop On-Call Professional版も発売し、AIXやソラリスにも対応しています。

そして今回のVersion 5で、PDA、携帯電話に対応することになったのですね。

瀬能 OS展開が一段落ついたところで、リモートコントロールできるデバイスをさらに広げていこうと考えていました。社内的には今後の市場を考え、さまざまなデバイスに対応するコンピューティング部隊として「パーベイシブ・コンピューティング開発」という部署を4年前から立ち上げていました。そこで今回のPDA、携帯電話への対応を行いました。

佐藤 また、これまでのバージョンアップとは違った展開もしていきたい、何か面白いことをしたいという思いもあって、今回、カメラとの連携を図ったのです。

Desktop On-Callをどのように作動させるのでしょうか?

瀬能 まず最初に、ホストPC(コントロールされる側)にDesktop On-Callをインストールします。リモートコントロールする側のパソコンには、Javaが動作するWebブラウザさえあれば、特にソフトをインストールすることなく、すぐに操作ができます。ただし、PDAの場合にはPDA側にもゲスト・デバイス専用のプログラムをインストールする必要があります。

佐藤 インストール後、リモートコントロールするデバイスでWebブラウザをスタートさせ、ホストPCのIPアドレスを入力すると、画面上にホストPCのデスクトップが表示されます。これでホストPCをリモートコントロールすることができ



日本アイ・ピー・エム(株)
企画・開発 瀬能芳幸(写真右)
プログラマー 佐藤逸敏(写真中)
マーケティング担当 杉野憲作(写真左)

るのです。

実際にどんな場面で活用できるのでしょうか?

瀬能 ホストPC側に送られてきたメールの確認や送信を行ったり、ホストPC側にあるデータを参照したり書き込みしたりすることができます。海外出張した場合でも、Desktop On-Callを使うことにより、ホストPCのデータを操作することができるので大変便利です。

佐藤 パソコンの操作でわからないことがあった場合に、パソコンに詳しい人に自分のIPアドレスを教えて、リモートコントロールで対応してもらおうといった使い方もできます。

PDAがホストPCのリモコンになるメリットはどんな点ですか?

杉野 PDAはパソコンの一部のデータを持ち歩けるモバイル機器です。ただ外出先で、パソコンから持って来なかったデータが必要になる場合というも当然考えられます。とはいうものの、すべてのデータを持ち歩くことは、容量上、不可能です。そこでこのDesktop On-Callを使うことで、持って来なかったデータの確認もできるようになります。

瀬能 添付書類の付いたメールも、わざわざメモリー容量の少ないPDAで受け取る必要がなく、ホストPCにアクセスして開いて確認すればそれで済みます。Desktop On-Callを使えば、PDAは容量に縛られることなくデータ処理を行えるようになることが、最大のメリットでは

Palmでインターネットにアクセスし、ホストPCのデスクトップ画面を表示させる。これにより外出先からでも家や会社にあるホストPCを操作できるのだ



ないでしょうか。

Palm対応するのに、苦労したのはどんな点ですか？

佐藤 PDAに対応するため、ロー・リソース・デバイス用のリモートコントロール・プロトコルを考案しました。まずPocket PC版を開発し、そこからPalm版を作ったのですが、あまりにOSが違い、その改良に大きく手間取りました。
 瀬能 正直言ってVersion5にPalm対応ができるかどうかは半々の可能性だと思っていました。それがなんとか間に合ったのは非常に大きな意義のあることだと思います。特定のデバイスだけに対応したのではソフトの存在価値が半減してしまいます。

佐藤 実は以前にもPalm対応を検討したこともあったのですが、その時は見送った経緯があります。Palm自体の性能では、Desktop On-Callをうまく操作することができなかつたからです。

瀬能 今回やっとPalmに対応できましたが、現状では、Pocket PCとPalmのCPUの性能の違

の新機能として携帯電話に対応した「Webcam extention Pak」をテスト販売したところ、反響が良かったので、製品化に至りました。

カメラとの連携機能もVersion5の特筆すべき点ですよね。

瀬能 ホストPCの状況が外出先や遠隔地から確認できることで、監視カメラとして活用できます。カメラとの連携により、単に遠隔地からリモートコントロールするだけでなく、さまざまな用途に使えるようになったと思います。

Version5発売後の反響はいかがですか？

杉野 ものすごい反響です！リリースでの

発表のみだったのですが、記者会見発表以上の反響がありました。PDAに対応したことがその大きな要因だと思います。PDAユーザーにとっては待ちに待ったソフトだったようです。またWindows XPにいち早く対応したことも、反響がこれだけ良かった要因ではないでしょうか。
 瀬能 対応していないPDAをお持ちのお客様から、早く対応してほしいという要望が殺到しました。そこですぐにシグマリオンと、CLIEのハイレゾにも対応しました。今後も、Desktop On-Callは、どんなデバイスにも対応可能なクロスプラットフォームとして展開していきたいと思っています。

容量に縛られることなく、Palmが無限の情報拠点になる

セールス状況はいかがですか？

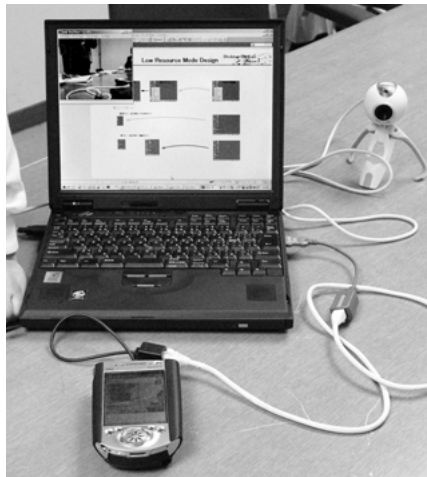
杉野 今までリモートコントロールソフトのシェアでは3番手だったDesktop On-Callが、Version5発売後、2週間でトップになりました。発売当初だけでなく、その後も順調に販売数を増やしています。PDAのクライアント・モジュールは無料ダウンロード販売にしたことも、好調な要因の一つだと思います。日進月歩のこの業界において、開発したソフトをCDに焼いて店頭で運んで……といった作業をしていると、すぐに古くなってしまいますので、Desktop On-Callは当社製品の中ではどちらかというと地味な商品だったのですが、

「ホームページ・ビルダー」や「インターネット翻訳の王様」といった当社の主製品と並んで、今ではすっかり花形製品になりました。

今後の展開は？

瀬能 ますますスムーズに操作ができるよう、機能のアップを図っていきたくと考えています。また通信環境の向上によ

り通信速度が速くなれば、ホストPCを音声で操作できるようになればいいなと思っています。カメラとうまく絡めた形で音声を送ることができれば、Desktop On-Callの可能性はますます広がっていくのではないのでしょうか。今後の展開も楽しみにしててください。



ホストPCに接続したカメラの映像を、外出先からPalmで見ることができる。リモコン機能だけでなく監視カメラとしてもDesktop On-Callを活用できる

いが大きく、PalmでDesktop On-Callを操作するよりPocket PCで操作するほうがスムーズです。今後、Palm自体の機能アップと通信環境が整備されていけば、PalmでもストレスなくDesktop On-Callを使えるようになると思います。

PDAだけでなく携帯電話にも対応した経緯は？

瀬能 Version5発売前に、Desktop On-Call



Desktop On-Call概念図。ホストPCに、ゲストPCから、さらに今回のバージョンアップにより、PDA、携帯電話からもリモートコントロールが可能になった

懐かしの名ゲームが、Palmによみがえる!

昨年末に、ゲームソフト大手の(株)ハドソンがPalmに参入! 今、Palmに注目する理由と今後のゲームサービスの展開について、開発に携わったお二人にお話を伺った。



(株)ハドソン

ブロードバンド事業本部 神田 淳(写真左)
ブロードバンド事業本部 安井一徳(写真右)

ネットにつながるすべてのデバイスに、コンテンツをサービスしていきたい。

Palmに参入しようと思ったきっかけは何ですか?

安井 これまでずっとさまざまな家庭用ゲーム機へのゲームソフトの展開を行ってきました。ただ今後は、家庭用ゲーム機ではないプラットフォームを視野に入れていかなければと考えていました。何か新しいことをやってみたい。何かおもしろいデバイスはないだろうか? そこで目をつけたのがPDAだったのです。

PDAに注目した理由は?

安井 パソコン用ゲームソフトの開発をやっていた時から「5万円以下のパソコンがあればいいのに」と思っていました。ちょうどPDAは「5万円以下のパソコン」だったのです。

神田 PDAを持っている人は暇な時に何をしたいのだろうか? ビジネスやスケジュール管理が主体となるとはいえ、Palmを使って遊んでもいいと思うんです。「遊ぶ」選択肢のひとつに当然ゲームもあるんじゃないか。そこで参入することにしました。

安井 インターネットにつながるすべてのデバイスにコンテンツをサービスしていきたい。それが会社の大きな方針となっています。いずれPDAにも通信モジュールが標準搭載される。そこでその第一歩として、Palmに参入しました。

PDAの中で、Palmに注目した理由は

何ですか?

安井 PDA参入にあたり、ザウルス、Pocket PC、Palmの中で、今の市場性を考え、まずPalmから対応することにしました。根強い固定ユーザーがいること、また、ユーザーが自分でプログラムしてフリーウェアを開発する文化が残っていて、ゲーム開発が活発であることがその理由です。

Palm参入にあたって、数あるソフトの中で「ボンバーマン」「スターソルジャー」「森田将棋」の3タイトルを選んだ理由は何ですか?

安井 新しいデバイスに参入する場合、まずはじめにたいいてシューティングゲームをやるんです。デバイスのパフォーマンスを図るにはちょうどいいからです。それで「スターソルジャー」を移植しました。

神田 スターソルジャーはファミコンやPCエンジン全盛時代に、全国キャラバンなどのゲーム大会をやった思い出のあるソフトです。今のPalmユーザーで多いのは、30代の男性だと思うんです。そのユーザー層はかつてファミコンを最も遊んだ世代。そんな人たちに昔懐かしのファミコンゲームが登場すれば、きっと受けるんじゃないかと考えました。

安井 ハドソンの顔といえば、何と言っても「ボンバーマン」と「桃太郎電鉄」。ボンバーマンを

Palm用に発売することに関しては、なんとか社長にかけあって了解をもらったんです。

今回、「桃太郎電鉄」が発売されなかったのはなぜですか?

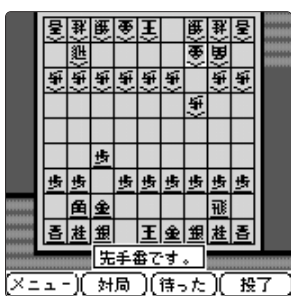
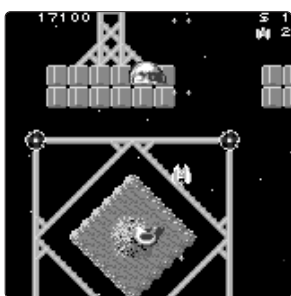
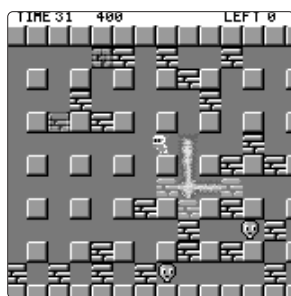
神田 PDAに参入する第一段階として、想定している遊び方は「一人遊び」なんです。桃太郎電鉄は完全なパーティーゲームですので、一人で遊んでもおもしろくはないだろうということで、今回は見送っています。

安井 Palmに赤外線だけでなく、Bluetoothや通信モジュールなど、Palm同士をつなぐ環境が整ったタイミングで、多人数で楽しめるパーティーゲームや対戦型ゲームの発売を検討していきたいと思います。

神田 ボンバーマンにしても、本来は何人かで遊ぶとおもしろいゲームです。でも桃太郎電鉄と違って一人で遊んでも楽しめるので、今回発売することにしました。

「森田将棋」では対戦モードは考えなかったのですか?

Palm OS用 ゲームソフト 3タイトル



昨年末に発売されたPalm OS用に移植された3タイトル。左から、「ボンバーマン」「スターソルジャー」「森田将棋」。ファミコン世代にとっては懐かしいラインアップだ。今後、どんなゲームが発売されるか、ますます楽しみ

神田 「一人遊び」を想定した今回のPalm参入とはいえ、「森田将棋」だけは対戦できるようにした方がいいか、かなり迷ったんです。でも目の前にいる相手とわざわざ赤外線を使ってPalmで将棋をしておもしろいかどうか疑問だったので、今回は見送ることにしました。

安井 将棋なんかはビジネスマンが暇な時に一人で遊ぶにはちょうどいいゲームではないかと思っています。

CPUに限界のあるPalmに、ゲームを移植する作業は難しかったのでは？

安井 もともと家庭用ゲーム機のソフト開発においては、限られたCPUの中でどれだけ高いパフォーマンスを得られるかということを毎回やってきた業界です。その点で苦労することはありませんでした。

神田 CPUの能力でいえば、ファミコンやPCエンジンとPalmはほぼ同レベルですので、この3タイトルのファミコンゲームをPalmに移植するのは、さほど問題はありませんでした。



ダウンロード販売が主とはいえ、Palm機と並んで店頭で置かれるメリットも考え、今回、パッケージ版も販売している。

安井 チープなCPUでいかに最大限のパフォーマンスを得られるかという課題は、ゲームコンソールのエンジニアにとっては当たり前のことなんです。むしろ決められたOSの中で、どれだけゲーム性を損なわないものにするかといった点に苦労しました。

ゲーム性を損なわないという意味では、Palmで操作させる方法に苦労したのではないですか？

神田 基本的にボタン操作で割り振りしてい

ます。ただ個人個人に合わせて操作がしやすいように、ボタンコントロールの選択肢を7通りサポートしています。

安井 ただPalmのインターフェースの魅力はタッチパネルにあると思うんです。今回もタッチパネルで操作できるようになっていますが、ゲーム内容によってタッチパネルに向いているものと向いていないものがあります。将棋ゲームなんかにはスタイラスは操作しやすいですが、シューティングゲームで飛行機を動かすのはあまり向いているとは言えないです。

神田 今は、単に家庭用ゲーム機のソフトを移植しているだけですが、今後はそれぞれの

道具があれば、いくらでも遊びは考えられる。 デバイスに合わせたゲームを開発していく。

神田 正直言って、事業として成り立つとは思ってもみなかったんです。Palmに移植するという話を聞いた時には、まさか本当にやるとは思いませんでした。

安井 新しいものをやってみたい。その一心で作り始めたら、結構おもしろかったんです。試験段階のつもりが採算ベースにも乗り、今はすごく順調にしています。今後もどんどんPalm用のゲームソフトを発売していきたいですね。

今回、パッケージ販売もしているのはなぜですか？

安井 ダウンロードだけでもいいかなと思っていたのですが、店頭でPalm販売コーナーのすぐ隣にソフトのコーナーがあれば、より消費者の関心を引くのではないかという提案をいただいたんです。言われてみれば確かにPalm本体が販売されているすぐ脇にゲームソフトやその他のソフトが一緒に置かれていれば、もっともっとPalmが広がっていくのではないかと思いました。それで今回、パッケージ版も発売しています。

神田 Palmのコアユーザーにとってはソフトをダウンロードして買うのは当たり前のことです

デバイスのインターフェースに合ったゲームを開発していく方向になっていくでしょう。パソコンゲームなら、キーボードとマウス、PDAならタッチパネル、携帯電話なら親指入力といった風に、デバイスに合わせたゲーム作りが必要だと思います。

発売後の反響は？

安井 大人が電車の中でゲームボーイを出してゲームをするのは、どこか恥ずかしさがあるみたいなんです。普段、手帳代わりに使っているPalmでゲームができれば、周りの目を気にすることなく、どこでも楽しめるといった利点はあるみたいですね。

が、ライトユースなビジネスマンにとってはダウンロード販売はまだまだなじみがないと思います。そういったことを考えると、パッケージを販売する意義はあったのではないのでしょうか。

今後の展開は？

安井 今後、インターネットにつながるデバイスにコンテンツを供給していくにあたっては、ダウンロードが主になっていくでしょう。ダウンロードして楽しむデバイスのひとつとして、パソコンや携帯電話と並んでPDAは、大きな存在だと考えています。

神田 将来的には、いろんな人がいろんなプラットフォームで遊べることを目標にしています。PDAの第一段階としてまずPalmに対応しましたが、今後はザウルスやPocket PCにも参入していくつもりです。

安井 またPalm同士に限らず、ザウルスやPocket PC、PalmといったPDAの垣根を越えて、ひとつのゲームを楽しむコミュニティができればおもしろくなっていくと思います。

神田 Palmの通信環境が整えば、他の人と対戦して遊ぶオンラインゲームや、遊んだ結果のランキングコーナーなどを作っていけば、さらに楽しめるのではないのでしょうか。



笠原崇寛 文

Palm 導入企業に潜入レポート!

Palmを組織的に導入し、ビジネスシーンに有効に活用したり、コミュニケーションを円滑にする、といった試みがさまざまな企業で行われ始めています。そこで実際にどんなかたちでPalmが使われているか、現場から詳しくレポート。今回は、「Intellisync」で有名なプーマテック ジャパン(株)を紹介します。

今回の訪問先
プーマテック ジャパン(株)

今回の訪問先: プーマテック ジャパン(株)

プーマテック社の100パーセント出資の日本法人。日本におけるプーマテック社製品の開発・販売・サポートの拠点として、'98年4月に設立。データシンクロソフト、Intellisyncをはじめ、モバイル向けソフトウェアに特化した企業。

プーマテック社:シリコンバレーの中心地、カリフォルニア州サンノゼ市に'93年設立。パソコン間のデータ転送技術を武器に、赤外線ソフトウェアを開発。後発ながらも赤外線ソフトウェア部門でNo.1のシェアを確立。その後は技術力のある企業を買収し、データシンクロソフト、Intellisyncを中心に発展。

1 Palm 導入の経緯

プーマテック ジャパン(株)の社内へのPalm導入は、自社製品であるIntellisync for PalmおよびIntellisync Anywhereの開発とともに行われた。導入への経緯を、両製品の概要を中心に見ていく。

1 個人向け製品、Intellisync for Palm

日本語版のPalmデバイスが発売されると、Intellisync for Palm, 3.7を開発。日本語版Palm OSのPalmデバイスと、パソコン上のアプリケーションとの間で、スケジュール、アドレス帳、メール、仕事リスト、メモ帳などの個人情報のデータを、ボタンひとつでシンクロ化する。パソコンとの連携が一層強化できる、便利なソフトだ。

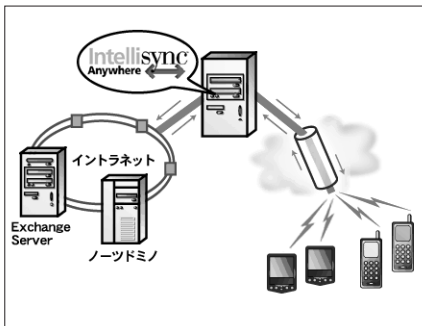


Intellisyncを導入することで、OutlookやLotus Notesとの連携が可能となる

Palm以外の個人向けシンクロソフト

- Intellisync for Windows CE**
Windows CE OSを搭載した携帯端末上のメール、スケジュール、アドレス帳などのデータと、パソコン上の各種のアプリケーションデータの同期をとるソフトウェア。
- Intellisync for Notebooks**
ノートパソコン間で、ファイルの転送などを行うソフトウェア。
- Intellisync for ???**
次期バージョンを開発中?

2 企業向け製品、Intellisync Anywhere



Intellisync Anywhereシステム概要図。Intellisync Anywhereを導入することで、PDA、携帯電話がより活用度の高い情報端末として機能する

Intellisync Anywhereは、PDA(Palm、Pocket PC)や携帯電話(iモード、J-SKY、EZweb)から、Exchange Serverやドミノサーバーなどのグループウェアを連携させるサーバーソフトウェアだ。Palmの場合、社内のLAN、RASダイヤルアップ、あるいはインターネットを通してIntellisync

Anywhereサーバーに携帯電話やPHS経由でアクセスすれば、いつでもどこでも、Microsoft Exchange Serverやノートサーバー上の、メール、スケジュール、アドレス帳、仕事などのデータを確認したり、緊急の通知を受けたりすることができる。

プーマテック ジャパン(株)でも、Intellisync Anywhereを導入。自社で開発した製品だから社内に導入しているわけではなく、あくまで実際に自分たちでIntellisync Anywhereを使ってメリットを感じたから導入しているのだ。

ソフトウェアの販売・営業が中心になるプーマテック ジャパン(株)では、外出する営業マンが多く、社内のパソコンおよびサーバーに、いつでもどこでもシンクロできるこのシステムは非常に便利なものになっている。

現在12名の社員のうち、11名はなんらかの

PDAを使っている。人数的にはPalmが大多数。なお、ハードは各社員が個人で好きな物を使っている。こだわる人は自費で購入し、特に機種にこだわらない人は会社にあるものを使っている。

企業導入に便利なソフト

- Intellisync Gold**
PalmやWindows CE機器用のIntellisyncを企業で導入するためのライセンスプログラム。製品には、Intellisync for Palm 最新版とIntellisync for Windows CE 最新版に、規定ユーザー数分のライセンスが含まれる。
たとえばある会社で100台のPalmを導入する場合、100ユーザー用のライセンスが含まれるキットを購入し、CDの中身をシステム管理者が社内のサーバー上にコピーすることによって、社内のエンドユーザーが各々のパソコンにIntellisyncをインストールすることができる。また、使用しているグループウェアがバージョンアップした場合にも、それに対応するIntellisyncのバージョンアップが受けられる。
このパッケージには、Palm用開発ツールSatellite Formsのランタイムライセンスも含まれている。

② Palm導入へ

では、Palm導入後の成果はどうだったのか。実際の活用方法および導入後の感想を紹介しよう。

① Intellisync Anywhere導入の成果

メール

今やビジネスシーンに欠かせなくなったメール。外出先では、Palmや携帯電話でメールを行ったとしても、社内のパソコンでのメール処理の問題がどうしても残る。しかしこのIntellisync Anywhereを使うことにより、インターネット経由で外出先でのメール処理が社内のパソコンでのメール処理に反映できる。パソコンとPalm間のメールの連携強化により、外出先でも、社内にいるがごとくメール処理を行えるのだ。

メールの送信だけでなく、未読のメールを

Palmで開けば、パソコン側も既読に変更になり、たまったメールの削除をPalmで行えば、パソコン側も削除になる。外出時でのちょっとした時間を利用して、面倒なメール処理を済ませてしまえば、わざわざ会社に帰ってメール処理に追われることがなくなる。

出先からそのまま帰りたくても、社内のメールの確認だけするために帰らなくてはならない……。そんな時には、会社のサーバーにアクセスして、メールをチェックすることができるので、そのためだけに会社に帰る必要はなくなる。

また、以前送られてきたメールの内容を外出時や訪問先で再確認することもできるので、外回りの多い営業マンにとっては実に便利だ。

スケジュール帳

外出先でスケジュールの変更・追加などがあったことを社内に知らせるのもIntellisync Anywhereを使えば簡単。電話してそれを受けた人がパソコンにスケジュールを入力する必要もなくなる。またサーバーにアクセスし、以前のスケジュール履歴を確認することもできる。



Intellisync Anywhereを使って、メールをシンク

Palmで送信したメールが、社内のパソコンの送信済みトレイに反映される

② 導入後の感想

携帯電話との比較

電話番号は携帯電話を持っているのであれば、携帯電話に入力すればいいのでは？ という意見もあるが、携帯電話の電話番号登録には、数に限りがあること、また電話番号以外の情報は入れにくいことなど、不便が多い。その点、Palmなら電話番号以外にも住所なども入力でき、検索もしやすいので便利だ。

携帯電話とPalmを組み合わせることによって、外出先で携帯電話で話をしながら、Palmのスケジュールやメモを確認したり入力することができる。携帯電話だけでは話している最中にメモを取ることができなくなる。

何をするにも画面の大きさが適度なものはPalm。携帯電話の画面では小さすぎる。

携帯電話でメールの処理をするより、操作がしやすく便利。検索できるので、手帳や携帯電話と違って、必要な情報にすぐにたどり着ける。

手帳との比較

手帳と違い、メモで入力したものをパソコンに移してデータを作成できる。

ノートパソコンとの比較

どんな場所でも取り出して作業するには、Palmの方がはるかに便利。

ノートパソコンを持ち歩くのは重い、Palmならスーツのポケットに入る。

③ Palmの優れている点

CPUの処理速度で比較すると、Pocket PCの方が圧倒的に速い。ただし価格は、Palmの方が断然安い。ただそれ以上に、社

員の多くがPalmを使っている理由は、自社製品の「Satellite Forms」を使えば、簡単に業務に合わせたアプリケーションを作成でき

るからだ。

ではSatellite Formsで一体、何ができるのだろうか？

③ アプリケーション作成ソフト、Satellite Forms

定型業務のPIMとの連携だけでなく、各企業、各製品に合わせたアプリケーションが簡単に作成できれば、Palmの活用度は一段とアップする。プーマテック ジャパン(株)では、Satellite Formsを導入することで、業務のさらなる向上を図っている。

① Satellite Formsとは?

Palm上のアプリケーションを簡単に構築するためのRAD (Rapid Application Development) ツール。プログラミング経験がなくとも、簡単にPalm用のアプリケーションを開発でき、またそのアプリケーション上のデータを、企業内で使われるOracle、Microsoft Access、Lotus Notesなどのデータベースと連携させることができる。アプリケーションの開発だけでなく、その後の維持・更新も簡単にできる。Palm専任の

プログラマーを配置することなく、さまざまな分野でのソリューションビジネスを迅速に展開することができる。企業にとっては実にありがたい製品だ。

ペン入力端末の欠点である文字入力のわずらわしさも、ドロップリスト、データ選択・フィルター機能、テーブルの関連付けなどを使えば、ペン・クリックだけで操作できるアプリケーションを簡単に作成できるので便利。

Satellite Formsでは、10ユーザーへのアプリケーション配布ライセンスが含まれている。これを超えるユーザー数へアプリケーションを配布するためには、別途追加ライセンスが必要となる。

Satellite Formsによる開発アプリケーション活用分野

営業支援、ルートセールス、保守サービス、点検・検査、在庫管理、資産管理、医療・看護、介護システム、アンケート調査、物流・配送など

② Satellite Formsによる使用実例

価格表

訪問先でよくある問い合わせが、口頭でいからずに見積もりが欲しいといったこと。プーマテック ジャパン(株)では、製品によって、またお客様のケースバイケースによって違う価格表を、Satellite Formsで作成し、Palmに入れて持ち歩いている。だからわざわざ会

社に戻る必要がなく、また会社に問い合わせる必要なく、すぐに対応できるのだ。

この価格表を作成したのは、マーケティング担当副社長・鈴木尚志さん。外出先から会社に帰る電車に乗っている30分ほどで作ってしまったという。

IA価格表		IA価格詳細	
25	420000 16800	定格ユーザー数	1000
50	780000 15600	定価	9800000
100	1430000 14300	1ユーザー	9800
300	3750000 12500	見積ユーザー数	1000
500	5750000 11500	定価	9800000
1000	9800000 9800	% 価格	0
2000	17000000 8500	あ(戻る)1ユーザー	0
5000	37000000 7400		
10000	65000000 6500		

こういった価格表があるだけで、訪問先での打ち合わせがスムーズに行える。簡単なものであれば、会社に帰って見積りを作成する必要はない。スクリーンショットの価格はダミーです。

価格表作者

プーマテック ジャパン(株)
マーケティング担当副社長
鈴木尚志さん



この会社に入る前まで、PDAのたくいを一切使ったことはありませんでした。実は私は以前、ノートパソコンの開発をしており、かなり早い段階から、バックパックをかついでノートパソコンを持ち歩いていたサラリーマン

の一人でした。でも打ち合わせ中や電車の中で出すことを考えた場合、どこでも簡単にらせるのはノートパソコンよりPDAだと思ったのです。

ただ会社に入った当初、Intellisyncの営業のために、企業やお店を回った際には、自分がPalmを使っていないわけにはいかないので、カバンには手帳を忍ばせながらも、Palmを使っているように見せていたんです(笑)。でも今ではすっかりPalmが手放せない生活を送っています。

以前は、Intellisyncを営業するのに、自社の製品を説明する前に「Palmとはなんぞ

や」という話をしてそのほとんどの時間を使得てしまいました。でも今ではPalmの認知度もアップし、営業がしやすくなりました。

企業へ営業して、これまでの反応とはまったく変わった出来事が、ソニー(株)の参入でした。それまでは「Palmはいつか消えてしまうのではないか?」といった不安が各企業にあったようですが、純国産のソニー(株)がCLIEを発売したことで、企業の反応もよくなりました。

今では手帳を一切使うことなく、Palmをいつも持ち歩いています。Palmなしでは今の仕事が考えられなくなっています。

売上予測表

社内で取引先の情報を共有するために作られたソフト。訪問したらすぐにそれぞれの社員がPalmで入力したデータをシンクし、更新していけば、強力な営業ツールになる。こういった業務報告をわざわざ会社に戻って作成する必要がなく、訪問先でPalmに入力

したものをシンクしてしまえば、それで簡単に業務を終わらせることができ、時間の有効活用にもなる。

この売上予測表を作成したのは、セールス担当の関口真輝さん。Satellite Formsを使って1時間程度で作ってしまったそうだ。



売上予測表
トップページ

訪問した
企業を選択

社内のサーバー
にシンクすれば
すぐにデータが
更新される

売上予測表作者

プーマテック ジャパン(株) セールス担当 関口真輝さん

元はザウルスユーザーでした。その後、Palm、Pocket PCと実際に使ってみて、一番使いやすかったのがPalm



だったんです。ですので今はPalm一筋です。自由に自分でアプリケーションを作れるのが最大の理由。特にSatellite Formsを使えば、簡単にアプリケーションが作成できます。売上予測表のほかにもSatellite Formsで料理レシピも作りました。どちらもだいたい1時間程度で作ることができました。料理レシピは業務とは一切関係ありませんが(笑) Satellite Formsがいかに便利なソフトであるかがわかっていただけたと思います。

「My Favorite Recipe」トップページ。今日は何にしようかなとレシピを探す

料理が決まったら、食材リストから買い物が必要なものを買い物リストにピックアップ。Palmを見ながら買い物すれば、買い忘れも安心!

My Favorite Recipe

4 Palmの仕掛け人

プーマテック ジャパン(株)の中でもPalm歴が長く、Palmに詳しい若色亨昌さんに、Palm導入の意義と今後の展開について、お話を伺った。

プーマテック ジャパン(株) マーケティンググループ ディレクター 若色亨昌さん



Intellisyncシリーズの導入により、個人レベルでのPalmとパソコン、さらに社内レベルでのPalmとサーバーの連携が格段に向上しました。

営業マンの多い当社において、外出先でPalmで作業したことが簡単に社内のパソコンに連携できるので、仕事の効率は大幅にアップしています。Palmで作業したことがすぐに反映されれば、社内の共有データとして

有意義に活用することもできます。またメールやPIMとの連携強化により、会社に戻らなくとも情報処理が行えるようになりました。

ただ企業ユーザーにとっては、ワードやエクセルなど、普段パソコンで使用しているアプリケーションとの連携を考えた場合には、PalmよりPocket PCのほうが便利かもしれません。根強いユーザーのいるPalmの機能向上に期待したいと思います。

最近では、Palmを個人的に使っている人は結構見かけるものの、企業で使っているのはまだまだといった印象を受けます。Intellisyncを使えばこんなに業務が便利になるということ、多くの企業にもアピールしていきたいと考えています。

モバイル・アプリケーション・プラットフォームの連携技術に力を入れている当社では、現在、個人向けのIntellisync、企業向けのIntellisync Anywhere、そしてインターネット向けの「Sync-it」と「Mind-it」を展開しています。(Sync-itは、Web上のデータを取り込んだり、シンクロナイズするための、プーマテックの次世代シンクロナイズソリューション。Mind-itは、Web上の様々な情報やコンテンツの更新状況を自動通知するサーバソフトウェア。)

個人レベルでのパソコンとの連携、次に企業向けの連携、そしてさらにはインターネットでの不特定多数の連携と、今後、シンクロナイズ技術を生かして、どんどん連携の幅を広げていきたいと考えています。

5 総論～会社に行かずに仕事ができる!

外回りの多い営業マンにとっては、できるだけ会社に戻らず仕事を済ませたいところ。しかし実際には、社内に来てメール確認のためだけに帰らなければならなかったり、今日訪問した取引先の業務報告書を作るためだけに会社に戻らなければならなかったりする。

そんな時、社内のパソコンおよびサーバーとの連携を密に行えるIntellisyncを使えば、会社に戻る必要がなくなる。外出先でメモしたことをパソコンに打ち直す必要もなく、Palmに入力したのも会社に帰ってきてパソコンにHot Syncさせる必要もなく、通信機能を使ってPalmとパソコンをシンクロナイズすれば、会社に戻らずに社内業務を処理することができる。膨大なメール処

理作業も、外出時のちょっとした時間を利用して済ませて、それをシンクさせれば社内でのパソコンでも同作業が処理されたことになる。

また社内での情報共有のためのサーバーとの連携を、外出の多い営業マンが持ち運びしやすいPalmでできれば、非常に便利だ。

プライベートでPIMを使う必要がなくても、仕事となるとそれは貴重な情報になる。過去の履歴を検索して探すといったことがPalmなら簡単にできる。会社に戻らなくてはわからない情報のために、社内に戻ったり電話をかけたりの必要もなくなるのだ。

外回りの多い営業マンにとって、会社に戻らず仕事が進められるというのは、これほど便利

なことではない。会社に行かずに済む未来型ビジネスモデルに、Intellisyncのようなデータシンクソフトと、外出の多い営業マンの情報端末としてのPalmは、欠かせないのではないだろうか。

次回はあなたの企業を訪問します!

Palm Magazine編集部では、「Palm導入企業に潜入レポート」に取材協力していただける企業・団体を募集しています。実際すでにPalmを導入をしている企業はもちろん、これから導入を検討している企業でも結構です。ぜひご連絡ください。

問い合わせ先
株式会社アスキー パームマガジン編集部
メール宛先: palm-magazine@ml.ascii.co.jp
標題(Subject)に「企業訪問」と明記のこと



Buying Advice

ちょっと気になるあの製品。
考えあぐねるあなたの背中を
Palm Magazineがそっと押しましょう。
実際に試してみた感想を
新鮮なうちにお届けします。

CONTENTS

- 59 ワイヤレスタイピング IrKB101
- 60 ATOK for Palm OS 日本語グラフィティ対応版
- 61 PaPi-Mail J Ver.2.0
- 62 Ir-Trinity



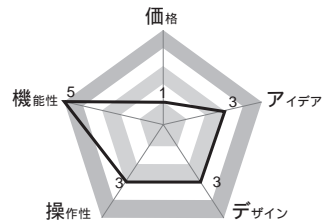
キーボードアダプター

PS/2キーボードでバリバリ入力しよう

ワイヤレスタイピング IrKB101

開発元 台湾サニックス (☎ <http://www.pdapex.com/>) 販売元 (株)日本トラステクノロジ (☎ <http://www.jtt.ne.jp/>) 対応OS Palm OS 3.5以上 対応機種 上記OSを搭載したPalmデバイス インターフェース 赤外線ポート 電源 単3形アルカリ乾電池×2 (電池寿命約1.5カ月、通常使用時) 本体サイズ 幅12×高さ2×奥行き5cm、重さ110g (電池含む)

ズバリ!
使い慣れたPS/2キーボード
で入力したい人に!



(株) 日本トラステクノロジの「IrKB101」(以下、IrKB)は、PC/AT互換機向けのPS/2キーボードをPalmの入力装置として使うためのアダプターだ。Palmの赤外線ポートとIrKBの赤外線送信口を適切な距離(最大約73cm)で向かい合わせ、Palmにインストールしたドライバーを「有効」にするだけですぐに使用できる(図)。

使用前はワイヤレスに起因する文字の取りこぼしを心配していたが、実際にはPalmが即座に反応するので、原稿用紙10枚程度(約4000字)の文章を入力した限りは1文字の取りこぼしもなかった。また、ワイヤレスの接続状態も良好で、入力中に誤ってPalmの電源を切ってしまうと、再びPalmの電源をオンにすれば引き続き入力できる。文字の連続入力に対しても、もたつき感は皆無だった。

外付けキーボードを選ぶ際に最も重要なのは、キーボードだけですべての操作が行えるかどうかだ。そしてそれはドライバーの出来に左右される。IrKBに唯一弱点がある

とすれば、それはそのドライバーだろう。PS/2キーボードに12個もあるファンクションキーにソフト起動などの機能が割り当てられない点や、「OK」や「キャンセル」などのボタンを押せないのは残念だ。単語登録、辞書引き、バックライトのオン/オフも不可。これらの点ではPalm専用のポータブルキーボードに劣るものの、「Ctrl」と「Alt」を同時に押すとメニューコマンド(コピー、貼り付けなど)が使えるのは及第点を付けられる。また、打鍵時に頻繁に行う入力モードの切り替えが半角/全角キーだけで行えるのも小さいようでいて実は大きな魅力と言えよう。

そのほかに気になる点としては、打鍵時のポジションの問題が挙げられる(写真)。Palmをクレードルに載せてポータブルキーボード風のスタイルで打鍵しようとすると、IrKBをPalmに向かい合わせて固定するための工夫が必要になる。誰でも簡単かつ確実にIrKBを固定できる補助器具の登場を望みたいところである。(八島 伸之)



図 ドライバーを起動し、「キーボード」と「有効」をタップする。最新のドライバーは開発元のホームページから無償でダウンロードできる



写真 打鍵時のポジションは比較的自由だがPalmをクレードルに載せたままだと固定位置に工夫が必要のため、このようなスタイルで入力すると楽

- ☎ オープンブライズ (☎ 8800円)
- ☎ (株)日本トラステクノロジ
- ✉ support@jtt.ne.jp
- URL <http://www.jtt.ne.jp/>

日本語入力ソフト

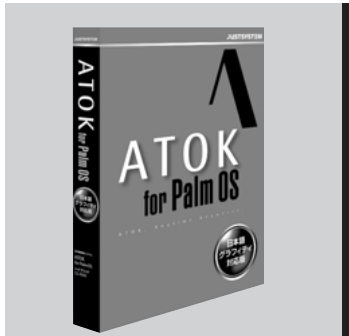
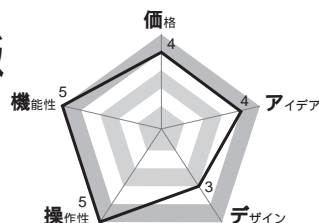
日本語入力ソフトの定番&決定版

ATOK for Palm OS日本語グラフィティ対応版

開発/販売元 (株)ジャストシステム 対応OS 日本語版Palm OS 3.1以上
必要メモリー容量 2MB以上(標準) 備考 ウィンドウズ/マック用ハイブリッドCD

*本記事はベータ版を使用して作成したものです。製品版では仕様異なる場合があります。

ズバリ!.....
快適な日本語入力を望む
すべてのPalmユーザーに



(株) ジャストシステムの日本語入力ソフト「ATOK Pocket for Palm OS」の最新版「ATOK for Palm OS日本語グラフィティ対応版」が3月8日に発売される。ソフト名から「Pocket」の文字が取り除かれており、同社のこのソフトに対する意気込みが伝わってくる。新バージョンでは定評のある連文節変換機能に加えて、グラフィティーエリアへの手書きひらがなの入力、PEG-N600C以降のCLIEに搭載されている推測変換、外部メモリーへの辞書ファイル格納(図1)などの機能を新たに搭載した。

フルインストールに必要な容量は約3.8MB。しかし、これは2種類ある日本語変換辞書ファイル(標準840KB/ラージ2.1MB)のうちラージ辞書と、カタカナ語英語辞書(800KB)の2つを本体メモリーに置いた場合だ。これら両方の辞書を外部メモリーに置けるならば、本体には約1.2MB程度の空き容量があればいい。外部メモリーが利用できない場合は、ATOK本体と標準辞書のために本体メモリーに約2MBの空き容量が必要になる。本体メモリーの節約はもちろんのこと、今後の辞書ファイルの拡充を考えても、外部メモリーへの対応は非常にうれしい機能強化だ。辞書ファイルを外部メモリーに入れた場合でも大きな速度低下は感じない。また、不要な入力パネルをインストールしない、またはインストール後に削除することによっても、わずかではあるがメモリーを節約できる。

新バージョンでの目玉機能の1つが、グラフィティーエリアにひらがなを直接入力できることだ。すでに松下電器産業(株)の「楽ひら」「極楽ひら」も同様の機能を実現しているが、ATOKでは認識したひらがなが間違っていた場合、その文字をタップ&ホールドすることで他の候補を表示できる(図2上)。ひらがな以外にも、数字、アル

ファベット、記号の手書き入力が可能だ。筆跡学習機能によって使い込むほどに認識率も上がっていく。また、前バージョンの「ATOK Pocket for Palm OS 手書き入力対応版」と同様、漢字の手書き入力もできる。この場合は、グラフィティーエリアではなく、画面上に手書き入力パネルを呼び出して入力する。前バージョンの手書き入力パネルは、入力用と候補リスト表示用の2エリア構成だったが、新ATOKでは候補表示用がなくなり、代わって手書き入力用が2エリアに増えた。変換候補は先述のタップ&ホールドによって表示できる(図2下)。ひらがなに比べて認識率の落ちる漢字の手書き入力ではより重宝する機能だろう。

もう一つの大きな強化点が推測変換機能だ。これはかな変換時に、過去の確定した変換履歴から変換候補を推定して表示するものだ。例えば、「原稿」と以前に確定したことがあれば、「g」「け」「げ」のいずれかを入力しただけで「原稿」が候補として表示される(図3)。さらに入力を続けていくと、確定履歴から変換候補が絞り込まれて表示される。この機能によって、頻繁に入力する語句は先頭の数字文字を入力するだけで変換候補が表示されるので、少ない文字入力での文章の作成が可能になる。これまでCLIEユーザーのみが使うことのできたこの機能をほかのPalmユーザーも利用できるようになったわけだ。

そのほかにも、システムのユーザー辞書を登録できるほか、定型文や顔文字を作成し保存できる「お気に入り入力パネル」や「顔文字編集ユーティリティ」などのツールも含まれている。日本語入力ソフトの導入を考えているユーザーはもちろん、既存のATOK Pocketユーザーから見ても十分乗り換えに値する仕上がりになっていると言えるだろう。(小島 始)

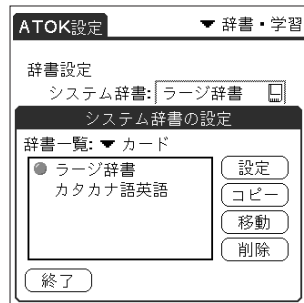


図1 日本語変換辞書を外部メモリーに格納することにより、本体メモリーの大幅な節約が可能だ。今後、辞書ファイルの拡充も期待される

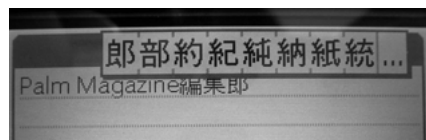
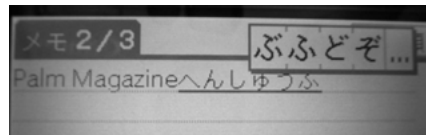


図2 ひらがな、漢字ともに手書き入力した文字を誤認識した場合、タップ&ホールドによって他の似た候補を表示できる

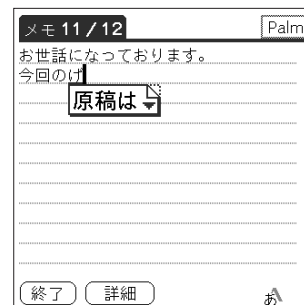


図3 推測変換機能は、数字文字入力するだけで、確定履歴から変換候補を表示してくれる。使い込むにつれて、効率的な日本語入力が可能となる

価格 6800円
3800円(ATOK登録ユーザー用バージョンアップ版)
問 (株)ジャストシステム
TEL 03-5412-3939
URL <http://www.justsystem.co.jp/>

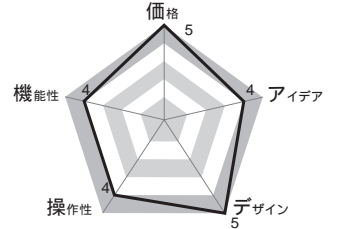
メールソフト

セキュリティ強化された簡単メーラー

PaPi-Mail J Ver.2.0

開発/販売元 システム・エンジニアリング・サービス(株) 対応OS Palm OS 3.1以上 (SSLを使用する場合は3.5以上) 必要メモリー容量 400KB以上(450KB以上推奨) 備考 カラー対応

ズバリ!.....
強固なセキュリティとシンプル
な使い心地を求めるなら!



システム・エンジニアリング・サービス(株)のPalm OS用メールソフト「PaPi-Mail」がメジャーバージョンアップし、「PaPi-Mail J Ver.2.0」となった。PaPi-MailはいくつかあるPalm用メーラーの中でも歴史のある定番ソフトだ。前バージョンまでは、通常は複雑になりがちなメールサーバーの設定がわかりやすく整理されているなど、全般的に明快で使いやすい点が特長だった。今回のバージョン2.0では、多様なメールプロトコルに対応した高機能メーラーに生まれ変わっている。

PaPi-Mailには、メールの送受信、メールの内容の読み書き整理などの基本的な機能はひと通り用意されている。さらに、Palmという特殊な環境でメールをやり取りするための工夫も凝らされている。

PaPi-Mailでメールを受信する際には、インターネットに接続し、まずメールサーバーに届いているメールの内容をリストアップする。このとき、メールのタイトル、差出人、そして本文の先頭数行だけを読み出すので、短時間で一覧表を作成できる。読み出した情報を手掛かりに、この一覧表の中からいま読みたいメールだけにチェックマークを付けてサーバーに指示を出すと、全文がPalmのメモリーにダウンロードされる(図1)。あとは回線を切って、内蔵のブラウザでゆっくりメールを読めばいい。返事をオフライン状態で書いたら、再度接続して送信だけを行う。このように、実際にインターネットに接続している時間は短時間で済むので、回線コストやバッテリー消費を抑えつつ、メールを利用できる。

また、サーバー上のメールの一覧表を作る際に、タイトルや送信者名、送信日などの指定した条件に合致したものだけをリストアップする機能も備えているので、うまく活用すればさらに時間を節約できるだ

う(図2)。リスト取得とメールのダウンロードの2段階になるのが煩雑に感じるならば、両方を一度に行うように設定もできる。

前バージョンでも、POP3、APOP、IMAP4、SMTP、そしてPOP before SMTPと、一般的なメールプロトコルにはひと通り対応していた。今回のバージョンではさらに対応プロトコルが増え、強固なセキュリティの下でメールをやり取りできるようになった。受信については、前バージョンのプロトコルに加え、SSLで暗号化されたIMAP4がサポートされているのは特筆に値する。送信についても認証付きSMTPに対応している(図3)。最近のメールサーバーは、不正利用防止のためにセキュリティが厳格になりつつあるが、そういったメール環境にも十分対応が可能となっている。なお、送信と受信をひと組みとしたメールサーバーのセット(アカウント)は8つまで登録することができる。

これだけ幅広いプロトコルに対応し、かつセキュリティも万全なメーラーは、Palm用としては他に類を見ない。サーバー設定が複雑になりそうなところを、上手にまとめて前バージョンの簡便さを維持している点も高く評価できる。

強力さとシンプルさを備えたPaPi-Mailだが、若干気になる点はある。たとえば、メールボックスはアカウントごとに用意されるのだが、フォルダ分けという概念がないのはやや物足りない。また、個々のアカウント間の連携が弱く、複数のアカウントを一度に巡回したり、ひとつのアカウントで受信したメールを別のアカウントで返信する、といったことができない点もやや中途半端に思える。そのほか、添付ファイル付きのメールから添付ファイルを取り出して利用できない点も何らかの改善を期待したいところだ。(吉沢 正敏)



図1 サーバーに届いているメールの一覧で、ダウンロード/削除/フォルダ移動(IMAP4のみ)のマークをチェックして個々のメールの扱いを決めてゆく



図2 サーバー上のメールが多くて必要なものを探すのが面倒ならば、検索機能を利用することによって条件を満たすメールのみをリストアップできる

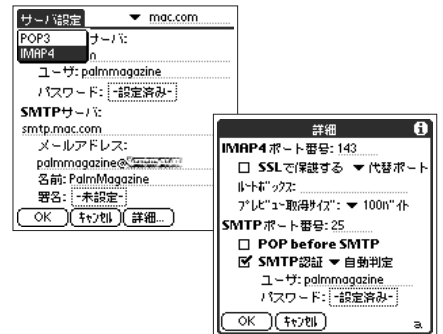


図3 標準的なサーバーであれば、サーバー設定は1画面で完結する。さらに詳細な設定が必要な場合は、「詳細」でより細かい設定を行う画面を呼び出す

3000円(ダウンロード版) 5980円(パッケージ版)
システム・エンジニアリング・サービス(株)
support@papi.ses.co.jp
http://www.papi.ses.co.jp/

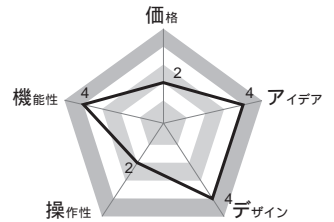
赤外線データ通信アダプター

1台で3役をこなす赤外線モデムの決定版

Ir-Trinity

開発/発売元 サン電子㈱ 対応OS Palm OS 3.5以上(モードA)、Windows98/Me/2000/XPおよびMac OS 8.6~9.2(モードB)、Windows98搭載機で動くHotSyncマネージャ3.1.0と赤外線通信できるPalm OS搭載機(モードC) 電源 単4形アルカリ乾電池×1(モードA、約3時間の連続使用が可能) USBより給電(モードC) 本体サイズ 幅33×高さ20×奥行き71mm、重さ約30g 備考 モードA、BではNTTドコモ(FOMA除く)、J-PHONE、au(cdmaOne除く)、Tu-Kaに対応

ズバリ!.....
Palmとパソコンの両方で
モバイル通信する人に



サン電子㈱の「Ir-Trinity」は、IrDAおよびUSB、携帯電話のインターフェースを搭載した多機能赤外線データ通信アダプターだ。Ir-Trinityには以下の3つの通信モードがあり、本体のスイッチにより切り替えて使用する(写真1)。

IrDA-PDCモード(モードA)

「iTAX-IrDA」(加賀電子㈱)などと同様に、デジタル携帯電話に接続してPDA用の通信アダプターとして使用できる(写真2)。

USB-PDCモード(モードB)

付属のUSBケーブルでパソコンに接続して携帯電話アダプターとして使用できる。

IrDA-USBモード(モードC)

赤外線ポートのないパソコンにIrDA機能を追加できる(写真3)。

モードA・Bでは9600bpsのデータ通信、パケット通信対応携帯電話を用いると9600/28800bpsでのパケット通信が可能だ。さらに㈱NTTドコモのドッチーモを使うと、64Kbpsでデータ通信できる*注1。

本記事では、上記の3つのモードの中からPalmデバイスを利用するモードAとモードCについて紹介する。

モードAで通信するには、あらかじめPalmの「環境設定」で「接続」と「ネットワーク」の通信設定が必要だ。「接続」の設定画面ではIr-Trinity用の設定を新規作成し、接続方法を「赤外線とモデム」に設定する。「詳細」をタップし、速度を「57600bps」、フロー制御を「自動」、コマンド欄は空白(記入されている場合は削除する)に設定する。「ネットワーク」の設定では、作成したIr-Trinity用の設定を選択するのを忘れないようにしよう。設定が完了すれば、Palmの赤外線ポートとIr-Trinityの赤外線ポートを向かい合わせ、Palmで接続操作をすることでインターネットに接続できる。通信終了後は電池の消耗を防ぐた

めに、必ずIr-TrinityのモードスイッチをモードBかCに合わせて電源を切っておこう。

モードCについては、本稿執筆時点では、Windows98上で動作するHotSyncマネージャバージョン3.1.0による赤外線HotSync機能のみサポートされている。赤外線HotSyncを行う際は、パソコン側とPalm側それぞれで設定が必要だ。パソコンでは、HotSyncマネージャの「起動/接続設定」の「ローカル」で使用するシリアルポートと速度を設定する。ポート番号はドライバーインストール時に表示されるIr-Trinityのポート番号(「コントロールパネル」の「モデム」の「検出結果」でも確認できる)に、速度は「57600bps」に設定する。Palm側では、「接続」設定で、赤外線HotSync用の設定を作成し、速度を「57600bps」、フロー制御を「自動」に設定する。これで赤外線によるHotSyncが行える*注2。将来はドライバーおよびファームウェアのアップデートにより、パソコンおよびPDAとのファイル交換、データ連携などの機能が実現される見込みだ(対応OSはWindows2000/XP、Windows98/Meの対応については未定)。

最近のモバイル通信の手段としてはCFカード型PHSが主流だが、PHSが圏外になるエリアやメールのやり取りといった用途においてはIr-Trinityがとても便利だ。また、パソコンといっしょに用いた場合は携帯電話モデムとして使用できたり、(ドライバーがリリースされれば)増設用の赤外線ポートとして利用できるなど、1台で3役使える多機能性が最大の長所だろう。(小島 始)

注1) FOMA、cdmaOne、およびドッチーモ以外のPHSでは使用不可

注2) サン電子㈱のホームページに、モードCのドライバー情報や特定環境での不具合などを修正するファームウェアのアップデーターなどがリリースされている。購入後は必ずチェックしておきたい



写真1 本体の側面にはモード切り替えスイッチと、パソコンと接続するUSBコネクタがある。モードB、CではUSB給電なので本体の電源はオフになる



写真2 モードAでの利用図。本体とPalmの赤外線ポートを10~30cmの距離をおいて向かい合わせる。本モードではドライバーのインストールは不要だ



写真3 モードCでの利用図。付属のUSBケーブルを使って本体とパソコンを接続する。限られた環境下でのHotSyncしかサポートされていないのは残念

価 1万2800円
問 サン電子㈱
TEL 0120-86-3810
URL <http://www.sun-denshi.co.jp/>

Buying Advice

書いて書いて 書きまくるのだ!

番外地

スタイラス&筆記具ジョイント「Xペンスタイラス」編

スタイラスを使っていて、ふと紙にメモを取りたくなったらどうするだろうか？ スタイラスでは紙に書けないから筆記具に持ち替えるしかない。しかし、これが実に面倒くさい。そこで、Palm使いなら誰しも経験するこの面倒くさを解消する決定的アイテムがこの「Xペンスタイラス」なのだ。

アレもコレも同時にしたい

人間は欲張りなクセに実に面倒くさがり屋である。オレもそんなヤツの一人だ。飯を食いながら本を読み、テレビを見ながら仕事をしたりする。そして、Palmを使いながらほかのことをしたくなることがある。それは「紙に書く」という行為だ。Palmは紙のメモに代わるものとしての存在もあるが、まだ紙のメモほどの簡単さには到達していない。

実際にPalmを使っていてもふせん紙などちょっとした紙のメモはなかなか手放せないものだ。そんなときに問題が発生する。紙に書くための筆記具が必要ではないか！「じゃあ、両方持つかスタイラスペンを使えばいいじゃん」……そうだ、確かにそのとおりだ。だけど、いちいち持ち替えたり切り替えたりするのが面倒なんだよぉ～という発想から生まれた（と思われる）のが、この「Xペンスタイラス」だ（写真1上）。世の中「X」が流行ですが……

Xペンスタイラスの最大の特徴は、筆記

具を2本同時に持ったその状態を維持できる点にある。そして、その切り替えを意識することなく即座に行えるのだ。

実際の製品はスタイラスではなく、スタイラスと筆記具を合体させるための器具だ。その合体したときの形が「X」型をしていることからこのネーミングになったのは容易に想像できる（写真1）。

何はともあれさっそく使ってみた。使い方は簡単。普段使っているPalmのスタイラスをXペンスタイラスに取り付けるだけだ。その時に2本の筆記具に角度を付けることでそれぞれちゃんと握れるように調整する。

調整が終わったらさっそく握り換えの実践だ。人差し指と親指を使ってXペンスタイラスのジョイント部を軸に時計回り（左利きの場合は逆）にくるりと回転させるともう一方のペンに持ち替えられる。それをもう一度繰り返すと元に戻る（写真2）。う～む、絵筆やマーカーなどで絵をかいているときに複数のペンを持つイメージに近いかな？ Xペンスタイラスの場合はそれぞれが固定されているので、持ち替えるときに落としてしまう心配がない。

便利なのか邪魔なのか

しかし、しかしだ。使っていて何かこう、煮え切らないものがある。理由はペンがX型に組み付けられているために携帯しづらいのだ。ジョイント部を緩めることで「X」型を「I」型（写真3）に変えられるが、使う前や使った後にいちいち調整するのはかなり面倒。それにI型にしたところで結構かさばるし。個人的には持ち歩くというより、自宅や職場の定位置でPalmを使うシチュエーションで便利（かもしれない）な器具と感じた。

アイデアとしては面白いけど、本体がジュラルミンの削り出しで作られているので3300円と値が張る点、装着できるスタイラスや筆記具の太さが細めに設定してあるために、赤鉛筆などの一般的な筆記具を固定できない点はとても「惜しい」と感じた。使い勝手を重視するならば、装着できる筆記具の幅は持たせてほしかったなあ。ともかく購入前には十分に検討した方がいいです。だって、あと1500円も足すと特價のPalm m100が買えてしまうんだもん。（しもけん）



写真1 構造は至って簡単。ペンとスタイラスを取り付けた姿はまさに「X」だ。角度は自由に変えられる



写真2 このように持つ。スタイラスと筆記具を持ち替えることで、Palmにも紙にも素早く書き込めるのだ



スタイラス&筆記具ジョイント「Xペンスタイラス」

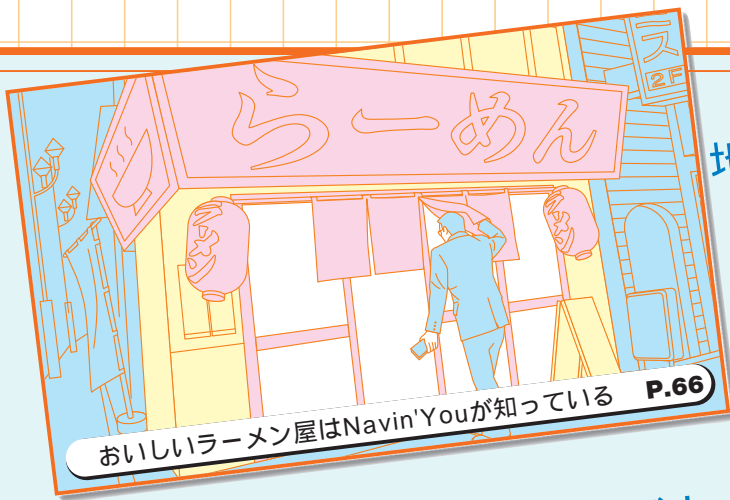
記事中の製品は、本体に㈱パイロット製のシャープ&ボールペン「スイッチ」が付属したもの。ほかに、「スイッチ」とハンドスプリング機構のVisor用スタイラスが付属したもの、本体のみの計3種類ある。

価格 プルー・デザイン 3300円

URL <http://homepage2.nifty.com/blue-design/index.htm>



写真3 携帯時には「I」型にするとのことだが、実際はかなり邪魔。書き込みもできず、Palmにも納まらず、扱いに戸惑う



おいしいラーメン屋はNavin'Youが知っている P.66

地図&GPS

特集2

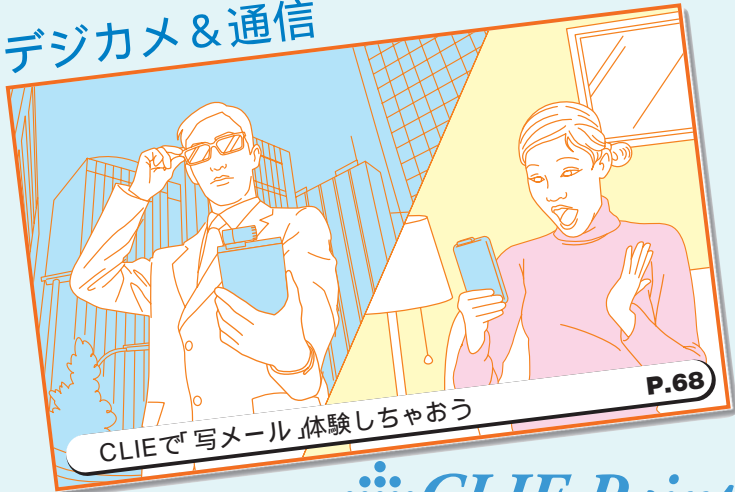
Navin'You

サウンド



目覚めはお気に入りのサウンドで P.71

デジカメ&通信



CLIEで「写メール」体験しちゃおう P.68

CLIE Paint

Sound Converter

薄くてスタイリッシュなCLIE Tシリーズ。さっそくスケジュール管理、アドレス、メモ帳と使い込んでいるだろう。もちろん、それだけでも十分「使える」のだけれど、ちょっと待って！ 地図やレタッチソフト、デジカメモジュールなど、ほかのPalmデバイスにはない豊富な付属ソフトと周辺機器がCLIEの魅力。「使える」「便利」「楽しい」と一粒で3度おいしいCLIEのある生活を紹介します。

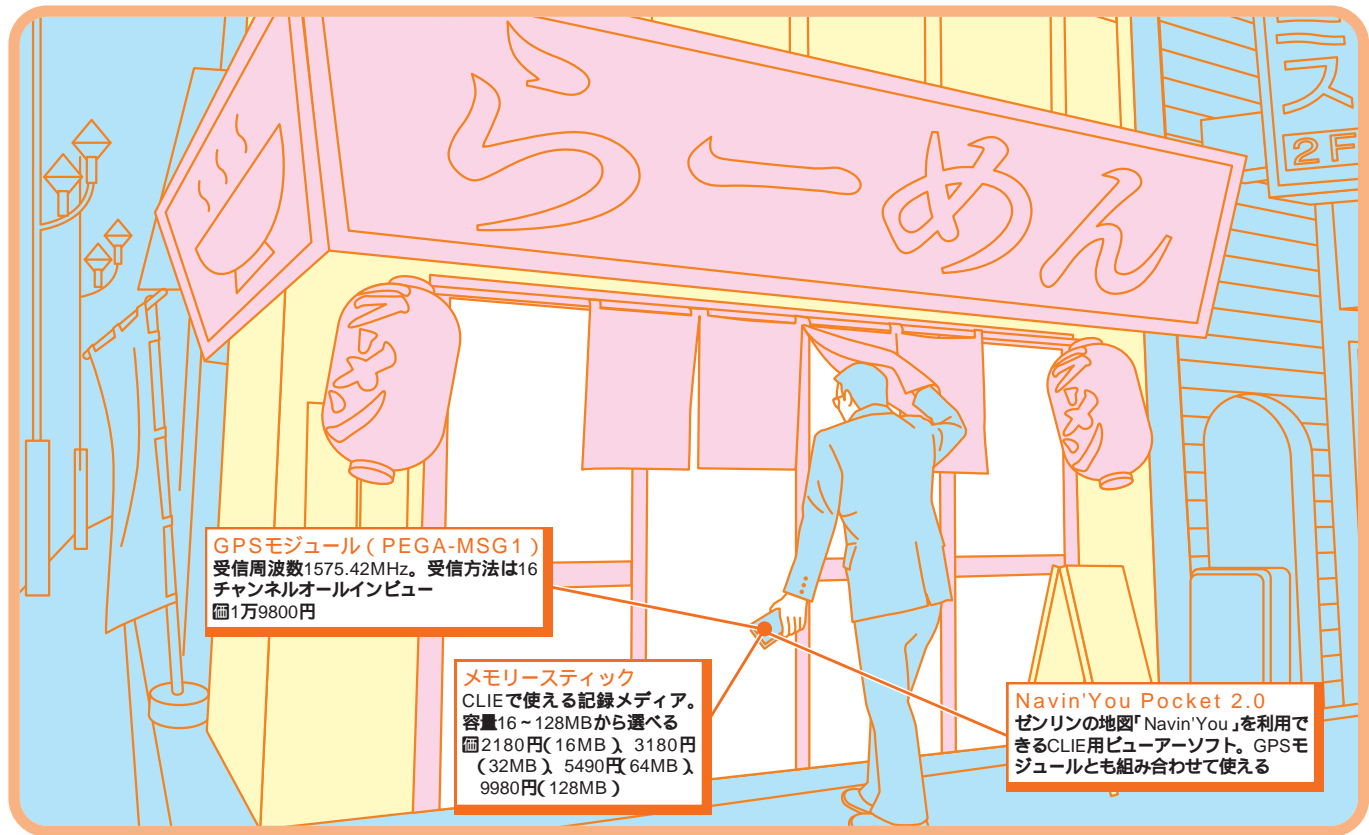


転ばぬ先のバックアップ&データ移行 P.72

持って楽しい、使って便利

CLIE Tシリーズ お楽しみマニュアル

Backup



おいしいラーメン屋は Navin'Youが知っている

CLIE付属の地図ビューアー「Navin'You Pocket 2.0」は、住所検索機能や地図上にユーザーポイントを作成できる。メモリースティックGPSモジュールと組み合わせれば、もう道に迷うこともない。

Navin'Youはこんなに便利

「Navin'You Pocket 2.0」は、CLIEで利用できる電子地図ソフトだ。地図データにはベクター地図を採用しているため、地図容量も比較的小さく、拡大/縮小も自由自在に行える。ジョグダイヤルの操作だけで縮尺の変更や上下左右へのスクロールなど、ほとんどの操作が片手だけで行えるので、片手がブリーフケースで塞がっているビジネスマンでも移動しながら地図の確認が可能だ。また、地図上にはコンビニや駐車場といった位置情報をアイコンとして表示できるので、カーナビの地図と同じく近隣にどのような施設があるかもひと目でわかる。

ところで、Navin'You Pocket 2.0の機能は地図の表示だけではない。特に、実用性が高いのは住所検索機能だ(図1)。あらか

じめ市区町村単位で住所検索データをメモリースティックに書き出せば、住所をたどっていただくだけで、その場所をピンポイントで表示できる。初めて行く場所を地図で探すのは大変だが、Navin'You Pocket 2.0なら簡単に検索できるのだ。検索した住所は、地図を画面の中心に表示したり、目的地として設定することができ、GPSモジュールと組み合わせれば、設定した目的地の方向に向かって地図を見ながら移動することも可能だ(徒歩ナビ)。

また、地図上にユーザーポイントを作成できるのも楽しみのひとつ。お気に入りのスポットをユーザーポイントとして登録しておけば、施設検索データと同じように地図をすぐに呼び出せる(図2)。また、メモリースティックを介して、パソコン用のNavin'You 5以降や対応するカーナビと相互

に位置情報を交換できるので、作成したデータはCLIE以外でも楽しめる。今後JFile用のデータのように、「おいしいラーメン屋」や「スターバックスコーヒー」などの位置情報データ集が公開されていけば、位置情報の活用がさらに進んでいくはずだ。



図1 住所検索機能は、「都道府県」「市区町村」「町名」「丁目」「番地」というようにただで利用できる



図2 ユーザーポイントにはPGP形式の画像が張ることができる。散歩中に見つけたGoodなスポットも、カメラモジュールで撮影した写真付きで登録できるのだ

地図データ切り出しのコツ

地図データはパソコン用ソフト「MapCutter Ver.2.0」で切り出し、メモリスティックにコピーする。MapCutter Ver.1.0とは異なり、データを本体メモリーに直接インストールすることができなくなったので、地図

データを切り出すにはメモリスティックが必要だ。CLIEで「MS Import」を起動し、CLIEに入れたメモリスティックをパソコンからアクセスできるようにしてから地図データの切り出しを行う。

MapCutterでは、東西約11キロメートル、南北約9キロメートルの長方形で仕切られ

たマス目(メッシュ)の単位ごとに切り出す範囲を指定しておき、検索データとともにメモリスティックに一度に書き込む。指定した範囲の切り出されるデータ容量は書き込む前に計算できるので、メモリスティックの残り容量と見比べながら切り出す範囲を選択すればいい。

「詳細版」と「全域版」どちらを選ぶべき？

MapCutter Ver.2.0には東京駅、名古屋駅、大阪駅周辺のサンプル地図しか付属しないので、Navin'You Pocketを本格的に利用するには「Navin'You専用マップ」シリーズ(株ゼンリン)の地図ディスクが必要だ。Navin'You Pocketで利用できる地図ディスクは、全国を6つに分けた地域詳細版とこれらを1枚のディスクに詰め込んだ日本全国詳細版DVD、市街地のデータを省略して1枚のCD-ROMで全国をカバーした日本全域版が発売されている。詳細版と日本全域版の違いは、地図データの縮尺と容量の差に表れる(図3、4)。市街地の詳細地図は詳細版にしか含まれていないので、街中を徒歩で散歩するには詳細版のほうが適している。

地図データの容量は、そのエリアの情報量によって大きく異なるが、東京中心部のデータ容量は詳細版が7~10MBにも及ぶのに対し、全域版では500~700KB。情報量が少ない郊外や沿岸部では、詳細版で1~3MB、全域版で400KB程度となる(図5)。

また、住所検索の精度も地図ディスクによって異なる。詳細版では~丁目~番~号まで指定して検索できるのに対し、全域版は番地までしか指定できない。その代わりデータの容量はおよそ10分の1なので、全域版ではより多くのエリアの検索データを持ち歩く

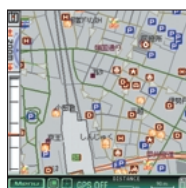


図3 日本全域版では最大でもこの縮尺までしか表示できない



図4 詳細版では高精細な市街地図をこの大きさまで拡大できる

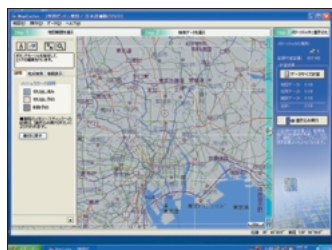


図5 詳細版をMapCutterで表示したところ。東京中心部のデータ容量が7~10MBなのに対し、郊外や沿岸部では1~3MB程度

東京周辺部の地図の切り出し容量

浦和	越谷・草加	柏	赤羽・戸田
3.7MB 560KB	3.5MB 528KB	2.9MB 464KB	7.1MB 640KB
足立・八潮	松戸	新宿・池袋	東京・上野
7.7MB 624KB	3.2MB 544KB	10.3MB 752KB	9.4MB 784KB
江戸川・船橋	渋谷・品川	江東・台場	浦安・TDL
5.5MB 592KB	9.0MB 720KB	2.4MB 480KB	976KB 400KB

地図エリア
 詳細版 日本詳細版(DVD-ROM)
 全域版 日本全域版(CD-ROM)
 容量は、64MBのメモリスティックに書き出したときのもの

住所検索データの切り出し容量

住所	詳細版(DVD)	全域版(CD)
千代田区	144KB	32KB
新宿区	544KB	64KB
八王子市	1088KB	96KB
横浜市港北区	656KB	48KB

施設検索データの切り出し容量

カテゴリー	詳細版(DVD)	全域版(CD)
レジャー情報	3.7MB	2.3MB
カー用品店	208KB	208KB
タウン情報	7.3MB	5.2MB
サービス	48KB	48KB
交通機関	1.1MB	1.1MB

ことが可能だ。なお、施設検索データは観光情報やタウン情報の一部を除けば詳細版と全域版で同じ容量である。

メモリスティックGPSモジュールを利用するときは、容量の少ない本体メモリーに地図データをコピーして利用しなければならない

ので、容量に対しては敏感にならざるを得ないだろう。バイクや自転車で広範囲を移動しながらGPSを利用するときは、広いエリアの地図でも容量が小さくて済む日本全域版を、徒歩で狭い範囲しか移動しないで測位するときは詳細版をそれぞれ利用するといい。

GPSモジュール使いこなしのワザ

今いる場所をピンポイントで地図上に表示したいなら、現在表示している地図を本体メモリーにコピーし、GPSモジュールをCLIEに装着して現在地の測位をスタートすればいい。地図の縮尺をやや縮小してからコピーすると、広範囲の地図をコピーできる。GPSの測位をスタートしたあとに地図のコピーをやり直すのは手間がかかるので、メモリー容量に余裕があるなら、測位の前になるべく広範囲の地図を本体メモリーにコピーしておくほうがいいだろう。

ところで、GPSは使い方に慣れていないうちは、なかなかうまく現在地を表示できないようだ。GPS衛星の捕捉には多くの注意事項があるので、これらを参考にしてチャレンジしてほしい。衛星を捕まえてからは、多少頭上が開けていない場所を通っても測位は継続できる。



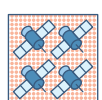
モジュールの位置は南側
 なるべく、東西と南側が開けた場所で測位する。最低でも仰角30度くらいは開けているのが望ましい。南側を向き、GPSモジュールは可動式のアンテナ部分が地面に対して水平になるように構える



干渉する機器は遠ざける
 1.5GHz帯の周波数を使う携帯電話 DoCoMoシヤフォン、J-PHONE、Tu-Ka と干渉する。ノートパソコンや電子機器(例えばシグマリオン)の中にはGPSと干渉する不要電磁波を出すものがある



頭上に邪魔のない状態で
 なるべく体から離す。特にCLIEの上からのぞき込むように構えるのは影響大。建物や街路樹、公園の樹木のそばなど、完全に頭上を覆われていなくても感度は落ちる。マンションのベランダも同じく測位には不適



衛星をキャッチするコツ
 衛星を最低3個捕まえるまではじっとして動かない(図6、7 三次元の測定では最低4個の衛星を捕捉する必要がある)
 曇りや雨の日はやや感度が落ちる



図6 GPS受信中の天空図画面。初めの測位でできるだけ多くのGPS衛星を捕捉しておこう

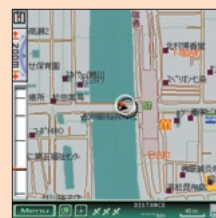
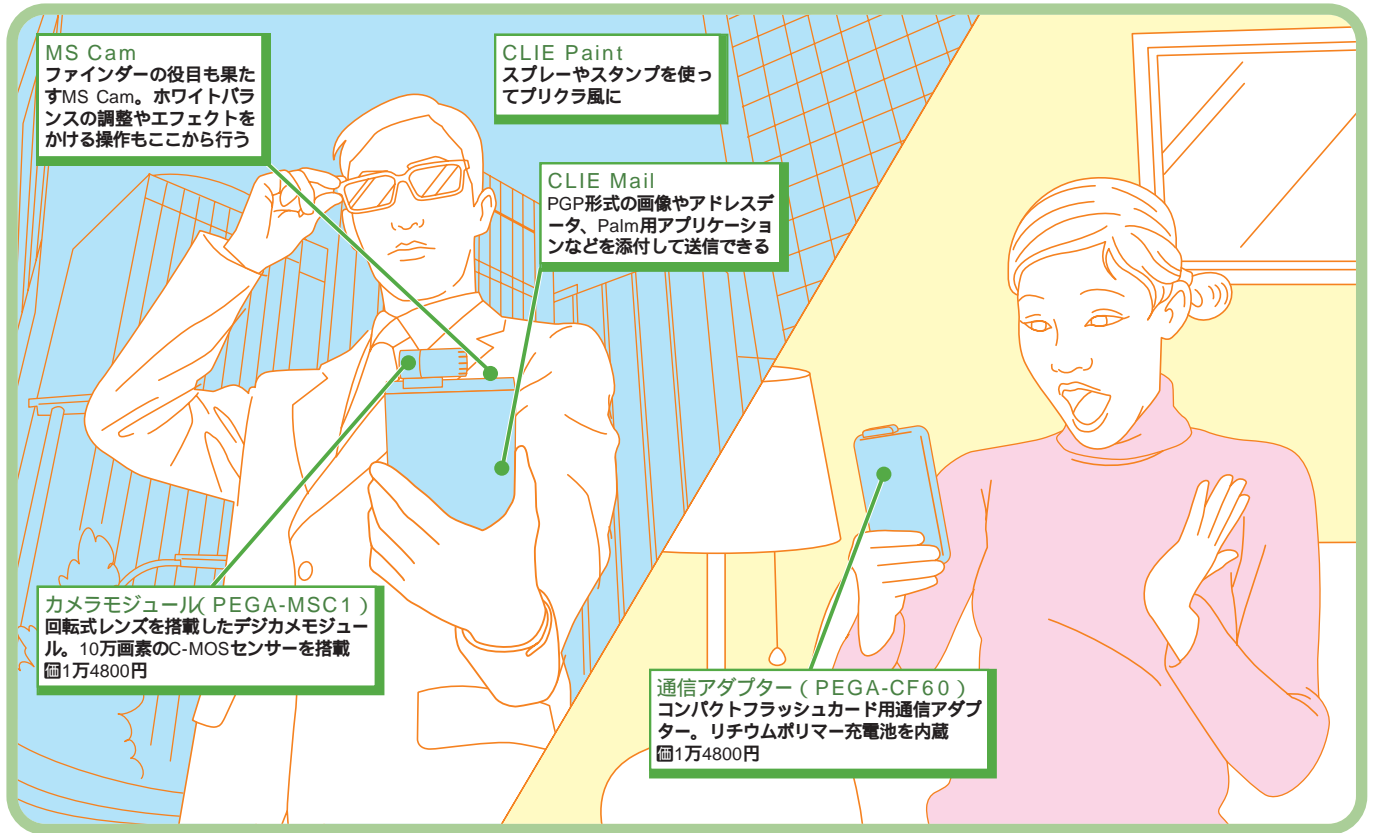


図7 3個以上のGPS衛星を捕捉すれば現在地を表示できる。また、移動しながら測位していると、進行方向の向きに矢印を表示する



MS Cam
ファインダーの役目も果たすMS Cam。ホワイトバランスの調整やエフェクトをかける操作もここから行う

CLIE Paint
スプレーやスタンプを使ってプリクラ風に

CLIE Mail
PGP形式の画像やアドレスデータ、Palm用アプリケーションなどを添付して送信できる

カメラモジュール (PEGA-MSC1)
回転式レンズを搭載したデジカメモジュール。10万画素のC-MOSセンサーを搭載
価1万4800円

通信アダプター (PEGA-CF60)
コンパクトフラッシュカード用通信アダプター。リチウムポリマー充電電池を内蔵
価1万4800円

CLIEで「写メール」体験しちゃおう

メモリースティックタイプの小型デジカメで、CLIEがデジカメに変身！ でもそれだけでは物足りないあなた。デジカメとペイントソフト、通信機能を連携させた、楽しい使い方を追求してみよう。

撮った写真を CLIE Paintでレタッチ

CLIEのカメラモジュール「PEGA-MSC1」は10万画素のC-MOSセンサーを搭載したデジカメ。撮影は専用ソフト「MS Cam」で行う。MS Camではホワイトバランスの調整や、モノトーン、セピア、ネガなどの各種エフェクトをかける機能がある。通常のデジカメに比べると画質は劣るが、CLIEと連携させれば単体のデジカメではできない楽しみ方ができる。そのひとつがレタッチソフト「CLIE Paint」との連携だ。

PEGA-MSC1で撮影した静止画は、PictureGear Pocket形式(以下、PGP形式)でCLIEの内蔵メモリーに保存されており、撮影後の画像はPictureGear PocketからCLIE Paintへコンバートして書き込みやモザイクかけ、スタンプなどで自由に飾り付けができる。例えば今日食べたおいしいも

の写真を撮り、感想を書き込んで日記にすると、あとで見たときの楽しさも倍増だ。

まず、レタッチしたい画像をPictureGear Pocketで開き、画面下の右から3番目にあるレタッチアイコンをタップ。数秒待つと画像がCLIE Paintへコンバートされる(図1)。ここで好きなレタッチを加えていく。スプレーとスタンプを使ってプリクラ風にしたり、写真にいたずら書きをしてみるなど、CLIE Paintのアイテムを駆使して楽しもう(図2)。書き込みを消したい場合は「消しゴム」を使う。この場合、写真の上に書いたものだけが消えて、写真はそのまま残る。何度でも書き直しができるから安心だ。

レタッチ後の画像は、画面左側のシート型のアイコンをタップし、「上書き保存」または、「名前をつけて保存」する(図3)。ここでもPGP形式で保存されるので、レタッチ後の画像はPictureGear Pocket上で見ることができる。



図1 CLIE Paintにコンバートされた画像を表示したところ。画面下のペイントツールを使って写真に書き込みをしていく

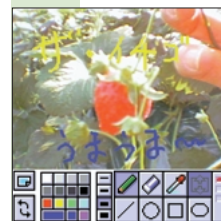


図2 フリーハンドで書き込みをしたところ。ペイントツール右側のボタンをタップすると、スタンプなど他のツールが現れる



図3 書き込みが終わった画像を保存する。上書き保存すると元の写真がなくなってしまうので注意しよう

撮った写真を パソコンで見てみよう

PEGA-MSC1で撮影した画像や、CLIE Paintでレタッチしたあとの画像をパソコン上で見てみよう。

デジカメで撮影した画像やレタッチ後の画像は、一度HotSyncなどでパソコン上にバックアップし、バックアップされたファイルをパソコンで開いて見る。ここで問題になるのがファイル形式。PGP形式は特殊なファイル形式なので、そのままパソコンで開いてみることはできないのだ。パソコンのOSによってもファイルを開く方法が違うので、その方法を簡単に解説しよう。

フォトショップが使えるプラグイン

マックの場合、フォトレタッチソフト「アドビ フォトショップ」「同フォトショップ LE」「同フォトショップ エレメンツ」のユーザーは、「PictureGear Plug-in」を使えばフォトショップ上でPGP形式の画像を閲覧・編集できる。PictureGear Plug-inをフォトショップのプラグインフォルダーに入れてから起動し、PGP形式の画像ファイルを開こう。フォトショップを使えばほかの画像形式への変換も可能なので、JPEGやPICTなどの一般的な画像形式に変換し、友人に渡すこともできる。

PictureGear Plug-in

作者 福本修二

種別 シェアウェア(12USドル)

<http://www.umap.net/MacPalm/index-J.html>

CLIE Mailで写真を送受信

T600C付属の「CLIE Mail」にはPGP形式の画像、アドレスやメモのデータ、Palm用アプリケーションやデータを添付して送信および受信する機能がある。撮った写真は内蔵メモリーにたまってメモリー残量を圧迫していく。大容量のメモリースティックなどがない場合は、CLIE Mailで自分のパ

画像を添付してメールで送信

メールを作成したら「添付」をタップ。すると添付ファイルを選択する画面が現れる。「PG Pocket」を選ぶとPGP形式のファイルがリストアップされる(図7)。右下の四角いアイコンをタップし、PictureGear Pocket画面から画像を見ながらファイルを選ぶこともできる。添

ウィンドウズの場合

ウィンドウズの場合は、CLIEシリーズに付属する「PictureGear」で画像を見られる。デジカメで撮影した画像は「Program Files」フォルダーの「Sony PDA」にあるユーザー名の付いたフォルダーの中の「Backup」にあるので、PictureGearでBackupフォルダーを開いてみよう(図4)。するとPGP形式の画像がサムネール表示される。各画像をダブルクリックするとおのおのの画像を見ることができる。ここでJPEGやBMP形式などへ画像形式を変換して保存すれば(図5)、画像をWebページで公開したり、友人にメールで送ることも可能だ。

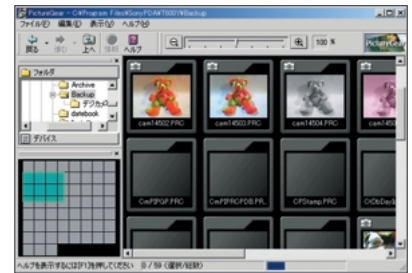


図4 PictureGearでBackupフォルダーを開いたところ。枠に画像が表示されているのがPGP形式の画像ファイル

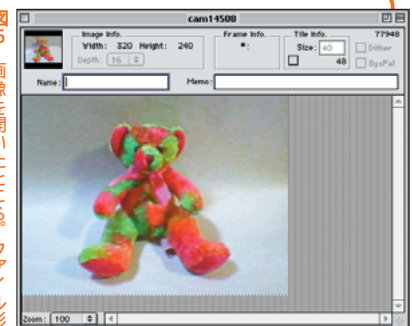


図5 PictureGearでPGP形式の画像を開いたところ。画像形式を変えて保存することもできる

マックの場合

マックの場合は、「PGConverter」というソフトでPGP形式画像が閲覧できる。画像は「Palm」フォルダーの「ユーザ」にあるユーザー名の付いたフォルダーの中の「バックアップ」フォルダーにある。「cam*****.prc」(*****は数字)という名前のファイルがデジカメで撮った写真だ。レタッチした画像は、保存するときには付けたファイル名で探そう。画像を見るにはPGConverterを起動し、「File」の「Open」でバックアップフォルダーの中のファイルを開けばいい。しかし、残念ながらPGP以外のファイル形式への変換はできないので、閲覧のみとなる(図6)。

図6 画像を開いたところ。ファイル形式を変えて保存できないため閲覧のみ



PGConverter

作者 福本修二

種別 試用版

<http://www.umap.net/MacPalm/index-J.html>

ソコン宛てに写真を貼付したメールを送り、送った画像をCLIEから消してまた写真を撮ることも可能だ。自宅の家族に旅先の様子を送信したり、Palmユーザーの友達に写真を送るのもいい。

CLIE Mailを起動し、「オプション」メニューの「アカウントの設定」を開いてメールアドレスやメールサーバーの設定を行う。アカウントの設定が終了したら、送信サ

ーバーに設定したアカウントの編集画面を開き、「詳細」でさらに必要な設定をする。「APOP」対応のプロバイダーを使っている場合はここにチェックを、セキュリティ強化のために送信前にPOP認証が必要なプロバイダーを使用している場合は「送信前に認証」にチェックを入れよう。さらに、「オプション」メニューの「署名設定」でメールの最後に付ける署名も設定しよう。

付したいファイルが複数ある場合は、同じ操作を繰り返す。添付ファイル欄にリストアップされたファイルが、このメールに添付されて送信されるファイルだ。ファイルを選択したら、通常通りにメールを送信するだけ。複数メールをいっぺんに送信したい場合は、一度メールを下書きフォルダーに保存し、あとでまとめて送信しよう。



図7 添付ファイルの追加画面で添付したい画像を選択する

通信アダプター使いこなし

PHSカードの設定

通信アダプター(PEGA-CF60)は、コンパクトフラッシュ(以下、CF)型のPHSカードや56KモデムカードをCLIEで利用するためのアダプターだ。㈱八ギワラシスコムのPHSカード用製品とは異なり、いくつかのカード専用の設定がカード内に記録されていないので、利用するカードに必要な設定を行う必要がある。

「Net設定」や「環境設定」の「ネットワーク」(図1)では、「接続」から「通信アダプター」を選択する。これ以外の設定を選択すると正常に通信できない。また、実際に利用する通信方式に合わせて、電話番号の末尾にコマンドを追加入力する必要がある点にも注意しよう。動作確認が取れている通信カードで必要となるコマンドを別表(表1)にまとめたので、設定時に参考にしてほしい。

なお、「P-in m@ster」(㈱NTTドコモ)は別売りの「カード接続ケーブルS3 for 携帯

電話/ドッチーモ」を利用すれば、㈱NTTドコモの携帯電話とも接続することが可能だ。通信アダプターのほかに「モバイルコミュニケーションアダプター(PEGA-MA15)」を別途購入せずに携帯電話を接続できる。

非対応カードは使えるの？

通信アダプターで動作確認が取れているのは、PHSカード5機種、56Kモデムカード2機種の計7製品である。そこで、それ以外のシリアル系のモデム通信カードで動作するものがないか検証を行ったので紹介しよう。

結果は表2の通りで、動作確認が取れていない通信カードがまったく動作しないということではなく、松下電器産業㈱のDoPa対応PDCモデムカード(TO-CAD9628CF)や、㈱アイ・オー・データ機器のマルチキャリアデータ通信カード(CFDC-9664P)の一部のモードでは、動作確認が取れているカードと同じ設定方法で動くことが確認された。逆に、㈱NTTドコモの「バルディオ611S」



図1 「環境設定」の「ネットワーク」の設定。ダイヤルアップ接続の設定時は、接続が「通信アダプター」であること、電話番号の末尾に追加コマンドを付加することの2つがチェックポイント。「Net設定」で接続設定を行うときもこれは同じである

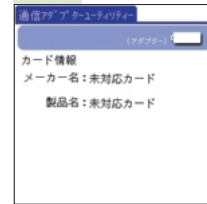


図2 「通信adp」で「未対応カード」と表示されるカードは動作しない

やTDK㈱の携帯電話モデムカードは「通信adp」では認識できるものの、動作は確認できなかった。このように、CF型通信カードならすべての製品が動作するというのではないので、非対応のCF通信カードを使用する際には注意が必要だ。

なお、ここで動作OKとしている製品も、実際に利用するときは自己責任のもとで行ってほしい。ちなみに、有線LAN/無線LANカードは通信adpで「未対応カード」と表示され動作しなかった。

利用する通信方式	AirH TM Card petit RH2000P	AirH TM Card petit CFE-02	C@rd H TM petit CFE-01	P-in Comp@ct	P-in m@ster
フレックスチェンジ方式 64/32Kbps	##7	-	-	-	-
32k/パケット方式 32Kbps	##61	##61	-	-	-
PIAFS 2.1 64Kbps	##4	##4	##4	-	-
PIAFS 2.0 64Kbps	-	-	-	#64	#64
PIAFS 1.0 32Kbps	##3	##3	##3	#32	#32
携帯電話データ通信(9600bps)	-	-	-	-	#9600

表1 対応する通信方式と電話番号末尾に追加するコマンド 別途、「カード接続ケーブルS3 for 携帯電話/ドッチーモ」と対応するNTTドコモの携帯電話が必要

メーカー	CF型通信カード	種別	通信adpでの認識	通常設定での動作	Script使用時の動作
㈱NTTドコモ	P-in memory	PHSカード		x	
	バルディオ 611S			x	
TDK㈱	DP96CF	携帯電話(PDC)モデムカード		x	x
パナソニック	TO-CAD9628CF				-
㈱アイ・オー・データ機器	CFDC-9664P(PDCモード)	マルチキャリアモデムカード			-
	CFDC-9664P(Hモード)				-
	CFDC-9664P(PHSモード)			x	

表2 非対応カードの動作状況。ほとんどのモデム通信カードは、通信adpでは正常に機器認識される。しかし、カードによって正常に接続できるものと、できないものがあるようだ。なお、一番右の列のスクリプト作成時の動作については75ページを参照のこと

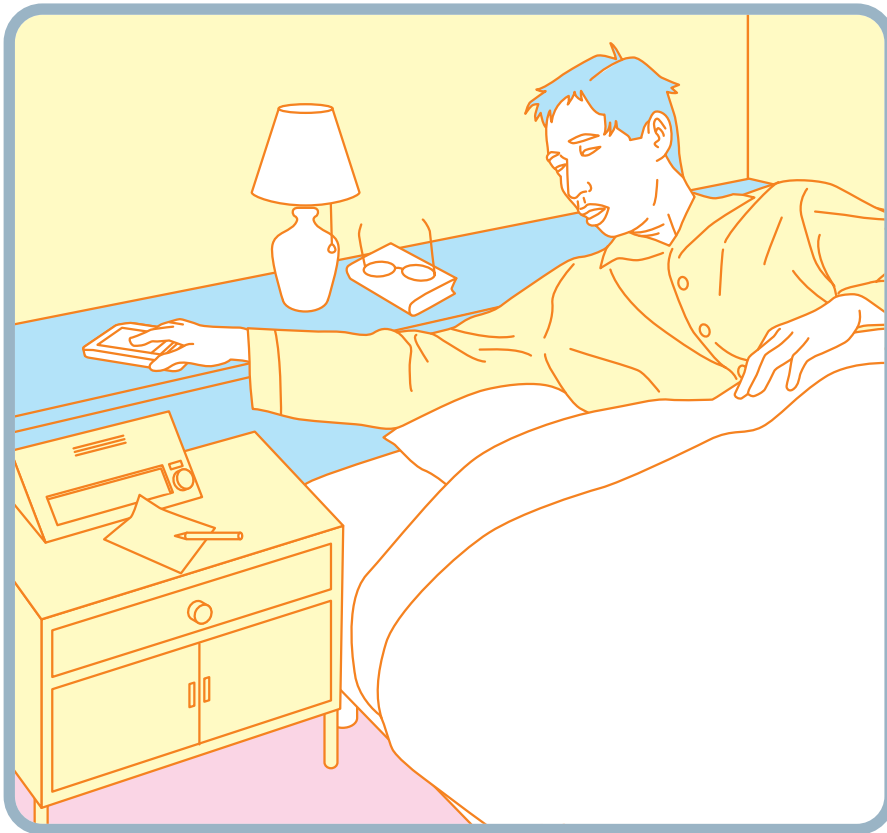
バッテリーはどのくらい持つ？

PEGE-CF60は、Palmデバイス用通信アダプターとしては初めてリチウムポリマー充電電池を内蔵しており、本体へのバッテリー供給源としても使える強者だ。そこで、連続して通信を行った場合、何時間使用できるか通信カード別に実測してみた。今回行った実験は、Webブラウザー「Xiino」のキャッシュを最小として、2つの実験用Webサイトを自動リロードで交互に読み込むというもの。常にデータがやり取りされている状態なので、通信実験としてはもっとも過

酷な条件だ。実測を行ったのは、定額料金で常時接続ができる「Air HTM C@rd petit」(TDK㈱製「RH2000」、NECインフロンティア㈱製「CFE-02」の2種類)。通信モードは32Kパケット通信で実験を行った。

結果は、RH2000で連続約4時間5分、対して低消費電力がウリのCFE-02では、CLIE本体のバックライトをオフにしてテストしたにもかかわらず、約7時間で本体側のバッテリーが切れてテスト終了という結果になった。この状態でも通信アダプター側のバッテリーは残っていた

ため、RH2000の約2倍は動作すると予想される。同一条件で行ったm505用通信アダプター「HPD-PMCP」(㈱八ギワラシスコム/アルカリ単4乾電池2本使用)でのRH2000のテスト結果が約2時間強だったことを考えると、Tシリーズ用通信アダプターは驚異的なバッテリー寿命を持っている。また、使用経験上「P-in M@ster」で64K通信を行った場合もRH2000の2倍弱の動作時間を持つ。1日30分メールの送受信などで通信すると仮定すると、単純計算でもRH2000で8日間、CFE-02で14日間以上持つ計算だ。



目覚めはお気に入りのサウンドで

いままでもPalmを目覚まし時計代わりに使うアイデアはあったが、悲しいかなピープ音しか鳴らなかった。Tシリーズではなんと16階調の美しいサウンドが奏でられる。これで朝の目覚めもさわやかだ。

好みのサウンドをCLIEに取り込もう

CLIE Tシリーズには、ヤマハ㈱製の音源チップが搭載されている。携帯電話の美しい着信メロディーでおなじみの音源だ。16和音のサウンドで鳴らすことができる。

このサウンドは、CLIE付属の「Sound Converter」でCLIE用に変換してからHotSyncでT600Cに入れる。変換できるのは、Standard MIDI File(SMF)のフォーマット0形式のMIDIファイルと、サンプリング周波数が8/22KHz、ビットレートが8/16ビットのWAVEファイル(ステレオ/モノラル)で、どちらも64KB弱の容量以下である必要がある。

なお、Webサイトで多く配布されている

SMFフォーマット1形式のMIDIファイルは、そのままではSoundConverterで変換できない。ExSMFなどのツールでフォーマット0形式への変換を先に行っておこう。

T600Cにインストールしたサウンドは、ゲームなどアラームサウンドを利用するソフトでもそのまま利用できる。例えばパズルゲームの「Qubix 320 × 320」はハイレゾカラー液晶とTシリーズの音源に対応している(図)。また、㈱ハギワラシスCOMのVisorシリーズ用音源モジュール「BeatPlus」に対応したソフトなら、そのまま豊かなサウンドを鳴らすことが可能だ。

世界時計の「World Alarm Clock」では、アラームごとに異なるサウンドを指定できる。パイブレーションやLEDのサイレントアラームの有無、再生時間、再生回数もア

ExSMF

作者 MISO

種別 フリーウェア

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/art/se071581.html>

Qubix 320 × 320

作者 米アイコン・コンサルティング社

種別 シェアウェア(12.95USドル)

<http://www.pdatreasures.com/>

McMIDI

作者 今関弘明

種別 フリーウェア

<http://www.jade.dti.ne.jp/~imazeki/palm/>

McFile

作者 今関弘明

種別 シェアウェア(1500円)

<http://www.jade.dti.ne.jp/~imazeki/palm/>

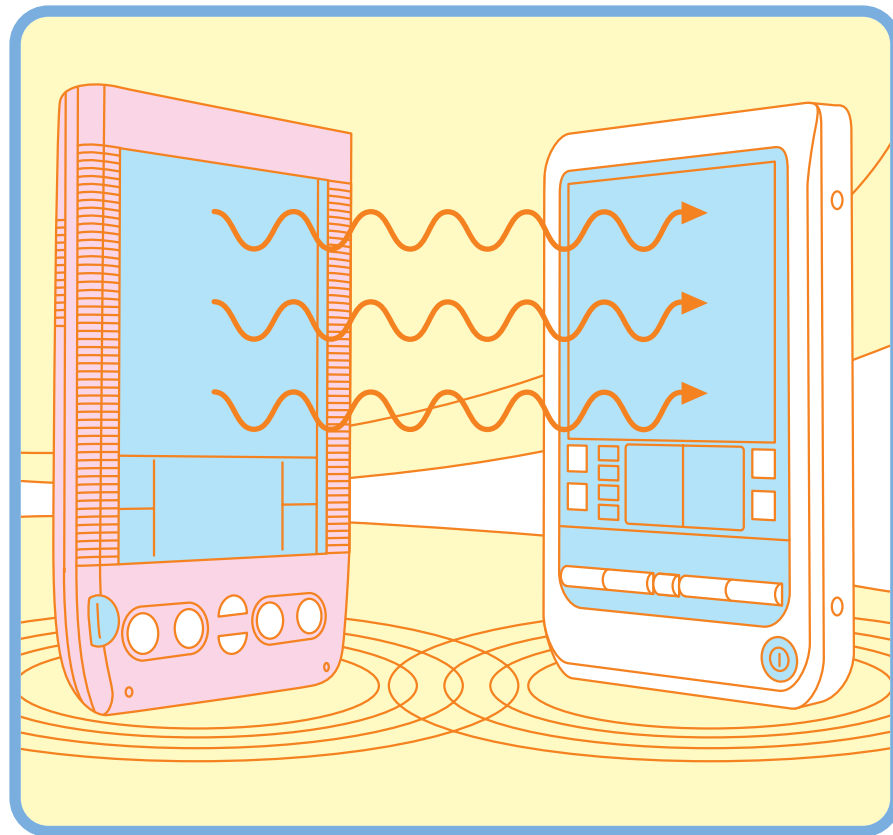
ラームごとに設定可能だ。最大で10回までサウンドの再生を繰り返したりできるので、目覚まし時計のアラームとして十分利用可能だ。なお、World Clock Alarmは、設定していたアラームがソフトリセット後に無効になる不具合が見つかったためアップデートされている。(<http://www.nccl.sony.co.jp/download/C-W006-004-01/index.html>)

標準アプリケーションの「予定表」は、スケジュールにアラームを設定できる。ただし、項目ごとに異なるアラームを指定することはできず1種類のみ設定可能だ。置き換えソフトの「Action Names」なら、スケジュールの項目ごとに異なるアラームサウンドを指定できる。

「McFile」と「McMIDI」は、メモリースティック上に保存してあるMIDIファイルをそのまま再生できる。再生できるのはSound Converterが対応している形式と同じものだけだが、MIDIファイルをメモリーカードにたくさん保存したまま再生できるのだ。



図 敵を避けながらピラミッドのすべてのブロックにペンを塗りまくるゲーム



「Visor Deluxe」から T600Cへ移行する際の 注意点

- ✓これまでVisor Deluxeで使用していたファームウェアがOS 4.1でもそのまま動作するか
- ✓カラー対応、ハイレゾ対応しているか
- ✓カラー専用バージョン、またはハイレゾ専用バージョンを使用する必要があるかどうか
- ✓ジョグダイヤル対応版など、CLIE用に新機能が追加されたバージョンがあるかどうか
- ✓バージョンアップが必要な場合、いままで使用していたバージョンとデータの互換性があるかどうか

転ばぬ先の バックアップ&データ移行

旧機種からT600Cへの乗り換え方法と注意点を解説しよう。ここでは特徴的なモデルケースとして「Visor Deluxe」と、同じCLIEシリーズの「N700C」からの乗り換えを実例としてチョイスした。データ移行の参考にしてほしい。

Visor Deluxe

Palm OS 3.1を搭載したスクルトンボディーを持つモノクロマシン。搭載OSのバージョンが古くモノクロため、最新バージョンのOS 4.1を搭載するCLIE T600Cへデータを移行するには、少々コツがいる。また、シリアルポートに装着するタイプの周辺機器はT600Cへは流用できない

一口メモ

乗り換え準備編 その1 クリエTシリーズとの違いを把握する

Visor Deluxeからの 乗り換えの場合

「Visor Deluxe」の場合、T600Cとは以下のようなたくさんの違いがある。

【OSの違い】Visor DeluxeはOS 3.1、T600CはOS 4.1

【液晶の違い】Visor Deluxeは解像度160×160ピクセルのモノクロ液晶、T600Cは解像度320×320ピクセルのカラー液晶

【その他の違い】シリアルポートや拡張スロットの形状や仕様が異なる

は外観からみて明らかだが、いままで

使用していたスプリングボードモジュールやキーボード、通信アダプターなどの周辺機器は流用することができない。

と に関しては、特に自分であとからインストールしたファームウェアの互換性に注意する必要がある。Visor Deluxeでは動いていたものがT600Cでは動作しない可能性や、同一のソフトでもカラー専用・ハイレゾ専用などの対応ソフトを使用しなければいけない可能性があるからだ。右図のチェック項目に注意して互換性を確認しておこう。このほか、DAを使用していた場合、特にOS 4.x以降では動作しないものが多いため要注意だ。これら注意点はどの機

種からのデータ移行でも共通するものがある。他機種からT600Cへの乗り換えの場合も参考にしてほしい。

N700Cからの 乗り換えの場合

N700Cからの乗り換えの場合、ソフトウェアの互換性についてはほとんど問題がないと考えられるが、シリアルポートの形状が変更されたため、シリアルポートに接続する周辺機器は流用できないので注意しよう。また、N700Cにアップデートを当てている場合、データ移行時にこれらのアップデートの扱いに注意が必要になる。

乗り換え準備編 その2 データをバックアップしよう

HotSyncでデータを移行する場合

機種を問わずデータ移行を行えるのがこの方法だ。Visor Deluxeから乗り換えるときもこの方法でデータを移行しよう。ただし、通常のHotSyncではすでにPalmから消去した使わないPalmウェアやデータまで移行されるので、「Easy Backup」というソフトを使って、以下の方法でフルバックアップをとる。

「Easy Backup」をこれまで使用していたPalmデバイスにインストールするパソコン上のこれまでのバックアップデータをほかの場所へ待避させる

これまでのHotSyncでとられたバックアップデータには、すでにPalm上から消したのものも含まれる。そこで、最新のバックアップをとるために、いままでのバックアップデータを別な場所に移動しておく必要がある。バックアップデータはハードディスクの特定の場所にあるので、フォルダごと別の場所(古いデータがまったく必要ない場合はゴミ箱でもいい)に移動しておこう。なお、ウィンドウズの場合は「Backup」フォルダを、マックの場合は「バックアップ」フォルダをPalm Desktopの入った場所とは別の場所へ移動させる(図1、2)。なお、ウィンドウズの場合、ユーザー名が長いと後半が省略されている場合があるので要注意だ。

Easy Backupを起動して、「準備」をタップし、準備が完了したらHotSyncを行う

Easy Backupの準備作業は、Palm上のすべてのアプリケーションやデータのバックアップビット(コラム参照)をオンにする作業である。この作業のあとHotSyncを行うと、現状のPalmの中身がそのまままるごとバックアップされる。HotSyncが終わ

ウィンドウズの場合

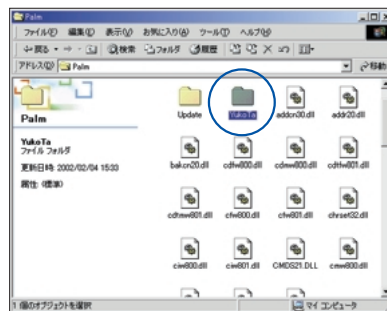
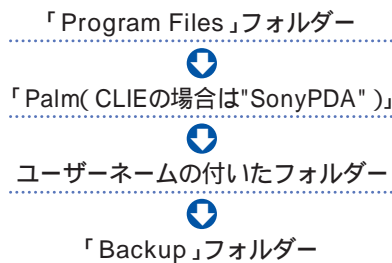


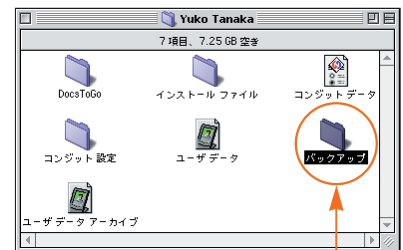
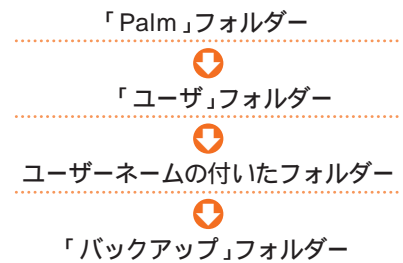
図1 ウィンドウズの場合は、ユーザーデータの入ったフォルダをまるごと他の場所に待避させる

Easy Backup

作者 FocV Project
 種別 メールウェア
<http://www.shin.nu/~FocV/>

ったら、先ほど古いバックアップデータを取り除いた場所に、新しいバックアップデータができてははずだ。これが、最新状態のバックアップデータである。あとでこのバックアップデータを乗り換え後のマシンに移すので、圧縮するなどして大事に保

マックの場合



このフォルダを他の場所に移す

図2 マックの場合は、「バックアップ」フォルダのみほかの場所に待避させる

バックアップビットって何?

バックアップビットとは、HotSyncのときに、パソコンにバックアップをとるかどうかを判断する目印。バックアップビットがオンならばパソコンにバックアップがとられ、オフだとバックアップされない。標準アプリケーションに関してはバックアップビットがすべてオンになっているが、ほかのPalmウェアの場合この設定がまちまちなので、HotSyncでバックアップされるものとそうでないものが出てくる。

上記のデータバックアップで使用した「Easy Backup」は、通常のバックアップビットのオン/オフ状態をあらかじめ覚えておき、「準備」ボタンをタップすることで、バックアッ



図3 Easy Backupで「準備」をタップ。すると、Palmウェアのバックアップビットがオンになる



図4 この画面になったら準備は完了。このあとHotSyncをするとフルバックアップがとれる



図5 このまま、今まで使っていたマシンもT600Cと併用したい場合は「復元」をしておこう

ビットをすべてオンにするソフト。ここで説明したバックアップ方法は、普段のフルバックアップにも応用できる方法なので、ぜひ活用してほしい。

ただし、このままでは次回からのHotSyncに時間がかかりすぎるため、Easy Backupには「復元」でバックアップビットの状態を元に戻すという機能が付いている。

乗り換え実行編 T600Cへデータ移行をする

HotSyncでデータ移行を実行

いよいよデータの移行だ。ウィンドウズとマックでは、それぞれ手順が違うが、ポイントは、Palm Desktopを新しいバージョンに入れ直す、「バックアップ」フォルダーから、互換性に問題があるソフトとデ

ータを取り除く、(なるべくなら)以前使用していたものと同じユーザーネームに設定してからHotSyncするの3点だ。

特に、旧機種から新しいT600Cへ完全に乗り換える場合は、T600Cユーザーネームは、以前使用していたものと同じユーザーネームにすることをお勧めする。別のユー

ザーネームにした場合、今までにせっかくユーザー登録したシェアウェアが使えなくなる可能性があるからだ。

これでデータの移行は完了である。互換性がないパームウェアについては、あらためて対応するバージョンをインストールし直すことをお勧めする。

ウィンドウズの場合

ウィンドウズの場合は、これまで使用していた「Palm Desktop」をアンインストールしてから、T600C付属のPalm Desktopソフトウェアをインストールしよう。

このとき、アンインストール後に残った「Palmフォルダ」に上書きするかたちでインストールを行う。

N700CなどCLIEシリーズからの乗り換えの場合も、Palm Desktopソフトウェアがバージョンアップしているので、Palm Desktopを上書きインストールする。ただし、長い間使っていた旧Palm Desktopはファイルが破損している可能性があるため、そのまま上書きインストールするとトラブルが発生する確率が高い。少し手順は複雑になるが、右上の手順で上書きインストールを行うと比較的トラブルが少なくて済む。

旧Palm Desktopをアンインストール
旧Palm Desktopの再インストール
新Palm Desktopの上書きインストール

旧Palm Desktopのアンインストールを行っても「ユーザ」フォルダーのデータはそのまま残るが、もしものトラブルに備えて、念のためユーザーネームの付いたフォルダーは、ほかの場所にバックアップをとっておこう。

Palm Desktopソフトウェアの再インストールが終了したら、バックアップコンジットの設定を「バックアップから復元」にして、以前使用していたPalmデバイスと同じユーザーネームでHotSyncしよう。

この最初のHotSyncの前に、互換性に問題のありそうなソフトやそれに関するデータは、あらかじめ「Backup」フォルダーの中から取り除いておこう。

これでデータの移行が完了だ。続けてパームウェアをインストールしよう。

マックの場合

Palm Desktopの再インストールは必要ない。「バックアップ」フォルダーから、互換性に問題があるソフトとデータをのぞき、バックアップコンジットの設定を「バックアップから復元」にして、旧機種と同じユーザーネームでHotSyncする。Palm Desktop 2.6.2、同2.6.3を使用している場合、T600Cは「MissingSync (米スペース・ソフトウェア社)や「CINGO」(CLIE Users Club!)などのUSBドライバーを使わずにマックとHotSyncが可能だ。

PalmDesktop 2.6.3日本語版(マック版)

作者 パーム コンピューティング(株)

種別 フリーウェア

http://www.palm-japan.com/support/macintosh/mac_desktop.html

メモリスティックでデータ移行

CLIEシリーズ同士でのデータ移行では、メモリスティックを使う方法もある。

メモリスティックへ旧機種のデータをフルバックアップする

旧CLIEにメモリスティックを差し「MS Gate」を起動。メモリスティックに十分な空き容量があることを確認してから本体の内容を表示し、「すべて選択」でアプリケーションとデータを選択。「コピー」をタップするとメモリスティックへバックアップが開始される。この間メモリスティックは抜かないように(図1)。

旧機種のユーザーフォルダーからバックアップデータのファイル(73ページ参照)を外し、T600Cを旧機種と同じユーザーネームでHotSync

これは、メモやアドレスデータなど標準

アプリケーションのデータを移動する作業だ。このとき、T600Cに旧機種と同じユーザーネームが付く。

旧機種のデータをバックアップしたメモリスティックからT600Cへデータを移す次に、メモリスティックをT600Cへ差し「MS Gate」を起動し、カード内容を表示してT600Cへ移動するアプリケーションとそのデータを選択。ここで、互換性に問題があるソフトや、「preferences」と名前の付いたものは移動させない。ただし、事前調査をしても思わぬファイルが問題を起こす可能性もあるので、ファイルの移動は慎重に行おう。「コピー」をタップすると本体へファイルコピーされる(図2)。「選択したファイルがコピー先にすでに存在しています。上書きしますか?」と質問をされたらすべてキャンセル。ファイルのコピー後は、本体が正常に動作するか確かめよう。あとはパームウェアを新規インストールす

れば環境移行は完了である。

パソコンのない環境でデータ移行するには を省略し、 の手順でAddressDB、DatebookDB、MemoDB、ToDoDBだけメモリスティックから本体へ上書きするかたちでコピーしたり、赤外線通信でデータ移動する。ただし、その後パソコンとHotSyncするときはバックアップファイルを外してからHotSyncしよう(旧機種と別のユーザーネームを付ける場合は、バックアップファイルを外す必要はない)。

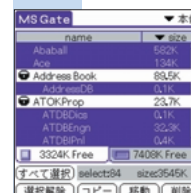


図1 旧機種で「MS Gate」を起動し、「コピー」をタップして本体側のすべてのファイルをメモリスティックにコピーする

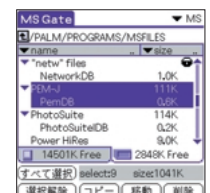


図2 T600Cに先ほどのメモリスティックを差し、MS Gateでメモリスティック側から本体にデータをコピー

Q マックで地図データの切り出しやアラームサウンドの変換を行うには？

Navin'You Pocketで閲覧する地図データやアラームサウンドを変換するソフトウェアはウィンドウズ用しか存在しない。

マック上でこれらのデータを変換するには、「Virtual PC」(樹アスキー)を利用しよう。Virtual PC 4.0以降なら、CLIE TシリーズのUSBドライバーも問題なく動作するので、Virtual PC上のウィンドウズOSに「MapCutter」と「Sound Converter」をインストールしてデータを変換すればいい(図1)。

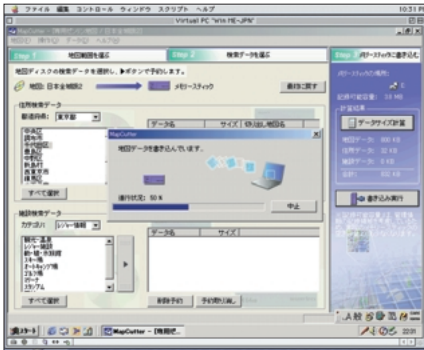


図1 Virtual PC 4.0なら、メモリスティックへのコピーも問題なくできる

Q P-in m@sterなら電話もできる？

Voiceアダプターとイヤホン付きマイクを接続すれば、パソコンから電話をかけられる。CLIEと通信アダプターでも「P-in Call DA」を使えば可能だ。「Addr.J」と併用すれば、表示アドレスの電話番号に電話をかけられる。ただし、かかってきた電話には出られない。

Addr.J / P-in CALL DA

作者 渡辺美樹

種別 フリーウェア

URL <http://www03.u-page.so-net.ne.jp/ra2/yoshiki/>

Q CLIE以外のPalmデバイスでメールに添付された画像を見る

CLIEユーザーなら、CLIE Mailで受信したPGP形式のファイルはそのままCLIE上で閲覧できる。しかし、CLIE以外のPalmユーザーは、「PG Viwer」と添付ファイルをPalmデバイスにインストールしてみよう。PGP形式の画像をPalm上で見ることができる。

PG Viwer

作者 福本修二

種別 試用版

URL <http://www.umap.net/MacPalm/index-J.html>

もっと知りたい！ T600Cの Q&A

Q Navin'You専用マップの詳細版DVDと日本全域版のデータの混在は可能？

「MapCutter」で切り出す地図データや検索データの内容は、先に紹介したようにNavin'You専用マップの地図ディスクによって異なる。地図データは市街地データもある日本詳細版DVDを使い、住所検索データは容量が小さい日本全域版を使うというように、両者のデータの都合のいい部分を混在させたいと考えている人もい

らるだろう。しかし、CD版から切り出したデータとDVD版から切り出した地図データは共存することができない(図2)。これは地図データ同士だけでなく、地図データと検索データや施設検索データの共存も不可能だ。残念ながら地図ディスクは、利用するシチュエーションに合わせて選択しなければならない。

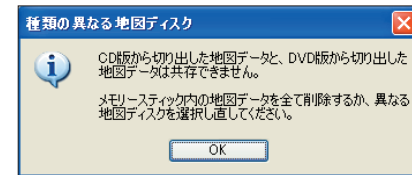


図2 CD版とDVD版の地図は、メモリスティックに混在させることはできない

Q PHSカードの点滅が気になるので消したい

通信アダプターの電源をオンにするとPHSカードのLEDランプが点滅するが「P-in Comp@ct」「P-in m@ster」なら点滅をオフにできる。「環境設定」の「接続」で通信アダプターの設定を選択し詳細設定の「コマンド」を「AT&FX4+PLE=0」に書き換えるだけで(図5)。

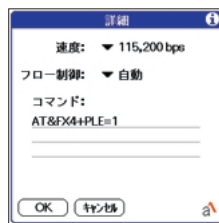


図5 詳細設定の「コマンド」を「AT&FX4+PLE=0」に書き換えてみよう

Q パルディオ611Sを通信アダプターでどうしても使いたい

70ページの非対応通信カードの動作検証では「パルディオ611S」は使えなかったが、「HandEra330」でCF型通信カードを利用する方法と同じ「ログインスクリプト」を設定する方法なら、通信アダプターでもパルディオ611Sを利用できる。

「環境設定」の「ネットワーク」の設定では、通常は「通信アダプター」を選択するところを「クレードル/ケーブル」を選択する(図3)。すると、アクセスポイントの電話番号を入力する欄がなくなるので、「環境設定」の「ネットワーク」で「詳細」を選び、「スクリプト」にて図4のようなログインスクリプトを入力し、電話番号もスクリプトの3行目で指定する。画面では改行しているように見えるが、「ATDT」に続けてアクセスポイントの電話番号、接続に必要な追加コマンドを改行せずに入力することがポイント。初めの1回だけ設定作業を行えば、あとは動作確認済のカードと同じように利用することができる。

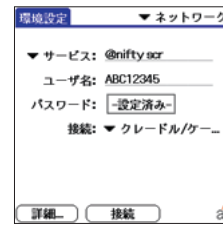


図3 「環境設定」の「ネットワーク」では「クレードル/ケーブル」を選択する

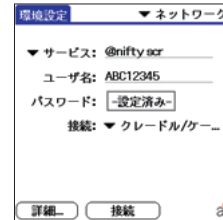


図4 3行目は「ATDT」+「アクセスポイントの電話番号」+「追加コマンド」よ自分が接続するアクセスポイントに読み替えて設定してほしい

Q 以前のデバイスとT600Cを併用したい

一度HotSyncを行ってデータをリストアしたあと、T600Cのユーザーネームを「ChangeName」で変更し再度HotSyncを行おう。すると、ひとつのPalm Desktopで複数のPalmデバイスを管理できるようになる。ただし、ユーザーネームは「半角英数」。シェアウェアなどをユーザー登録する際に、ユーザーネームと連動した登録キーが発行されることがあるからだ。

ChangeName

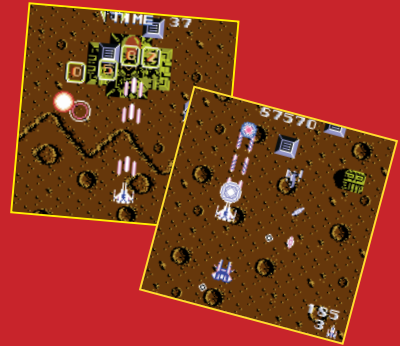
作者 Collin Rishard Mulliner

種別 フリーウェア

URL <http://www.mulliner.org/palm/>

GO GO Palm Gamers!

160x160ドットで遊び倒せ!



今号は、往年の名作シューティングゲーム「ZANAC」と、いち押しPalmwareゲームを紹介する。がんがんだウンロードして遊んでみよう！

小野寺 浩二 文



伝説のシューティングゲームがPalmで蘇る

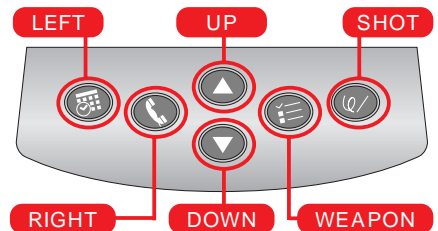


ZANAC

シェアウェア(1500円)
 株式会社コンパイル
<http://www.compile.co.jp/>
 対応OS : Palm OS 3.5以上

ファミコンの全盛期にあたる'86年に発売され、多くのゲーマーたちを虜にしたシューティングゲームの傑作がPalmで復活した! 「ZANAC」といえば、スピーディーなゲーム展開や多彩な攻略パターンなど多くの優れた特徴を備えているが、ハードウェア上の制約があるにもかかわらず、その魅力が見事に再現されているのだ。かつて熱中した人もそうでない人もぜひ一度体験してみよう!

操作方法



攻略法

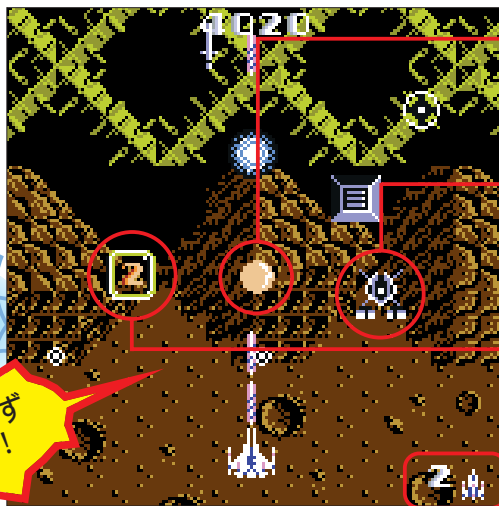
1 武器の発射方法を設定する



SHOTはAUTOが絶対おすすめだ

「OPTION」画面の「SHOT CONFIG」では攻撃のキーパターンを変更できる

2 武器アイテムをゲットしてパワーアップ



パワーチップ
オレンジ色のパワーチップを取るとメインショットをパワーアップできる

敵兵器
空中兵器、要塞、地上物など多彩な敵が現れる。敵を破壊するとさまざまなアイテムが出現する

数字パネル
この数字をとることにより8種類のサブウェポンを切り替えることができる

残り機数
現在のZANACの残り機数を表示している

3 画面上の敵を一気に破壊する



つべこべ言わず撃ちまくれ!

地上物の「アイコン」(肖像)を6発撃つとエネミーレイサーが現れ、これを取ると画面上の敵をすべて破壊することができる

攻撃中に武器アイテムを獲得するとメインショットがパワーアップしたり、サブウェポンの種類を変えていくことができる

「ZANAC」の興奮をどこでも携帯できるぜ!!!

Palmware Games

Palmのゲームソフトにはかつての名作パソコンゲームを移植したものが少なくないが、今回紹介する「Snood」もパソコンでおなじみのゲームだ。一方、ピンボールやボウリングといったシミュレーションものの新作にも注目だ



Booty ver.3.0

作者：MEGASOFT
 シェアウェア（\$ 10）
<http://www.megasoft2000.com/>
 対応OS：Palm OS 3.0以上

地球文明を滅ぼすためにエイリアンが建設した地下工場に侵入し、さまざまなアイテムを決められた数だけ集めるアクションゲーム。工場内に散らばる鍵を手に入れて壁を1つ1つ消しながらアイテムをゲットしていく。途中でエイリアンに捕まったり、爆弾に触れることのないよう注意しながら進んでいこう。



壁を消す順番をよく考えながら進まないとエイリアンとは合わせになってしまう

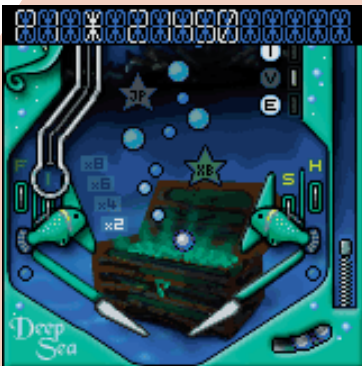


メニュー画面の「CONTROLS」をタップすると各ボタンの操作を好みで変更できる



Bump Attack ver.1.01

作者：iambic Software
 シェアウェア（\$ 19.95）
http://www.iambic.jp/japanese/index_ie.html
 対応OS：Palm OS 3.5以上



鮮やかなグラフィックとリアルなボールの動きが秀逸な迫力満点のピンボールゲーム



NetWalk ver.2.2

作者：Beiks LLC
 シェアウェア（\$ 10）
<http://www.beiks.com/>
 対応OS：Palm OS 3.0以上

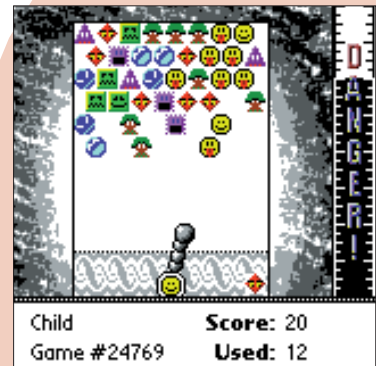


サーバーとコンピューターの間の配線をつなぎ、LANを完成させるパズルゲーム



Snood ver.1.0

作者：David Dobson
 シェアウェア（\$ 14.95）
<http://www.snood.org/>
 対応OS：全機種

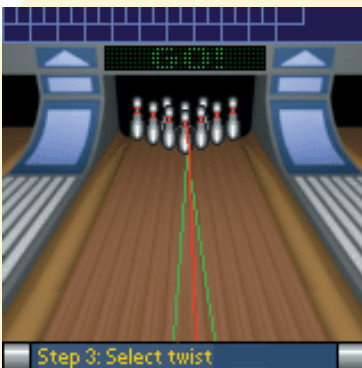


人気パズルゲームのPalm移植版。同じキャラクターを3個くっつけて打ち落とそう



MegaBowling ver.2.0

作者：MEGASOFT
 シェアウェア（\$ 15）
<http://www.megasoft2000.com/>
 対応OS：Palm OS 3.0以上



Palmで楽しむボウリングゲーム。微妙なボールコントロールがなかなか難しいぞ



Billiards ver.3.0

作者：MEGASOFT
 シェアウェア（\$ 15）
<http://www.megasoft2000.com/>
 対応OS：Palm OS 3.0以上



人気のビリヤードゲームがさらにリアルにブラッシュアップして再登場！



Filthy Pigeons ver.1.3.2

作者：Bearded Toad Entertainment
 シェアウェア（\$ 12.95）
<http://www.beardedtoad.com/>
 対応OS：Palm OS 3.3以上



鳥を操作してハンターの攻撃をかいくぐり、道路を走る車にフンを命中させよう

環境設定

Palmの基本ソフト入門講座。第7回目は「環境設定」。ちょっとりディープだけど、とても守備範囲の広いソフトだ。そんな環境設定の攻略法を基本から応用まで一気に紹介してしまおう!

文 八島伸之/ドクターyashimac <http://www.worpaholic.com/>

Palmの環境設定はココが便利!

画面はCLIE PEG-T600C (ソニー株)

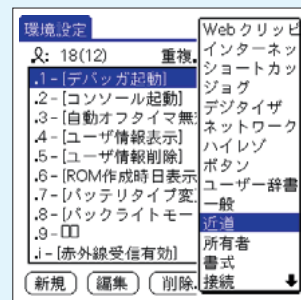
ひと口に環境設定と言っても、その機能はさまざま。日付や時刻を合わせたり、インターネットの設定もできる。文字どおりPalmのシステム環境を設定するソフトなのだが、これにはおよそ10から14個ほどの「パネル」と呼ばれるアプリケーションが含まれている。中でも特に便利なのが今回紹介する「ユーザー辞書」と「ショートカット」だ。

ショートカットは本来、Palmのシステム情報(バッテリータイプの変更など)を操作するための機能だが、よく使う単語やあいさつ文なども登録でき、文字を入力する手間を減らせるという点でユーザー辞書と似ている。どちらも高速入力のリズムとしては同じなのだ。

また、Palmで心配なのがセキュリティの問題。胸ポケットに入ってしまうほど小さいからこそ盗難、紛失対策が不可欠だ。そこで「データ保護」と「所有者」を利用した防衛策も紹介する。



環境設定は「システム」カテゴリーに属する。「ホーム」の「環境設定」をタップして起動する。画面右上の「ボタン」で環境設定を任意のハードボタンに割り当て、ボタン一発で起動することもできる



環境設定の個々のパネルは右上の「近道」で切り替えられる。サードパーティー製のソフトの中には、「近道」(<http://www.fatal-error.com/jp/>)のようにこのメニューに追加されるものもある

1 ユーザー辞書の使い方をマスターする

まず初めに、ユーザー辞書の基本的な使い方を覚えよう。ユーザー辞書を使うには、あらかじめ「読み」と「語句」を入力して単語を登録する必要がある(手順2)。単語登録を終えたら、任意のソフトを起動して編集モードに切り替える。先ほど登録した単語の「読み」を日本語入力モードで入力して変換すると、変換候補の先頭に登録した単語が表示されるので、選択して確定する。実は「単語」とはい

うものの、「語句」には最大全角40字も登録できるので、時候のあいさつや決まり文句なども設定可能だ。

なお、日本語入力に「ATOK」を使う場合は、ユーザー辞書も「ATOK」専用のものに置き換えられる。システム標準のユーザー辞書と「ATOK」のそれとはまったく互換性がないので、単語登録をするときはどちらをメインで使うかをよく考えてからにしよう。

1 ユーザー辞書を起動する



「環境設定」の「ユーザー辞書」で「新規」をタップして単語を登録する。登録した単語はこの画面に一覧表示される

2 ユーザー辞書に単語登録する



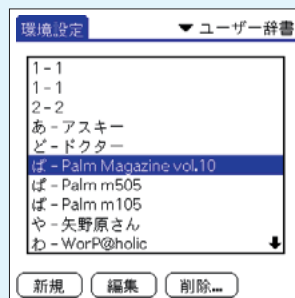
「読み」に指定できるのはひらがなと数字。アルファベットと記号は使えない。また、カタカナは登録時に自動的にひらがなに変換される

3 メニューからでも登録OK



メニューから単語登録できるのは、PIMソフト(予定表、アドレス、ToDo、メモ帳)とメールのみ。「編集」の「単語登録...」で登録する

4 変更や削除もできる



次ページのショートカットと異なり、ひとつの読みに対して複数の単語を登録できる。変更は「編集」、削除は「削除...」で行う

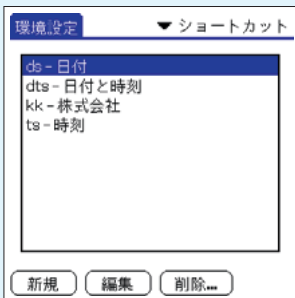
2 ショートカットの使い方をマスターする

次にショートカットの使い方を見てみよう。ショートカットは、少ない画数で文字入力するための設定を登録するパネル。ユーザー辞書とよく似ているが、ユーザー辞書との最大の違いは可変データが扱える点。つまり、日付や時刻といった変化するデータを呼び出せるのだ。例えば、気になったことをメモするたびに日付や時刻を挿入すれば、メモ帳がちょっとした日記に変身する。ちなみに、ショートカットで呼び出す日付や時刻の書式は、環境設定の「書式」で変え

られる(日付は8種類、時刻は5種類)。

ただし、ショートカットにはいくつかの制約がある。ショートカット名にひらがな、カタカナは使えず、同じショートカット名は登録できない。また、特殊ショートカット(「.」~「.9」,「.i」,「.s」,「.t」)は標準で登録されているため登録できない(日本語版Palm OSの場合)。しかし、ユーザー辞書とは異なり、登録した文字列を呼び出すときに変換をする必要がないので、より早く楽に入力できる。

1 ショートカットを起動する



「環境設定」の「ショートカット」で新規登録や変更、削除を行える。デフォルトでは4つのショートカットが登録されている

2 ショートカットを登録する



「ショートカット名」は最大で半角8字。アルファベット、数字、記号のみが使える。「ショートカットに登録する文字列」は最大全角15字まで

3 編集や削除も可能だ



任意のショートカットを選択し、変更は「編集」、削除なら「削除...」をタップする。「」ボタンあるいは上下ハードボタンでスクロールしよう

4 呼び出すときは「 \varnothing 」で



ショートカットに登録した文字列を呼び出すには、単位のリットル(\varnothing)のような記号に続けてショートカット名を書く。即座に変換され、挿入される

3 データ保護と所有者情報でPalmを守る

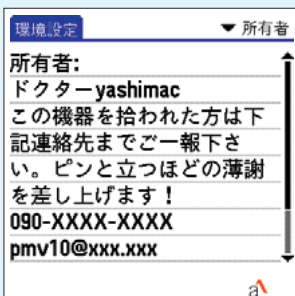
最後に、Palmのセキュリティーを守るコツを紹介しよう。保護できるのはPalm本体と標準PIMソフトのデータ。まずは、所有者情報とパスワードを設定しよう(手順1、2)。

Palm本体の保護は「データ保護」の「本体の自動ロック」をタップする。設定したパスワードを入力すると、「電源オフ時にロック」などの自動ロックの方法を選択できる。また、「データ保護」で「電源オ

フ&ロック...」をタップするとその場でロックをかけられる。もしPalmを紛失しても「所有者」を入力してロックしてあれば、Palmの中身のぞかれる心配もなく、手元に戻る確率も高くなる。

一方、PIMデータは「データ保護」の「現在の設定」でデータの保護方法を設定できる。個々のPIMソフトで「プライベート」にチェックマークを入れたデータが、保護の対象になる。

1 所有者情報を登録する



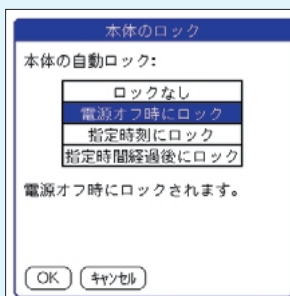
「環境設定」の「所有者」で氏名、連絡先などを記入する。パスワード設定後に編集する場合は、「ロック解除」(画面左下に現れる)する

2 パスワードを設定する



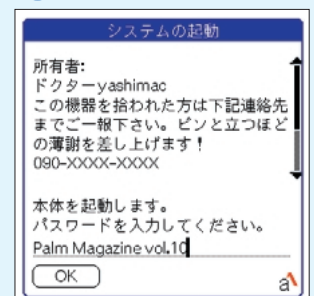
「ホーム」の「データ保護」を起動してパスワードを設定する。使用できるのは英数字と記号。空白はOKだが、日本語は不可だ

3 Palmにロックをかける



外出時や離席時は「電源オフ時にロック」にしておくとう安心できる。一度設定しておく、それ以後、電源を切るたびに自動的にロックされる

4 パスワードを忘れずに



ロックを解除するにはパスワードの入力が必要。忘れたら「データ保護」でパスワードを削除する。その場合、プライベートデータは削除される

<明解> パーム人名事典

005



こうだ ひろし
【 甲田 浩 】

甲田さんのホームページ
しゃあみんの屋根裏部屋
(<http://www.d2.dion.ne.jp/%7Esharming/>)

Palm OSの世界で最も特異な作風を持っているソフトウェア作家と言えば、甲田浩だろう。彼の名前は本名「こうだ」から生まれた「しゃあみん」というハンドルネームで知られている。

本職のプログラマーでもある甲田が初めてPalm OSデバイスに出会ったのは'97年、秋葉原の某ショップだった。その場で甲田はすぐさま惚れ込んだ。ところが彼の横には甲田夫人がいた。家計を心配する奥さんへの気兼ねから、その場で購入することを諦めた甲田だったが、数日後にはこっそりと買ってしまったという。皮肉なことにその後、甲田夫人はPalm OSデバイスの女性プログラマーとなり、女性ユーザーのためのユーザーグループ代表にまでなっている。

Palm OSデバイスの魅力にハマった甲田は、デビュー作としてPalm OS用のメールソフト「HandStamp」を日本語環境で使うためのマック環境用パッチを発表、続いて、'97年9月にはオリジナルゲームソフト「PiledCard」を発表した。当時は既存のゲームをPalm OS用に移植すれば人気が出るような時代だったのにもかかわらず、このゲームは甲田の完全なるオリジナル作品だった。また、のちの彼の全作品に通じる「OS能力の限界に挑戦するような画面演出の見事さ」も備わっていた。翌年、日本初のパッケージゲームソフトとして発売されている。

'98年は、専作で知られる甲田が次々と作品を発表した例外的な年になった。1月

には、やはりオリジナルゲームソフト「CAPSIZE」を発表、国内のみならず海外にも多くのファンを生んだ。特に、スタイルの動きに合わせて、画面上のこまが連続してひっくり返る演出が印象的だった。

続いて、版ながら公開した「ASAPP」も彼のオリジナルゲームだ。これはロボットシミュレーションゲームとでも呼べばいいのか、ゲーム内で、バーチャルなマシンをユーザーがプログラミングして、最終的にそれを動かすという画期的ゲームで、多くのファンを引き付けた。夏には「Palmware & Goodz コンテスト」のための出品作品「PullPom」を発表。これまた甲田のオリジナルゲームで、ビリヤードとパットゴルフを合体させたようなアクションゲームだ。画面内を自由自在に転がるボールの演出では、当時のPalm OSの限界を超えるようなスピード感と滑らかさを実現した。

同時に彼は、最高傑作とも呼べるゲームをこの年の秋に完成させている。「Tap Step Music」というこのゲームは、いわゆる「音ゲー」の一種だ。ゲームそのもののシステムバランスも超一級品だが、ゲーム

文 機長@パーム航空
豊富な話題のコラムが魅力の読み物系サイト
「パーム航空」の管理者。その独創的な視点で、
今日もPalmの上空を軽やかに操縦する
<http://palm.org>

イラスト 松原健治

キャラであるパーム君の動きや独特のメニュー表示など、画面演出の部分でもすさまじい完成度を誇っている究極のゲームソフトだ。

こうしたゲーム群のほかに、甲田は数々の佳作ユーティリティソフトも作っている。世界最小の時計「みなら」や極小計算機「かるら」、透けるカレンダー「かれんどら」など、彼独自の世界観に満ちた作品群は秀逸だ。また、「iPalm」など数々の造形的アート作品を作り上げたり、「横浜ら・パーム」という横浜地区のユーザーグループを創設したりと、ジャンルにこだわることなく、「美しいもの」そして「楽しいもの」を思いつくままに作り続けてきた。

前述のように甲田は、専作家としても有名だ。人気作家のわりには作品数はあまりにも少ない。バージョンアップの回数も少なく、こだわりが強すぎるための未完成作品も多い。そんな甲田が、2001年末、すごい作品を完成させてしまった。ソニー㈱の新型クリエ「T600C」に標準搭載された画像アプリケーション「CLIE Paint」だ。クリエ標準のデスクトップソフト「PG Pocket」との連携はもとより、別売りのカメラモジュールとの連携にも優れ、甲田の作品らしく、単なる画像処理ソフトにとどまらないエンターテインメントソフトとして高い完成度を誇っている。このほか、「Sony Style」とのコラボレーションで野球盤ソフト「野球Bang!」を製作中だ。こちらも単なる野球ゲームではないエンターテインメント作品として期待されている。



m100 だから

ガンガン 使う!



取材協力 / 霜田 恵一

Palmデバイスが5000円を切った。キャンペーンプライスとはいえ、m100の4900円は革命的ともいえる。この価格を機会に初めてPalmを手にした人も、サブマシンとして買った人も、m100だからチャレンジできることがある。

CONTENTS

- 2MBのメモリーを
すみずみまで使う P.82
- カラーボタンに取りかえる P.83
- フェースカバーを
カラーリング P.84
- ストラップを付けてみよう P.85
- メモリーを
8MBに増設する P.86
- ケース・アクセサリ P.88
- m100の周辺機器 P.89

m100はこんなところが個性的

「持つ楽しさ」を大切にした エントリー機種

m100の曲線で構成されたボディはどんな手のひらでもやさしく受け止める。19色のフェースプレートから好きな色を装着すれば、見た目でも個性を主張できる。m100は初めて触れる人にも、Palmを持ち歩く楽しさをすぐに教えてくれる。

上ボタンを押すと現在時刻が表示される「クロック」と、液晶にフリーハンドで書き込める「手書き入力メモ」は、操作が簡単で、誰でもすぐに実用できる。街角でサッと取り出してPalmを操作するというモバイルスタイルを、難なくものにできるのがm100だ。身近な価格になったこの機種は、

クロックはフリップカバーを付けたまま起動できる。小窓から懐中時計感覚で時間をチェックしよう



クロックはグラフィティーエリアの時計マークのタップで、別のソフト使用中でも起動。「OK」のタップで使用中のソフトに戻る

ますます多くの人がPalmと出会うきっかけになるだろう。

注意!

改造は メーカーの保証外

本特集では、メモリー増設をはじめ、Palm本体の解体・改造方法を紹介しているが、その行為を推奨するものではない。改造を行って、万が一故障が発生しても、メーカーの保証は受けられないことを理解したうえで行動に移ろう。

本記事の通りに改造行為を行って何らかの損害が生じて、編集部が責任を負うことはできない。改造行為はすべて自己責任と肝に銘じておいてほしい。

目的を割り切れば十分な容量



softwares

2MBのメモリーを すみずみまで使う



m100のメモリーは容量2MB。少ないようにも感じるが、そこは使い次第。すべてを任せようとせずに用途をきっちり見極めれば、2MBでも使いでは十分ある。

PIM

アドレスなら1000件以上入る

m100をビジネスパートナーと割り切って標準ソフトを中心に使えば、メモリーのやりくりにはそれほど苦労しないはず。To Doやメモでも100件以上が余裕で納まる。追加でソフトを入れるなら、予定チェックやアドレス検索を支援するDAなど、基本4ソフトをより使いやすくするものを中心に選ぶといいだろう。

アドレス	▼ ビジネス
荒川, 聡子	03-1234-**** 会
飯山, 正一	03-2345-**** 会
植田, 鈴子	03-3456-**** 会
榎本, 清十郎	03-4567-**** 会
大河内, 総一郎	03-5678-**** 会
川元, 隆志	03-6789-**** 会
北村, 智恵	03-7890-**** 会
久我, 剛史	03-8901-**** 会
森生川, 香	03-9012-**** 会
小山, 知美	03-0123-**** 会
佐倉, 奈津美	03-1234-**** 会

m100をビューアと割り切って、データ入力をパソコンで行えば、重たい日本語入力支援ソフトを入れなくて済む。すぐに必要のないデータはこまめに削除して、パソコン側に保存しておけばいつでも参照できる

辞書

標準辞書なら6万4000語以上

アドオンアプリケーションとして付属する英和辞書の「EiwaS.pdb」は語数6万4737語、データ量は約1.7MBと、m100を辞書として活用するにはほどよい大きさ。前方一致検索ができるため、調べたい語を見つけるのは、本の辞書よりも手早いことが多い。辞書ファイルの種類が豊富なKDICも活用のチャンスは多い。

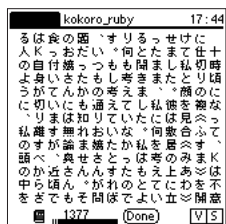


洋書や英字新聞を読むときに素早く意味を調べるにはもってこい。本の英和中辞典は重くてかさばるし、価格を考えると、安くなったm100なら、辞書に用途を限定しても、しっかりモトは取れそうだ

読書

「こころ」なら7冊以上入る

例えば夏目漱石の「こころ」はDOCファイルで258KBだ。m100のメモリー2MBは現代のPalmとしては少ないが、長編小説をいくつかインストールして読むには十分すぎる容量といえる。



Crs-MeDocで読む「こころ」。下ボタンで画面を進めるため、本のページをめくると両手がふさがるとはならない。Palmで読書する方法は90ページからの「Palmで読書」をチェックだ

サイトチェック

巡回ソフトと組み合わせる

掲示板やニュース、コラム系サイトなど、テキスト中心のコンテンツを、「Xiiino クルーズ」などで取り込んで、移動中にm100で読むと時間の節約になる。ちょっとしたモバイル気分だ。



「Xiiino」で読む「パルマガ」(http://www.ipal.jp//)。HotSyncの動作設定で「画像もダウンロードする」のチェックを外すとテキストだけの転送が可能に

クロックアップを してみよう

m100のクロック周波数は16MHz。現在最速のPalmデバイスは33MHzだから、その半分以下だ。どうしても動作が遅いと感じるなら、クロックアップソフトを試してみるのも手だ。クロックアップソフトの大定番と目していたら「Afterburner」(Daniel Wee、http://www.palmgear.com/ シェアウェア9ドル)、そのほかのソフトでは「CruiseControl」(クルーズコントロール)、「ClockupDA」(クロックアップ)などがよく知られている。

クロックアップ行為は故障の原因になる恐れがあり、メーカーの保証外となる。自己責任でトライしてほしい。

5分で装着できるワンポイントアクセサリ



ここで紹介した行為を行うと、そのPalmはメーカーの保証外となります



color buttons

カラーボタンに 取りかえる

ハードウェアボタンをカラーにするだけで真っ黒だったm100もぐんと華やかな印象になる。落ち着いてやれば初心者でも作業は10分とかがらず、意外に簡単だ。



いるもの

m100用透明ボタンセット。透明ボタン、トルクスドライバー、手順書が付属する。PDA工房(87ページ)で購入できる。

How Much?

透明ボタンセットの価格(消費税、送料、手数料を除く)

¥ 2480

器用度

各パーツを傷つけないように丁寧に外していけば、すぐに終わる



ステップ 1 フェースカバーを取り外す



フェースカバーが硬い場合は、電源ボタン裏にかかっているツメを緩めてすき間をつくり、10円玉を差し込んで軽くひねると簡単に外れる

まずはHotSyncでデータをバックアップ。その後、スタイラス、電池、フリップカバー、フェースカバーを外す。力を入れすぎてカバーを割らないように注意しよう。

ステップ 2 裏カバーを取り外す



裏ケースを外すと基板がむき出しになる。基板は静電気に弱いので、ほかの金属にあらかじめ触るなど、放電させてから触れるようにする

ボタン交換キットに付属するドライバーを使って、本体の裏にある4つのネジを外す。本体の側面中央を片手で支えて、裏カバーを上を引き上げるように外す。

ステップ 3 液晶コネクターのロックを外す



中央のロックのみ外したところ。小指の爪で軽く引っかけるようにすると外れる。ロックはもろいので、力を入れすぎないように注意しよう

基板の右端に縦に3つ並んだ液晶パネルのコネクターのロックを外す。次に、ロックの反対側から基板をめくるようにして外すと、液晶パネルが現れる。

ステップ 4 ボタンを取り換える

さらに液晶パネルを取り外すと、表カバーの上に乗ったハードウェアボタンが現れる。ボタンはカバーにはめ込まれているだけなので、簡単につまみ出せる。アプリケーションボタンを外すときは、力を入れすぎてプラスチックのアームを折らないように気をつけよう。ボタンを外したら、正しい向きにカラーボタンをはめ込む。



下のボタンがうまく外れないときは、クリップや1円玉を使って、アームを本体の下側から引っかけるといい

ステップ 5 組み立てて完成!

ボタンの感触が悪かったり、ボタンを押してもPalmが反応しない場合はいったん解体して、もう一度組み立て直してみよう

解体の手順を逆にたどり、パーツの位置をよく確認しながら組み立てる。電源ボタンは外れやすいので落とさないように気をつけよう。ネジをしっかり締めれば作業は完了だ。



フェイスプレートにお気に入りの色がなかったら.....



faceplate covers

フェイスカバーを カラーリング

フェイスカバーをカラーズプレーで塗装すると、質感はがらりと変わる。時間をかけて磨き上げれば、ツヤが出て高級感もアップ。仕上げのコツはとにかく根気。



いるもの

スプレー缶塗料(アクリル・ウレタン系) マスキングテープ(紙テープ) 新聞紙数枚、ジュースの空き缶(スチール缶がよい) 割りばし

How Much?

材料費のおよその合計額

¥ 1000

器用度

とにかく丁寧に、根気よく。仕上げまでに数日かけるつもりで焦らずに作業しよう



ステップ

1 フェイスカバーを固定する

塗装するカバーは付属のフェイスカバーでも別売のフェイスプレートでもいい。まず、フェイスカバー上部にあるツメを割りばしの先にマスキングテープでしっかり固定する。次に、割りばしを空き缶の飲み口にさして固定すると、持ち運べる塗装台が完成。塗装は新聞紙を敷いた上で行うが、暖かく風のない日に屋外で実行するのがベスト。



カバーは、あらかじめ中性洗剤でよく洗って、油分やホコリを落としておくと、塗装のノリがよくなる

ステップ

2 下塗り その1

塗装は薄く何度も行うほうが仕上がりがきれい。スプレーの吹き出し始めは勢いにムラがあるので、新聞紙の上に少しカラ吹きをしてから吹きかける。乾燥は屋内で行う。この台はあちこちに動かしやすいのが強みだ。



スプレーをカバーから30センチほど離して、上下左右に大きく動かしながら塗るとムラができてにくい。台の周りをこまめに回って四方から吹きつけよう

ステップ

3 下塗り その2

次の下塗りに移るまで、丸1日乾かすくらいの心の余裕がほしい。もしもホコリが付いたら、塗料が完全に乾いてから対処する。500番くらいの細かいサンドペーパーでこすり取って塗り直せば問題ない。



カバー側面や液晶画面を囲む部分に塗り残しがないか、よくチェックしよう。塗料のダマがあったら、ホコリと同じく、紙やすりでならしてから塗り直す

ステップ

4 本塗りで仕上げる

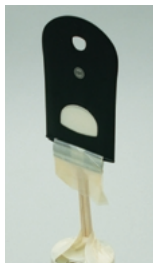
フェイスカバーの地色が見えなくなるまで表面をまんべんなく塗装できたら、最低でも丸1日は乾かす。そのあとで、ハミガキ粉をつけたティッシュペーパーなどで表面を磨く。磨けば磨くほどツヤが出てくるので、つい夢中になってしまう。さらに質感を上げるには、クリアスプレーと研磨剤を使う。



水色や黄色などの薄い色で塗装したいなら、下塗りにグレーのスプレーを使うといい。カバーの地色の黒が目立ちにくくなり、発色が美しくなる

フリップカバーを塗るときは

ステップ 1 フリップカバーを固定する



割りばしは垂直に缶に差し込んでテープで固定する

フリップカバーの窓の表裏にマスキングテープを張り、はみ出た部分をカッターで切る。ジョイント部を取り外して塗装台に固定し、カバーを装着する。

ステップ 2 下塗りを繰り返す



目張りが甘い、スプレーが入り込んで窓が汚れてしまう

時間をかけて下塗りを繰り返す。風や振動でフリップカバーが下を向いてしまったときは、軽く振ったり、塗装が乾くのを待ってから縁を触って静かに立て直す。

ステップ 3 本塗りで仕上げる



フリップカバーの場合、色によっては塗りが甘い「Palm」のロゴが透けて見えてしまう。本塗りを終えて完全に乾いたら、よく磨こう。本体に装着すれば完成だ。

目張りはがすときは、窓の周りの塗装をはがさないように、ピンセットを使うといい

きれいに仕上げるには.....

表面の大きな凹凸は目の細かい紙ヤスリでならず。塗装面に高級感を出すには、クリアスプレーを使う。研磨剤で表面を磨く作業と交互に行くと、車のボディーのようにつややかな仕上がりになる。



研磨剤はスーパーで手に入る。歯磨き粉でも代用可能

ステッカーを貼るときは.....

ステッカーは、貼ったあとで上からクリアスプレーを吹きかけると、はがれにくくなって質感もアップする。マニキュアでワンポイントをあしらうときも、あとで上からクリアスプレーを吹きかけよう。



フリップカバーを開くと裏にプリクラといった演出モアリ

超カンタンでバリエーションも豊富

ストラップを付けてみよう



straps

ここで紹介した行為を行うと、そのPalmはメーカーの保証外となります

作業はごく簡単で、ネジを1本緩めて締めるだけ。ほんの1分で終わる内容だ。

How Much?

ドライバーとストラップ代のおよその合計額

¥ 1000

器用度

必要なものは、付けたいストラップと専用の5番トルクスドライバー(T-5)だけ



ステップ 1 ストラップをネジごと締める

m100のネジに合う5番トルクスドライバーは工具店で手に入る。m100の裏カバーを留めるネジを1つ緩めて、ストラップを引っかけながら、そのままネジを締める。



右利きなら、Palmを左手に持つから、裏から見て右上にストラップを付けると便利

ステップ 2 完成!

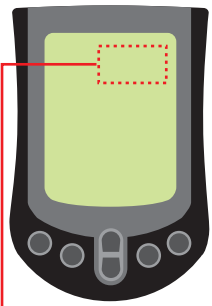
ストラップを持ってぶら下げた状態で、しっかり留まっているのを確かめよう。携帯電話よりも重く、液晶画面の広いPalmでは、落とす心配をなくすストラップの意味は大きい。



首からかけるストラップを使う場合は、下のネジに取り付けると、持ったときにPalmが正しい向きになる

この方法はモーリー氏のPalm改造KAIZOサイト「Palm de COOL!」(<http://www.fureai.or.jp/mori-t/>)で紹介されている(更新は終了)。現在は「東京ラ・パーム」(<http://tokiolapalm.cool.ne.jp/>)がその活動を後継。

好奇心があるなら思いきってチャレンジ!



DRAM memory

メモリーを 8MBに増設する

ここで紹介した行為を行うと、
そのPalmはメーカーの保証外となります



2MBではやっぱりメモリー容量が足りないという人は、専用のメモリーチップを入れて、8MB増設にトライできる。細かい作業だが、手順は決して複雑ではない。



いるもの

ルーペ、精密作業用ピンセット、5番トルクスドライバー、カッターナイフ、ハンダごて(20W~40W)、このスタンド、糸ハンダ、ハンダ吸い取り線、無水アルコール、綿棒、メモリーチップ

How Much?

メモリーチップだけならPDA工房(87ページ)で2500円。工具代まで含めると、およそ1万5000円

¥ 2500

器用度



ハンダごては精密な作業がしやすい高千穂電気製のコテペン40(2200円)がおすすめ

ステップ

1 ケース・カバーを取り外す

HotSyncでm100内のデータをパソコンにバックアップする。そのあと、スタイラス、電池、フリップカバー、フェスカバーを取り外す。続いて本体裏にあるネジを外し、裏ケースを外して、内部をパーツごとに解体し、基板を取り出す(83ページ参照)。



作業で手を加えるのは基板だけ。他のパーツは邪魔にならないようによけておこう

ステップ

2 メモリーチップを取り外す

メモリーチップの両側に並ぶ端子の一方をカッターナイフで少しずつ傷つけながら切断する。切断できたら、メモリーチップを反対側にめくる。もう片方の端子を支点にメモリーチップをゆっくり上下に動かすと、端子が折れて、メモリーチップを取り外せる。

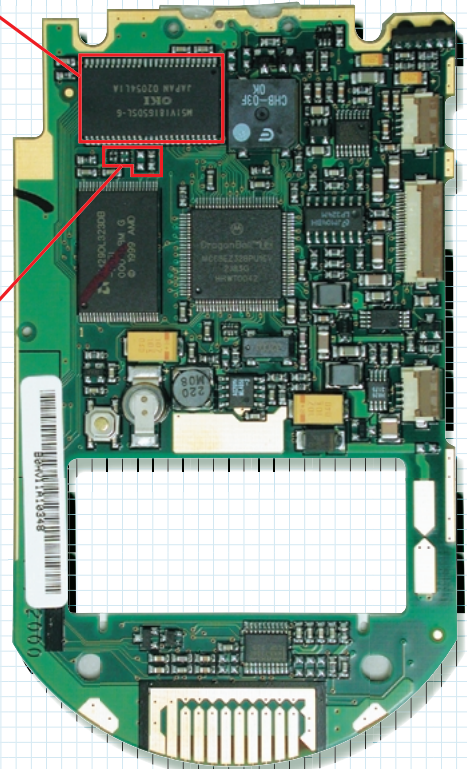


基板を傷つけないように刃を寝かせ、メモリーチップの内側に向かって力をかける

m100の基板

メモリーチップには丸印の刻印がある。これを基板の端子にある「1」と合わせるように設置するのが正しいメモリーチップの向き

制御用チップ抵抗
特に4本足のチップ抵抗アレイは極小なので取り扱いに注意。なくしてしまった場合は、エナメル線で代替できる

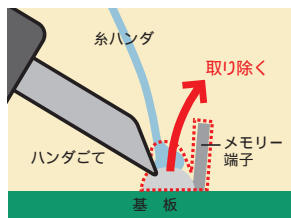


基板レイアウトは、詳細が異なる場合があるのでよく確認しよう。m100のメモリー増設は「東京ラ・パーム」(<http://tokiolapalm.cool.ne.jp/>)でも紹介されている。

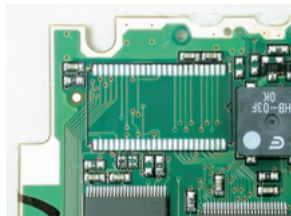
ステップ

3 メモリー設置部に残ったハンダを掃除する

基板上に残っているメモリーチップの端子を除去する。十分熱したハンダごてを近づけ、新しいハンダを足しながら端子と古いハンダごと一緒に取り去るとうまくいく。力を入れすぎて基板をこすらないように。



ハンダごてを近づければ、接触しなくてもハンダは溶ける。溶けたハンダの表面張力を利用して、こての先にまとめてしまおう。こての先に付いたハンダはこまめに取ること

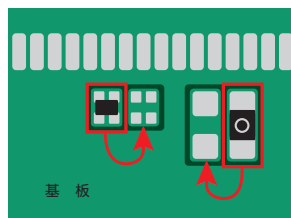


基板上に残るハンダのカスは、ハンダ吸い取り線に乗せて、上からこてをあてるときれいに吸い取れる。さらに、アルコールに浸した綿棒で表面のホコリや汚れを除去する

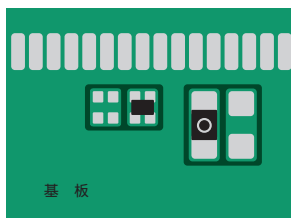
ステップ

4 チップ抵抗を移動する

メモリー設置部の下にあるチップ抵抗をそれぞれ隣の空きスペースに移動する。チップ抵抗をピンセットでつまんで、ハンダごてを端子の一方にあててしばらく待っていると、チップ抵抗を取り外せる。



基板の緑色が見える方が、何も接続されていない空きスペース。この作業で、Palm OSが8MBメモリーを認識する。4本足のチップ抵抗アレイは特に小さいのでなくさないように

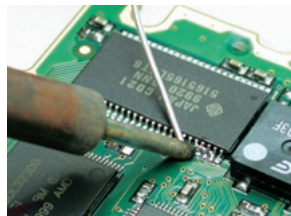


移動を終えたチップ抵抗の位置。正しい位置に移動してから、新しいハンダを少し加えて、しっかり固定する。急ぐ必要はないので、落ち着いて慎重に作業を進めていこう

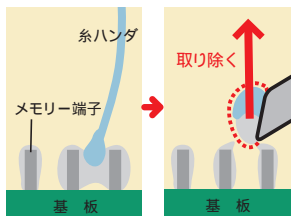
ステップ

5 新しいメモリーチップを取りつける

基板のメモリー端子(パターン)の一角にハンダを盛る。メモリーチップの位置を確定後、そのハンダでメモリーチップを仮止め。端子全体にハンダを流し込んでチップを固定してから余分なハンダを除去する。



系ハンダをメモリーチップの端子に近づけ、こてと一緒に動かしながら、ずるずるとハンダを流し込んでいく。反対側も同じようにしてメモリーチップを基板上に固定する



端子のすき間のハンダも、新しいハンダを加えながら除去する。蛍光灯などを当ててハンダを光らせることで、ショートしている箇所を見つけやすい。最後にルーペで接続状態を確認

ステップ

6 動作確認をする

早速、部品を組み上げて電源を入れよう。起動したら、ホーム画面の「メニュー」から「情報」でメモリー容量をチェック。最後に山田達司氏の「TK Memory Checker」(<http://simple-palm.com/> フリーウェア)で問題がなければ作業は成功だ。

情報	
メモリー - 空き容量:	7882K / 7936K
アドレス	2K
ネットワーク	1K
メモ帳	6K
手書きメモ	1K
接続	1K
予定表	1K
Net Library	2K

「情報」で動作確認をするときは、ネジを留めずに行うほうが、うまくいわずに作業をやり直すときに便利

よくあるトラブル

起動しない

メモリーチップのハンダ付けが甘い可能性が高い。ハンダの付け忘れはないか、端子同士がハンダでつながってショートしていないかをルーペで確認しよう。

2MBと認識される

4本足のチップ抵抗アレイのハンダ付けが甘い可能性が高い。細かい作業が難しければ0.3mm位のエナメル線を短く切って代用することもできる。

増設用メモリーチップの型番	サムスン電子	KM416V4104BS-L6	三菱電機	M5M465165ATP
	株東芝	TC5165165AF TS-50	日本電気	μPD42S65165GS-A60-7JF
	株日立製作所	HM5165165LTT6		

カラーボタンとメモリーチップを買おう

PDA工房

<http://www.u-systems.co.jp/pda/>
086-430-0430



PDA工房はケースや周辺機器の販売以外に、独自の改造やペイントサービスも行っている。本特集で紹介したカラーボタンと8MBメモリーチップはここからオンライン購入できる。どちらも取り付けに自信がなければ、代行サービスを利用しよう。

m100をカッコ良く着こなしたい!

ケース・アクセサリ

毎日持ち歩くPDAは自分自身の延長だ。気に入ったケースを見つけられたら、どんなしぐさで開こうか、いつの間にかこだわっている自分に気がつくかもしれない。



cases & accessories

A Palm m100 / 105 横開き式ブックタイプS-m100U

落ち着いた色調の革ケース。折り目にあるスタイラスホルダーが実用的。側面をクリップで挟んで本体を固定するので、ケースを外さずにそのままHotSyncできる。フェースカバーはパールウッド
■南シグマ・スタイル・ジャパン
■http://www.xigma.jp/
■3980円

B m100用 透明ボタン

83ページで紹介したPDA工房のm100用透明ボタン。いくつか買って電源ボタンとアプリケーションボタンを色違いにするのも楽しそう。全11色。4色セット、8色セットもあり
■PDA工房
■http://www.u-systems.co.jp/pda/
■2480円

C Palm m100 / 105 Flip Skin 100

つまりフリップカバーのフェースプレート。正確には(?)フリップカバーの靴下。同社と「PalmFan」とのコラボレーション企画により商品化。全7色
■南シグマ・スタイル・ジャパン
■http://www.xigma.jp/showcase/accessory/m100-clip.htm
■980円

D Targus Keyboard用革ケース

温かみのある牛革製キーボードケース。Palm コンピューティング(株)の純正キーボードも収納可。ストラップを装着できる穴があり、自分なりのおしゃれができる。濃茶と黒の2色
■丑や
■http://www.kyoto2001.co.jp/ushi-ya/
■7600円

E ぺんとびあ m100 / 105用

ステンレス軸の上下にボールペンとリセットピンを内蔵したスタイラス。ペン先はスプリング内蔵で、グラフィティ入力時の筆圧を吸収。反対側はゴムチップが付いており、快適なタップ動作ができる。ペン先が光る「ぺんとびあライト」もある
■パイロット
■http://www.pilot.co.jp/
■ぺんとびあ、ぺんとびあライト共に1500円

F Palm m100 スリムレザーキャリングケース

m100用純正レザーケース。m100本体は背面をマジックテープで固定する。ファッション性と実用性がバランスよく融合しており、ほどよい柔らかさのクッションが大人のカジュアルを演出する
■Palm コンピューティング(株)
■http://www.palm-japan.com/
■3380円



G Zip Around Palm Case

アメリカンブランドDooney&Bourkeのm100用ケース。m100本体の丸みを生かす曲線美と滑らかな手触りが印象的。大きなジップがもたらすカジュアルさが、手の届く高級感といった絶妙なバランスを生み出している
■ドゥーニー&バーク・ジャパン
■03-3299-0417
■9500円

H Palm m100 / m105 フェースプレート

本体前面に装着すると、見た目の質感はがらりと変わり、使い慣れたm100も別物に見える。色は全部で19色。ケースやカラーボタンと組み合わせるとm100の外見は変幻自在だ
■Palm コンピューティング(株)
■http://www.palm-japan.com/
■色により1300円 / 1980円

I Palm m100用革ケース

牛革のしっとりした感触が印象的。右上の角を落としてあるため、すたQを装着すると、カラーボールがよく見える。開いたあとの上ぶたの動きが柔らかく、Palmの操作を妨げない点が工夫されている。色は濃茶、黒の2色
■丑や
■http://www.kyoto2001.co.jp/ushi-ya/
■7600円

J すたQ

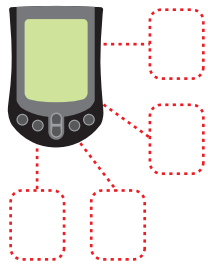
リセットピンとボールペンがついたスタイラス。装着時に顔をのぞかせる「Q」が楽しいワンポイント。6色のQを納めた「Qセット」を購入すれば、カラーリングのバリエーションが増える

■エクストリームリミット
■http://www.extremelimit.co.jp/
■すたQ 1680円(税・送料込)
■Qセット 1449円(税・送料込)

合体すればダンゼンPower Up!

m100の周辺機器

さまざまな周辺機器と力を合わせて、できることの幅をどんどん広げていこう。きっと新しいm100の姿が見えてくる。



peripherals



D Palm Computing ポータブルキーボード

純正品キーボード。四つ折りに畳むとシステム手帳ほどの大きさになる。基本4ソフトの起動はキーボードから可能。草稿作成、会議のメモなど、ノートパソコン以上に活躍の場が広がりそうだ
 関パーム コンピューティング㈱
 関<http://www.palm-japan.com/>
 関1万2800円

E MemorySafe MSM08 (8MB)

アドレス帳やメールのデータなど大切なデータはパソコンへバックアップするより手軽に保存できる。メモリー領域は8MBあるので大きいデータもバックアップ可能。携帯用にポーチも付属する
 関ダイヤテック㈱
 関<http://www.diatec.co.jp/>
 関オープンプライス

F iTAX-IrDA

関NTTドコモの携帯電話に装着して、ノートパソコンやPDAとの赤外線通信を可能にするため、ワイヤレスのモバイル環境を構築できる。携帯電話の機種を変更しなければ、どのPalmでも利用できる周辺機器のひとつ
 関加賀電子㈱
 関<http://www.taxan.co.jp/>
 関7800円

G Poche Tail

携帯電話とPalmを接続して、モバイルでインターネットを利用できる。装着した単4電池で動作するため、本体の電源は消耗しない。Palm側の接続ケーブルは機種ごとに取り換え可能(別売)。cdmaOneやH"など各種電話機種に対応製品あり
 関サン電子㈱
 関<http://www.sun-denshi.co.jp/>
 関1万5800円

A Palm Connect USBキット

iMacやBookのようにシリアル接続ができないパソコンとHotSyncするための、USBアダプター。シリアル部を本体付属のHotSyncケーブルや、クレードルにつないで使用する
 関パーム コンピューティング㈱
 関<http://www.palm-japan.com/>
 関3980円

B SYNCCHARGER m100/m105対応

Palmデバイス各機種に対応製品があり、HotSyncと充電機能を同時にサポート。クレードルよりも省スペースになる。m100/m105は電池使用なので充電はできないが、USB接続に魅力を感じるユーザーは多いはず
 関プリンストンテックノロジー㈱
 関<http://www.princeton.co.jp/>
 関5000円

C WingBoard

二つ折りにして収納するキーボード。Palmを固定するスタンドが左に寄っているおかげで、キーボードの奥に参照したい書類を広げたり、メモ用紙を置いて作業がしやすい。付属するアダプターの使用/不使用でV、Vx、m100/105、c、WorkPad c3に対応
 関プリンストンテックノロジー㈱
 関<http://www.princeton.co.jp/>
 関9500円

H Palm m100 HotSyncクレードル

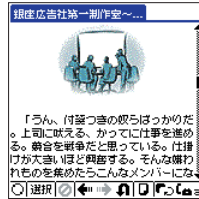
m100ではクレードルは別売だ。使わないときにm100をクレードルに載せておけば、机から滑り落ちたり、上にモノを落として液晶を割ったりといった事故を防ぐことができる
 関パーム コンピューティング㈱ 関<http://www.palm-japan.com/>
 関3480円

どんな本でも必要なスペースは手のひらだけ。メモリーが許すかぎりは何冊でも詰め込める。肌身離さず持ち歩いているPalmを使えば快適な読書生活を送れそうだ

マンガも週刊誌もスマートに読もう

Palmで読書!

文/吉沢正敏
イラスト/小林昌子



読書にも活躍するWebブラウザ

Xiino 1.0.5J

作者：(株)イリンクス 対応OS：Palm OS 3.5以上
<http://www.ilinx.co.jp/> 価格2980円

高性能Webブラウザ「Xiino」は読み物のリーダーとしても利用されている。Webページをひとつのファイルにまとめた「チャンネル」をダウンロードすれば、インターネットに接続せずにコンテンツを楽しめる。

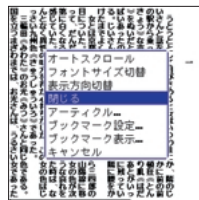


先進技術満載の高機能DOCリーダー

Crs-MeDoc 3.2.2

作者：高橋 大樹氏 対応OS：Palm OS 3.5以上
<http://www.ap.kagu.sut.ac.jp/~taka/palm/palm.html> 価格フリーウェア

縦書き表示、縮小フォント、ジョグダイヤル、高解像度表示、メモリスティック/SDカード対応など、常に他のDOCリーダーの一步先を行く高性能ソフト。使いこなすほどに最高の読書環境となるだろう。

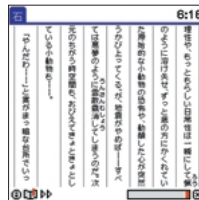


ジョグダイヤルで簡単操作

SimpleDoc 0.33

作者：IT-COMMUNICATIONS MasatoUchida 対応OS：Palm OS 3.5以上
<http://www.shoppingmall-jp.com/pw/> 価格フリーウェア

Crs-MeDocとほぼ同等の高機能を持ちつつ、使い勝手に優れたDOCリーダー。画面中央を指でタップすると表示されるポップアップメニューが便利。スタイラスを使わずにほとんどの機能を片手で利用できる。



ルビ表示で古典文学も大丈夫

Pook 1.13

作者：(株)アーキタンブ 対応OS：Palm OS 3.0以上
<http://www.architump.com/japanese/pook/> 価格フリーウェア

DOC形式、Pook形式のファイル用リーダー。Pook形式はコンテンツの販売を意識しており、ロック解除コードを入力するまでは表示部分が制限される。ルビや傍点など日本の出版物特有の約束事にも対応する。

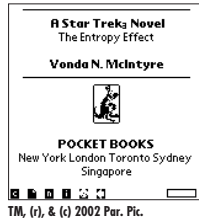


コミック作品ならお任せ

Comic: Time 2.0

作者：(株)ロイド 対応OS：Palm OS 3.1以上
<http://www.roid.co.jp/> 価格フリーウェア

コミックのように、絵で構成された電子書籍用のリーダー。256色以上のカラー書籍とモノクロの書籍の両方に対応。上下ボタンを押すだけの簡単操作で1コマずつ読み進めることができる。



Palm純正の統合eBook環境

Palm Reader 1.1.6(英語版)

作者：米Palm コンピューティング社 対応OS：Palm OS 3.0以上
<http://www.palm.com/ebooks> 価格フリーウェア

米Palm コンピューティング社が運営するオンラインショップ「Palm Digital Media」の電子書籍、およびDOC形式ファイル用のリーダー。挿絵の表示にも対応し、しおりやノートなどの読書支援機能も豊富。

コンテンツもリーダーもいろいろ揃った!

長 距離の電車通学や通勤など、手持ちぶさたな時間の過ごし方といえば、やはり読書。だが、紙の書籍はかさばるうえに、カバンが重くなってしまふのが難点。混雑した電車の中で新聞を広げるのもイマイチ気が引ける。ならば、いつも持ち歩いているPalmを本や新

聞の代わりにしてしまうのはどうだろう。標準アプリケーションのメモ帳を思い浮かべてほしい。片手で画面をスクロールさせながら読むスタイルは、手軽なうえ、小さな文字でも案外読みやすいものだ。だが、Palmにはもっとリッチな読書環境がある。今やインターネットでは、Palmで読書す

ための小説やニュース、さらにはマンガや雑誌までもが種類豊富に配布されているのだ。これらを読むためのリーダーソフトをインストールすれば、その瞬間、Palmは手のひらに載る新聞や文庫本、そしてマンガ雑誌にも変身する。Palmがあれば、いつでもどこでも読書を楽しめるのだ!

コンテンツサイト紹介

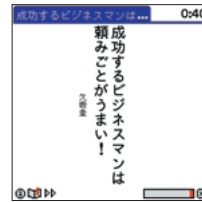


文庫本感覚で読める豊富な作品群

PDA Style

URL <http://www.jp.sonymstyle.com/peg/Store/Software/>

コンテンツ種類	小説、実用書、ビジネス書など、200タイトル以上
リーダーソフト	Pook, Xiino
価格帯	100～2500円前後、立ち読み可
課金方法	クレジットカード、プリペイド型電子マネーEdy(要会員登録)



ビジネス書や実用書など、忙しいビジネスマンがちょっとした時間に利用できるコンテンツも用意されている



「立ち読み」システムによって、冒頭部分だけは無料で読むことができる。続きを読みたい場合は代金を支払う

パソコン向けの電子書籍で実績のある「電子書店パピレス」が、保有する豊富なコンテンツをPalm用書籍として販売を開始。その舞台が、ソニー㈱のPDA向けeコマースサイト「PDA Style」だ。用意されている書籍は基本的に文字のみのPook形式ファイル。小説、ビジネス書、実用書が多く、文庫本感覚でじっくり楽しめる。特に小説は充実しており、筒井康隆や

小松左京などのSFから、エラリー・クイーンの推理小説など、手堅いラインナップが特徴だ。

Pook形式の書籍は、購入する前に内容の一部を「立ち読み」できる。続きが読みたいときはキーコードを購入して入力すると、マスク表示されていた部分が解除されて全部読めるようになる。コンテンツは日々追加され、今後の充実が期待できる。



週刊誌から写真集までビジュアルなコンテンツに強い

@irBitway

URL <http://www.airbitway.com/palm/index.html>

コンテンツ種類	コミック、写真集、マガジンなど、30タイトル以上
リーダーソフト	Xiino、Comic Time 2
価格帯	100～800円
課金方法	クレジットカード(要会員登録)



@irBitWayはPalmから直接アクセスすることも考慮しており、XiinoやWebクリッピングからも利用できる



写真週刊誌やアイドル写真集のXiino用チャンネルなど、見て読んで楽しめるユニークな品ぞろえが魅力だ

「@irBitway」は、凸版印刷㈱が提供するPDAコンテンツ流通サイト。各種ソフトウェアとともに、Palm向けの書籍の販売も行っている。その特徴のひとつは、コンテンツのジャンルの広さ。Comic Time 2用のコミックあり、アイドル写真集あり、Xiino用のチャンネルとして週刊誌まで、ビジュアルを楽しめるコンテンツが揃っている。ダウンロード1件あたりに課金さ

れるコンテンツのほか、利用期間(月単位など)で課金されるXiinoチャンネル形式の雑誌など面白い試みも。

また、XiinoやWebクリッピングでPalmから直接アクセスできるため、パソコンを経由せずに書籍を購入できる。クレジットカード番号は会員登録時に1回送信するだけなのでセキュリティー面も安心だ。

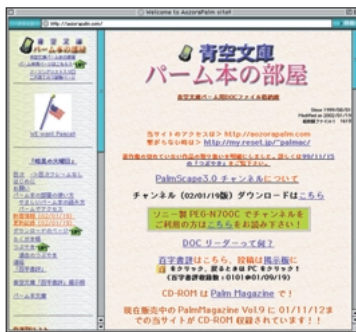
サイトからコンテンツをダウンロードしよう

初期の頃は一部のユーザーだけが楽しんでいたPalmを利用した読書。現在ではさまざまな企業や団体によってコンテンツがインターネットを通じて供給され、誰でも手軽に読書を楽しめる環境が出来上がりつつある。古典と言われる名作文学から、ビジネス書、さら

にはグラフィ系写真集まで、それぞれのサイトで扱う書籍のジャンルもバラエティ豊かになってきた。

書籍を手に入れるにはパソコンのWebブラウザでアクセスし、気に入ったものをダウンロードする。それらはPDBファイルやPRCファイルの形式になっているので、

通常のアプリケーションと同じようにHotSyncでPalmへ転送するのが一般的な手順だ。必要なリーダーソフトも忘れずにインストールしておこう。中にはPalmで直接インターネットに接続して、購入手続きからダウンロードまで可能なサイトもある。いつでも書籍を購入できるので便利だ。

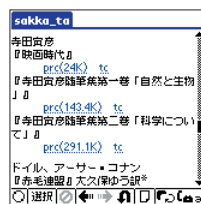


膨大な数の文学作品を無料で配布

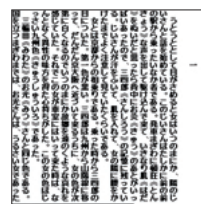
青空文庫パーム本の部屋

URL: <http://aozorapalm.com/>

コンテンツ種類	古典・近代小説など、1600タイトル以上
リーダーソフト	DOCリーダー
価格帯	無料
決済方法	



Palmでアクセスすれば、直接Doc形式のファイルをダウンロードして、その場で読める。ファイル容量も比較的小さい



日本文学の巨匠の作品が山ほどある。いずれもDoc形式なので、好みのDocリーダーを使って読むことができる

夏目漱石や芥川龍之介など、日本文学の巨匠たちの小説をPalmのDOCリーダーで読める形式にして配信しているサイト。代金はすべて無料だ。その秘密は、著作権が作者の死後50年で消滅するため、昭和初期頃までに活躍した小説家の作品の多くが、著作権料を支払うことなく利用できる点にある。そして何よりも、このサイトを含む「青空文庫」プロジェクトが、

企業や個人から活動資金の提供を受けながら、すべてボランティアベースで運営されているのだ。「青空工作員」と呼ばれるボランティアの手によって膨大な数の小説が入力され、DOC形式に変換されて提供されている。Palm専用ページが設置されており、Xiinoを使ってアクセスすることによって、DOC形式ファイルをPalmに直接ダウンロードすることもできる。



旬の情報をチャンネルでキャッチ!

PDA Biglobe

URL: <http://pda.biglobe.ne.jp/palm.html>

コンテンツ種類	小説、エンターテインメント、コミックなど、40タイトル以上
リーダーソフト	Xiino, ComicTime2
価格帯	0~300円
決済方法	Biglobe課金に加算(クレジットカード、銀行振込、郵便口座振込)

インターネットプロバイダーのBiglobeが運営するPDA向けポータルサイト「PDA Biglobe」でも、ソフトやコンテンツの販売を行っている。コンテンツの中心は、Comic Time 2用のコミックと、Xiino用のチャンネルファイルだ。チャンネルはPDA情報から映画・音楽情報まで提供されており、ほぼ毎日更新されているので新鮮な情報が手に入る。Xiinoを使ってPalmからアクセスすることも可能だ。



URL: <http://www.buichi.com>
©BUICHI TERASAWA/A-girl 提供ROID, Inc.
www.aibitway.com, www.pda.biglobe.ne.jp, www.buichi.com
Comic Time 2用の寺沢武一氏のコミックなどを販売している



Xiino用チャンネルファイルとして、文字情報と画像をリンクさせた速報系のコンテンツも配布している



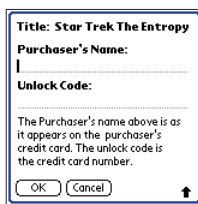
洋書専門店並みの品揃え

Palm Digital Media

URL: <http://www.palm.com/ebooks/>

コンテンツ種類	あらゆるジャンル、3000タイトル以上(ただし英語のみ)
リーダーソフト	Palm Reader
価格帯	\$0~\$15前後
決済方法	クレジットカード(要会員登録)

米パーム コンピューティング社が運営する電子本のオンラインショップ。まるで洋書専門店がそのままインターネットに引っ越してきたかのような、幅広いジャンルの品揃えが特徴だ。Palm Reader形式のファイルとして書籍をダウンロードする方法のほかに、書籍データを収録したSDカードを購入する方法がある。無料で読めるコンテンツもいくつかあるので、このサイトをきっかけに洋書に挑戦してみるのもいいだろう。



コンテンツを購入すると、コードがメールで届く。これを入力することで、内容を読めるようになる



「スター・トレック」をはじめ、あらゆるジャンルの小説が揃っている

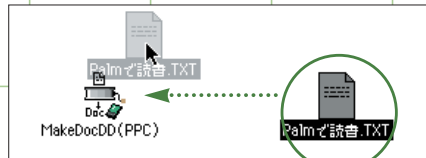
ニュースサイトをDocリーダーで読もう

配布されているコンテンツを利用するのもいいが、パソコンと連携させて自分だけの「文庫本」や「新聞」を作ってしまうのも面白い。

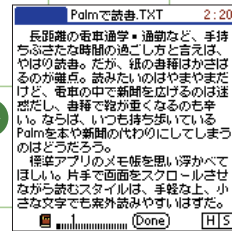
パソコンの中にある文書をPalmで読むなら、DOC形式に変換するのが簡単だ。図版入りのワープロ文書などは表現できないが、テキスト形式のファイルとして保存したファイルならば、ウィンドウズでもマックでも簡単にDOC形式に変換できる。また、ニュースなどの新鮮な情報が必要ならば、Web巡回ソフトを使ってニュースサイトのコンテンツをDOC形式に変換するのがお勧めだ。

Docファイル変換ソフト	
MakeDocW (ウィンドウズ用)	作者: Mark Pierce 種別: フリーウェア http://www.cognitiveroot.com/
MakeDocDD (マック用)	作者: 吉沢正敏 種別: フリーウェア http://pobox.com/ yoz/PilotSoft.html
Webサイト巡回ソフト	
HiMakeDoc (ウィンドウズ用)	作者: Hiro_Ish 種別: フリーウェア http://homepage3.nifty.com/hiro_ish/palm/
Visor にWebがびるごむ?!(マック用)	作者: 小山 虎 種別: フリーウェア http://homepage.mac.com/torakoyama/mac-visor.html

テキストファイルをDOC形式にして読む(マック編)



1 「MakeDocDD」はシンプルなソフト。あらかじめテキスト形式で保存した文書のアイコンを重ねて変換を開始する



2 DOC化された文書は、次回HotSyncしたときに自動的にPalmへインストールされる。あとはDOCリーダーで読もう

ニュースサイトをDOC形式にして読む(マック編)



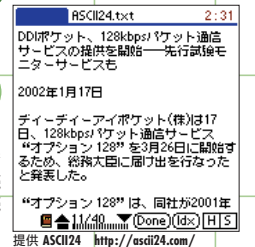
1 ここでは「VisorにWebがびるごむ?!」を使う。最初に読み込みたいニュースサイトの情報を登録する



3 収集完了後、自動的にMakeDocDDなどを起動してDOC形式に変換する。次回のHotSyncでのインストールが予約される



2 「スタート」ボタンをクリックすると、インターネットに接続してニュース情報の収集を自動的に始める



4 こうして集められたニュースをDOCリーダーで読む。日記サイトや読み物サイトを巡回して読むのも面白いだろう

モバイル読書時代がやってくる

ノートパソコンや専用端末を利用した読書

適切な書体を選択したり、レイアウトを工夫したりといった感覚的な作業の結果、紙の書籍は読みやすく、使いやすく出来上がっている。同じものをパソコンで再現するには、高速なCPUと高精細なディスプレイを備えたデスクトップパソコンでなければ不可能と思われていた。ところが、近年のノートパソコンは、そういった条件を軽々とクリアしつつ、日常的に持ち歩ける軽さまで備えるようになってきた。

こうした状況下で、アドビシステムズ㈱が提唱している電子書籍が「eBook」である(右上图)。印刷物をそのままの形でディスプレイに表示するPDFの技術をベースに、ページ送りやしおりといった「読書支援機能」を追加したものと考えていい。ノートパソコンでの使用を考慮し、本体を横に持つことで画面を

広く使える回転表示機能なども用意されている。既存の書籍から比較的簡単にコンバートできるためか、すでにAmazon.com(http://www.amazon.com/)などで相当数のeBookが販売されている。国内でも10daysbook.com(http://www.10daysbook.com/)などでeBookの販売がスタートしている。

ノートパソコンも悪くはないが、表示用の専用機器があればより気軽に電子書籍を楽しめるだろう。㈱イーブック・イニシアチブ・ジャパンがコンセプト機として発表した「イーブック端末」は、2枚のカラー液晶を見開きの書籍のように組み合わせた装置だ(右写真)。発売は未定とのことだが、こうした良質な読書体験を提供してくれる機器が、Palm並みの価格で提供される日が一日も早くやってくることを願いたい。



アドビシステムズ㈱の「アクロバット eBook リーダー」。マーカーで塗ったり注釈を付けることも可能。同社のWebサイトから無料でダウンロードできる



「イーブック端末」のコンセプト機。TFT液晶パネルを採用し、液晶部の下にはページめくり用のボタンが付いている

こだわりのケースを纏え！



CLIE PEG T-600C用
縦開きケース
価 5万8000円



CLIE PEG T-600C用
2つ折りケース
価 3万円

T-600Cのために生まれたケース。

革が語るシルエット

ベルトを締めた茶のケースは、3個所に設けた切り欠きのほかはすべてを革で覆っている。曲面の連続した背面が温かみを、切り落としたようにフラットなフリップが精悍さを醸し出す。

一方の黒は、両側面を露出したサンドイッチ型。ジョグダイヤルなどへのアクセシビリティを維持しながら、液晶パネルと背面部分を2枚の革がしっかりと守っている。

「CLIE Tシリーズのボディーは曲面が多いので、特に茶のケースはとても作りにくかったです」とオーソドキシ-のデザイナー・今野^{こんの}さんは言う。T600Cの滑らかなボディーに沿った丸みは、湿らせた革を本体に被せ、外周を釘で打ち付けたまま乾燥させることによってその形が出来上がる。「型出し」と呼ばれるこの工程は、高度な技術と熟練を要するため、在籍する5人の職人のうち1人しか作ることができない。



写真1 CLIEのボディーと一体化した、艶(つや)を備えた滑らかな曲面。完成までのすべての作業を1人の職人が担当する。断面は色を付けた布で丹念に磨きあげられる



写真2 ジョグダイヤル、ストラップホール、スタイラス部分の各個所に切り欠きを設け、美しさと同様に機能性を追求した作りになっている



写真3 コネクタ一部の切り欠きを漏れなく覆う幅広のベルト。伸縮することの多い部分には耐久性を考慮して厚めの革が用いられている



「タンニン^{なめ}鞣し」の進化形

オーソドキシ-の製品はすべて、タンニンで鞣した革で作られる。燃やすことのできる環境に優しい革、として注目を浴びているタンニン鞣したが、その多くは雨染みの付着を防ぐために顔料を用いた後加工が施される。すると、革の「毛穴」が^{ふさ}がってしまうために、型を出した後でひび割れが起きやすくなる。

だが、オーソドキシ-は顔料を一切使わない。雨染みに耐えるタンニン鞣しを求めて、皮革メーカーと研究を重ねた。その間、10年。ついに独自の加工法へと成就させた。

革の研究に注ぎ込んだ情熱と革への愛情が結実し、ゆえに茶と黒の優美な輝きが今ここに放たれているのだ。



写真4 背面部分にはメモリースティック用のホルダーが設けられている。きつすぎず、緩すぎることもない微妙な締め付けに手作りを感じる



写真5 ベルクロを望まない顧客が多いため、純正フリップの固定具を流用することによってケースとCLIEの堅牢な固定を実現した



写真6 ベルトを抜いてフリップを背面に回せばすぐにCLIEを操作できる。手のひらに持つ喜びを与えてくれるソフトな感触だ



図 オーソドキシ- 図 <http://www.orthodoxee.com/>

パームファッション専門学校



Lesson.6

限定帆布ケース
手に入れよう!!

絵文 nom



マシオカ先生
最近いけれど
重なるれる
パームファッション
研究者

じゃーん!
東京美草の犬印で
鞆と小物ケースを買いましたっ



小物ケース
(iPod用ケース)

ちょっと自慢
いいでしょ?

あっ!



トートバッグ(中)

しーかーしー!

は太郎君も

犬印のバッグも

は知らないだろ



えっ!

そんなケース本店でも
なかつたよ!?



パームファッション専門学校 Presents! CLIE T600C 用 犬印帆布ケース!



驚くはかれ!なんと
作ってもらっちゃいました!

マジ! マジ!?



限定30個の特別製作!
¥1,800(税別)

コンパクトサイズ
収納時はクワイ本体が
ぴったり入るサイズ 高さ140mm
幅90mm

シンプルで薄い!
クワイT600C最大の魅力「薄さ」を
引き立たせるシンプルケース
無駄がないから美しい!

片手でも
出し入れ簡単
上の口から
スポッと入れよう。
出す時には下の方を
押すと「にゅっ」と
出てきてくれるよ。

ケースの
厚さは
約5mm

100%生地インナー
薄くてもちゃんと
100%生地が内側に。
大事な液晶を
守ってくれるよ。

赤色

紺色

カーキ色

裏側は同色無地の
帆布製だよ。

犬印帆布ケースあり

犬印では全ての帆布バッグに
文字を入れてくれる。文字色や
書体も選べるから、オリジナル度も
ぐっと上がる! (+600円が必ずつく!)
このモリグラム帆布の詳細はHPだね。

素材には 純綿の6号帆布
を使用。化学ゼムと違って
暖かみのある仕上がり。
色はどれも帆布の
風合いがいまいる3色から
自由に選べるよ。

犬印のひみぢ

タグにあるマークは
救助犬で「大切なものを安全に
運ぶ」要領なんだって。賢い動物の
鞆を作る犬印のじがここにあるんだ!



実績 限定ケースができるまで!
by マシオカ

「お手さはないが...
このシンプルさ!
いける!」
犬印ケース
トートバッグ

ある日
素晴らしい鞆に
出会った
私は意志を決して
犬印鞆道商店へ

そしてがせつ好き
の社長さんに
頼んだ!!!
おん
せむ
パーム用の
ケースを
作って
下さい!

「わかりました!
限定なら
お作りしよう
也たっ!
←そしてぜひあが木の帆布ケースがある!

私が気に入ったこのケース!
欲しい方は下記URLより
申し込めませ!

30個なので
お早め!!

① 犬印鞆製作所のホームページから、この商品と
直接 注文することはできません!

申し込みは下記URLから
<http://www.ascii.co.jp/palm/>

- べ太郎NOTE
- 今回は とにかく マシオカ先生の行動力にびっくり。
- 留め具もボタンもない。これだけシンプルな専用ケース?
- 探しても意外と見つからなかつたりするんだよね。
- しかも帆布製だから カシミア肌 っぽい!
- 先生いわく、'11年限定ケースを作った下巻た 和川社長
に感謝が だそう。...マシオカ先生も急いで申し込まなくちゃ!!

シンプルな帆布バッグを作り続ける犬
印鞆製作所。今回は特別に右写真の
「iPodケース」(1400円) をT600C用
に改造し限定販売(1800円) 申し込
みは <http://www.ascii.co.jp/palm/>

犬印鞆製作所
TEL 03-5806-0650
URL <http://www.kaban.co.jp/inu/>

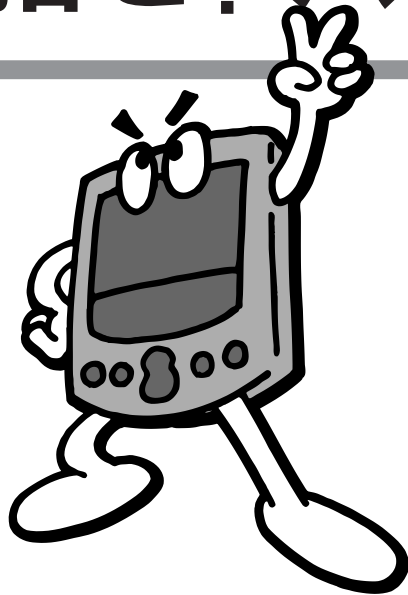




初心者

プログラミング だけど 目指せ! パームウェア作家

連載 6 回目



Palmで手軽にBASIC言語を使えるパームウェア「Small BASIC」。パソコンを使わずに手のひらだけでプログラミングができる。このパームウェアを使って、パズルを解く感覚でやってみよう。

文 / 丸山弘詩 (FocV Project) イラスト / NORIS

Small BASICの入手とインストール

フリーなBASIC言語開発環境「Small BASIC」(<http://www.yoogo.com/computers/ndc/sb.html>)をダウンロードし解凍してできるファイルのうち、「sbpad.prc」と「MathLib.prc」の2つをインストールすれば、準備完了だ。なお、PRINTコマンドやINPUTコマンドなどで日本語を表示できるようにするには、メニューから「Pref」の「Interpreter」をタップして、「Japanese(SJIS) charset」を選択する必要がある。



Small BASICとパソコンでの開発用ソフトウェアとの違い

今回は、前回のサブルーチンやループの考え方を一歩進めて、パソコンでのアプリケーション開発を意識したプログラム全体の流れを考えてみよう。これまでアルゴリズムの

ことやサブルーチンのことを述べてきたわけだが、Small BASICはインタープリターであるため、Small BASICの中に書き込んだプログラム(ソースプログラム)しか実行ができない。独立したアプリケーションとするためにはコンパイラというソフトでコンパイルし、独立した実行形式のファイル(*.prc)を作る必要がある。

コンパイラにはリナックスなどのオープンソースOSでも使用され、無償で入手できる「gcc for Palm OS」や市販製品の「NS BASIC for Palm OS」、「CodeWarrior for Palm OS」などがある。

いずれの場合も次のような手順で作成される。

- アルゴリズム作成
- フロー作成
- インターフェース作成
- ソース作成
- コンパイル

アルゴリズム作成

これは前回までで行ってきた「やりたいこととその手順」だ。何をやりたいのか、それを実現させるためにはどうしたらいいかを考える。特に、何を入力し何を出力したいのかをはっきりさせておく。

フロー作成

フローとはプログラムの流れのことをいう。メインプログラムを起動したら、どのタイミングでサブルーチンを呼び出すか、あるいは処理を中断させたいときはどの状態でそれをプログラムに知らせるかなどを考える。

インターフェース作成

入力ボタンを作ったり、画面に表示させるものを作る。パームウェアではリソースという呼び方をすることも多い。場合によっては最初にインターフェースを作成し、それに沿って、 を作っていく場合もある。

ソース作成

命令や数式を使って実際のプログラムを作る。

コンパイル
アプリケーションとして独立して動作できるように処理を行う。

のコンパイルの作業はSmall BASICでは「SAVE」に当たる。～まではSmall BASICで今までやってきたことと、ほぼ同じ手順である。それぞれを置き換えていけば分かると思うが、基本的にはなんら変わらない。

しかし、まったく同じというわけではない。では、ソースを作成する場合に考慮しておかなければならない点を述べていこう。



アプリケーションに適したプログラムを作るときの留意点

処理が終了したら、最初に戻るようにする

プログラムは処理が終了したら、起動時の状態に戻るよう作成する。Small BASICでは、Small BASIC本体から強制的に終了させたり、プログラムが停止した状態からまた起動することができるが、アプリケーションでは、基本的に状態が保存される。そのため、プログラムを完全に停止してしまうと、再度動作させるためにはリセットをしなければいけないケースもある。そういった誤動作を防ぐためにも、プログラムは次のように分けて考えていこうにしよう。

起動
初期値設定
待機状態(メインループ)
必要な処理(入出力や演算)
に戻る

処理は細分化し、メインルーチンとサブルーチンは完全に分ける

アプリケーションはイベントと呼ばれるさまざまな割り込みを監視し、その都度、必要な処理を行った後に通常待機状態に戻るよう

に作る。イベントは例えば「ボタンを押した」あるいは「グラフィティ文字が入力された」「メニューがタップされた」などがある。こうしたイベントを処理するためにメインルーチン(主プログラム)はイベントを監視するためのループ処理だけを置くようにしたい。初期設定や主処理はすべてサブルーチン(副プログラム)にしておこう。

サブルーチンには原則としてループ処理をさせない

必要な場合もあるが、サブルーチン内にループ処理を入れてしまうと、そのループ処理中にイベントが発生した場合に処理ができなくなったり、処理がうまくいかないことがある。サブルーチン内で何度も繰り返す処理がある場合はできるだけメインルーチン内にループ処理を置き、そのループの中からサブルーチンを呼び出すように心がけよう。

開いたファイルはできるだけ同じルーチン内で閉じる

ファイルを開いたら、そのルーチンの最後で閉じるようにしよう。これはアプリケーションがファイルを開いた状態で放置すると、処理の途中でランチャー(シルクスクリーンの「ホーム」をタップしたときに現れるアプリケーション一覧)に戻ったとき、同じファイルをほかのアプリケーションが使いなくなり、リセットがかかってしまうことがあるからだ。Small BASICでは意識することはないが、プログラムの切り替えが発生する可能性があるときには必ず「開いたファイルを閉じる処理」を入れておこう。

では、最も重要な最初の3つを考慮して次の例題をSmall BASICで作成してみよう。



Small BASICでアプリケーション向けのプログラムを作る

まずは「画面の右下をタップしたら、4桁の乱数を表示、左上をタップしたら終了」と

いうプログラムのソースプログラムを見ていこう。

```
'Rnd.bas
'初期値設定
PEN ON
INIT
i=0
'メインループ
WHILE i<=1
  IF PEN(3)
    CHKPEN
    IF i=1
      MAKERND
      SCROUT
      i=0
    FI
  FI
WEND

'初期画面描画
SUB INIT
  RECT 0,0,80,80
  RECT 80,80,159,159
END

'タップ位置取得、位置確認
SUB CHKPEN
  x=PEN(4)
  y=PEN(5)
  IF x>=80
    IF y>=80
      i=1
    FI
  FI
  IF x<80
    IF y<80
      i=2
    FI
  FI
END

'乱数生成
SUB MAKERND
  z=INT(RND*10000)
END

'数値表示
SUB SCROUT
  LOCATE 1,1
  PRINT z
END
```

このプログラムの流れは次のようになる(図1)。

初期値設定：メインルーチン
ループの状態およびタップ位置を示す変数iを0にする



画面をタップしたかどうかの状態を取得できるように「PEN ON」を実行する画面に区別の線を描くサブルーチンINITを呼び出す

メインループ: メインルーチン
変数iが1以下の間ループする
画面がタップされたら、タップ位置を取得するサブルーチン「CHKPEN」を呼び出す

の結果、変数iが1であれば乱数生成サブルーチン「MAKERND」を呼び出す

の結果、変数zに格納された乱数を表示するサブルーチン「SCROUT」を呼び出す

の結果、変数iが0であればループを終了し、プログラムを終了する

初期画面描画: INIT

座標(0,0)から座標(80,80)を対角に持つ長方形を描く

座標(80,80)から座標(159,159)を対角に持つ長方形を描く

タップ位置取得: CHKPEN

タップされた横座標を変数xに格納する
タップされた縦座標を変数yに格納する
変数xが80以上かどうか判定する
変数yが80以上かどうか判定する

ともに超えていれば変数iに1を格納する

ともに超えていなければ変数iに2を格納する

メインルーチンへ復帰する

乱数生成: MAKERND

乱数生成関数RND(0~1未満の乱数を生成する)に10000を乗じて0~9999までの乱数を生成する

で生成した数値を変数zに格納する

数値表示: SCROUT

カーソル位置をx=1、y=1に移動
変数zの値をPRINTする

パソコンによるアプリケーションの作成の場合、の初期画面描画との数値表示はリソースエディターと呼ばれるツールであらかじめ作成する(図2)。「ボタン」と「フィールド」を作ればいいので簡単にできる。またのタップ位置の取得もボタンをタップしたイベントが発生するので、そのイベントに対応したサブルーチンにソースを書き加えるだけでいい。もちろんボタンが押されたことを示す反転表示も自動的に行われる。

ボタンを多用するPalmのアプリケーションを作るには、Small BASICよりもパソコンによる開発の方がはるかに便利なわけだ。

無論、ちょっと計算させるだけならSmall BASICだけで事足りる。



さあ、開発者への道へ踏み出そう

今までSmall BASICでアルゴリズムへの理解を深めていただけたのであれば、次のステップとして、パソコンでのアプリケーション開発に進んでいただきたいと思う。まずは米パーム コンピューティング社(<http://www.palmos-japan.com/>)へ開発者として登録し、開発キット(SDK)を入手して眺めてみよう。

大体の概略がつかめたら、開発用ソフトウェアを入手して実際に作ってみるのが一番

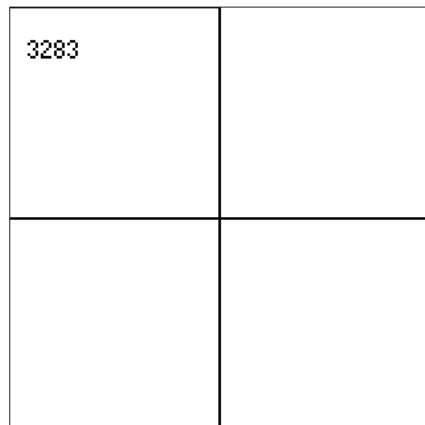


図1 例題を実行したところ。左上をタップすると終了。右下をタップするとタップしている間、乱数が生成され続ける

だ。特に加NSベーシック社の販売している「NS Basic for Palm OS」は、若干違うとはいえ同じBASIC言語を源流に持つため、コツをつかみやすいと思う。C言語を理解できればgccというフリー環境もPalm OSで活用できる。ぜひチャレンジしてほしい。

ただし、Small BASICでもそうなのだが英語が基本となるので、英語の勉強も忘れずに。

【開発用ソフトウェア】

NS BASIC for Palm OS

<http://nsbasic.com/palm/>

CodeWarrior for Palm OS Platform
日本語版バージョン7

<http://www.metrowerks.co.jp/Products/PDA/Palm7J.htm>

gcc for Palm OS

<http://www.palmos.com/dev/tech/tools/gcc/>

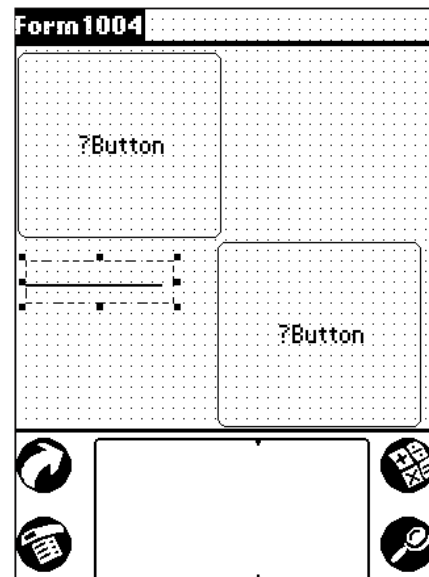


図2 リソースエディターの一例(NS BASIC for Palm OS)。ボタンやフィールドはマウスで配置してだけで作成される



文 山田達司
イラスト nom



PalmSourceでPalm OS 5が発表されましたが、これでPalmはどう変わりますか？



CPUがDragonBallからARMに変わったのが最大の特徴です。ARMはDragonBallと比較して「処理能力が高く、省電力」「低速で省電力なもの、高速なもの、無線機能を内蔵したものなどバラエティーに富む」といった点で優れています。ARMの採用で、小さく省電力のPalmからマルチメディア対応のものまで、用途に応じた多彩なPalmが作れます。詳しい人は「ARMならずでもPocket PCでも使っているじゃないか。Palmはやっと追いついたのか」とおっしゃるかも知れません。しかし低速なCPUでも快適に動くPalm OSに対して、Pocket PCはOSが重いので、現時点で最高速のARMの使用でようやく実用的に動くようになったのです。CPUが変わることで、ソフトウェアやこれまでのデータとの互換性が気になりますが、Palm OS 5にDragonBallのエミュレーターが搭載されており心配は不要です。Hackソフトが動かないなどの問題はありますが、通常のアプリケーションやDAソフトは動きます。単にOSのバージョンが上がり、機能・性能が向上したと考えていいでしょう。



電車に乗っているときスタイラスでの入力が面倒です。



おっしゃるとおり、Palmを使うたびにスタイラスを取り出すのは面倒なことですね。私も普通に使っている時にはめったにスタイラスを取り出さず、ほとんどの場合、指だけを使っています。画面を切り替える、画面上のボタンを押すといった操作は当然のこと、文字入力も5、6文字であれば人さし指でグラフィティー入力を行ってしまいます。「指でPalmを操作する」というのはかっこ悪いようにも思えますが、決して変なことではありません。開発者向けのドキュメントでも「可能な限り指だけで操作ができるようにしなさい」という記述があるほどです。画面が汚れるのが気にならない人はぜひ試してみてください。

ボタンを活用するのも有効な手段です。標準の状態では4つのアプリケーションしか起動できませんが、豊富なユーティリティを使えば、より多くのアプリケーションを起動することができます。CLIEではジョグダイヤルの活用が重要です。ジョグアシスト搭載機ではジョグダイヤルだけでホームに移動する、メニューを選択するなど多くの操作が可能で、PowerJOG (<http://simple-palm.com>) を使えば、さらにアプリケーションやDAの起動、ダイアログウィンドウでのボタン

選択などもできます。CLIEユーザーはぜひお試しください。



CLIEで「フォント」が「フォント」と見えて困っています。



ハイレゾ画面を搭載したCLIEは画面の美しさ、日本語フォントの美しさが大きな特徴です。しかし、あなたをはじめとして多くの人が「あれ？」と思うのが「ン」の字です。気がついていない人は一度注意して見ていただきたいのですが、「ン」の字がどう見ても「ソ」に見えてしまうのです。「パソコン」は「パソコン」に「オプション」は「オプション」になってしまいます。慣れてしまえばいいのかもしれませんが、どうにも違和感を感じる人はあなただけではいいでしょう。

そんな人にお勧めするのは私の作品である「ンソ字FIX」(フリーウェア、<http://simple-palm.com>)です。名前の通り「ソ」と間違えやすい「ン」の字形を修正するというだけのソフトです(ちなみにこの名前は「嘘字」にもかけています)。サイズも小さいので、ぜひインストールしておいてください。

同様に「CLIEのハイレゾフォントは細すぎる」という人のために、ハイレゾフォントを太くする「細字FIX」(フリーウェア、<http://simple-palm.com>)も公開中です。頼りなかつた字がかなりがっしりしますので、ぜひお試しください。



Palmを購入しましたが、まわりに仲間がいなくて寂しいです。



攻撃は最大の防御といえます。仲間がいなければ増やしてしましましょう。幸いなことに昨年以來Palmの一部モデルは急激に値を下げられており、非常に買いやすくなっています。ターゲットの相手を説得する際には、Palmがいかに便利か、使いやすいか、といったことを説明するのももちろんですが、視点を変えて、「システム手帳でもちょっとリフィルを追加すれば、これより高くなりますよ」とか「仕事で使えなくても、ゲーム機として使えますよ」というとより勝率は上がるのではないのでしょうか。説得のために必要なソフトをひと通りPalmに入れておくのを忘れないようにしてくださいね。

質問大募集 !!

「Palmの達司」では、達人山田氏に答えてほしい疑問や質問を募集しています。ご応募は氏名(ペンネーム)、性別、年齢、使用機種、電子メールアドレスを明記のうえ、次の宛先まで電子メールでお送りください。

メール宛先
palm-magazine@ml.ascii.co.jp
標題(Subject)に「Palmの達司」と明記のこと

PDA Wars in the U.S.A(下)

飯吉 透

Palm陣営の異端児、CLIE

前号では、PDA市場における現時点までのPocket PC陣営の追い上げとその戦略を取り上げたが、今回は、いま既にPalm陣営内で繰り広げられている「内戦」とその行方について取り上げたい。

内戦とは言っても、実際Palm社、Handspring社、ソニーの各社は、互いの足を引っ張り合っているというよりは、異なった特徴を持つPalmを市場に送り出すことによって、巧みに棲み分けを行っているように見える。その中でも、ソニーのCLIEの存在はユニークだ。CLIEの登場により、Palmは新たな可能性を見いだせた反面、ユーザーに現在のPalmプラットフォームの限界を垣間見せてしまった、という話を前回した。マルチメディアを扱うには非力すぎるプロセッサや、本来シンプルさや軽快さを追求していたOSに拡張を重ねてきたPalmは、ハードウェア的にもソフトウェア的にも限界に近づきつつある。もっとも、「限界に近づきつつある」というのは、あくまでもPalmを、今後もCLIEが目指しているような方向に進化させ続けていく場合の話ではあるが。

マルチメディア機能を備えた「手のひらサイズ」のパーソナルコンピュータを目指しているPocket PCと、互角に勝負できるPalmの先鋒と目されているCLIEだが、長期的に見ればソニーがCLIEに託しているものは、おそらくPDAでもハンドヘルドコンピュータでもない。「次世代のマルチメディア・デジタル・ウォークマン」。さまざまなAVフォーマットに対応し、ワイヤレスでデータをダウンロードでき、どこでも音楽や映像を楽しむためのポータブル・デバイス。それが、ソニーの目指すゴールであり、現在のCLIEは、その第一世代とも言える製品なのだろうと筆

者は思う。アドレス帳やスケジュールなどのPDAとしての機能は、あくまでもCLIEにとっては付加的なものだ。同社のパソコンVAIOがWindowsを搭載していることを考えると、CLIEのプラットフォームとしてなぜPocket PCが選ばれなかったか、という点が興味深い。CLIEの製品開発の時点で、デファクトスタンダードのPDAのOSだったPalm OSに白羽の矢が立ったのだろうか。

個人的には、ソニーに将来的にもPalm陣営に留まっていたほしいと願っている。しかし実際のところ同社にとって、これ

から先Palm OSに固執する確固たる理由はない。昔、ソニーが主導していた家庭用ビデオ規格のベータがVHSに敗れたことが明白になった時、ソニーは潔くVHS規格のビデオカセットレコーダーを作り始めた。同様のことが、CLIEを巡って再び起こる可能性は否定できない。もし今年予定されているPalm OSの大幅なアップグレードと、よりパワフルなプロセッサの採用(Strong ARMが有力とされている)がスムーズに進まなければ、近い将来Pocket PC版のCLIEが登場しても、それは驚くには当たらない。

製品戦略を模索中のPalmとHandspring

老舗のPalm社の製品は、これまでPalm本来のベーシックなPDA機能を重視してきた。現在は、ビジネスユーザー向けには高級感のあるモデル、ローエンドのホームユーザーには、安価な入門モデルを提供しているが、いまひとつ新鮮味に欠けることは否めない。同社は、Bluetooth内蔵によって、オフィスなどでPalmのワイヤレス環境を普及させようという製品戦略を練ってきたが、Bluetoothの普及が遅々としている現状では

いまひとつ先行きが見えない。

一方、Handspring社はスプリングボードによる拡張性を売り物にした製品を販売してきたが、正直言って、これも善戦しているとは言い難い。さまざまなモジュールを差し替えながらPalmを多機能に使用するというのは、どちらかと言えば趣味的なユーザーの世界だ。普通のユーザーは、幾つもの拡張モジュールを持ち歩いて、ニーズに合わせて使い分けるなどという面倒なことは、あまりしたくない。2001年秋、Handspring社はアメリカ市場に、携帯電話と一体化した新製品Treo(スプリングボードスロットはない)を投入し、携帯電話をベースにした製品を主力に据えた。Treoにはグラフィティを使用しないキーボード内蔵のモデルも用意されており、ペンOSのPDAは苦手という人もユーザーとして取り込もうとしている(さらにPalm社が、Xerox社からグラフィティを巡る特許侵害で告訴され、法廷で争っていることを考えると、この「グラフィティ抜き」というオプションの意味を深読みしたくなる)。以前にも本コラムで取り上げたように、携帯電話後進国のアメリカで、Treoが新しいタイプのPalmとしてどのように評価されるか興味深いところだ。

いずれにしても、マイクロソフトのPocket PCが着実にマーケットシェアを拡げていく中、Palm陣営は現在のリードを武器に、如何にプラットフォームの刷新を円滑に進め、ユーザーのニーズに合った個性的なモデルを送り出していかれるか、これからの正念場である。今年のPDA市場では、熱き「天下分け目の戦い」が繰り広げられそうだ。



著者紹介

飯吉 透(いひよし・とおる)

米国カーネギー財団上級研究員・知識メディア研究所ディレクター。学術博士Ph.D.(教育システム学)。コンピューター文化や教育とテクノロジーに関する著書、連載、講演など多数。シリコンバレー在住

学科と実地で免許皆伝！ 定番ソフトを乗りこなす

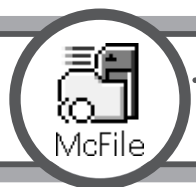


教習所



言わずと知れた定番ソフト。だけど試したことがない。今さら人には聞けないし、質問されたらどうしよう。わかりやすさが身上の当教習所。今回はファイル管理ソフトをテーマにあなたの不安を一掃しよう。ってことで、さっそく教習に出発ッ！

文 てのひらなでしこ(<http://www.worpaholic.com/>) / イラストレーション 古代 進吾



今回の教習ソフト McFile

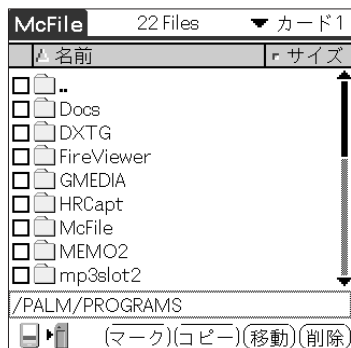
作者：今関 弘明 入手：<http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>
種類：McFile Ver.2.0(1500円)
対応：Palm OS 3.5以上



Palm版エクスプローラー？ 機能満載の定番ファイラー

「McFile」は、各種メモリーカードにも対応したファイル管理ソフト。豊富な機能、軽快動作、カンタン操作が特徴だ。ソフトやデータなどのファイルは通常、標準のホームから操作するが、メモリーカード上のファイル进行操作する場合は特定のディレクトリー（/PALM/Launcher）に置いたファイルにしかアクセスできない。しかもホームで実行可能な機能はコピーや削除などわずか。普段よく使う移動やリネームはなぜか実装されていない。こうした弱点を補うのがMcFileだ。ディレクトリー間を移動するさまはエクスプローラー風。

McFileはコピーや削除といった基本機能



メモリーカードを差した状態で起動すると内容が表示される。表示させたいディレクトリーは「メニュー」にある「ツール」の「デフォルトディレクトリー設定」で指定する

のほかに付加機能も充実している。メモリーカード上のテキストやMP3などをほかのPalmと赤外線で直接送受信でき、Palmをメモリーカードリーダー/ライター代わりにできてしまう。また、バックアップ機能も便利。もちろんリストアも可能で、メモリーカードを別々に準備すれば複数世代のバックアップがとれる。さらに、ちょっと特殊な機能だが、メモリーカードの掃除もできる。実は、マックでマウントもしくは読み書きしたメモリーカードには余分なファイルやディレクトリーが生成されてしまう。McFileはこのゴミを自動的に削除するのだ。削除のタイミングも選択可能なので、いちいち手動で削除する必要がなくてラク。「メニュー」の「設定」にある「基本」の「Macファイル削除」で設定する。



外部ソフトと連携すれば 疑似ランチャーに早変わり

「McFile」はファイルを操作するだけでなく、外部ソフトとも連携できる。つまり、扱おうとするファイルの拡張子やデータベースの種類、「送る」（ウィンドウズのマウスの右クリックと同様の機能）にあらかじめ外部ソフトを関連づけておけば、次回からわずか2~3タップでソフトを起動して、データが利用できるのだ。

やり方はとてもカンタン。ファイルをタップしてポップアップしたメニューの中から必要な機能（「開く」や「送る」など）を選べばいい。DOCファイルを読んだり、画像を閲覧したり、MIDIを鳴らせたりする。そう、「McFile」をまるでランチャーのように使えるというワケだ。また、「McFile」のフォントは通常の大きさに加えてスモールフォントが選べる。高解像度の機種ならおよそ2倍の情報が表示可能だ。

画面はCLIE PEG-T600C(ソニー製)



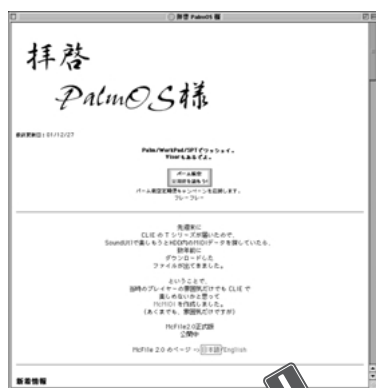
ディレクトリー選択画面。左図下部のディレクトリーエリア(/PALM/PROGRAMS)をタップして表示する。名前の変更は「リネーム」で行なう。日本語名も入力できる

教官の評価

実用度…………… 5/5
使いやすさ…………… 5/5
楽しさ…………… 5/5



McFileを入手する



① 開発元の「拝啓Palm OS様」でダウンロード Webブラウザのアドレス欄に、作者である今関氏のホームページ「拝啓PalmOS様」のURL(左ページの「入手」を参照)を入力する。トップページが表示されたら、「Palmware倉庫」などから「McFile」のリンクをたどり「McFile」の解説ページにジャンプ。「ダウンロード」で「McFile」をゲットだ

② お試し期間は30日間。解除するには送金を「McFile」を継続して利用するにはVis-a-Vis Handango (http://visavis.handango.com/) で送金する必要がある。送金完了後に「登録キーファイル」を入手して30日間の試用制限を解除する



McFileをインストールする



① ダウンロードファイルをすべてインストール ダウンロードしたファイルを解凍し、「McFL20」の「Basic(Jpn)」(日本語の場合)に含まれるソフトとデータベースをすべてインストールする。これで準備完了だ

② 連携可能なソフトもまとめてインストール 連携可能なソフトをインストールしよう。Docビューアー「Crs-MeDoc」、画像ビューアー「Crs-ImageView」、MIDIプレイヤー「McMIDI」などが対応済みだ(2002年1月19日時点)

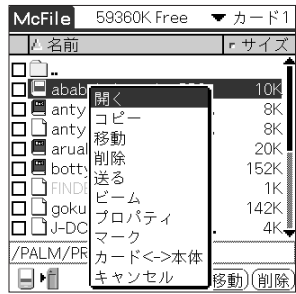


③ インストールしたソフトを確認してみよう インストールが終了したら念のため「ホーム」で確認しよう。なお、「McFileExt.pdb」および「McFileExtDB.pdb」、「McFileSend.pdb」はホームに表示されないで「McFile」で確認する

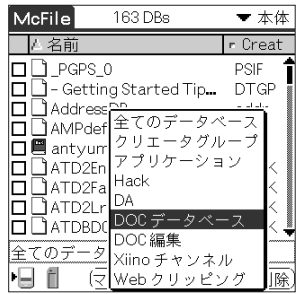


ファイルをしっかり管理し、データをちゃっかり利用する

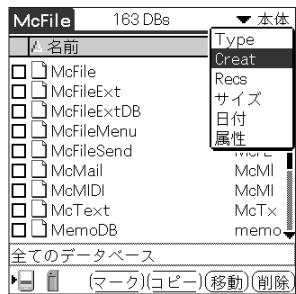
コピー！ 移動！ 削除！ 基本はファイル管理



よく使う機能は画面上のボタンひとつで実行できる 任意のファイルを選択して操作を行う。ディレクトリーをタップすれば開き、ファイルをタップすれば操作メニューがポップアップする

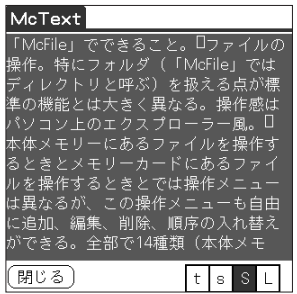


オリジナルのフィルターで表示内容を絞り込む 本体メモリー上のファイルはフィルターで絞り込める。フィルターは「設定」の「データベース関連付け」で作る



表示項目を切り替えてタップひとつで並べ替え 昇順、降順は項目名の左側の「」をタップして切り替える。右欄の表示内容は6種類(メモリーカードの場合はサイズ、日付、属性の3種類)をキーにして並べ替えが可能

外部ソフトと連携してランチャー機能を生かす



McTextとのコンビでテキストファイルを開覧 一緒にインストールした「McText」にテキストファイルを開連づけておけば、「開く」だけでテキストファイルが開覧できる。開連づけは「メニュー」の「設定」にある「拡張子開連づけ」あるいは「送る」で



サードパーティー製のサポートソフトも続々！ McFileをサポートしている「Crs-MeDoc」、「prc」、「pdb」に開連づけすれば、直接Docファイルが開覧できる



McMailに送って添付メールを作ってみよう 「メニュー」の「設定」にある「送る」で「送る」で先に「McMail」を追加しておけば、任意のファイルをメールに添付できる。作成したメールは標準のメールの送信フォルダーに保存される

21世紀はモバイルがあたりまえ!

このひら 通信生活

テーマ ▶▶▶ Palmも常時接続の時代に突入

文 丸山 弘詩(FocV Project)

Palmで常時接続が楽しめる AvantGo

フレッツ・ISDNなどのさまざまな接続サービスが安価に普及したおかげで、個人の常時接続は当然の環境となり、DSLや光ファイバーでのブロードバンドネットワークですら一般的なものになってきている状況である。影響を受けているわけではないが、外出先でのネットワーク環境も、DDIポケット(株)のAirH[®]サービスが開始され、32~128kbpsの常時接続も可能となっており、ひと昔前の自宅の環境をモバイルとして持ち運べる時代になったと言える。

Palm m500シリーズやソニー(株)CLIEシリーズに対応したCFカード通信アダプターが発売されており、AirH[®]サービスのおかげでPalmの常時接続が可能である。今回は前回紹介した「iSilo 3.0」に引き続き、その対

抗馬とも言える「AvantGo」を紹介しよう。

まずは、AvantGoのトップページ(<http://avantgo.com/frontdoor/index.html>)から、「Product & Service」の「Mobile Internet Service」を選択してユーザー登録を行う必要がある。ページ右上にある「SIGN UP NOW」からリンクをたどるとサポートデバイスの選択が必要となる(図1)

Palm以外にPocket PCやWindows CEがラインアップされているが、間違わずにPalmを選択して、インストーラー(ファイル名: AGPalmClientSetup.exe)をダウンロードする。パソコンへのインストールが無事完了すると、HotSyncを促すメッセージが表示されるので、この指示に従いHotSyncを行う(図2)。パソコンには「AvantGo Connect」が、Palmには閲覧ソフトの「AvantGo」および「AG Connect for Palm」がインストールされる(図3)

連続してAvantGoのユーザー登録を行う必要がある。個人情報のほかに、国(=

Japan)・タイムゾーン(=Others)・言語(=English)そして興味を持っている分野などを指定して、新規アカウントを登録する(図4)。

ユーザー登録が完了すると、Palmデバイス上のAvantGo Connectネットワーク設定のための情報をパソコン側で設定し(図5)これを反映させるためにHotSyncの指示が出る。ここで初めてHotSync中にAvantGoのコンジットが実行され、デフォルトで指定されているサイトのコンテンツが収集される。

Palmデバイスで、インストール直後のAvantGoを起動すると複数のチャンネルが設定されている(図6)。これはアカウント登録時に選択した「興味のあるジャンル」に応じて自動的に登録されたものである。確かに複数のジャンルに多数のチャンネルがリストアップされており、気軽に利用するには非常に便利であるが、残念ながら日本国内での利用には役立たないサイトがほとんどである。したがって、不必要なチャン



図1 サポートプラットフォームの一覧画面。当然Palmデバイスを選択して、次に進む。画面の指示に従い、インストーラー(ファイル名: AGPalmClientSetup.exe)をダウンロードする



図3 Palmには閲覧ソフトの「AvantGo」および「AG Connect for Palm」がインストールされる



図2 セットアップが完了すると、Hot Syncを指示するメッセージが表示される。ここではHotSyncでPalm用のチャンネル閲覧ソフトAvantGoと、サーバー接続ツールAG Connectがインストールされる



図4 アカウント登録画面。すべてアルファベットで入力する必要がある。興味があるジャンルに関しては、起動後に再設定可能であるから、指示通り4つのジャンルを適当に設定するだけでいい



図5 AvantGo Connect for Palmの接続設定を開始する。DNSなどに問題がない限りは確実に設定できるが、万が一、接続できなかった場合は、ネットワーク不調の可能性があるので、キャンセルすることも可能。接続が確認できたら設定を保存するために、HotSyncする必要がある



図6 デフォルト画面。チャンネルリストが一覧表示されている。機能は制限されるが、チャンネルの追加/削除も可能

ネルを削除し、必要なサイトを登録する必要があるのだが、これはパソコン側のWebブラウザで行える(図7~11)。

Webのコンテンツは、リンクなどが複雑に入り組んでいるため、きちんと設定しなければ、不要に大きなデータを収集することになる。そのため、各サイトに応じた設定が必要となる。例えば、指定したURLにほとんどの情報が集約されている場合は、リンク先のコンテンツを収集する意味はない。逆にほとんどがほかのサイトのトップページへのリンクが中心となっている場合は、リンク先のコンテンツを、どの深度まで収集するかを設定すべきである(図12、13)。

AvantGoは文字情報のみではなく、Web

上の画像データに対応しており、Palmデバイスの液晶に最適なサイズに変換して取り込むことができる。しかし、当然のことながらチャンネルのデータ量が肥大化してしまうので、リンク先コンテンツの収集と同様に、サイトの内容に応じた設定が必要である(図14) 万が一、不用意にリンク深度を多く設定した場合でも、チャンネルごとにデータ最大値を設定できるため、チャンネルデータ量が予期せぬほど大きくなり、メインメモリーを圧迫することはない。この点は非常に安心できる設計である。

文字コードに関してだが、「iSilo 3.0」と同様に、基本的にSJISのみのサイトが対象になる。したがって、前回のプロキシサーバー「DeleGate」(<http://www.delegate.org/>)を利用することで、文字コード体系を変換することも可能である。ただし、

Palm単体でサーバーからコンテンツをダウンロードする場合は、パソコン上に変換サーバーを構築しても意味はなく、インターネットに文字コード変換サーバーを用意する必要がある。

AvantGo 4.0が前回のiSilo 3.0と大きく違うのは、パソコン上で収集したコンテンツをコンジットで転送するだけではなく、ネットワーク接続が可能なPalmデバイスであれば、Palm単体でコンテンツをサーバーからダウンロードできる点である(図15) CLIEシリーズやPalm m505など、外部メディアを搭載したデバイスが普及してきた現在では、HotSyncの頻度は確実に低下している。通信アダプターなどのネットワーク接続手段さえ用意できれば、AvantGo Connectがサーバーに接続してコンテンツをダウンロードができる点は、大きなメリットと言える。



図7 WebブラウザでMy Channelにログインした画面。右側上部に登録されているチャンネルがリスト表示されている



図8 チャンネルの編集画面。チャンネルの一覧が表示され、その削除および追加が簡単にできる

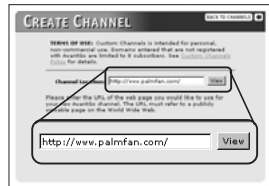


図9、10 図8で「Create Custom Channel Wizard」を選択すると表示される作成画面。まずはチャンネルとして登録するサイトのURLを記述する。次にチャンネル名を決定する

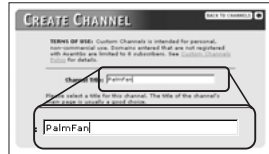


図11 Follow Offsite Linksのオプションを設定した場合は、同一サイトのコンテンツもAvantGoサーバーにコンテンツとして登録

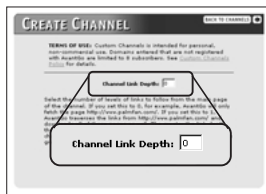


図12 コンテンツとしてダウンロード対象となるリンク深度を設定する

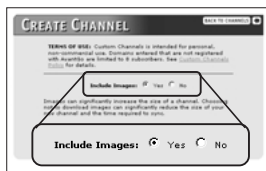


図13 チャンネルの中に画像も含めるかを設定。画像を含む場合は、当然チャンネルサイズが大きくなる。ただし、液晶サイズにリサイズされる

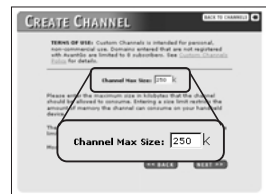


図14 作成するチャンネルの最大データサイズを、KB単位で指定可能。オプション設定の不慎で不用意に膨大なサイズに膨れ上がることがないので安心である



図15 AvantGo ConnectでAvantGoサーバーに接続中。更新されたチャンネルをチェックし、指定コンテンツをダウンロードする

コラム

「SJIS Hack」の登場

ここしばらくは、通信関係のソフトに大きな動きはなかったのだが、日本語のことを考慮していない海外ソフトを利用する上で非常に便利なソフトが発表された。それは渡辺美樹氏の「SJIS Hack」で、指定したソフトが扱う文字データをすべてShift JISに変換して正しく表示できるようにしてくれるソフトである。ただし、Hackモジュールとして実装されているため、「X-Master」などHackMaster互換ソフトが必須となる(図16、17)。

たとえば、漢字コードをサポートしていない「Handspring Blazer」を使って、EUCコードで記載されている「Yahoo!」のサイトを閲覧しても、図18のように正常に表示される。表示速度が速いBlazerを日本語環境で安心して使えることは、非常にうれしいことである。

なお、今回紹介したSJIS Hackはベータ版であるため、正式リリースの際には仕様などが変更される可能性がある。

SJIS Hack
作者 渡辺美樹
<http://www.03.u-page.so-net.ne.jp/ra2/yoshiki/Palm/sw/>



図16 HackモジュールであるSJIS Hackを利用するには、HackMaster互換のX-MasterやTeal Masterが必要となる



図17 X-MasterでSJIS Hackを有効にした上で、設定画面でSJIS Hackを有効にするアプリケーションを登録する。図ではBlazerとAG Connectが登録されている

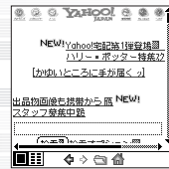


図18 EUCで記述されたYahoo!でも、SJIS Hackを利用することで、EUCをサポートしていないBlazerで正常に表示することができる

素朴な疑問からトラブルまでサクッと解決！

FAQ Palmなんでも相談所

モノクロからカラーまで魅力的なモデルが出揃ったPalm デバイス。周辺機器もますます充実し、使い道は広がるばかりだ。当然、使いこなす過程でさまざまな疑問やトラブルが生じるだろう。本コーナーでは、Palm にかかわる問題の解決に役立つ情報を提供していく。

Q Palm デバイスをテレビのリモコンとして使いたい

Palm デバイスには赤外線ポートが装備されている。家電製品のリモコンとして使えないだろうか？ 大きさも手ごろだし、便利だと思うのだが

A 専用のソフトを利用してリモコン機能を持たせよう

「リモコンコン」(<http://hp.vector.co.jp/authors/VA005810/remocon/premocc.htm>)は、プリセット以外のリモコン信号を記憶する学習機能や、一連のリモコン操作を設定・実行するマクロ機能などを備えた高機能なソフトだ(図1)。ただし、CLIE Tシリーズ以外のPalmデバイスの内蔵赤外線ポートは、通信用に最適化されているため、機種にもよるが家電用リモコンに比べて有効角度が狭く、出力(到達距離)も弱めだ。

一方、そのCLIE Tシリーズには標準でリモコンソフト「CLIE Remote Commander」が付いている(図2)。学習機能はないのでプリセットされた機器しか操作できないが、ビデオ、テレビ、DVDプレーヤー、AVアンプなど国内有名メーカーの製品はほぼ大丈夫だ。そのほか、「OmniRemote」(<http://www.mds2000.co.jp/>)というスプリングボードモジュールは、Visorをマクロ機能搭載のリモコンにする。

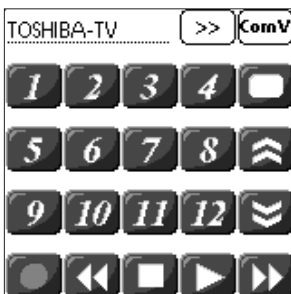


図1 「リモコンコン」を使うと、あらかじめ設定した一連のリモコン操作を実行したり、プリセット以外のリモコン信号を記憶させることができる



図2 CLIE Tシリーズにはリモコンソフトが標準で付属する。国内メーカーの製品の多くが操作可能で、よく使う4種類の機器を登録して簡単に呼び出せる

Q ホーム画面を使いやすくカスタマイズしたい

ホーム画面には一度に12個までしかソフト名を表示できないので、たくさんのソフトを1つのカテゴリーに登録していると起動操作が面倒になる

A ホーム画面の設定や置き換えソフトの利用によってカスタマイズしよう

画面サイズが限られている以上、ソフト名の表示サイズをできるだけ小さくして一画面に表示できるソフトの数を増やさない。そこで、ホーム画面の「オプション」メニューの「設定」で調整しよう。設定画面の「表示方法」で「名前」を選ぶとアイコンが小さくなり、一画面に最高22個のソフトを表示できるようになる(図3)。

CLIE Tシリーズでは、ハイレゾ表示機能を生かしてアイコン表示のまま最高28個を表示させることも可能だ(図4)。Tシリーズ以前のCLIEや他のPalmデバイスでは、「Crs-Launcher」(<http://www.ap.kagu.sut.ac.jp/taka/palm/palm.html>)を使えば同じように多くのアイコンを表示できる。そのほかにも数多くのホーム画面の置き換えソフトが存在し、標準ソフトにはない操作感やカスタマイズ機能を提供してくれる。標準のホーム画面に満足できないければ、自分に合ったものを探して試してみるといいだろう。



図3 表示方法を「名前」にすることで、より多くのソフトを一度に表示できる。CLIE Tシリーズには、さらに「名前(小)」の「アイコン(小)」の2種類がある



図4 表示方法を「アイコン(小)」に設定したところ。表示されるソフトの数は増えるがフォントが小さくなるので、見やすいかどうかは人それぞれかも

Q シェアウェアとフリーウェアの違いが知りたい

インターネットや雑誌の付録 CD-ROM から入手したパームウェアに「シェアウェア」とか「フリーウェア」と書かれているけど、どういう意味なのか

A 継続して使用するために代金を支払うのがシェアウェアだ

一般に、試用期間あるいは機能制限が設けられていて、これらの制限を超えて使う場合に代金が必要なものを「シェアウェア」と呼ぶ。中には試用期間と機能制限の両方が設けられているものや、逆にそのどちらも設けられておらず、気に入った場合のみ支払えばいいものもある。一方、代金を求めず(常識的な範囲で)自由に使ってもいいものとして公開されているものを「フリーウェア」あるいは「フリーソフトウェア」と呼ぶ。

また、代価として金銭ではなく、住んでいる地域の絵ハガキや、パームウェアに対する感想や要望などのメッセージを Eメールで送るものもあり、これらは「メールウェア」と呼ばれる。そのほか、ビール券を送る「ピアウェア」、金額が自由な「カンパウェア」など、さまざまな名称が作者によって付けられている。これらも広義ではシェアウェアだが、一般には金銭で代金を支払うものをシェアウェアと呼ぶことが多い。

この狭義のシェアウェアの場合、支払いのために送金する必要がある。最近ではクレジットカードとメールアドレスを所有していれば、ほとんどの場合オンラインで決済可能だ。作者が法人の場合は作者の Web サイトで決済できる場合も多いが、Kagi(<http://www.kagi.com>、図5、6)のようなオンライン決済サービスを利用する作者も多い。この種のサイトはある程度、信用度も高く、少なくともカード番号を入力する際のセキュリティは確保されているので安心して送金できるだろう。



図5 個人ベースで開発されたシェアウェアの送金によく使われるのが「Kagi」というサイトだ。ドキュメントをよく読んでから利用しよう



図6 Kagiの支払いページでは説明文を日本語表示にすることも可能。SSL対応サーバーなので、クレジットカード番号の入力もとりにあえずは安心だ

Q Palm デバイスを LAN に直接つなぎたい

Palm でインターネットに接続する場合、普段はモデムを使っているが、会社の LAN につないで常時接続の状態にすることはできないだろうか

A 専用のハードウェアまたはソフトウェアを使用する

「Mocha W32 PPP」(<http://www.mochasoft.dk/>) というソフトをウィンドウズ機にインストールし、そのパソコンに Palm デバイスをつなぐとパソコンが接続されているネットワークに参加できる。ただし、「Mocha W32 PPP」はシリアルポートにしか対応しておらず、クレードルが USB 接続の場合は使えない。この場合、パソコンに赤外線ポートが装備されていれば、赤外線ポートに割り当てられた仮想シリアルポート経由で接続できる。なお、ウィンドウズ 2000 では赤外線ポートが仮想シリアルポートとして割り当てられないので、さらに「IrCOMM2k」(<http://www.ircomm2k.de/>) というソフトをパソコンにインストールする必要がある。

あるいは、赤外線を使うのなら「EthIR LAN」(<http://www.torica.com/products/clarinet/products.htm>、図7) を使用してもいい。EthIR LAN とイーサネット・ハブを LAN ケーブルで結ぶだけで、赤外線経由で Palm デバイスをネットワークにつなぐことができる。一方、「Mobile Dox」(<http://www.cfcompany.co.jp/product/portsmith/cradle.htm>) はケーブルで接続するタイプのクレードル型 LAN アダプターだ。

ソフト、ハードのいずれも、Palm デバイスから見ればインターネットの接続先として扱うことができる。Palm デバイスには新たにソフトを入れる必要もない。「環境設定」の「ネットワーク」で、接続方式(クレードル、あるいは赤外線)を指定して適当なサービス名で登録しておけば、メールソフトやブラウザなどからネットワークを利用できるようになる(図8)。



図7 「EthIR LAN」を DHCP 環境下の LAN に接続することで、Palm などの赤外線ポートを持つデバイスを簡単に LAN につなげられる

図8 「Mocha W32 PPP」や「EthIR LAN」などでネット接続する際の Palm 側の設定は、接続方式さえ間違わなければユーザー名やパスワードは未設定で構わない



To Go

今回のテーマ「医療」

サイト案内板

文/八島 伸之 ドクター yashimac@www.worpaholic.com

「医は仁術」。古くから医師は損得を捨て、命を救うことだけに全力を傾けてきた。そんな医療の現場でPalmがどんなふうに関わっているのか? 今回は医療をキーワードにその実像を掘り下げてみよう!



診察最適化計画(?)も進行中。特注の額帯鏡がキラリと光る

右脳耳鼻科医

URL <http://www.asahi-net.or.jp/~rn6t-aihr/> 管理人 右脳耳鼻科医

医師に便利なソフトを診断

Palmデバイスを活用し、いかに診察を快適にするかを探究している右脳耳鼻科医氏のサイト。その研究成果は「医者とPDA」で発表されている。左側のフレームメニューの「Palm」をクリックしてみよう。

ソフト紹介「右脳耳鼻科医いち押しソフト」は、医師ならずとも必見の講座。「標準搭載アプリ置き換えソフト」、「辞書ソフト/日常診療使用ソフト」を医師の視点から分類し解説する。具体的な活用法にも注目だ。

者のためのスタイラス改造」で披露されている。トータル「50円弱+瞬間接着剤代」だけで完成させたという納得の「2号機」は必見だ。

さらに氏の勢いは止まらない。「クリエケースに細工しました」でよいよ医師としての本領を発揮。CLIE PEG-Nシリーズ、Tシリーズに着せるため、新品同様のケースに惜し気もなくメスを入れるさまは、まるでオペ。目次に登場するケースは6種類のみだが、ページの奥ではより高度な加工法が紹介されている。中でもケースのマチの縫合は鮮やか。さすがは医師! と筆者が半ば呆れてしまうくらいの見事な手さばきなのだ。

医師として、ユーザーとして自分に合った一品を求め、作り出す情熱。日記風の「耳鼻科医の独り言」で氏の想いに触れてみてはいかがだろう。

現役耳鼻科医の氏は、CLIEユーザーお助けサイト「CLIEネット相談室」(<http://www.clie-net.com/>)のアドバイザーでもある。同相談室に駆け込めば「診察」してもらえるかも?



CLIE PEG-T600CにCFカードジャケットを装着したまま、丸ごと収納できるケース。マチの部分の縫合する器用さは医師ならではの。ほかにCLIE PEG-T400用のケースなどもある

ケースもペンもオペします

右脳耳鼻科医氏は、とにかくよく切り貼りし、そしてよく縫う。書き心地にコダワったスタイラス付きボールペンの加工の様子は「合わないのなら作ってしまえ!!」の「医療関係

定番サイト【要巡回編】

副操縦士を従えて、日々進化を続けるファミリー企業?

パーム航空

URL <http://palm.org/>

Palmなスポークスマン、機長氏のサイト。多ジャンルニュースをなで斬りにする新サイト「バルマガ」も就航中

新作続々! Palmコミュニティを表から裏からサポートする

Simple-Palm

URL <http://simple-palm.com/>

山田 達司氏のシンプルかつパワフルなサイト。Visor用のサウンドモジュール「リズムポッド」を初プロデュース

旬のアイテムも速攻評価! 隅から隅までレビューし尽くす

Muchy's Palmware Review!

URL <http://muchy.com/>

速報性も備えたレビューサイト。各レビューの右肩にある「」をクリックすると同一評価のソフトを一覧できる

いつからでも、そしていつまででも。誰もが満足、憩いの場

PalmOS@nifty

URL <http://palm.nifty.com/>

ニフティ系のPalm総合サイト。×付きの「ジャンル別ソフトウェアカタログ」なら欲しいソフトがひと目でわかる

公平な視点が魅力。Palm業界のオピニオンリーダー

PalmFan

URL <http://www.palxfan.com/>

速報性、確実性、網羅性。非の打ちどころがない国内最大級の総合情報共有サイト。「ひとりごと」のファンも多し



「医療関係者のためのPalm掲示板」には、日本国内をはじめ、海外からもPalmかつ医療な投稿が日々寄せられている

リンク集が充実。医の道に携わるなら必訪! その名もズバリ

医療関係者のためのPalmのページ

www.med.toho-u.ac.jp/peds/palm.html

管理人 松山 剛

東邦大学佐倉病院小児科のホームページ内に特設されたPalm関連のサイト。国内最大級の「医療関係者のためのPalmリンク集」はPalmと医療をキーワ

ードに国内外の46サイトを網羅。「Tips ~ 各肺区域のX線上投影像」では、胸部レントゲン上の肺区域のイラスト(FireViewer形式)を公開している。

ソフトを駆使してHandEraで診察管理! 歯医者さんの使いこなし術

Palmでん~と?!

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Asagao/6436/Palmdent.html> 管理人 じーこ

現役歯科医師・じーこ氏のサイト。氏の愛機はPalm IIIとHandEra 330。Palmを手にして「ん~と、どうしよう?!」と頭を抱える新米ユーザーに使いこなし術を伝

授する目線の高さが。いかに素早く診察予約を受け付けるかを追求した「Palmで予約」は、普段予約を受けることの多い仕事に携わる人々にもオススメ。



ヘルプユーザーに支持されるHandEra330をライトユーザーの視点から説き明かす「HandEra書簡記」も読みこたえあり



薬剤コードから薬品名が検索できる「dodofey」や、血液、尿検査の正確な値などがわかる臨床検査辞書「labohu」も公開

服用しているクスリの名前が言えますか? 「KDIC」用の医薬品辞書なら

Palm医薬

<http://www5.ocn.ne.jp/~palm-med/>

管理人 勝木 孝明

医療、健康の分野でPalmを活用するためのサイト。超定番の辞書ビューア「KDIC」用の辞書を多数公開している。医薬品辞書「pdrug」は、日本国内で使用されてい

る薬剤をほぼすべて(約5300種類)収録。新薬の追加、適応・用法の追加・変更に伴い2~3か月に一度は更新されており、医療の最前線で働くプロにも有用だ。

プロも必見! 微分方程式がニガテでも麻酔の濃度が予測できます

Palmacokinetics

<http://homepage1.nifty.com/o-uchida/palmacokinetics/> 管理人 内田 整

国立循環器病センター麻酔科に勤務する内田氏のサイト。投与した麻酔薬の分量から血中などにおける麻酔の濃度を予測する「Palmacokinetics」を公開している。

実際に手術室で使用することを前提に作られており、麻酔薬の投与と同時に患者の体重などの基礎データを入力することで、リアルタイムな濃度の予測が可能だ。



医療関係者の中にはPalmユーザーが多いとされるが、内田氏のように現役の専門家が自らソフトを開発、公開するケースは珍しい

定番サイト 【メーカー編】

お求めやすくなったVisorが人気。Visor大百科も公開中の

HANDSPRING(株)

<http://www.handspring.co.jp/>

HANDSPRING(株)の公式サイト。お宝グッズも買えた通販サイト「HANDSPRINGショップ」が惜しまれつつも閉店

スペシャルプライスカンパーンで憧れのPalmをゲット!

パーム コンピューティング(株)

<http://www.palm-japan.com/>

パーム コンピューティング(株)の公式サイト。3月28日、29日に東京で「Palm Source Japan 2002」を開催

GPSモジュールで徒歩ナビに变身。Tシリーズも絶好調の

ソニー(株)

<http://www.sony.co.jp/CLIE/>

ソニー(株)のCLIE公式サイト。回答迅速な「CLIEネット相談室」(<http://www.clie-net.com/>)がリニューアル

PCリモコンソフトのクライアントもバージョンアップ

日本アイ・ビー・エム(株)

<http://www.ibm.com/jp/pc/workpad/>

日本アイ・ビー・エム(株)の公式サイト。パソコンを遠隔操作できる「Desktop On-Call V5 Palm Client」公開中

ダブル拡張スロットと広々画面のHandEraならおまかせ

(株)アスク

<http://www.ask-corp.co.jp/>

HandEra 330の販売代理店(株)アスクのサイト。オンラインショップ「アスクダイレクト」のPDA関連商品は約60点

用語事典

文 / 片山哲也

Palmを使っていると、長年パソコンを使っているユーザーでも聞き慣れない用語がたくさん出てくる。いわゆる「パソコン用語事典」へのPalm用語の掲載は少ない。このコーナーではPalm独特の用語を図版を交えてわかりやすく解説していこう。

vCard/vCalendar

携帯情報端末、携帯電話などでやり取りされるアドレスデータ、スケジュールデータの規格で、IMC(Internet Mail Consortium、http://www.imc.org/)という団体が策定しているもの。

Personal Data Interchange (PDI) = 交換可能な個人情報という考えに基づいて、電子メール、赤外線などで対応する機器間で互換性を持ち、OSの違いなどを超えてやり取りが可能になっている。赤外線ポートの付いた携帯電話、Palm OS、Windows CE、Pocket PC、PSIONなどの携帯情報端末、さらに赤外線ポートの付いたノートPCを使えばPIMソフトを使って送受信が可能になっている。ネットワーク上のデータフォーマットなどを策定するRFCでも、規格統一が進んでいる。

基本的なファイルフォーマットはシンプルなテキストファイル形式であり、「パラメータ: データ、パラメータ: データ...」というように項目が並べて記述されている。テキストファイルなので、ユーザーがテキストファイルとして作成することも可能だ。



図1 Palm Desktopから書き出したvCard形式、vCalendar形式のファイル



図2 vCard形式のファイルの内容。このようなテキストファイルを作成すればPalm Desktopで読み込ませることも可能だ



図3 vCalendarファイルも、vCardファイルと同様にBEGIN ~ ENDの間に記述されたテキスト形式のファイルである

NS Basic

加NS Basic社によるPalm OS用プログラミング言語で、日本語バージョンがある。Palm OS用のほかにも、Windows CE用、Newton用などもある。

Palm OSのプログラミング環境というと、米メトロワークス社のCodeWarrior(ウィンドウズ版、マック OS 版の両方がある) GCC(Linux、ウィンドウズ が代表的なものとして取り上げられるが、いずれもC言語(C++)であり、初心者がプログラミングを始めるには、敷居が高い。これに比べてNS Basicでは、プログラムを少しでもかじったことのある人なら一度は触れたことがあるであろうBASIC言語で開発ができるので、入門用に最適だ。

BASICといっても、かつてのBASICとは異なり、マイクロソフト社のVisual Basicに近いもので、ビジュアルな開発環境が用意されている。

実行速度はC言語に比べれば遅いが、実用上は不足はないだろう。CLIEやHandEraの機能にも対応しており、ジョグダイヤルやジョグホイールなどを利用することも可能

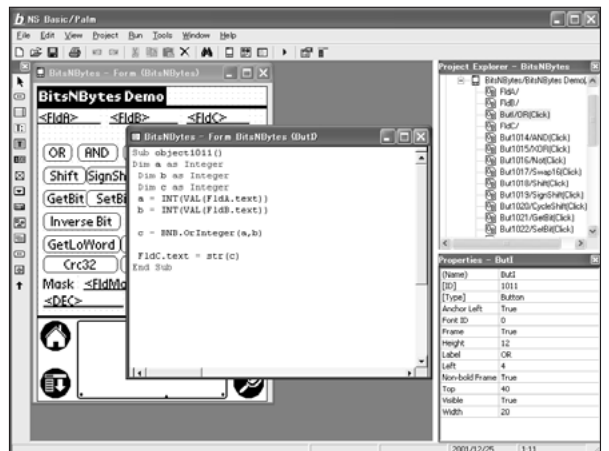


図4 NS Basic for Palm OSの画面は、Visual Basicのような操作性を備えており、ビジュアルな開発環境となっている

である。なお、NS Basicで開発したプログラムはライセンス料金なしで配布が行える。

Palm m500、m505 に添付されている電卓ソフト。正式には米インフィニティー ソフトワークス社のソフトの商標で、Palm m505 などに添付されているのは「powerOne Personal」というバージョンである。「powerOne Finance」「powerOne Graph」「powerOne Scientific」「powerOne General」といった上位バージョンも用意されており、高度な財務計算、グラフ描画、科学計算などが可能なソフトウェアである。

powerOne Personal は、ラインアップの中で最もシンプルなものだが、ビジネス用の計算や簡単な科学計算も可能で、標準の電卓よりは高機能となっている。日数計算に対応しているのも大きな特徴だ。標準の電卓と同様に計算の過程を閲覧できる。



図5 カラフルなpowerOneの画面。基本的な機能はPalm OS標準の電卓と同等で、いくつかの科学計算やビジネス計算が追加されている

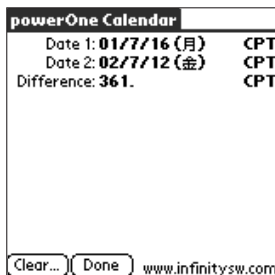


図6 powerOneの大きな特徴である日数計算の画面。これまでは専用ソフトが必要だったが、powerOneでは標準で用意されている

ウイルスバスター for Palm OS

トレンドマイクロ社のPalm OS用ワケテックソフトで、ウイルスバスター2002エディションに付属している(Palm OS用、PocketPC用、EPOCH用の3種類)。Palm OS用のウイルスは現在までのところ、以下のものが報告されている。

- ・Palm_Liberty.A トロイの木馬型不正プログラムで、アプリケーションがすべて削除されてしまう。
- ・Palm_MTX_II.A Palm OS用のトロイの木馬型不正プログラム。ファイルの削除などは行わないが、文字列の表示と四角形の表示を繰り返す。
- ・Palm_VAPOR.A トロイの木馬型不正プログラムで、実行するとアプリケーションファイルがすべて削除されてしまうという恐ろしいもの。
- ・Palm_PHAGE.A トロイの木馬型不正プログラム。実行するとアプリケーションファイルが上書きされてしまう。



図7 最新バージョンのウイルスバスター for Palm OSのメイン画面。ウイルス検索」ボタンをタップするとウイルスチェックが始まる

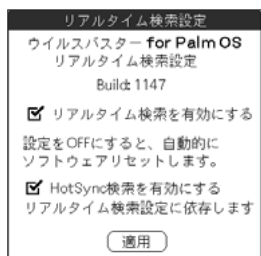


図8 「リアルタイム検索」というソフトも用意される。これはHotSync時、外部メモリーカード挿入時にリアルタイムで検索を行うものだ

HotSync

Palm デバイスとパソコンでデータのシンクロナイズを行うための機構。2回目以降のHotSyncでは、変更されたデータだけがシンクロナされるため、短時間で作業が終了する。

PalmPowered

Palm OSを採用したデバイスに付けられるようになったロゴ。

ROM

Palm OSのシステム、ソフトが搭載されている場所。Palm、ソニー、HandEra、IBMのPalmデバイスは書き換え可能になっており、システムのアップデートが可能。Palm m100 / 105やハンドスプリング(株)のVisorシリーズは書き換え不可能なマスクROMのため、システムのバージョンアップはできない。

SDカード

松下電器産業(株)、サンディスク(株)、(株)東芝の3社が提唱したメモリーデバイスで、「SD」とは「Secure Digital」の略称。著作権保護機能を持つ。Palm m500 / 505が採用している。

USB

パソコンと周辺機器を接続するための規格。現在のUSB1.1規格では通信速度が最大12Mbpsとなっている。PalmデバイスのクレードルにはUSBタイプとシリアルタイプがある。USB接続を標準でサポートしている機種では、シリアル接続より高速でHotSyncできる。

カテゴリ

アドレスやメモなどのデータをジャンルに分類して管理する仕組み。カテゴリはユーザーが任意に作成できる。

グラフィティ

Palm デバイスが標準で用意する文字入力の方法。ひと筆書きのようなアルファベットや数字を使って文字入力を行う。

システムアップグレード

Palm OSのシステムをバージョンアップすること。フラッシュROMを採用していないPalm m100 / 105や、ハンドスプリング(株)のVisorシリーズなどはアップグレードできない。

シリアルポート

パソコンで一般的な周辺機器を接続するためのコネクタ。DOS/Vマシンでは通信速度が最大115kbpsとなっている。Palmデバイスではクレードルを接続するために利用される。HandEra、WorkPadシリーズはシリアル接続が標準。USB接続が標準のソニー(株)のCLIE、ハンドスプリング(株)のVisorでも、シリアルクレードルを利用することで接続可能。

赤外線

すべてのPalmデバイスには赤外線ポートが用意されており、赤外線を使ってデバイス同士でデータやソフトなどを交換することができる。また、赤外線HotSyncすることも可能。

ハードウェアボタン

Palmデバイスには、電源ボタン、上下スクロールボタン、4つのアプリケーションボタンが用意されている。アプリケーションボタンを押せば、電源オフの状態から即座に起動し、目的のソフトに素早くアクセスすることができる。

ランチャー

Palmのソフトを起動するもので、Home(ホーム)と呼ばれる。カテゴリ分けや表示方法の選択が可能。さまざまな置き換えソフトもある。

リチウムイオンポリマー充電電池

Palm m500やm505、ソニー(株)のN700Cが採用した次世代のリチウムイオン充電電池。従来の液状の「電解液+金属外装」という組み合わせに対して、「ゲル状の電解液+ラミネートフィルム外装」になったことで軽量化、および形状の自由度が向上している。重量当たりの出力は10パーセント程度向上する。

周辺機器&ソフトカタログ

Spring Board Module

バックアップ&8MB フラッシュモジュール



■ ㈱ハギワラスコム
<http://www.hscjpn.co.jp/>
 〇 オープンプライス (¥1万2000円)
 対応機種: Visor
 メモリー内容のバックアップ・復元が可能なバックアップモジュールと、8メガバイトのフラッシュモジュール機能を装備した拡張モジュール

iTAX-ADTYPE 1



■ 加賀電子㈱
<http://www.taxan.co.jp/>
 〇 オープンプライス (¥4980円)
 対応機種: Visor
 CFメモリーカード用アダプターモジュール。VisorとCFカード間で、ファイル交換を行うソフト「FAFileMover」が付属する

Memplug MS



■ ㈱アスク
<http://www.ask-corp.co.jp/>
 〇 オープンプライス (¥1万1000円)
 対応機種: Visor
 128メガバイトまでのメモリースティック、およびMagicGate対応のメモリースティックを利用可能にするスプリングボードモジュール

PHS モバイルカード アダプター (HSB-CFP)



■ ㈱ハギワラスコム
<http://www.hscjpn.co.jp/>
 〇 オープンプライス (¥7980円)
 対応機種: Visor
 P-in Comp@ct接続用アダプターモジュール。Palmscape 3.1日本語版、Palmscape Mail 1.0日本語版(無料版)が付属する

iTAX-GPSVSR



■ 加賀電子㈱
<http://www.taxan.co.jp/>
 〇 オープンプライス (¥2万4800円)
 対応機種: Visor
 GPS衛星から得た位置情報を受信し、自分の位置を表示できる。地図ソフト「GNAVIX」の試用版が付属する(Windows版のみ)

Presenter-to-Go



■ 日商エレクトロニクス㈱
<http://www.presenter-to-go.com/>
 〇 オープンプライス (¥4万円前後)
 対応機種: Visor
 パソコン上で作成したPowerPointなどのデータをVisorに取り込み、ディスプレイやプロジェクターの画面に出力できるモジュール

Data Communication Card Adapter for C@rdH"64petit (HSB-CFH)



■ ㈱ハギワラスコム
<http://www.hscjpn.co.jp/>
 〇 オープンプライス (¥7980円)
 対応機種: Visor
 C@rdH"64petit接続用アダプターモジュール。Palmscape 3.1日本語版、Palmscape Mail 1.0日本語版(無料版)が付属する

GlueLocation



■ ㈱グルージェント
<http://www.gluegent.com/>
 〇 オープンプライス (¥3万9800円)
 対応機種: Visor
 モデムとフラッシュメモリーを内蔵したGPS受信モジュール。地図情報を記録できる。日本全国の地図を収録したCD-ROMが付属

SoundsGood



■ ㈱エム・ディ・エス
<http://www.mds2000.co.jp/>
 〇 オープンプライス (¥2万4800円)
 対応機種: Visor
 スプリングボードモジュール型MP3プレーヤー。データ転送はクレードル経由で行う(専用ユーティリティはWindows版のみ)

Beat Plus



■ ㈱ハギワラスコム
<http://www.hscjpn.co.jp/>
 〇 オープンプライス (¥7980円)
 対応機種: Visor
 スピーカー内蔵FM音源モジュール。対応ソフトで高音質な音楽や効果音が再生できる。シューティングゲーム「Zapl 2016」が付属

STEP KEEPER ■ ㈱ハギワラスコム	http://www.hscjpn.co.jp/ 〇 オープンプライス (¥4980円) 対応機種: Visor 腰につけて歩数をチェックできる	SnapConnect for Visor ■ ㈱アイ・オー・データ機器	http://www.iodata.co.jp/ 〇 1万9800円 対応機種: Visor 携帯電話・PHSによるデータ通信が可能
iTAX-Flash ■ 加賀電子㈱	http://www.taxan.co.jp/ 〇 オープンプライス (¥5980円) 対応機種: Visor コンパクトフラッシュを利用できる	my-Vox ■ ㈱エム・ディ・エス	http://www.mds2000.co.jp/ 〇 オープンプライス (¥3980円) 対応機種: Visor 最大8分、99件のメモを音声録音できる
iTAX-CFAD ■ 加賀電子㈱	http://www.taxan.co.jp/ 〇 オープンプライス (¥5800円) 対応機種: Visor コンパクトフラッシュ型PHSを接続できる	MiniJam ■ ㈱エム・ディ・エス	http://www.mds2000.co.jp/ 〇 オープンプライス (¥2万5800円(32MB) ¥3万2800円(64MB)) 対応機種: Visor スプリングボードモジュール型MP3プレーヤー
eyemodule2 ■ ㈱エム・ディ・エス	http://www.mds2000.co.jp/ 〇 オープンプライス (¥2万7800円) 対応機種: Visor デジタルカメラモジュール	TaleLight for Visor ■ ㈱エム・ディ・エス	http://www.mds2000.co.jp/ 〇 オープンプライス (¥4800円) 対応機種: Visor アラームにLEDライトを点滅

Net Work

モバイルコミュニケーションアダプター (HPD-SCCP)



㈱ハギワラシスコ
<http://www.hscjpn.co.jp/>
 オープンブライズ (¥1万1800円)
 対応機種: PEG-N600C、PEG-N700C、PEG-N750C
 CLIEでコンパクトフラッシュ型PHSを使用するためのアダプター。C@rdH*64petit、P-in m@ster、P-in Comp@ctに対応する

CFカード用通信アダプター (PEGA-CF60)



ソニーマーケティング㈱
<http://www.sony.co.jp/>
 オープンブライズ (¥1万4800円前後)
 対応機種: CLIE Tシリーズ
 コンパクトフラッシュタイプのPHS通信カードを差し込み、ワイヤレスでネット接続が可能な通信アダプター。充電電池を内蔵する

56K アナログモデム (PEGA-MD700)



ソニーマーケティング㈱
<http://www.sony.co.jp/>
 オープンブライズ (¥1万3000円前後)
 対応機種: CLIE
 モジュラージャック経由でネットワーク接続を行うためのCLIE用本体装着型モデム。付属のUSBケーブルでHotSyncも可能

Mobile Dox



シーエフ・カンパニー㈱ <http://www.cfcompany.co.jp/>
 オープンブライズ (¥2万9800円)
 対応機種: WorkPad c505 / 30J / 31J、Palm IIIc / m500 / 505、Visor Deluxe / Platinum、TRG Pro、HandEra 330
 米ポータスミス社製のイーサネットクレードル。PalmデバイスにLANに直接つなぐことができる。10Base-Tをサポートする

GPS モジュール (PEGA-MSG1)



ソニーマーケティング㈱
<http://www.sony.co.jp/>
 オープンブライズ (¥1万9800円前後)
 対応機種: CLIE Nシリーズ、Tシリーズ
 デジタルマップ上に現在位置などの情報を表示できるGPSモジュール。経度や緯度、目的地までの直線方向の表示なども可能

Bluetooth アダプター (PEGA-BT700)



ソニーマーケティング㈱
<http://www.sony.co.jp/>
 オープンブライズ (¥1万7000円前後)
 対応機種: CLIE
 Bluetoothアダプター。Bluetoothを搭載したパソコンや携帯電話とワイヤレス通信を行い、HotSyncやインターネット接続が可能

iTAX-GPSPA



加賀電子㈱
<http://www.taxan.co.jp/>
 ¥2万4800円
 対応機種: Palm V / Vx、WorkPad c3(50J)
 GPS衛星から得た位置情報を受信し、自分の位置を表示できる。地図ソフト「GNAVIX」の試用版が付属する(Windows版のみ)

PocheTail



サン電子㈱
<http://www.sun-denshi.co.jp/>
 ¥1万5800円
 対応機種: Palm Vx、m100、WorkPad c3(50J)
 ㈱DDIポケットのofeelH*、H*に接続して最大64kbpsのデータ通信が可能なモバイルデータアダプター。単4アルカリ電池1本を使用

モバイルコミュニケーションアダプター (PEGA-MA700)



ソニーマーケティング㈱
<http://www.sony.co.jp/>
 オープンブライズ (¥1万2800円)
 対応機種: CLIE PEG-700C
 PDC(デジタル携帯電話)、H*、PHS、cdmaOneなどに対応した接続アダプター。4種類のケーブルを用意する

iTAX-irDA



加賀電子㈱
<http://www.taxan.co.jp/>
 オープンブライズ (¥9800円)
 対応機種: 全機種
 ㈱NTTドコモの携帯電話に装着して、赤外線によるインターネット接続や電子名刺の交換などの通信を可能にする

PalmModem 接続キット (P10821ROW)



パーム コンピューティング㈱
<http://www.palm-japan.com/>
 ¥1万2800円
 対応機種: m500 / 505、WorkPad c505
 m500シリーズ専用の本体装着型モデム。メールソフト「MultiMail SE」が付属する。最大速度56kbpsの通信が可能

モバイルコミュニケーションアダプター (PEGA-MA500/510)



ソニーマーケティング㈱
<http://www.sony.co.jp/>
 オープンブライズ (¥1万4800円)
 対応機種: CLIE PEG-S500C/D・S300/D
 cdmaOne 端末用と、PDC方式の携帯電話、PHS、H*用の2種類から選べる接続アダプター。CLIE PEG-S500、同300シリーズ専用

周辺機器&ソフトカタログ

Key Board

Logo Top PDA Keyboard



マックレットドットコム(株) <http://www.macret.com/>
 6380円 (CLIE用) 5980円 (Visor用)
 対応機種: CLIE PEG-S300 / S500C / N700C / N600 (CLIE用) Visor Deluxe / Platinum / Prism (Visor用)
 幅180×高さ20.5×奥行き95mmのコンパクトなサイズながら、キーピッチ3.4mm、キーストローク1.5mmを実現したキーボード

TravelPad G300



日本エイサー(株) <http://www.acer.co.jp/>
 5980円
 対応機種: Palm V / Vx, WorkPad c3
 電池やバッテリーを使用せずに、Palm本体と接続して入力が可能。本体重量は業界最軽量の39グラム。日本語ドライバーが付属

Palm Computing ポータブルキーボード



パームコンピューティング(株) <http://www.palm-japan.com/>
 1万2800円
 対応機種: Palm Vx, m100, WorkPad c3(50J)
 折り畳み式キーボード。専用ドッキングクレードルと接続する。日本語入力プログラム「ATOK Pocket(エイトックポケット)」が付属

STOWAWAY



ターガス・ジャパン(株) <http://www.targus.co.jp/>
 オープンブライズ (1万2000円)
 対応機種: Visor, CLIE
 日本語環境向けに豊富なキーオプションを装備。折り畳めば、幅93×高さ22×奥行き130ミリと、Palm本体とほぼ同サイズになる

JTT M-Key



日本トラステクノロジ <http://www.jtt.ne.jp/>
 オープンブライズ (3980円)
 対応機種: Palm Vx, Visor
 専用ケーブルで接続し、ローマ字変換で日本語の入力が可能。キートップはゴム製の板状になっているので、メンテナンスも簡単

ワイヤレスタイピング IrKB101



日本トラステクノロジ <http://www.jtt.ne.jp/>
 オープンブライズ (8800円)
 対応機種: 赤外線ポート搭載機種
 PS2キーボードをIrKB101(赤外線アダプター)に接続し、Palmデバイス側の赤外線ポートにデータをリアルタイムに送ることが可能

Other

オーディオアダプター (PEGA-SA500)



ソニーマーケティング(株) <http://www.sony.co.jp/>
 オープンブライズ (1万2800円)
 対応機種: CLIE PEG-S300 / S500C / N600
 音楽再生機能を搭載しないCLIE用のオーディオアダプター。MP3形式の音楽データに対応。ヘッドホン、専用リモコンが付属する

USB HotSync ケーブル



株式会社ミヤビックス <http://www.miyavix.co.jp/>
 1980円
 対応機種: CLIE (Tシリーズを除く)
 CLIE用のUSB接続型HotSyncケーブル。ボタンを押すだけでHotSyncを開始する。このケーブルではCLIEを充電できない

チャージアダプター



ダイヤテック(株) <http://www.diatic.co.jp/>
 オープンブライズ (3980円)
 対応機種: Visor Platinum / Deluxe
 Visor Platinum / Deluxeで、市販の充電電池「ニッカド(NiCad)」「ニッケル水素(NiMH)」が使えるようになる

カメラモジュール(PEGA-MSC1)



ソニーマーケティング(株) <http://www.sony.co.jp/>
 オープンブライズ (1万4800円)
 対応機種: Palm OS 4.0以上を搭載したCLIE
 メモリスティックスロット用カメラモジュール。10万画素CMOSイメージセンサーを搭載。画像を「CLIE Mail」に添付できる。

マイクロパワー



ダイヤテック(株) <http://www.diatic.co.jp/>
 オープンブライズ (3980円)
 対応機種: Palm III / IIIc / V / Vx, Visor
 マッチ箱サイズの超小型電源アダプター。本体接続型と、純正品は単体で発売されていないクレードル接続型の2種類を用意する

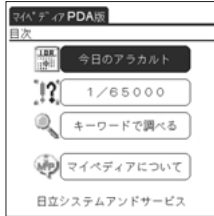
MemorySafe



ダイヤテック(株) <http://www.diatic.co.jp/>
 オープンブライズ (8480円)
 対応機種: Palm III / IIIc / V / Vx, m100, WorkPad c3
 パソコンに接続することなく、必要ときにPalmに蓄えられたデータをバックアップすることが可能。容量は8メガバイト

Soft

マイペディア PDA 版



㊦ ㈱日立システムアンドサービス
 ㊦ <http://ds.hbi.ne.jp/> ㊦ 4000 円
 対応機種：CLIE PEG-N600C / N700C、
 Palm m505、WorkPad C505
 約6万5000項目を収録した百科事典ソフト。空き容量30MB以上のSDカードまたはメモリースティック、マルチメディアカードが必要

プロアトラス



㊦ ㈱アルプス社
 ㊦ <http://www.alpsmap.co.jp/>
 ㊦ 6400 円 (CD-ROM 版) 1 万 3800 円 (DVD-ROM 版)
 対応機種：CLIE PEG-S500C / N700C、m505、WorkPad c505
 ウェブサイトから専用ビューアーをダウンロードして地図を閲覧できる。
 対応機種はCLIE PEG-S500C / N700C、m505、WorkPad c505

Desktop On-Call V5



㊦ 日本アイ・ビー・エム(株)
 ㊦ <http://www-6.ibm.com/jp/>
 ㊦ 1 万 1800 円 (バージョンアップ版は6800 円)
 対応機種：Palm OS 3.5 以上を搭載した機種
 離れた場所にあるパソコンをPalm デバイスなどから操作できるソフト。パソコンに接続したビデオカメラの映像を監視することも可能

NS Basic / Palm 2.0



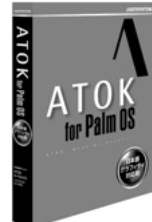
㊦ ㈱日本トラストテクノロジー
 ㊦ <http://www.jtt.ne.jp/>
 ㊦ オープンブライズ (㊦ 1 万 5800 円)
 対応 OS：ウィンドウズ 95 / 98 / NT / 2000
 BASIC 言語でPalmウェアを作成するための開発環境ソフトウェア。作成したPalmウェアはライセンス料フリーで配布できる

Intellisync For Palm 3.7J



㊦ プーマテックジャパン(株)
 ㊦ <http://www.pumatech.co.jp/>
 ㊦ 9800 円
 対応機種：日本語 Palm OS を搭載した機種
 パソコン上のスケジュール、アドレス帳、メール、仕事リスト、メモ帳などのデータをボタンひとつでPalm とシンクロナイズできる

ATOK Pocket for Palm OS 日本語グラフィティ対応版



㊦ ㈱ジャストシステム
 ㊦ <http://www.justsystem.co.jp/>
 ㊦ 6800 円
 対応システム：日本語版 Palm OS 3.1 以上
 ひらがなをグラフィティエリアに手書きで入力でき、ユーザーの筆跡を学習する機能や推測変換を搭載した日本語変換ソフト

CodeWarrior for Palm OS Platform 日本語バージョン 7



㊦ メトロワークス(株)
 ㊦ <http://www.metroworks.co.jp/>
 ㊦ 4 万 9800 円、1 万 9800 円 (アカデミック版)
 対応 OS：ウィンドウズ 98 / Me / 2000 / NT 4.0、マック OS 8.6 / 9 / 9.1
 C / C++ 対応のPalmウェア開発ツール。統合開発環境 CodeWarrior IDE と開発に必要なツールがすべて含まれる

Palm 辞スバ 統合辞書



㊦ ㈱学習研究社
 ㊦ <http://www.three-a.co.jp/products/palm/>
 ㊦ 5800 円
 対応機種：日本語 Palm OS 3.1 以上を搭載した機種
 国語・漢和・英和・和英の辞書ソフト。メモリースティック、SDカード、スプリングボードモジュールなどに対応

三省堂版デイリーコンサイス 英和・和英・国語辞典



㊦ ㈱日本トラストテクノロジー
 ㊦ <http://www.jtt.ne.jp/>
 ㊦ オープンブライズ (㊦ 7800 円)
 対応機種：Palm OS 4.0 以上のSD/MMCカードスロットを搭載した機種
 英和・和英・国語それぞれ約7万語を収録した統合型辞書ソフト。検索履歴の一覧表示や、解説文中の文字列に対する再検索もできる

PaPi-Mail



㊦ システム・エンジニアリング・サービス(株)
 ㊦ <http://www.papi.ses.co.jp/PaPi-Mail/>
 ㊦ 3980 円
 対応機種：Palm OS 2.0 以上を搭載した機種
 オンライン販売で好評だったPOP3、APOP、IMAP4対応日本語メールソフトがパッケージになって登場。動作環境はPalm OS 2.0 以上

極楽ひら



㊦ ㈱日本トラストテクノロジー
 ㊦ <http://www.jtt.ne.jp/>
 ㊦ オープンブライズ (㊦ 3900 円)
 対応機種：Palm OS 3.1 以上 (Palm OS 4.0 推奨)
 ひらがな認識と連文節変換機能を持つ日本語入力ソフト。グラフィティエリアにひらがなを直接入力でき、長文も一度で漢字変換が可能

極楽ペン



㊦ ㈱エム・ディ・エス
 ㊦ <http://www.mds2000.co.jp/>
 ㊦ オープンブライズ (㊦ 2980 円)
 対応機種：Palm OS 3.1 以上を搭載した機種
 手書き文字認識ソフト。文字入力枠を2個装備して、続け字、悪字、くせ字などの認識率が飛躍的に向上した

Palm デバイスカタログ

パーム コンピューティング株式会社

☎ 0120-564-380

🌐 <http://www.palm-japan.com/>

Palm Computing m505



価 オープンプライス
(特別価格 3万 4800 円)



- Palm OS 4.0 日本語版
- DragonBall VZ 33MHz
- ユニバーサルコネクタ
- SD / MMC スロット搭載
- バックライト付き
反射型カラー液晶

厚さ 13 ミリ
重さ 139 グラム

カラー液晶を搭載した厚さ 13 ミリのスリムな Palm デバイス。Palm OS 4.0 を搭載し、クレードルとの接続が「ユニバーサルコネクタ」になり、パソコンとは USB 接続が可能

Palm Computing m500



価 オープンプライス
(特別価格 2万 4800 円)



- Palm OS 4.0 日本語版
- DragonBall VZ 33MHz
- ユニバーサルコネクタ
- SD / MMC スロット搭載
- バッテリー駆動時間は
約 4 週間

厚さ 10 ミリ
重さ 113 グラム

基本仕様は m505 と同じだが、液晶ディスプレイにモノクロ 16 階調を採用。本体の材料素材が、裏面はプラスチックを採用しているため、本体重量が 113 グラムと軽量

Palm Vx



価 オープンプライス
(特別価格 2万 9800 円)

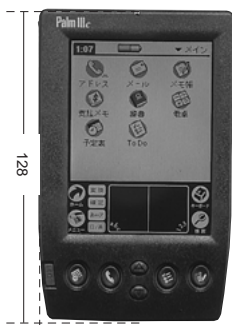


- Palm OS 3.5 日本語版
- DragonBall EZ 20MHz
- 本体の厚さがわずか 10 ミリ

厚さ 10 ミリ
重さ 113 グラム

モノクロ液晶の厚さわずか 10 ミリの薄型 Palm デバイス。Palm OS 3.5 を搭載し、付属のクレードルはシリアルポート接続。ウィンドウズとマック両対応

Palm IIIc



価 3万 2800 円



- Palm OS 3.5 日本語版
- DragonBall EZ 20MHz
- 現行カラー液晶モデルの中で
安価な製品
- 対応周辺機器が豊富

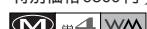
厚さ 17 ミリ
重さ 193 グラム

シリアル端子はロングセラー機種だったシリーズと共通なので、オプションで販売されている周辺機器の数が豊富。256 色表示が可能な TFT カラー液晶を採用

Palm Computing m105



価 1万 7800 円
(特別価格 9800 円)



- Palm OS 3.5.1 日本語版
- DragonBall EZ 16MHz
- 交換用の 19 種類のフェース
プレート (別売り 1980 円)
- 基本的な使い方を習得できる
「デスクトップツアー」が付属

厚さ 18 ミリ
重さ 137 グラム

基本的な仕様は m100 と同等だが、内蔵メモリーが 8 MB になり、m100 では別売りだったクレードルが標準で付属する。フェースプレートの交換によるカスタマイズが可能

Palm Computing m100



価 1万 2800 円
(特別価格 4900 円)



- Palm OS 3.5 日本語版
- DragonBall EZ 16MHz
- 交換用の 19 種類のフェース
プレート (別売り 1980 円)
- 基本的な使い方を習得できる
「デスクトップツアー」が付属

厚さ 18 ミリ
重さ 137 グラム

パームコンピューティング社の入門機。ボディは樹脂製で液晶ディスプレイを保護するカバー付き。フェースプレートの交換で見た目を簡単にカスタマイズできる

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディーカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
Palm Computing m505	Palm OS 4.0 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 x 160 ドット 反射型 TFT カラー液晶 (6万 5000 色)	8MB (RAM) 4MB (フラッシュ ROM) SD/MMC カードスロット	リチウムポリマーバッテリー 20 日間 メタリックシルバー アルミ	HotSync クレードル (USB、充電機能付き) スタイラスペン、保護カバー	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) 手書きメモ、クロック、基本スキル MGI Photosuite、PocketMirror Document To Go 4 日本語版
Palm Computing m500	Palm OS 4.0 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 x 160 ドット モノクロ 16 階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュ ROM) SD/MMC カードスロット	リチウムポリマーバッテリー 4 週間 メタリックシルバー アルミ	HotSync クレードル (USB、充電機能付き) スタイラスペン、保護カバー	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) 手書きメモ、クロック、基本スキル MGI Photosuite、PocketMirror Document To Go 4 日本語版
Palm Computing Vx	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall EZ (20MHz) 160 x 160 ドット モノクロ 16 階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュ ROM)	リチウムイオンバッテリー 約 2 週間 シルバー アルミ	HotSync クレードル (充電器兼用) 革製カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版)
Palm Computing IIIc	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall EZ (20MHz) 160 x 160 ドット 256 色カラー	8MB (RAM) 4MB (フラッシュ ROM)	リチウムイオンバッテリー 約 2 週間 ブラック プラスチック	HotSync クレードル (充電器兼用) カバー、スタイラスペン マック用シリアルアダプター	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) Album To Go、Chroma Gammon
Palm Computing m105	Palm OS 3.5.1 日本語版 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160 x 160 ドット モノクロ 16 階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュ ROM)	単 4 形乾電池 × 2 本 約 2 カ月 ブラック プラスチック	HotSync クレードル、スタイラスペン マック用シリアルアダプター	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) 手書きメモ、クロック、基本スキル
Palm Computing m100	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160 x 160 ドット モノクロ 16 階調	2MB (RAM) 4MB (フラッシュ ROM)	単 4 形乾電池 × 2 本 約 2 カ月 ブラック プラスチック	HotSync ケーブル、スタイラスペン マック用シリアルアダプター	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版 / マック版) 手書きメモ、クロック、基本スキル

モノクロ16階調
 リチウムイオンバッテリー
 ウィンドウズ対応
 カラー液晶
 リチウムポリマーバッテリー
 ウィンドウズ、マック両対応
 単4乾電池

HANDSPRING株式会社

☎ 0120-517-301
 http://www.handspring.co.jp/



119 mm (height), 79 mm (width)

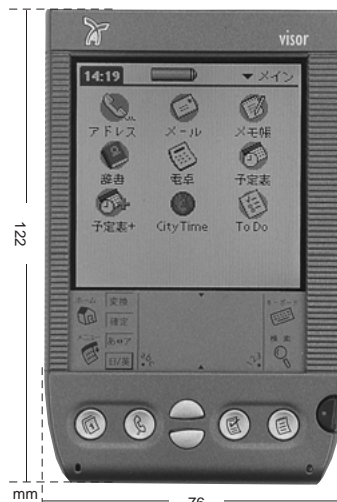
Visor Edge

価 1万9800円

- Palm OS 3.5.2H 日本語版
- DragonBall VZ 33MHz
- 拡張スロットはエッジコネクタを採用
- ウィンドウズ版の「Pocket Mirror」が添付

「エッジコネクタ」と呼ばれる拡張端子を採用したことで、Visorの高い拡張性をそのまま残しつつ、わずか11ミリの薄さを実現。LEDが光るサイレントアラーム機能を搭載する

厚さ11ミリ
重さ136グラム



122 mm (height), 76 mm (width)

Visor Prism

価 2万4800円

- Palm OS 3.5.2H 日本語版
- DragonBall VZ 33MHz
- スプリングボードスロット搭載
- 6万5536色の同時発色が可能なTFTカラー液晶パネル
- 充電用クレードルはUSBタイプ

Visorシリーズ唯一のカラー液晶モデル。解像度160×160ドット、6万5536色表示が可能。透過型TFT液晶ディスプレイはバックライトが常にオンになっており、屋内での視認性が高い

厚さ20ミリ
重さ196グラム



122 mm (height), 76 mm (width)

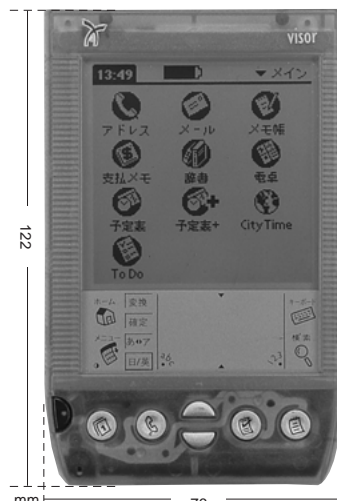
Visor Platinum

価 1万4800円

- Palm OS 3.5.2H 日本語版
- DragonBall VZ 33MHz
- スプリングボードスロット搭載
- 「Visor活用アプリケーション集」CD-ROMが付属
- バッテリー駆動時間は約2カ月

CPUがDragonBall VZ 33MHzでモノクロ画面を駆動するため、高速な画面表示が可能。標準でUSB接続のHotSyncクレードルが付属する

厚さ18ミリ
重さ153グラム



122 mm (height), 76 mm (width)

Visor Deluxe

価 9800円

- Palm OS 3.1H2 日本語版
- DragonBall EZ 16MHz
- スプリングボードスロット搭載
- 5色のボディカラーから選択できる
- 安価で拡張性に優れたPalmデバイス

カラフルな5色のスケルトンボディから選べるのが特徴。低価格でありながら8MBのメモリーを搭載し、USBクレードルが標準で付属される

厚さ18ミリ
重さ153グラム

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
Visor Edge	Palm OS 3.5.2H 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160×160ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) エッジコネクタ	リチウムイオンバッテリー 約4週間 / メタリックシルバー、 メタリックブルー、 メタリックレッド / アルミ	HotSyncクレードル (USB、充電機能付き) メタルフリップカバー、スプリングボードスロット メタルスタイラスペン、 ACアダプタ、エッジコネクタドア	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版、マック版) ATOK Pocket、Palmscape、Palmscape Mail Handspring Photo Album
Visor Prism	Palm OS 3.5.2H 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160×160ドット 透過型TFTカラー液晶 (6万5536色)	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) スプリングボードスロット	リチウムイオンバッテリー 約2週間 コバルトブルー プラスチック	HotSyncクレードル (USB、充電機能付き) レザーケース、スタイラスペン、 ACアダプター	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版、マック版) ATOK Pocket、Palmscape、Palmscape Mail Handspring Photo Album
Visor Platinum	Palm OS 3.5.2H 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160×160ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) スプリングボードスロット	単4形乾電池×2本 約2カ月 メタリックシルバー プラスチック	HotSyncクレードル (USB)、 レザーケース、スタイラスペン スナップカバー、スリッパケース	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版、マック版) ATOK Pocket、Palmscape、Palmscape Mail Handspring Photo Album
Visor Deluxe	Palm OS 3.1 H2 日本語版 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160×160ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) スプリングボードスロット	単4形乾電池×2本 約2カ月 / アイソ、グラファイト、 ブルー、グリーン、オレンジ / プラスチック	HotSyncクレードル (USB) カバー、ソフトケース、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版、マック版)

Palm デバイスカタログ

ソニー(株)

☎ 0570-00-3311

http://www.sony.co.jp/CLIE/

CLIE PEG-T600C

備 オープンブライズ (実 3万9800円)

CPBW

Palm OS 4.1 日本語版
DragonBall VZ 33MHz

本体の厚さが
138グラムと軽量

320 × 320ドットの
高解像度表示



118 mm (高さ)
71.8 mm (幅)
厚さ 12.5ミリ
重さ 138グラム

CLIE PEG-T400

備 オープンブライズ (実 2万9800円)

MBW

Palm OS 4.1 日本語版
DragonBall VZ 33MHz

本体の厚さが
Palmデバイスの中で最も薄い

モノクロ表示で初めて
高解像度表示を実現



118 mm (高さ)
70.9 mm (幅)
厚さ 9.9ミリ
重さ 122グラム

CLIE PEG-N750C

備 オープンブライズ (実 4万9800円)

CPBW

Palm OS 4.1 日本語版
DragonBall VZ 33MHz

メモリスティック
スロット搭載

320 × 320の高解像度表示
6万5536色

音楽再生機能充実



118.5 mm (高さ)
71 mm (幅)
厚さ 16ミリ
重さ 160グラム

厚さ12.5ミリ、重さ138グラムとカラー機種の中では、最も薄型で軽量。高解像度で6万5536色表示が可能

厚さ9.9ミリと現行機種の中では最も薄いマシン。モノクロ初の解像度320 × 320ドットを実現

音楽再生機能を搭載したCLIEシリーズのハイエンドモデル。解像度320 × 320ドット、6万5536色の表示が可能

CLIE PEG-N700C CLIE PEG-N600C CLIE PEG-S500C CLIE PEG-S300

CLIE PEG-N700C

備 オープンブライズ (実 4万9800円)

CPBW

解像度320 × 320ドットの高解像度表示。内蔵の音楽再生ソフト「Audio Player」で連続再生約11時間の使用が可能である



118.5 mm (高さ)
71 mm (幅)
厚さ 16.8ミリ
重さ 160グラム

Palm OS 3.5 日本語版
音楽再生機能充実

CLIE PEG-N600C

備 オープンブライズ (実 3万9800円)

CPBW

USBに完全対応したため、HotSyncのスピードアップが図られた。また、解像度320 × 320ドット、6万5536色表示が可能



118.5 mm (高さ)
71 mm (幅)
厚さ 16.8ミリ
重さ 160グラム

Palm OS 4.0 日本語版
フロントライト付き反射型カラー液晶 (6万5536色)

CLIE PEG-S500C

備 オープンブライズ (実 3万4800円)

CPBW

ソニー初のPalmデバイス。携帯電話やPHSと接続できるモバイルコミュニケーションアダプターが標準で付属される



114.7 mm (高さ)
70.9 mm (幅)
厚さ 15.2ミリ
重さ 120グラム

Palm OS 3.5 日本語版
通信系アプリケーションが多数付属

CLIE PEG-S300

備 オープンブライズ (実 2万9800円)

CPBW

PEG-S500Cとともに登場したモノクロモデル。基本仕様はS500Cとほぼ同じで、モノクロ表示なので画面の切り替えは速い



114.7 mm (高さ)
70.9 mm (幅)
厚さ 15.2ミリ
重さ 120グラム

Palm OS 3.5 日本語版
通信ケーブルが標準で付属

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディーカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
CLIE PEG-T600C	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 320 × 320ドット 半透過型TFTカラー液晶 (6万5536色)	16MB(DRAM) / 8MB(フラッシュROM) / メモリスティックスロット USB	リチウムイオンポリマーバッテリー 約12日 ロイヤルブルー、サテンシルバー アルミ	HotSyncクレードル (USB)、ACアダプター、 ソフトカバー、スタイラスペン ACコード	PalmDesktop 日本語版 (ウィンドウズ版) Documents to Go、Remote Commander、PictureGear Pocket CLIE Paint、Sound Utility、Navin'You Pocket TVscape、Xiino、Memory Stick Autorun
CLIE PEG-T400	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 320 × 320ドット モノクロ16階調	8MB (DRAM) 8MB(フラッシュROM) / メモリスティックスロット USB	リチウムイオンポリマーバッテリー 約15日 サテンシルバー、リミテッドブラック アルミ	HotSyncクレードル (USB)、ACアダプター ソフトカバー、スタイラスペン ACコード	PalmDesktop 日本語版 (ウィンドウズ版)、Documents to Go Remote Commander、PictureGear Pocket CLIE Paint、Sound Utility、Navin'You Pocket TVscape、Xiino、Memory Stick Autorun
CLIE PEG-N750C	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 320 × 320ドット 反射型TFTカラー液晶 (6万5000色)	8MB(RAM) / 8MB(フラッシュROM) / メモリスティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約15日 サテンシルバー	HotSyncクレードル (USB)、ACアダプター ヘッドホン、リモートコントローラー、 ソフトカバー、トップカバー	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版) Audio Player、PictureGear Pocket、 Memory Stick Gate、ATOKPocket、 Palmscape、Xiino、RealJukebox
CLIE PEG-N700C	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 320 × 320ドット 反射型TFTカラー液晶 (256色)	8MB (RAM) 8MB (フラッシュROM) メモリスティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約15日 サテンシルバー アルミ	HotSyncクレードル (USB)、ACアダプター ヘッドホン、リモートコントローラー ソフトカバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版) Audio Player、PictureGear Pocket、Memory Stick Gate ATOKPocket、Palmscape OpenMG Jukebox
CLIE PEG-N600C	Palm OS 4.0 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 320 × 320ドット 反射型TFTカラー液晶 (6万5536色)	8MB (RAM) 8MB (フラッシュROM) メモリスティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約15日 ライオンブルー、サテンシルバー アルミ	HotSyncクレードル (USB)、ACアダプター ソフトカバー、スタイラスペン トップカバー	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版) ATOK Pocket、gMovie Xiino、Navin'You Pocket Picture Gear Pocket
CLIE PEG-S500C	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall EZ (20MHz) 160 × 160ドット TFTカラー液晶 (256色)	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) メモリスティックスロット	リチウムイオンバッテリー 約15日 パイオレット、シルバー プラスチック	HotSyncクレードル (USB)、ソフトカバー 携帯電話・PHS接続ケーブル (3種) 8MBメモリスティック、スタイラスペン ACアダプター、モバイルコミュニケーションアダプター	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版) PictureGear Pocket、Picture Gear 4.2 Lite Memory Stick Gate、ATOKPocket、Palmscape
CLIE PEG-S300	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall EZ (20MHz) 160 × 160ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) メモリスティックスロット	リチウムイオンバッテリー 約15日 パイオレット、シルバー プラスチック	HotSyncクレードル (USB)、ソフトカバー 携帯電話・PHS接続ケーブル (3種) 8MBメモリスティック、ACアダプター スタイラスペン、モバイルコミュニケーションアダプター	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版) PictureGear Pocket、Picture Gear 4.2 Lite Memory Stick Gate、ATOKPocket、Palmscape

モノクロ16階調 リチウムイオンバッテリー ウィンドウズ対応
 カラー液晶 リチウムポリマーバッテリー ウィンドウズ、マック両対応
 単4乾電池

日本アイ・ビー・エム(株) ☎ 0120-04-1992 🌐 <http://www.ibm.co.jp/>

WorkPad c505 (8602-70J)



☎ オープンプライス (興 4万9800円)

- Palm OS 4.0 日本語版
- DragonBall VZ 33MHz
- ユニバーサルコネクタ
- SD / MMCカードスロット搭載
- フロントライト付き反射型カラー液晶

WorkPad c3 (8602-50J)



☎ オープンプライス (興 2万9900円)

- Palm OS 3.5 日本語版
- DragonBall EZ 20MHz
- ユニバーサルコネクタ
- SD / MMCカードスロット搭載

WorkPad (8602-31J)



☎ 3万9800円

- Palm OS 3.1 日本語版
- DragonBall EZ 16MHz
- PHSモジュール内蔵

Palm OS 4.0搭載。SD / MMCカードスロット、6万5536色表示と基本仕様はPalm Computing m505と同等。付属ソフトはビジネス向けのものが用意されている

Palm OS 3.5搭載。モノクロ16階調表示、リチウムイオンバッテリーと基本仕様はPalm Computing Vxと同等。付属ソフトはビジネス向けのものが用意されている

本体にPHSモジュールを内蔵しているため、付属の通信ソフトをインストールするだけで、インターネットが使用できる(アステルまたはNTTドコモとの契約が必要)

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディーカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
WorkPad c505 (8602-70J)	Palm OS 4.0 日本語版 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160 x 160 ドット 反射型 TFT カラー液晶 (6万5000色)	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) SD / MMCカードスロット	リチウムポリマーバッテリー 約2週間 ブラック アルミ	HotSyncクレードル (充電器兼用) ACアダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版 Satellite Forms ランタイムモジュール Intellisync for IBM WorkPad
WorkPad c3 (8602-50J)	Palm OS 3.5 日本語版 Motorola DragonBall EZ (20MHz) 160 x 160 ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM)	リチウムイオンバッテリー 約2週間 ブラック アルミ	HotSyncクレードル (充電器兼用) ACアダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版) Lotus EasySync (ノート用) PalmScape for WorkPad、英和・和英辞書 Jotmail for WorkPad
WorkPad (8602-31J)	Palm OS 3.1 日本語版 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160 x 160 ドット モノクロ16階調	4MB (RAM) 2MB (フラッシュROM)	単4形乾電池 x 2本 約2週間 ブラック プラスチック	PHSユニット内蔵 HotSyncクレードル (充電器兼用) ACアダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版) Lotus EasySync (ノート用) PalmScape for WorkPad、英和・和英辞書 Jotmail for WorkPad、MultiMail for WorkPad

(株)エム・ディ・エス ☎ 03-3834-5250 🌐 <http://www.mds2000.co.jp/> / (株)アスク ☎ 03-5125-5650 🌐 <http://www.ask-corp.co.jp/>

HandEra 330

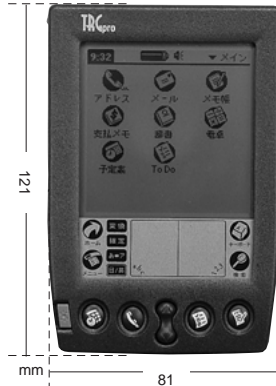


☎ 4万9800円

- Palm OS 3.52
- DragonBall VZ 33MHz
- SD / CFカードスロット搭載
- 240 x 320ドットの16階調液晶
- リチウムイオンバッテリー充電機(別売)での動作も可能

SD / CFダブルスロットとバーチャルグラフィティエリアを持つ240 x 320ドットの液晶ディスプレイが特徴。ジョグボールを採用しており、OSは英語版

TRGpro



☎ オープンプライス (興 3万9800円)

- Palm OS 3.51 日本語版
- DragonBall EZ 16MHz
- CFカードスロット搭載
- マイクロドライブやP-in Comp@ctを装着可能

CFカードスロットを搭載しているため、容量の大きいアプリケーションやデータファイルをCFカードやマイクロドライブに一時的に退避させることが可能

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディーカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
HandEra 330	Palm OS 3.52 DragonBall VZ (33MHz) 240 x 320 ドット モノクロ16階調	8MB (DRAM) 2MB (フラッシュROM) SD/CFカードスロット	単4形乾電池 x 4本 リチウムイオンバッテリー (別売り) プラスチック	HotSyncクレードル (シリアル) ACアダプター、スタイラスペン フリップカバー、 SD / CFカードスロットカバー	Palm Desktop 英語版 CardPro、Backup、Chapura Pocket Mirror、QuickOffice
TRGpro	Palm OS 3.5.1 日本語版 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160 x 160 ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) CFカードスロット	単4形乾電池 x 2本 約2カ月 グレー プラスチック	HotSyncクレードル (シリアル) フリップカバー、スタイラスペン	Palm Desktop 英語版 CFPro、CFBackup、FlashPro